

「揖斐川町地域福祉計画」策定のための アンケート調査

調査結果報告書

平成26年
揖斐川町

目次

I. 調査概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
5. 調査結果と考察.....	1
II. 一般町民アンケート	4
1. あなたご自身（ご本人）について.....	4
2. あなたの日常生活や地域の課題について.....	11
3. 災害時における助け合いについて.....	25
4. 地域活動やボランティア活動について.....	28
5. 揖斐川町の福祉について.....	35
6. 社会福祉協議会について.....	49
7. インターネットの利用について.....	50
8. これからの揖斐川町について.....	53
III. 中学生アンケート	62
1. あなたご自身について.....	62
2. あなたの日常生活について.....	66
3. あなたの自由時間について.....	70
4. あなたの地域での生活について.....	72
5. 地域活動、ボランティア活動について.....	79
IV. 自由回答	85
一般市民自由回答.....	85
中学生自由回答.....	139

I. 調査概要

1. 調査目的

本業務は、社会福祉法（昭和 26 年法律第 45 号）第 107 条の規定に基づき、揖斐川町地域福祉計画（第 1 期 H21～H25）を見直し、第 2 期計画を策定するために必要な基礎資料を作成することを目的とする。

2. 調査設計

	【一般町民アンケート】	【中学生アンケート】
調査対象	20 歳以上の町民	町内中学 2 年生
対象者数	2,500 人	全員 195 人
抽出方法	無作為抽出	全数
調査方法	郵送配布・回収	中学校を通して配布・回収
調査時期	12 月 9 日～12 月 20 日	12 月 9 日～12 月 20 日

3. 回収結果

	【一般町民アンケート】	【中学生アンケート】
配布数	2500 件	195 件
回収数	1325 件	195 件
回収率	53.0%	100%

4. 報告書の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が 100%にならないこともあります。
- (2) 回収率 (%) は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- (3) 基数となるべき実数は、N として掲載した。比率は、この N を 100%として算出しています。
- (4) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は通常 100%を超える場合もあります。
- (5) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度の簡略化して掲載している場合があります。

5. 調査結果と考察

このアンケート調査は、第2期揖斐川町地域福祉計画の策定の資料とするために一般町民2,500人、中学生195人に地域における課題、個人の支援の必要性、地域活動の意向などを把握するために実施しました。

ここでは、アンケート調査結果から揖斐川町の地域福祉の状況を把握するために、各地域でどのような課題があるのか、また、住民がどの程度地域からの支援を求めているのか、その支援に対して地域活動（地域の助け合い）によって、対応可能であるのかをみていきます。

①お住まいの地域の課題

地域の課題については、「ひとり暮らしの高齢者が増加している」（46.0%）、「地域の住民が高齢の人が多く、集落の維持が難しい」（35.4%）、「老老介護の問題がある」（31.0%）といった高齢化に伴う問題が挙げられており、本町の将来を見据えると、深刻な問題であると言えます。（11頁）

地域別にみると、各地域で上位に3つの項目が挙がっており、地域の問題ではなく町全体の問題であることがわかります。（12頁）

②現在必要な家族以外の手助け

地域の課題に対して、個人レベルの課題を把握するために、現在家族以外のどのような手助けが必要かとお聞きしています。（18頁）その結果、現在のところ「特にない」（45.7%）という項目が最も多くなっており、以下「除雪作業」（25.5%）、「地震など災害時の支援」（15.6%）といった現在必要な支援といっても、“何かあったら助けてほしい”という意向がうかがえました。この「特にない」、「除雪作業」、「地震など災害時の支援」といった上位3位は、20歳代から70歳以上まで各年代で同じ結果となっています。（18頁）

③将来、日常生活が不自由になった時に必要な家族以外の手助け

今度は、「現在家族以外のような手助けが必要か」という質問に「特にない」と回答した人に対して、現在ではなく、将来、自分自身が日常生活に不自由になった時に、家族以外の人のような手助けが必要かをお聞きしています。（20頁）

その結果、「病院などへの送迎」（39.3%）、「安否確認の声かけ」（29.1%）、「生活必需品などの買い物」（31.2%）といった日常的な支援が必要になるだろうと考えていることがわかりました。

これは、先述の現在の必要な支援が“何かあったら助けてほしい”支援であったのに対して、毎日の生活に必要な支援が上位に入っており、近い将来の支援ニーズが表れているのではないかと考えられます。

④今後行ってみたい地域の活動（地域の助け合い）

それでは、②の「現在の必要な家族以外の手助け」に対して、その対応の可能性を探るために、今後行ってみたい地域活動（地域の助け合い）は何ですかとお聞きしています。（31頁）その結果、「安否確認の声かけ」（32.4%）、「話し相手」（20.4%）等の項目が挙がって

いました。現在の安否確認の声かけ（6.6%）、話し相手（4.9%）のニーズに対して、それを上回る数値が出ており、現在の見守りニーズに関しては、住民の地域活動で十分対応可能な課題であるのではないかと考えられます。今回上位に入っていた安否確認の声かけや話し相手は、地域の課題として挙がっていた高齢化に伴う問題に対して有効な施策であり、それらが上位に挙がったことは、本町の地域福祉の推進に向けて希望が感じられる結果であったと言えます。

今まで見てきたように、高齢化に伴う地域の課題があり、また、個人レベルでは、現在の必要な支援、将来に必要な支援があります。こうした状況を把握した上で、計画策定にあたっては、地域では何ができるのか、個人として何ができるのか、また、行政はどういう支援ができるのかといった方策を検討することが必要であり、その検討は地域の人々が自分のこととして考えていくことが重要となります。

今後はアンケートでいただいた貴重なご意見を大切にしながら、新たな第2期地域福祉計画を策定し、地域福祉のまちづくりを一層進めてまいります。

II. 一般町民アンケート

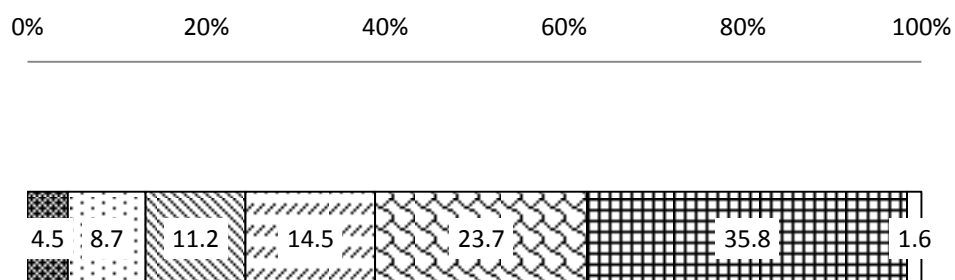
1.あなたご自身（ご本人）について

問1 あなたの年齢についてお答えください。（〇は1つ）

◆ 「70歳以上」 35.8%

回答者の年代は、「70歳以上」（35.8%）、「60歳代」（23.7%）、「50歳代」（14.5%）、「40歳代」（11.2%）、「30歳代」（8.7%）、「20歳代」（4.5%）の順となっています。

N=1325

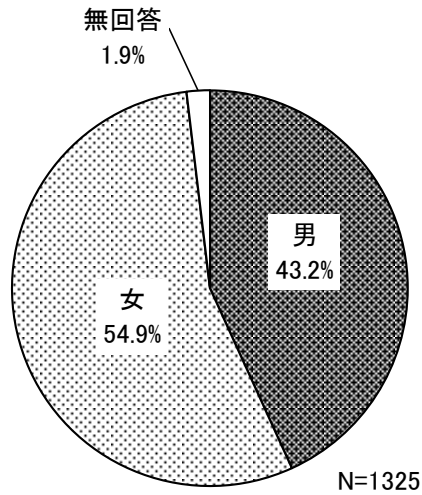


- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳以上
- 無回答

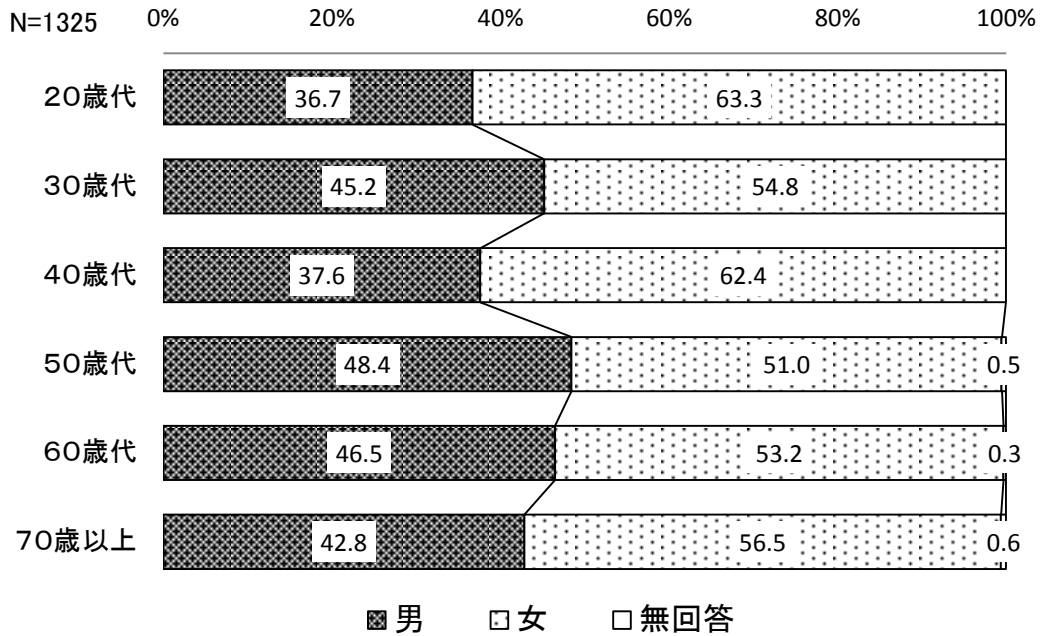
問2 あなたの性別についてお答えください。(どちらかに○)

◆ 「男性」が43.2%、「女性」が54.9%

回答者の性別は「男性」が43.2%、「女性」が54.9%となっています。20歳代の女性の割合は、63.3%と他年代に比べて多くなっています。



【年代別】

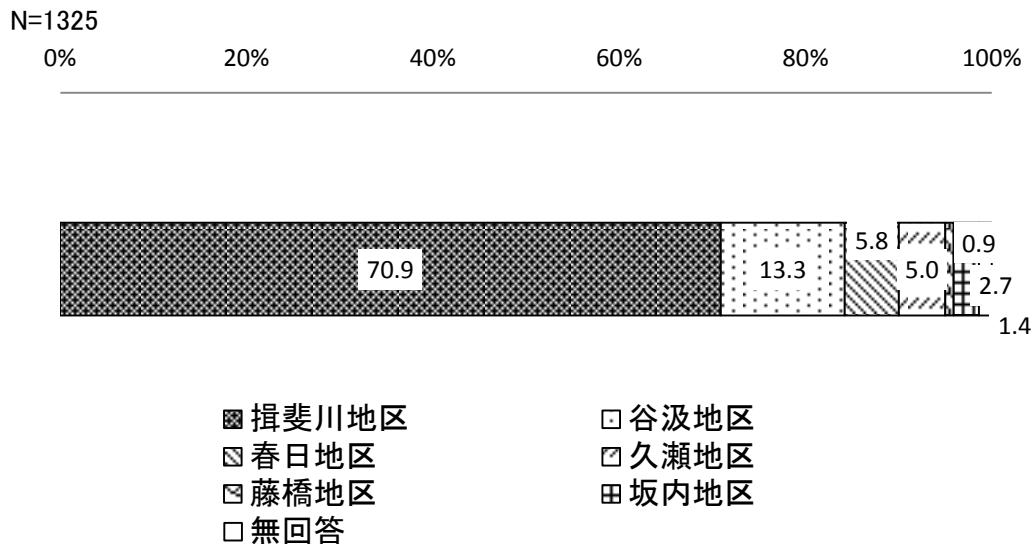


問3 住んでいる地区はどちらですか。(〇は1つ)

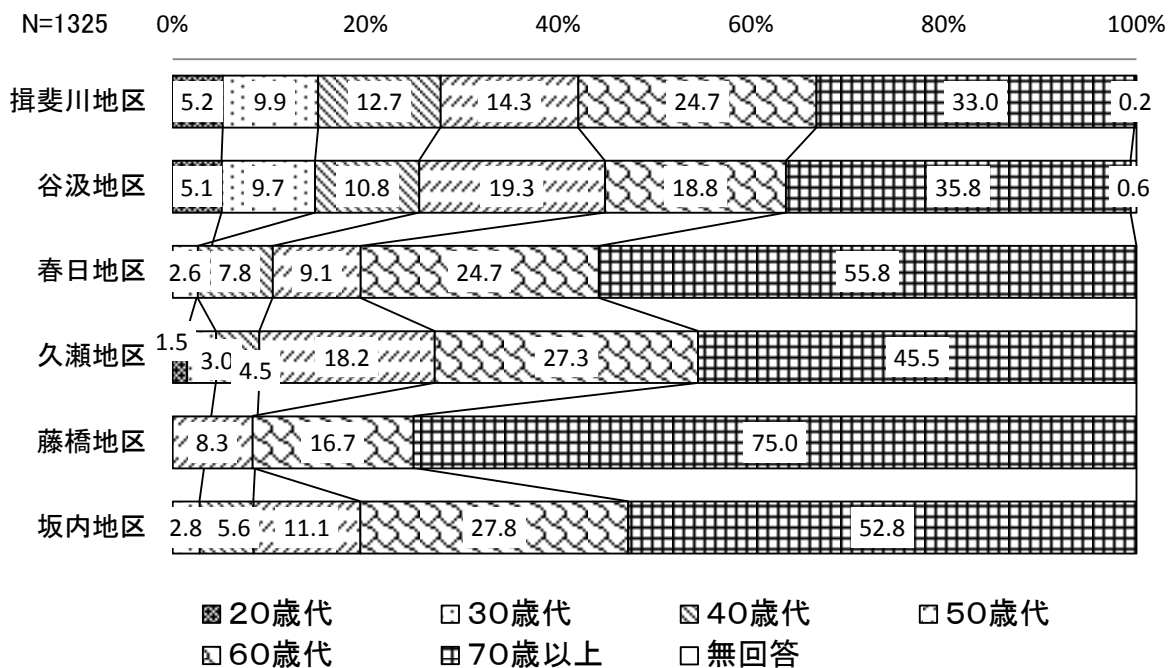
◆ 「揖斐川地区」が約7割

回答者の居住地は「揖斐川地区」が最も多く70.9%となっています。次いで「谷汲地区」(13.3%)、「春日地区」(5.8%)、「久瀬地区」(5.0%)、「坂内地区」(2.7%)、「藤橋地区」(0.9%)の順となっています。

地域別の年代をみると、藤橋地区の70歳以上の割合は75%以上と他地区に比べて多くなっています。



【地域別】



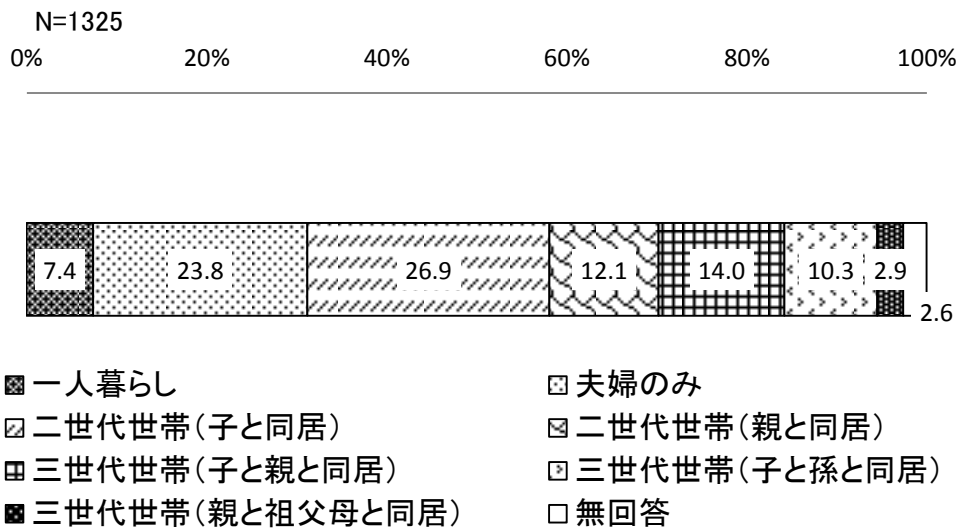
問4 あなたの家族構成についてお答えください。(〇は1つ)

◆ 「二世世代世帯(子と同居)」が26.9%

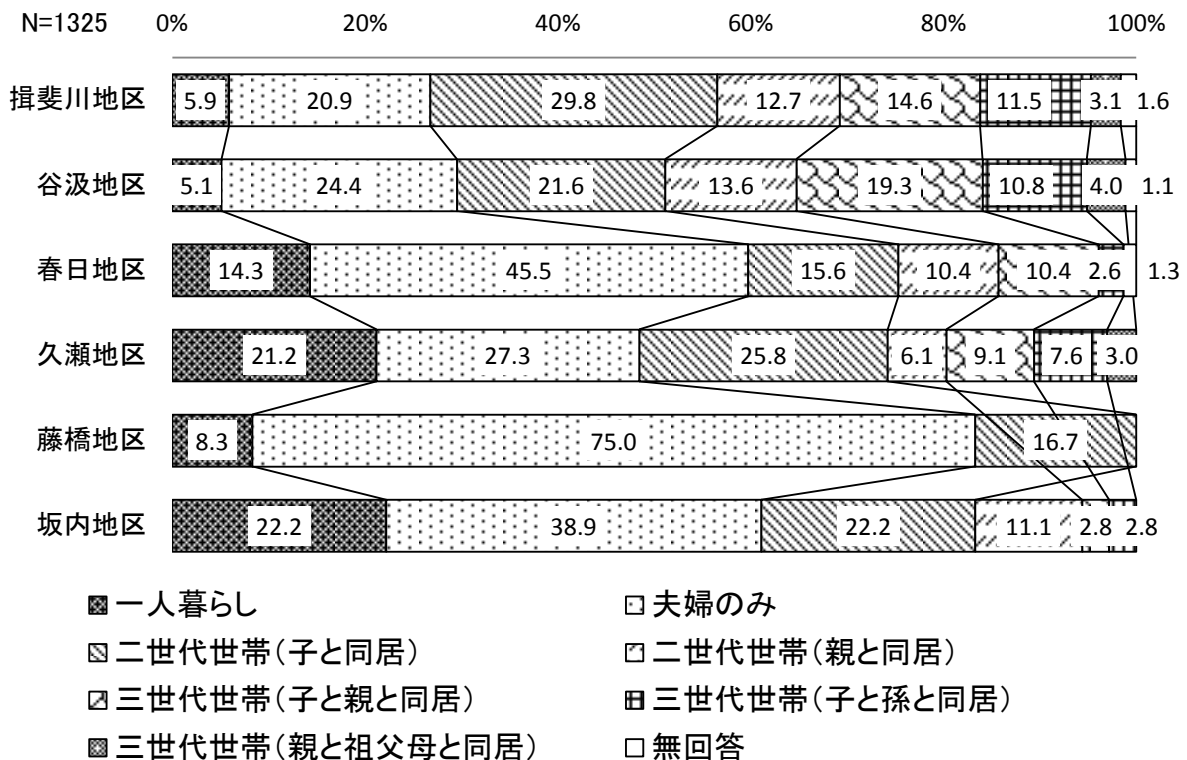
家族構成は、「二世世代世帯(子と同居)」が最も多く、26.9%、ついで「夫婦のみ」が23.8%となっています。

また、「二世世代世帯」の(子と同居)と(親と同居)を合わせると39.0%、「三世世代世帯」の(子と親と同居)、(子と孫と同居)、(親と祖父母と同居)を合わせると27.2%となります。

地域別の家族構成をみると、一人暮らし世帯は、坂内地区(22.2%)、久瀬地区(21.2%)、春日地区(14.3%)で1割を超え、多くなっています。



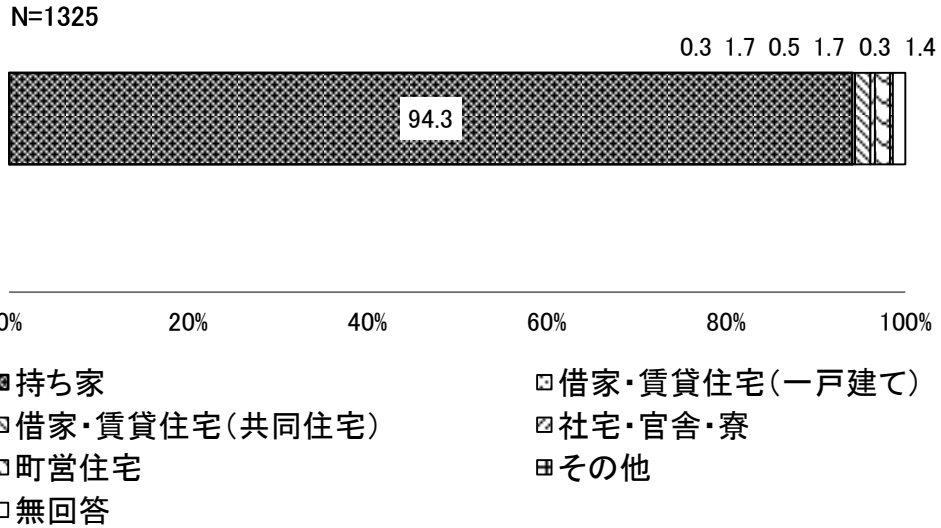
【地域別】



問5 住まいについてお答えください。(〇は1つ)

◆ 「持ち家」が9割以上

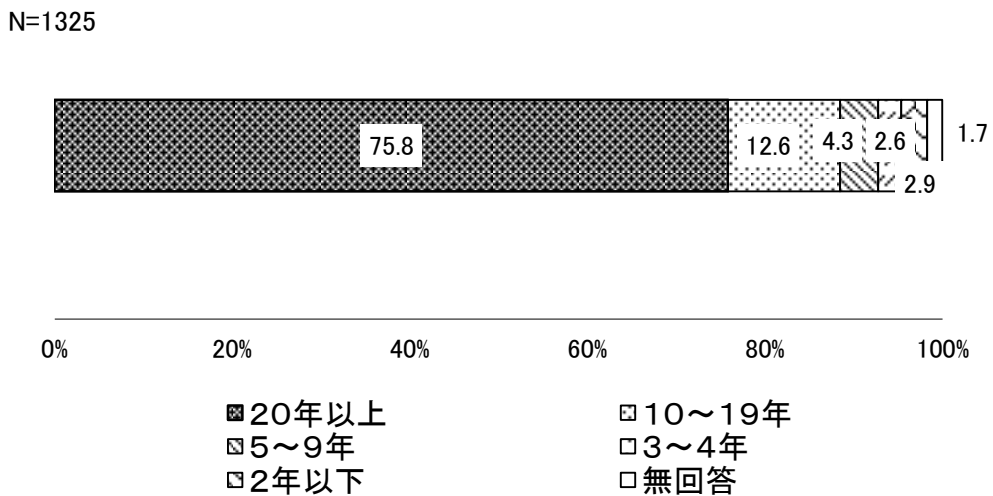
住まいに関しては、「持ち家」が94.3%と最も多くなっています。



問6 現在の住居に何年ぐらいお住まいですか。(〇は1つ)

◆ 「20年以上」が75.8%

現在の住居に住んでいる期間では、「20年以上」が最も多く、75.8%を占めています。次いで「10～19年」が12.9%、「5～9年」が4.3%の順となっています。



問7 あなたは、転居の経験がありますか。(〇は1つ)

◆ 「転居の経験はない」が46.9%

転居の経験は、「転居の経験はない」が46.9%と最も多く、次いで「町外から転入した」が30.8%、「町内での経験がある」が14.1%、「その他」2.8%の順となっています。

N=1325



0% 20% 40% 60% 80% 100%

- 町内での経験がある
- 町外から転入した
- 転居の経験はない
- その他
- 無回答

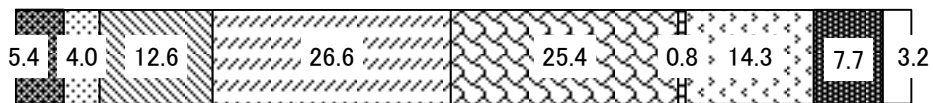
【問7で「1 町内での経験がある」「2 町外から転入した」を選んだ方のみにおたずねします。】

問7-1 転居の理由は何ですか。(〇は1つ)

◆ 「結婚」が26.6%、「住居上の理由」が25.4%

転居の理由は「結婚」が26.6%と最も多く、次いで「住居上の理由」が25.4%、「親との同居」が14.3%の順となっています。

N=595



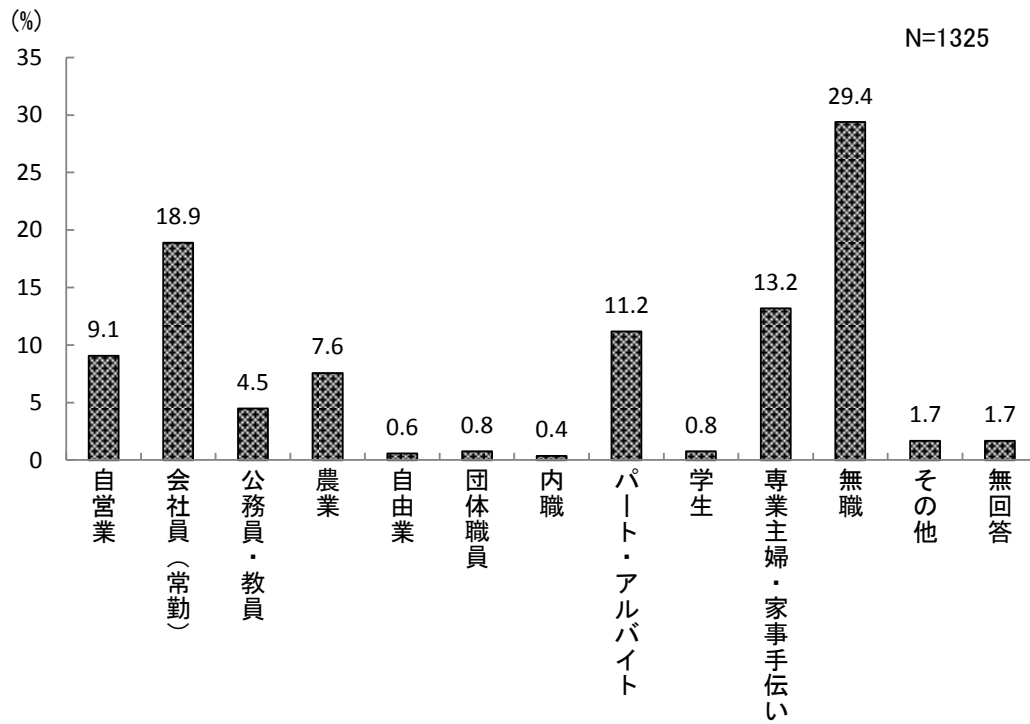
0% 20% 40% 60% 80% 100%

- 家族の転勤
- 結婚
- 親との同居
- 就学
- 住居上の理由
- その他
- 仕事上の理由
- 子どもとの同居
- 無回答

問8 あなたの職業についてお答えください。(〇は1つ)

◆ 「無職」が約3割、「会社員」が約2割

職業は、「無職」が最も多く29.4%、次いで「会社員（常勤）」が18.9%、「専業主婦・家事手伝い」が13.2%の順となっています。



2.あなたの日常生活や地域の課題について

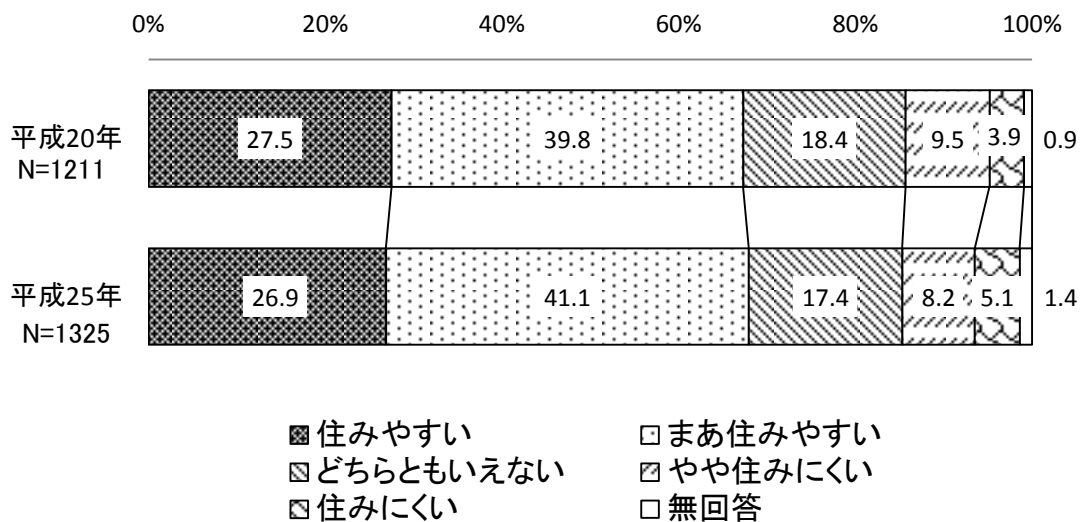
問9 あなたは現在住んでいる地域を住みやすいと感じていますか。(〇は1つ)

◆ “住みやすい※” と回答した人は7割弱

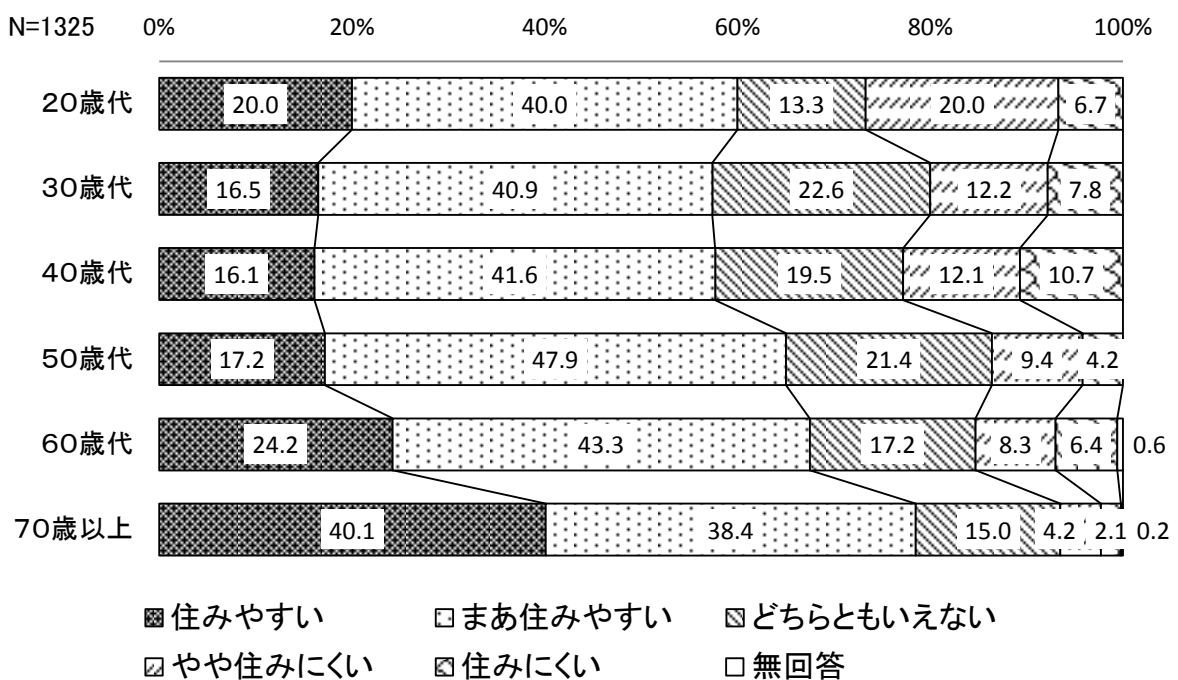
平成25年の調査では、「まあ住みやすい」が最も多く41.1%になっています。

“住みやすいと感じている人”(「住みやすい」+「まあ住みやすい」)は、いずれの年も7割弱、“住みにくいとと感じている人”(「住みにくい」+「やや住みにくい」)は、いずれも1割強となっており、前回の調査と大きな違いはありません。

年代別でみると、年代が上がるにしたがって“住みやすいと感じている人”が多くなる傾向がうかがえます。



【年代別】

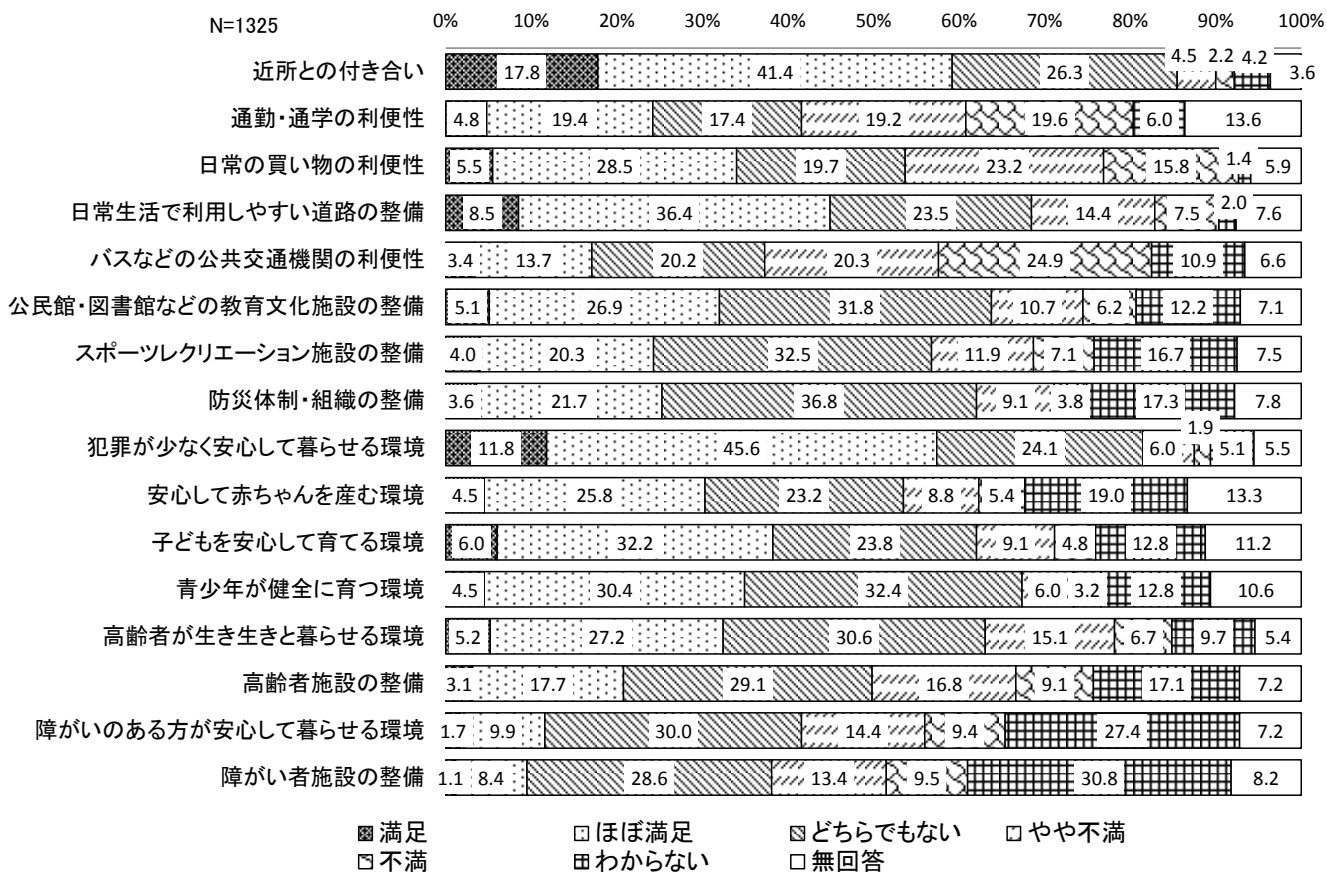


問 10 あなたの周りの環境などについて、福祉の面から見た印象をおたずねします。
(それぞれ1つに○)

◆ 「近所との付き合い」に“満足を感じている人”は約6割

福祉の環境について、“満足と感じている人”（「満足」と「ほぼ満足」）は、「近所との付き合い」が59.2%と最も多く、次いで「犯罪が少なく安心して暮らせる環境」が57.4%と多くなっています。

反対に、“不満と感じている人”（「不満」と「やや不満」）は、「バスなどの公共交通機関の利便性」が45.2%と最も多く、次いで「日常の買い物の利便性」が39.0%と多くなっています。



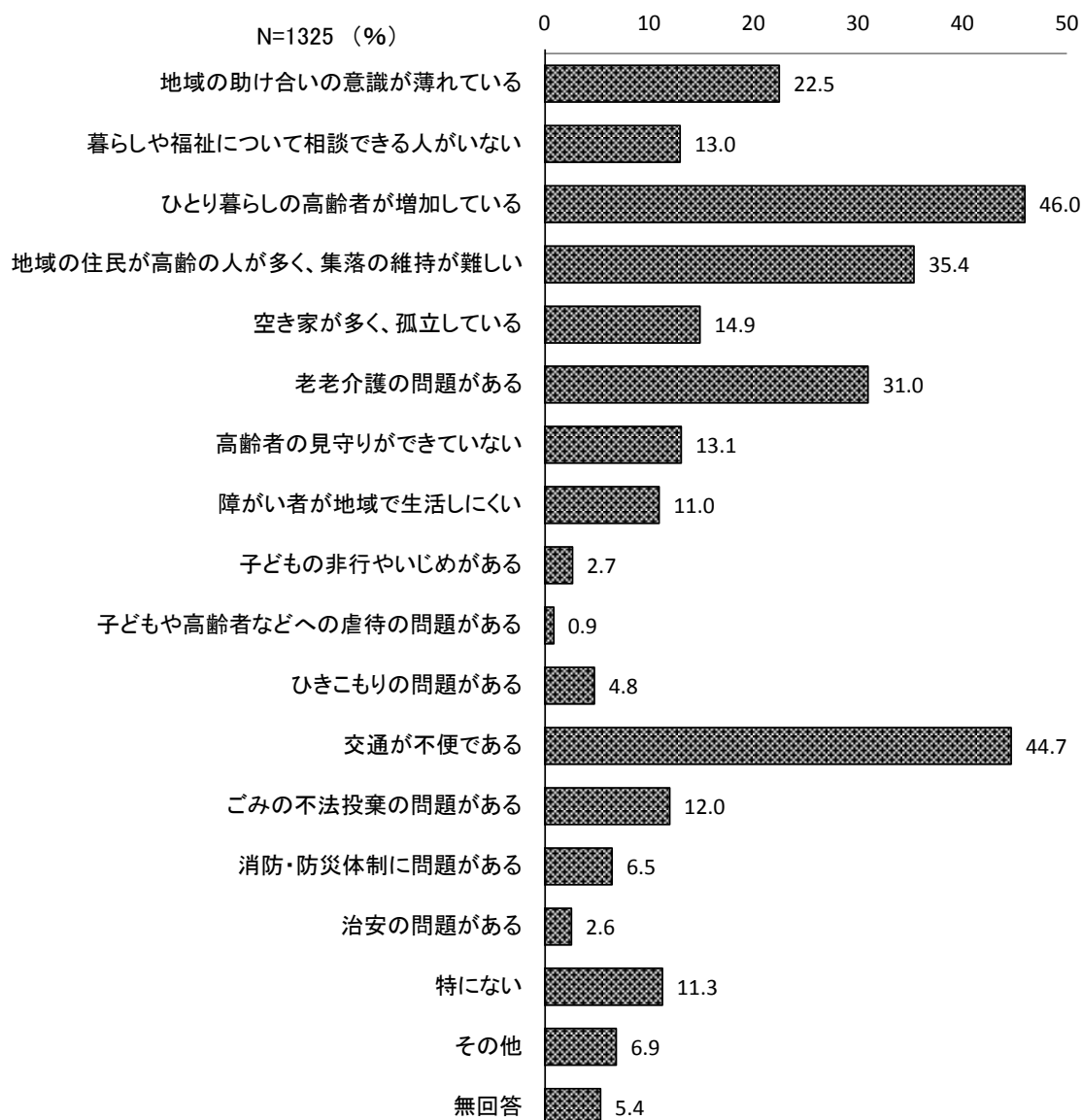
(%)	て満足 いと 人感じ	て不 い満 ると 人感じ
近所との付き合い	59.2	6.7
通勤・通学の利便性	24.2	38.8
日常の買い物の利便性	34.0	39.0
日常生活で利用しやすい道路の整備	44.9	21.9
バスなどの公共交通機関の利便性	17.1	45.2
公民館・図書館などの教育文化施設の整備	32.0	16.9
スポーツレクリエーション施設の整備	24.3	19.0
防災体制・組織の整備	25.3	12.9
犯罪が少なく安心して暮らせる環境	57.4	7.9
安心して赤ちゃんを産む環境	30.3	14.2
子どもを安心して育てる環境	38.2	13.9
青少年が健全に育つ環境	34.9	9.2
高齢者が生き生きと暮らせる環境	32.4	21.8
高齢者施設の整備	20.8	25.9
障がいのある方が安心して暮らせる環境	11.6	23.8
障がい者施設の整備	9.5	22.9

問11 お住まいの地域の課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 地域の課題、「ひとり暮らしの高齢者が増加している」が46.0%

地域の課題は、「ひとり暮らしの高齢者が増加している」が最も多く46.0%、次いで「交通が不便である」が44.7%、「地域の住民が65歳以上の高齢の人が多く、集落の維持が難しい」が35.4%の順となっています。

「子どもや高齢者の虐待の問題がある」、「子どもの非行やいじめがある」、「ひきこもりの問題がある」等の問題も地域にあることが分かります。



年代別でみると20歳代～60歳代まで「交通が不便」が第1位となっています。70歳以上では、ひとり暮らし高齢者の増加が第1位となっています。

【年代別 地域の課題】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	交通が不便 (41.7%)	ひとり暮らし高齢者の増加 (31.7%)	特にな (26.7%)	高齢者が多く集落維持が難しい (20.0%)	老老介護の問題 (8.3%)
30歳代	交通が不便 (53.9%)	ひとり暮らし高齢者の増加 (39.1%)	高齢者が多く集落維持が難しい (27.8%)	老老介護の問題 (19.1%)	助け合いの意識が薄い 高齢者の見守りができていない (16.5%)
40歳代	交通が不便 (52.3%)	ひとり暮らし高齢者の増加 (32.2%)	高齢者が多く集落維持が難しい (30.2%)	老老介護の問題 (18.1%)	助け合いの意識が薄い (16.1%)
50歳代	交通が不便 (55.7%)	ひとり暮らし高齢者の増加 (53.6%)	高齢者が多く集落維持が難しい (38.0%)	老老介護の問題 (32.8%)	助け合いの意識が薄い (16.7%)
60歳代	交通が不便 (44.6%)	ひとり暮らし高齢者の増加 (44.3%)	高齢者が多く集落維持が難しい (37.6%)	老老介護の問題 (33.1%)	助け合いの意識が薄い (29.9%)
70歳以上	ひとり暮らし高齢者の増加 (51.5%)	高齢者が多く集落維持が難しい (39.0%)	老老介護の問題 (38.8%)	交通が不便 (36.9%)	助け合いの意識が薄い (25.3%)

地域別でみると「ひとり暮らし高齢者の増加」が6地区中4地区が第1位となっています。

【地域別 地域の課題】

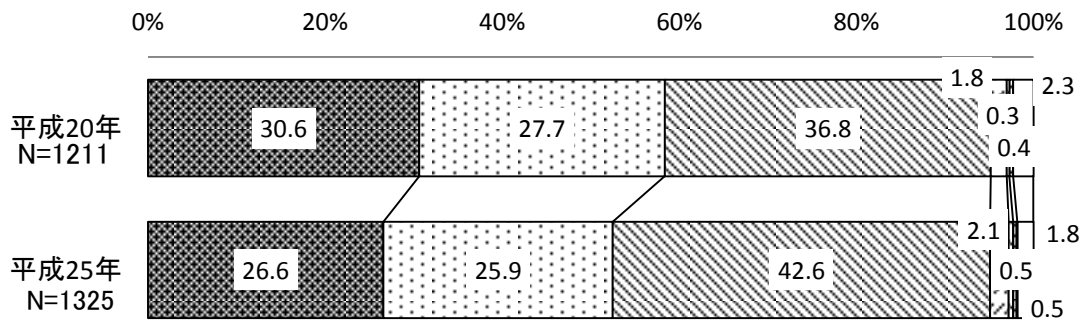
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
揖斐川地区	ひとり暮らし高齢者の増加 (40.8%)	交通が不便 (40.6%)	高齢者が多く集落維持が難しい (28.4%)	老老介護の問題 (27.9%)	助け合いの意識が薄い (21.8%)
谷汲地区	交通が不便 (67.6%)	ひとり暮らし高齢者の増加 (40.3%)	高齢者が多く集落維持が難しい (37.5%)	助け合いの意識が薄い (27.3%)	老老介護の問題 (26.1%)
春日地区	ひとり暮らし高齢者の増加 (75.3%)	高齢者が多く集落維持が難しい (71.4%)	空き家が多く、孤立 (50.6%)	老老介護の問題 (48.1%)	交通が不便 (45.5%)
久瀬地区	ひとり暮らし高齢者の増加 (75.8%)	高齢者が多く集落維持が難しい (65.2%)	交通が不便 (51.5%)	老老介護の問題 (48.5%)	空き家が多く、孤立 (37.9%)
藤橋地区	高齢者が多く集落維持が難しい (66.7%)	ひとり暮らし高齢者の増加 (58.3%)	空き家が多く、孤立 (50.0%)	老老介護の問題 (41.7%)	障がい者が生活しにくい 交通が不便 (33.3%)
坂内地区	ひとり暮らし高齢者の増加 (86.1%)	高齢者が多く集落維持が難しい (75.0%)	老老介護の問題 (66.7%)	空き家が多く、孤立 (47.2%)	交通が不便 (41.7%)

問12 近所の人とは、どの程度付き合いをしていますか。(〇は1つ)

◆ 平成25年調査、「顔が合えばあいさつはする」が42.6%

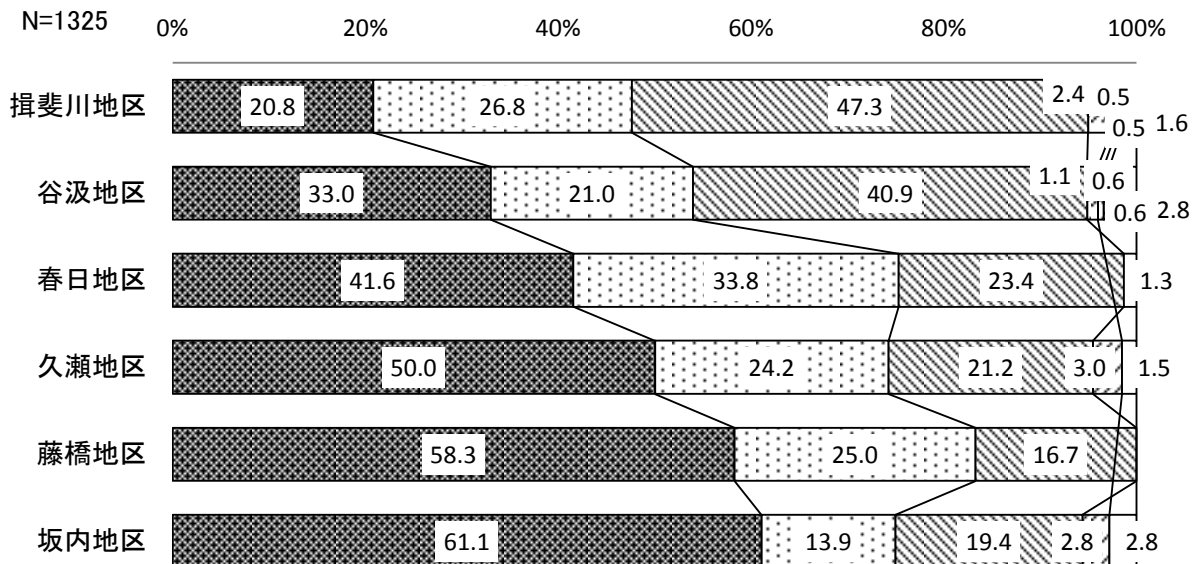
平成25年の調査では、「顔が合えばあいさつはする」が最も多く42.6%になっています。

経年比較すると、「顔が合えばあいさつはする」が5.8%増えて42.6%、「日頃から助け合っている」が4.0%減って26.6%となっています。日頃から助け合っている割合は、坂内地区が最も多く、揖斐川地区が最も少なくなっています。



- 日頃から助け合っている
- 気の合った人とは親しくしている
- ▨ 顔が合えばあいさつはする
- ▩ ほとんど付き合わない
- ▮ 近所にどんな人が住んでいるのかわからない
- ▧ その他
- 無回答

【地域別】



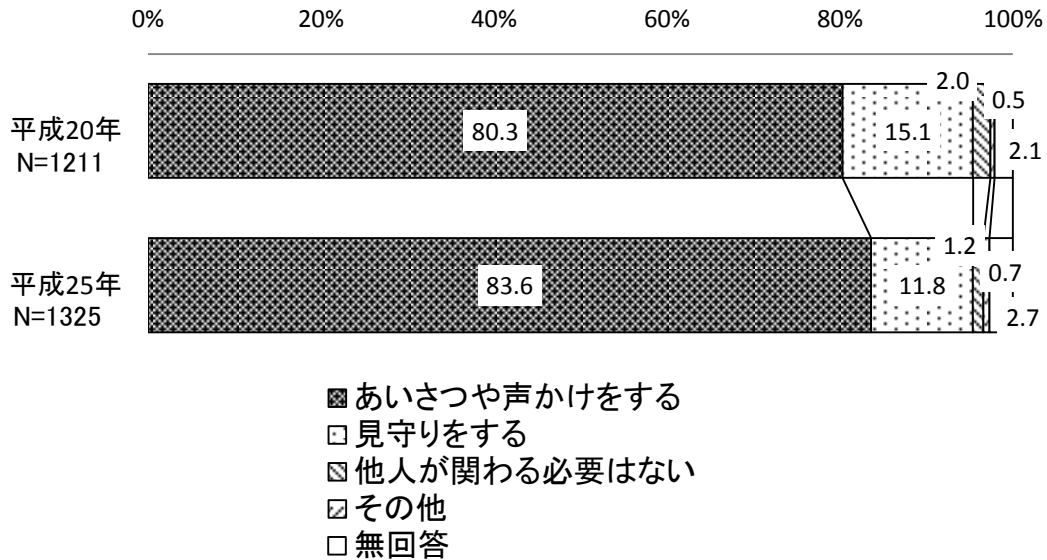
- 日頃から助け合っている
- 気の合った人とは親しくしている
- ▨ 顔が合えばあいさつはする
- ▩ ほとんど付き合わない
- ▮ 近所にどんな人が住んでいるのかわからない
- ▧ その他
- 無回答

問13 近所の子どもや高齢者にどのように接したらよいと思いますか。(〇は1つ)

◆ 子どもや高齢者に「あいさつや声かけをする」が8割以上

平成25年の調査では、「あいさつや声かけをする」が最も多く、83.6%となっています。

経年比較すると、「あいさつや声かけをする」が3.3%増えて83.6%、「見守りをする」が3.3%減って11.8%となっています。いずれの年も「あいさつや声かけをする」が最も多く、8割以上となっています。

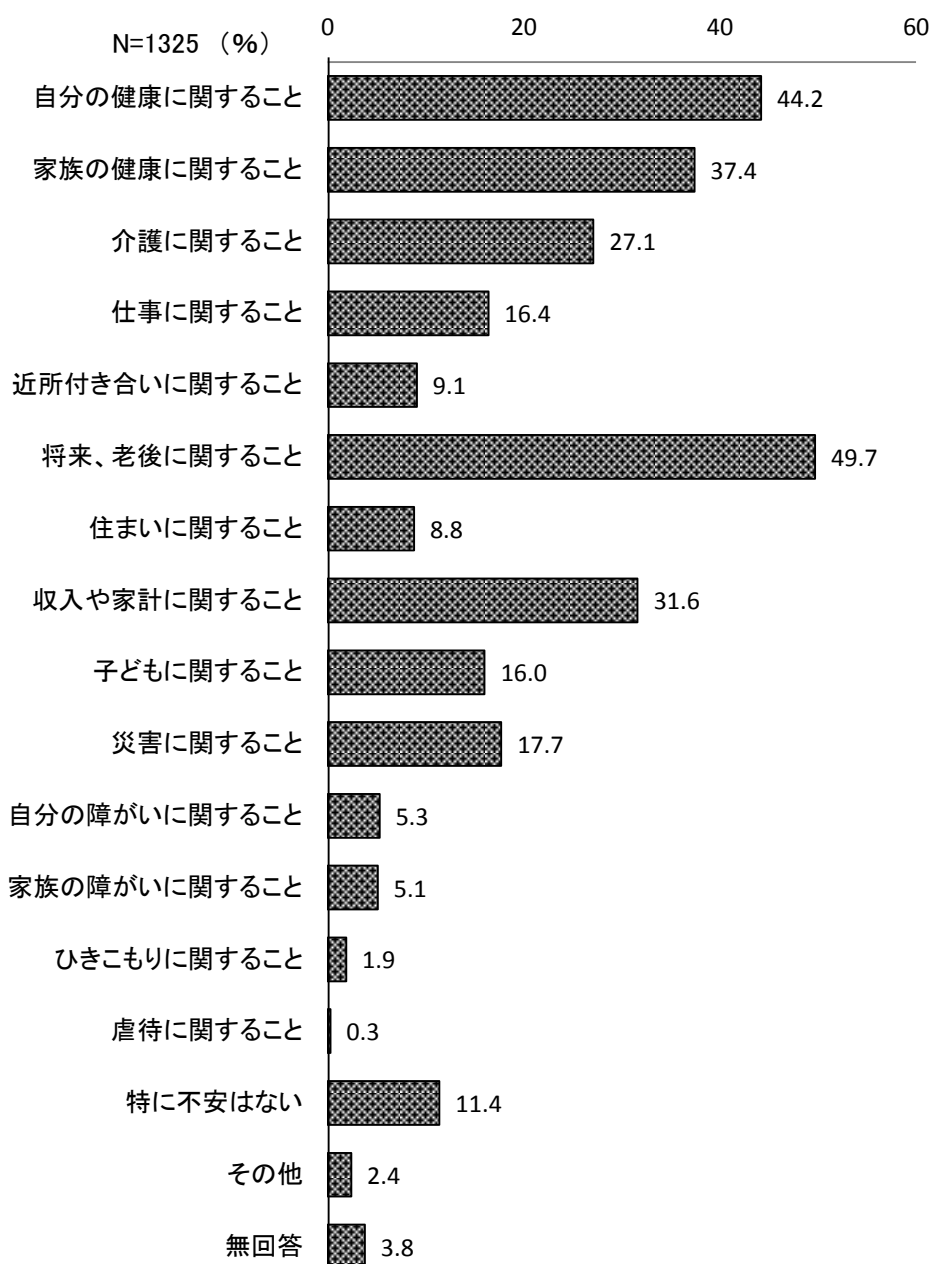


問14 あなたは、毎日の暮らしの中で、どのようなことで困ったり不安を感じたりしていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

◆ 「将来、老後に関すること」が“が約半数

暮らしの中の不安では、「将来、老後に関すること」が最も多く 49.7%と約半数になっています。次いで「自分の健康に関すること」が 44.2%、「家族の健康に関すること」が 37.4%の順になっています。

「虐待に関すること」、「ひきこもりに関すること」、「自分の障がいに関すること」「家族の障がいに関すること」等の不安もあることが分かります。



年代別でみると40歳代～60歳代まで「将来の老後」が第1位となっています。70歳以上では、「自分の健康」、20歳代では「仕事のこと」、30歳代では「収入や家計」がそれぞれ第1位となっています。

【年代別 暮らしの中の不安】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	仕事のこと (36.7%)	将来の老後 (35.0%)	収入や家計 (31.7%)	不安はない (26.7%)	家族の健康 (21.7%)
30歳代	収入や家計 (45.2%)	家族の健康 将来の老後 (40.9%)		仕事のこと (35.7%)	子どものこと (32.2%)
40歳代	将来の老後 (49.0%)	収入や家計 (37.6%)	家族の健康 (32.9%)	子どものこと (30.9%)	自分の健康 (28.9%)
50歳代	将来の老後 (63.5%)	家族の健康 (44.3%)	自分の健康 (42.7%)	収入や家計 (41.7%)	介護のこと (30.7%)
60歳代	将来の老後 (60.5%)	自分の健康 (46.5%)	家族の健康 (39.5%)	収入や家計 (36.6%)	介護のこと (29.3%)
70歳以上	自分の健康 (56.3%)	将来の老後 (41.4%)	家族の健康 (35.9%)	介護のこと (30.8%)	収入や家計 (19.4%)

地域別でみると揖斐川地区、谷汲地区、春日地区では「将来の老後」が第1位となっています。久瀬地区、藤橋地区、坂内地区では「自分の健康」が第1位となっています。

【地域別 暮らしの中の不安】

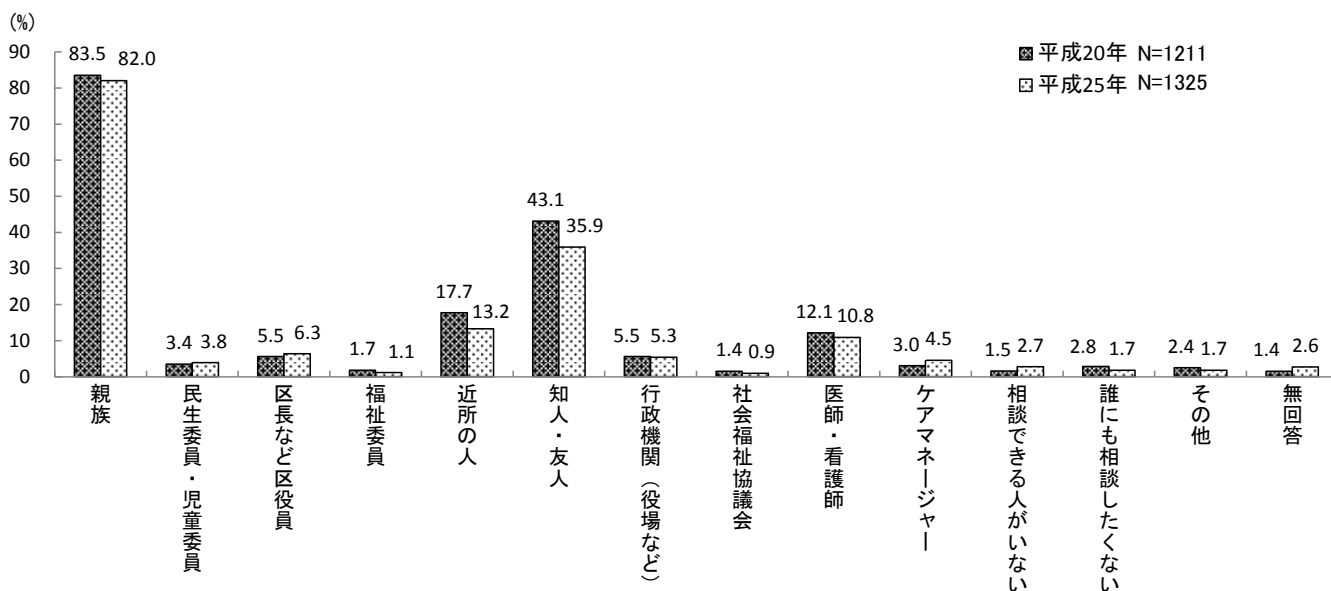
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
揖斐川地区	将来の老後 (49.8%)	自分の健康 (42.7%)	家族の健康 (37.5%)	収入や家計 (32.7%)	介護のこと (26.8%)
谷汲地区	将来の老後 (43.8%)	自分の健康 (39.2%)	家族の健康 (34.7%)	収入や家計 (27.8%)	介護のこと (26.7%)
春日地区	将来の老後 (59.7%)	自分の健康 (53.2%)	家族の健康 (39.0%)	収入や家計 (33.8%)	災害のこと (29.9%)
久瀬地区	自分の健康 (56.1%)	将来の老後 (54.5%)	介護のこと (37.9%)	家族の健康 (36.4%)	収入や家計 (28.8%)
藤橋地区	自分の健康 (75.0%)	家族の健康 (58.3%)	介護のこと (41.7%)	将来の老後 災害のこと (33.3%)	
坂内地区	自分の健康 (52.8%)	将来の老後 (47.2%)	家族の健康 (38.9%)	収入や家計 (27.8%)	介護のこと 災害のこと (22.2%)

問15 あなたは、毎日の暮らしの中で、困ったとき、誰に相談していますか。(〇は3つまで)

◆ 「親族」が8割以上

平成25年の調査では、「親族」が最も多く、82.0%となっています。

経年比較すると、「ケアマネージャー」が1.5%増えて4.5%、「友人・知人」が7.2%減って35.9%となっています。いずれの年も「親族」が最も多く、8割以上となっています。



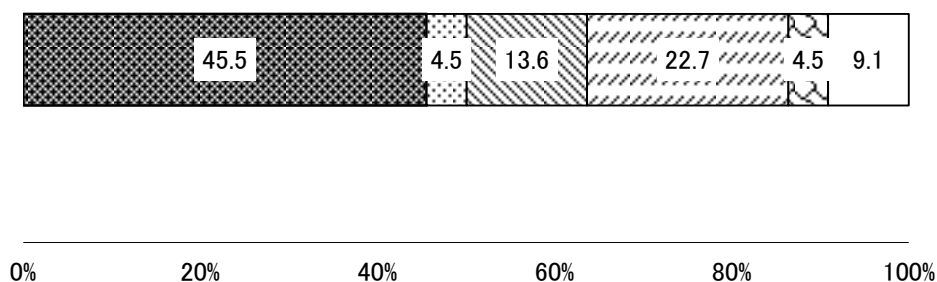
【問15で「12 誰にも相談したくない」と答えた方におたずねします。】

問15-1 なぜ、相談したくないのですか。(〇は1つ)

◆ 「他人に頼らず、自分で解決したい」が45.5%

相談したくない理由は「他人に頼らず、自分で解決したい」が最も多く45.5%となっています。次いで「なんとなく相談しにくい」が22.7%、「他人を家の中に入れたくない」が13.6%の順となっています。

N=22



- 他人に頼らず、自分で解決したい
- ▣ 顔見知りの人に相談するのは気まずい
- ▣ 他人を家の中に入れたくない
- なんとなく相談しにくい
- その他
- 無回答

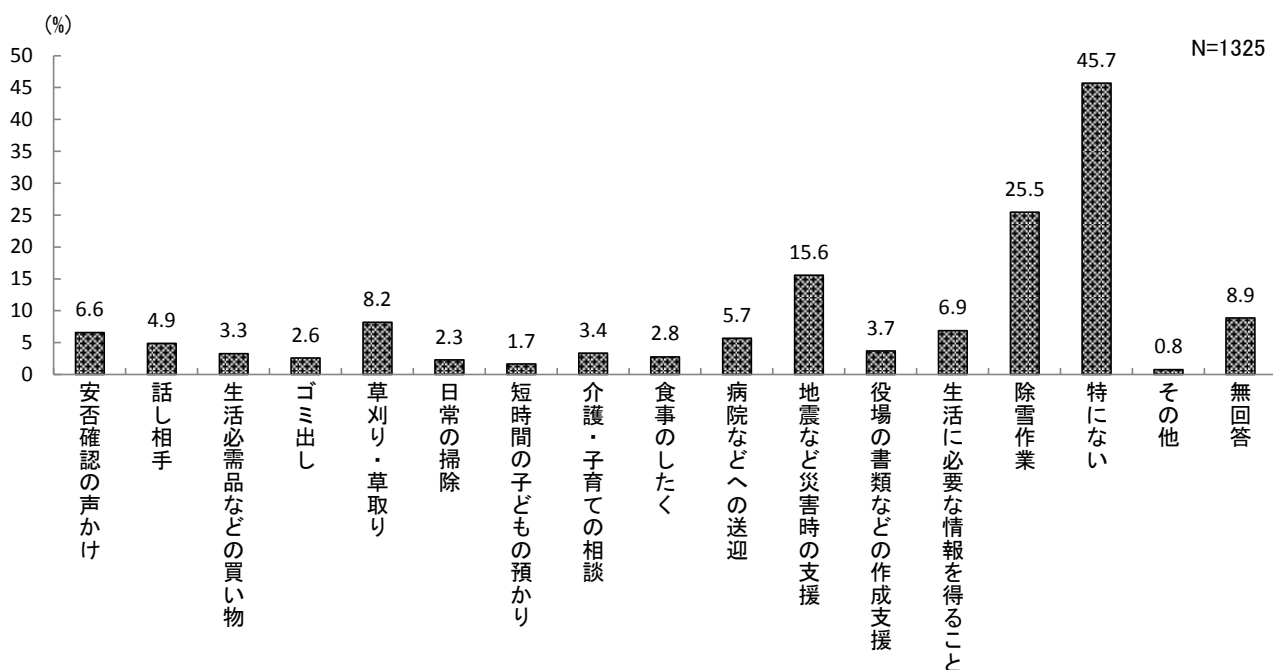
問16 現在、あなたが家族以外の誰かに手助けしてほしいことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

◆ 現在は「特にない」が4割以上

現在、家族以外に手助けしてほしいことは、「特にない」が45.7%と最も多くなっています。次いで「除雪作業」が25.5%、「地震など災害時の支援」が15.6%の順になっています。「特にない」と「除雪作業」の差は20.2%となっています。

年代別でみると「特にない」を除くと「除雪作業」が最も多くなっており、各年代の共通の悩みであることがわかります。20歳代、30歳代の第4位には、「子どもの預かり」が挙げられており、子育て支援ニーズがうかがえます。



【年代別 家族以外に手助けしてほしいこと】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	特にない (61.7%)	除雪作業 (18.3%)	災害時の支援 (15.0%)	子どもの預かり (6.7%)	介護・子育て相談 (5.0%)
30歳代	特にない (47.0%)	除雪作業 (27.0%)	災害時の支援 (14.8%)	子どもの預かり (10.4%)	草刈り草取り (6.1%)
40歳代	特にない (59.1%)	除雪作業 (20.8%)	災害時の支援 (8.7%)	介護・子育て相談 生活情報の入手 (7.4%)	草刈り草取り (6.0%)
50歳代	特にない (44.8%)	除雪作業 (28.6%)	災害時の支援 (21.4%)	生活情報の入手 (9.4%)	草刈り草取り (8.9%)
60歳代	特にない (51.9%)	除雪作業 (25.5%)	災害時の支援 (16.6%)	草刈り草取り (8.3%)	生活情報の入手 (7.3%)
70歳以上	特にない (36.1%)	除雪作業 (26.4%)	災害時の支援 (15.2%)	安否確認 (11.2%)	病院などへの送迎 (11.0%)

地域別でみると春日地区、久瀬地区、藤橋地区で「除雪作業」が4割を超え、多くなっています。

【地域別 家族以外にしてほしいこと】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
揖斐川地区	特にない (48.1%)	除雪作業 (22.8%)	災害時の支援 (15.4%)	草刈り草取り (8.0%)	生活情報の入手 (6.4%)
谷汲地区	特にない (47.2%)	除雪作業 (25.6%)	災害時の支援 (14.8%)	安否確認 (10.2%)	生活情報の入手 (8.5%)
春日地区	除雪作業 (46.8%)	特にない (26.0%)	病院などへの送迎 災害時の支援 (20.8%)		安否確認 (15.6%)
久瀬地区	除雪作業 特にない (36.4%)		災害時の支援 (16.7%)	草刈り草取り (13.6%)	話し相手 (12.1%)
藤橋地区	除雪作業 特にない (41.7%)		災害時の支援 生活情報の入手 (25.0%)		安否確認 (16.7%)
坂内地区	特にない (44.4%)	除雪作業 (25.0%)	役場書類などの 作成支援 (13.9%)	病院などへの送 迎 (11.1%)	安否確認 草刈り草取り 災害支援 (8.3%)

家族構成別でみると、一人暮らし世帯では「除雪作業」が最も多く、以下「安否確認」、「話し相手」、「病院などへの送迎」、「災害時の支援」と続いています。

【家族構成別 家族以外にしてほしいこと】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一人暮らし	除雪作業 (37.8%)	特にない (27.6%)	安否確認 (20.4%)	話し相手 病院などへの送迎 災害時の支援 (17.3%)	
夫婦のみ	特にない (47.0%)	除雪作業 (27.9%)	災害時の支援 (14.9%)	草刈り草取り (10.8%)	生活情報の入手 (7.0%)
二世帯世帯	特にない (48.0%)	除雪作業 (24.8%)	災害時の支援 (13.5%)	草刈り草取り (7.5%)	生活情報の入手 (7.0%)
三世帯世帯	特にない (47.2%)	除雪作業 (21.4%)	災害時の支援 (17.2%)	草刈り草取り (6.4%)	介護・子育て相談 生活情報の入手 (6.1%)

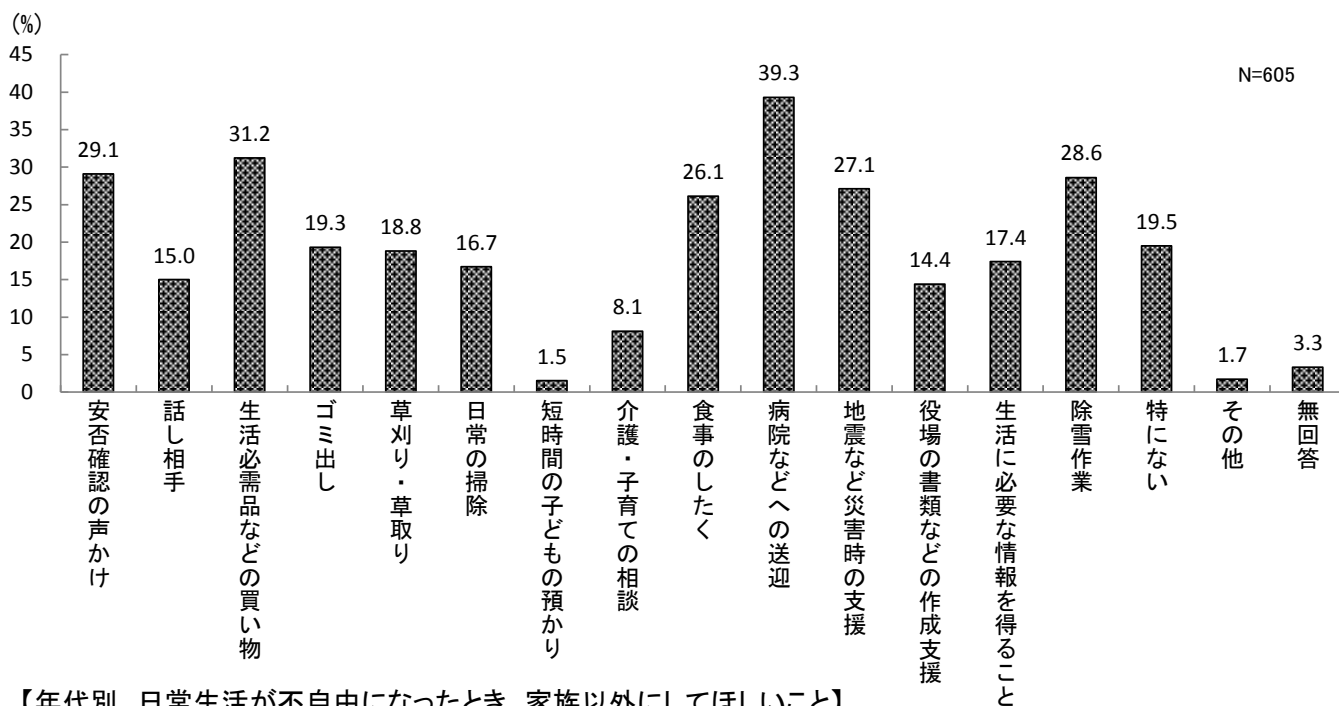
【問16で「15 特にない」と答えた方におたずねします。】

問17 将来、あなた自身が高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、家族以外の誰かに手助けしてほしいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 「病院などへの送迎」が約4割

将来、家族以外に手助けしてほしいことは、「病院などへの送迎」が39.3%と最も多くなっています。次いで「生活必需品などの買い物」が31.2%、「安否確認の声かけ」が29.1%の順になっています。

年代別でみると、全ての年代で「病院への送迎」が最も多く、今後手助けが必要となると思われる70歳代でも、約3割の人が必要であると答えています。



【年代別 日常生活が不自由になったとき、家族以外にしてほしいこと】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	病院などへの送迎 (40.5%)	安否確認 生活必需品の買い物 (37.8%)		食事のしたく (35.1%)	日常の掃除 生活情報の入手 (24.3%)
30歳代	病院などへの送迎 (38.9%)	災害時の支援 (33.3%)	安否確認 除雪作業 (31.5%)		食事のしたく (29.6%)
40歳代	病院などへの送迎 (38.6%)	生活必需品の買 い物 (36.4%)	安否確認 災害時の支援 除雪作業 (30.7%)		
50歳代	病院などへの送迎 (45.3%)	除雪作業 (36.0%)	生活必需品の買 い物 (32.6%)	災害時の支援 (31.4%)	安否確認 (30.2%)
60歳代	病院などへの送迎 (43.6%)	生活必需品の買 い物 (36.8%)	除雪作業 (33.1%)	災害時の支援 (31.3%)	安否確認 (28.8%)
70歳以上	特にない (34.5%)	病院などへの送 迎 (32.7%)	安否確認 (25.1%)	生活必需品の買 い物 (22.8%)	除雪作業 (21.6%)

地域別でみると、久瀬地区、藤橋地区、坂内地区で「除雪作業」が最も多く、山間地域での除雪作業ニーズがうかがえます。

【地域別 日常生活が不自由になったとき、家族以外にしてほしいこと】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
揖斐川地区	病院などへの送迎 (38.7%)	生活必需品の買い物 (30.8%)	安否確認 (29.6%)	食事のしたく (26.3%)	除雪作業 (25.9%)
谷汲地区	病院などへの送迎 (39.8%)	生活必需品の買い物 (34.9%)	災害時の支援 (32.5%)	除雪作業 (31.3%)	食事のしたく (26.5%)
春日地区	生活必需品の買い物 病院などへの送迎 (45.0%)		除雪作業 特にない (40.0%)		安否確認 ゴミ出し 災害時の支援 (25.0%)
久瀬地区	除雪作業 (45.8%)	病院などへの送迎 (41.7%)	安否確認 食事のしたく 災害時の支援 (37.5%)		
藤橋地区	病院などへの送迎 除雪作業 特にない (40.0%)			ゴミ出し 草刈り取り 日常の掃除 災害時の支援 生活必需品の買い物 (20.0%)	
坂内地区	除雪作業 (50.0%)	安否確認 病院などへの送迎 (43.8%)	災害時の支援 (31.3%)	生活必需品の買い物 草刈り草取り 生活情報の入手 (25.0%)	

家族構成別でみると、ひとり暮らし世帯では、安否確認ニーズが最も多くなっています。夫婦のみ世帯だけでなく、二世帯世帯、三世帯世帯において、「病院などへの送迎」が多くなっており、多世帯であっても「病院などへの送迎」といった身近な支援ニーズが必要であることが分かりました。

【家族構成別 日常生活が不自由になったとき、家族以外にしてほしいこと】

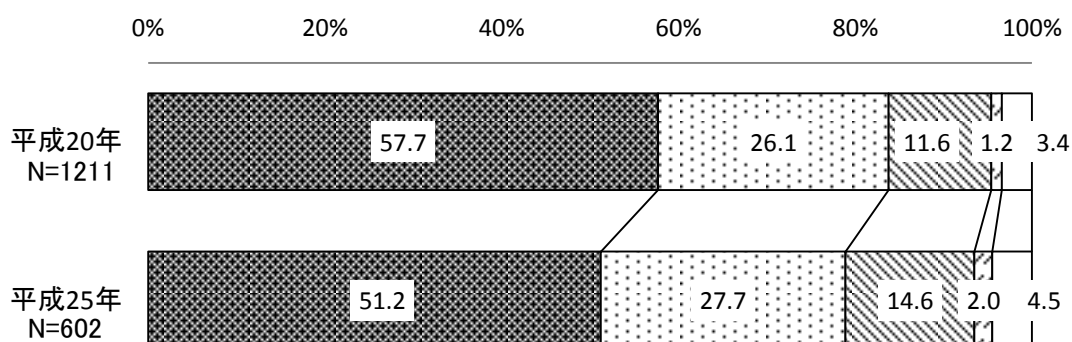
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
一人暮らし	安否確認 特にない (29.6%)		生活必需品の買い物 (25.9%)	災害時の支援 (22.2%)	病院などへの送迎 (18.5%)
夫婦のみ	病院などへの送迎 (50.0%)	生活必需品の買い物 (37.2%)	安否確認 (33.8%)	除雪作業 (31.8%)	災害時の支援 (27.0%)
二世帯世帯	病院などへの送迎 (41.9%)	生活必需品の買い物 (34.3%)	食事のしたく (31.9%)	安否確認 (30.6%)	災害時の支援 除雪作業 (29.4%)
三世帯世帯	病院などへの送迎 (28.8%)	除雪作業 (27.6%)	特にない (26.5%)	災害時の支援 (24.7%)	安否確認 生活必需品の買い物 (22.9%)

問18 地域生活について、あなたが最も重要と考えるものをお選びください。(〇は1つ)

◆ 「地域住民がお互いにすすんで協力し、住みやすくするように心がける」と回答した人が5割以上

平成25年の調査では、「地域住民がお互いにすすんで協力し、住みやすくするように心がける」が最も多く、51.2%となっています。

経年比較すると、「自分の生活上の問題や要望をできる限り行政(役場)などに求めている」が3.0%増えて14.6%、「地域住民がお互いにすすんで協力し、住みやすくするように心がける」が6.5%減って51.2%となっています。



- 地域住民がお互いにすすんで協力し、住みやすくするように心がける
- あまり人に頼らず、自分でできることは自分でやっていく
- ▨ 自分の生活上の問題や要望をできる限り行政(役場)などに求めている
- ▩ その他
- 無回答

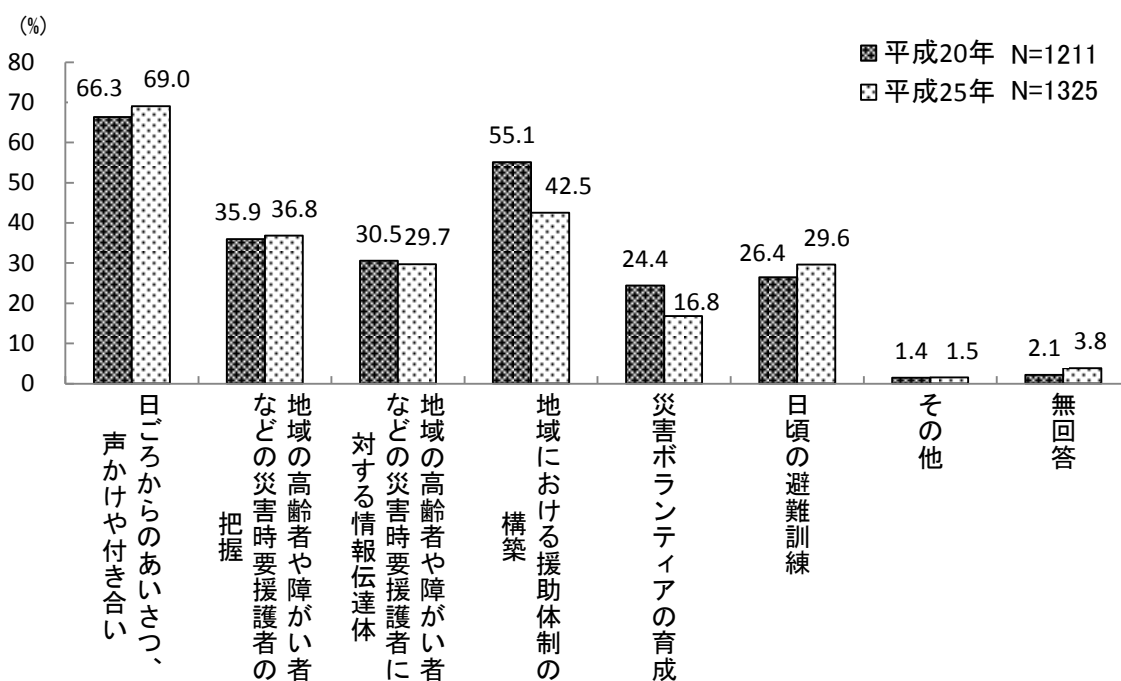
3.災害時における助け合いについて

問19 東海地震や東南海地震などが懸念される中で、災害時における助け合いは、非常に重要なことです。災害時における助け合いを行う上でどんなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

◆ 「日ごろからのあいさつ、声かけや付き合い」が6割以上

平成25年の調査では、「日ごろからのあいさつ、声かけや付き合い」が最も多く、69.0%となっています。

経年比較すると、「日ごろの避難訓練」が3.2%増えて29.6%、「地域における援助体制の構築」が12.6%減って42.5%となっています。



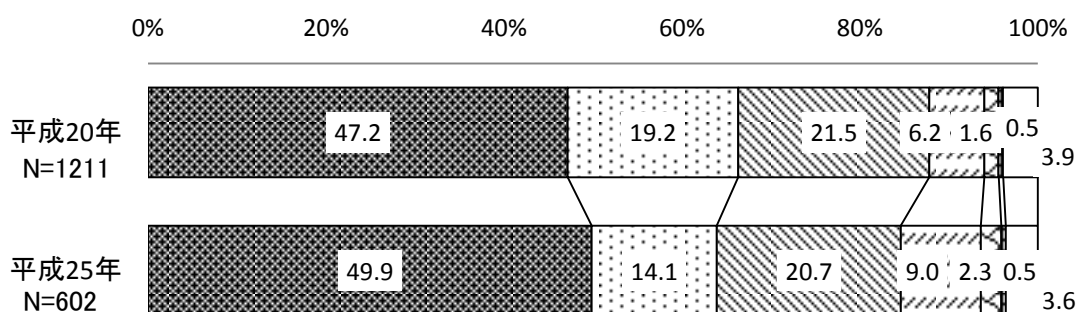
問20 地震などの自然災害が間近に起きることが予想されたときは、あなたは何を優先しますか。(〇は1つ)

◆ 「家族で話し合いをし、自力による対策を練る」約半数

平成25年の調査では、「家族で話し合いをし、自力による対策を練る」が最も多く、49.9%となっています。

経年比較すると、「自主防災組織（区長など）の指示を待つ」が2.8%増えて9.0%、「隣近所で話し合いをし、助け合いのルールを作る」が5.1%減って14.1%となっています。いずれの年も「家族で話し合いをし、自力による対策を練る」が最も多く、約5割となっています。

一方で、「特に何もしない」と答えた人は2.3%となっています。



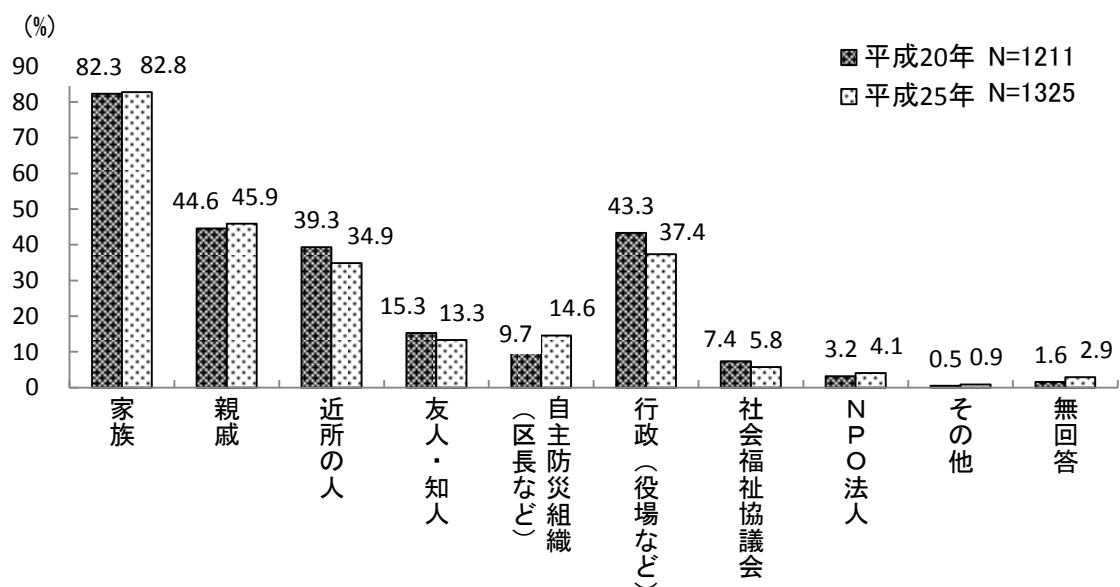
- 家族で話し合いをし、自力による対策を練る
- 隣近所で話し合いをし、助け合いのルールを作る
- ▨ 町の広報無線の指示を待つ
- ▨ 自主防災組織(区長など)の指示を待つ
- 特に何もしない
- その他
- 無回答

問21 被災後の生活において、あなたは誰を頼りにしますか。(〇は3つまで)

◆ 被災後は「家族」を頼りにする、8割以上

平成25年の調査では、「家族」が最も多く、82.8%となっています。

経年比較すると、「自主防災組織(区長など)」が4.9%増えて14.6%、「行政(役場など)」が5.9%減って37.4%となっています。いずれの年も「家族」が最も多く、8割以上となっています。



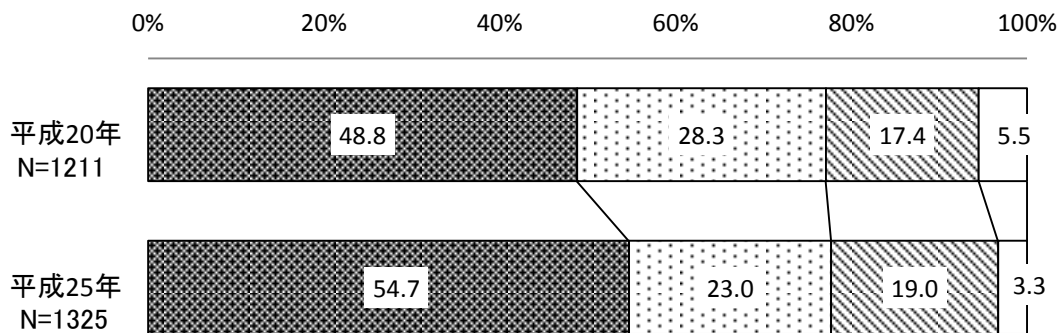
4.地域活動やボランティア活動について

問22 あなたは、自治会や子ども会などの地域活動に参加していますか。(〇は1つ)

◆ 「参加している」が54.7%

平成25年の調査では、「参加している」が最も多く、54.7%となっています。

経年比較すると、「参加している」が5.9%増えて54.7%、「以前に参加している」が5.3%減って23.0%となっています。いずれの年も「参加している」が最も多く、平成20年では5割弱、平成25年では5割強となっています。



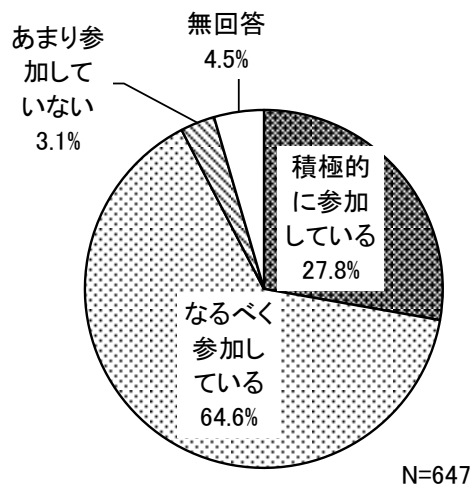
- 参加している
- ▨ 以前に参加したことがある
- ▩ 参加したことはない
- 無回答

【22で「1 参加している」と答えた方におたずねします。】

問22-1 どの程度参加していますか。(〇は1つ)

◆ 「なるべく参加している」が64.6%

参加の頻度は、「なるべく参加している」が最も多く64.6%、次いで「積極的に参加している」が27.8%、「あまり参加していない」が3.1%の順となっています。

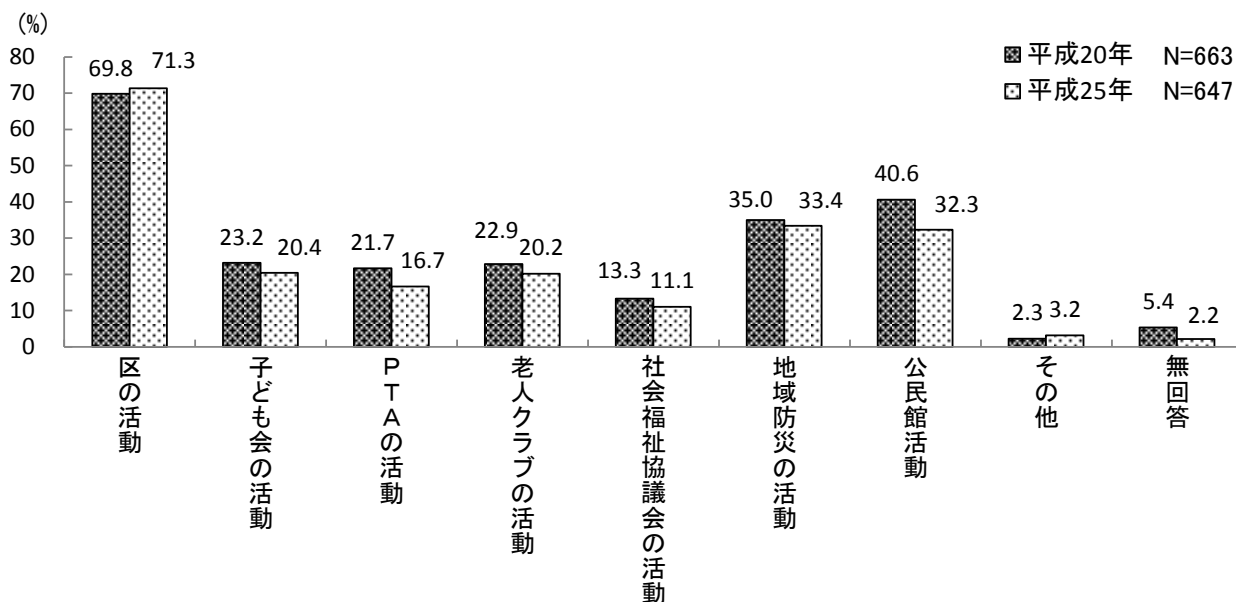


問22-2 どんなものに参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 「区」の活動が約7割

平成25年の調査では、「区」の活動が最も多く、71.3%となっています。

経年比較すると、「区」の活動が1.5%増えて71.3%、「PTA」の活動が5.0%減って16.7%となっています。いずれの年も「区」の活動が最も多く、約7割となっています。

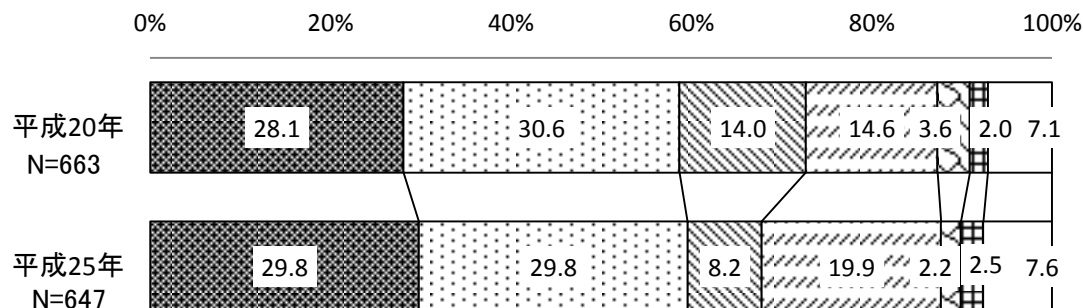


問22-3 どのような目的で参加していますか。(○は1つ)

◆ 「地域をより良いものにしたい」「隣近所とのふれあいを求めて」が29.8%

平成25年の調査では、「地域をより良いものにしたい」と「隣近所とのふれあいを求めて」が最も多く、いずれも29.8%となっています。

経年比較すると、「近所付き合いなどで仕方なく」が5.3%増えて19.9%、「自分自身の向上のため」が5.8%減って8.2%となっています。



- 地域をより良いものにしたい
- ▨ 自分自身の向上のため
- ▩ ただなんとなく
- 無回答
- ▧ 隣近所とのふれあいを求めて
- ▨ 近所付き合いなどで仕方なく
- ▩ その他

問23 ボランティア活動をしていますか。(〇は1つ)

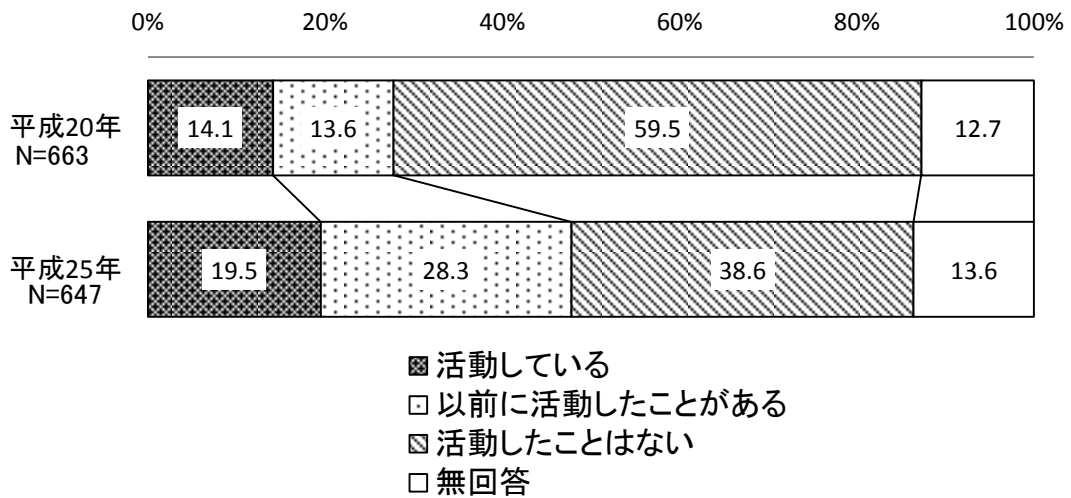
◆ ボランティア活動の経験を約半数がしている

平成25年の調査では、「活動したことはない」が最も多く、38.6%となっています。

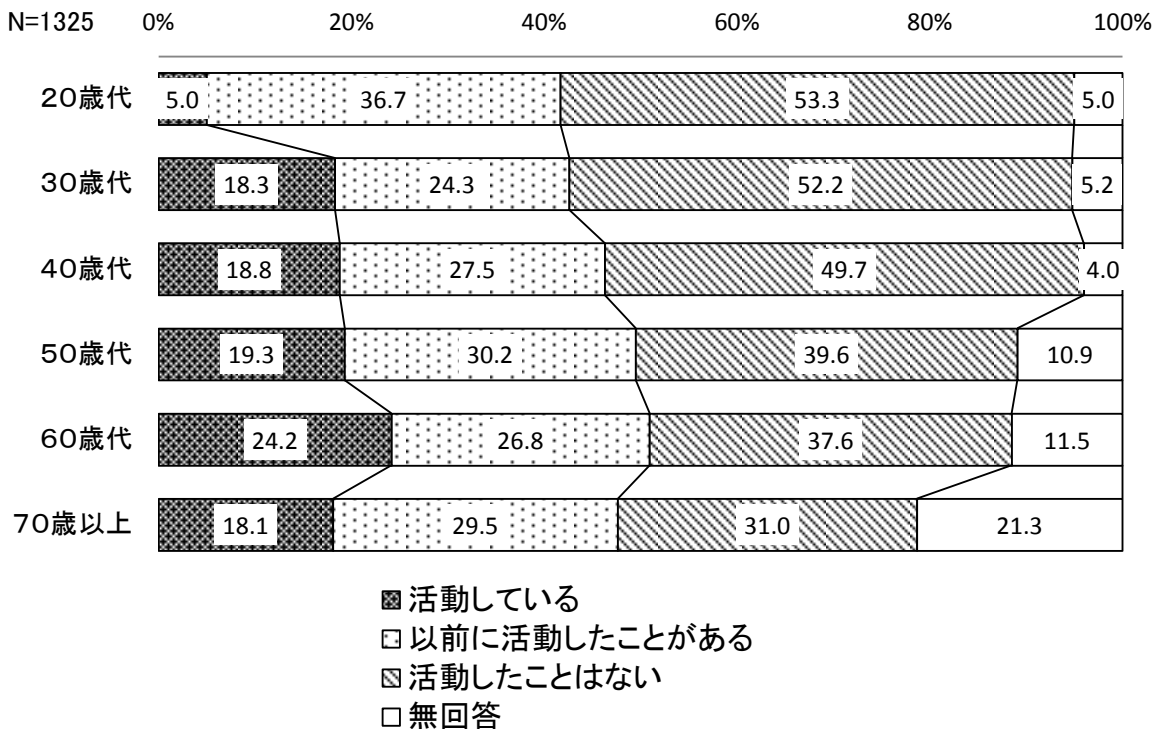
経年比較すると、「以前に活動したことがある」が14.7%増えて28.3%、「活動したことはない」が20.9%減って38.6%となっています。

「活動している」と「以前に活動したことがある」を合わせた、「ボランティア活動の経験がある」人は、平成20年では27.7%、平成25年では47.8%と、20.1%の増加となっています。

20歳代を除き、各年代で約2割の人が活動していることが分かります。



【年代別】



【問23で「1活動している」「2以前に活動したことがある」と答えた方におたずねします。】

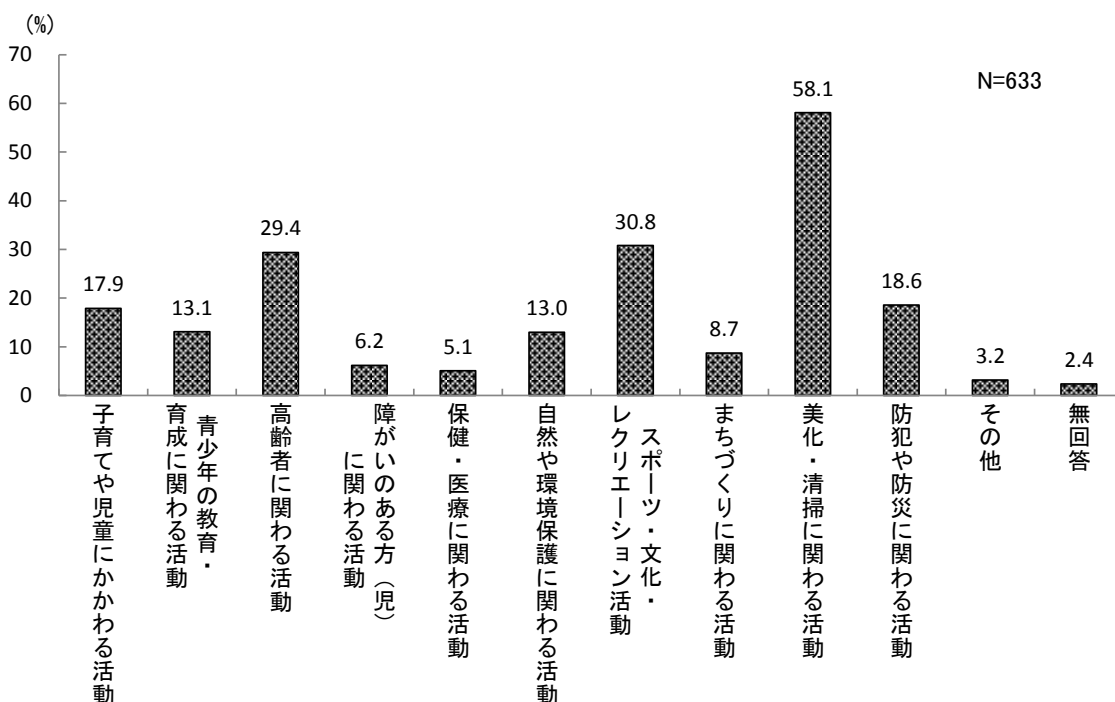
問23-1 どのようなボランティア活動をしていますか。またはしていましたか。

(あてはまるものすべてに○)

◆ 「美化・清掃に関わる活動」が6割弱

経験したことがあるボランティア活動は、「美化・清掃に関わる活動」が58.1%と最も多くなっています。次いで「スポーツ・文化・レクリエーション活動」が30.8%、「高齢者に関わる活動」が29.4%の順になっています。

年代別でみると、各年代で「美化・清掃に関わる活動」が最も多くなっています。「高齢者に関わる活動」は70歳以上で44.7%と多くみられます。



【年代別】

		問23-1 どのようなボランティア活動をしていますか。またはしていましたか												
		全体	か子育てや児童にか	成青少年の教育・育	動高齢者に関わる活	動(児)に関わる活	障がいのある方に関わる活	る保健・医療に関わ	る自然や環境保護に関	活動スポーツ・文化・レクリエーション・	るまちづくりに関わ	る美化・清掃に関わ	る防犯や防災に関わ	その他
問1 年齢	全体	633	113	83	186	39	32	82	195	55	368	118	20	15
		100.0	17.9	13.1	29.4	6.2	5.1	13.0	30.8	8.7	58.1	18.6	3.2	2.4
	20歳代	25	4	2	4	2	-	1	9	-	19	1	1	-
		100.0	16.0	8.0	16.0	8.0	-	4.0	36.0	-	76.0	4.0	4.0	-
	30歳代	49	11	6	3	5	1	4	12	5	20	16	3	-
		100.0	22.4	12.2	6.1	10.2	2.0	8.2	24.5	10.2	40.8	32.7	6.1	-
	40歳代	69	20	3	5	4	2	3	23	2	41	15	-	-
		100.0	29.0	4.3	7.2	5.8	2.9	4.3	33.3	2.9	59.4	21.7	-	-
50歳代	95	20	18	13	4	5	10	42	6	54	23	3	-	
	100.0	21.1	18.9	13.7	4.2	5.3	10.5	44.2	6.3	56.8	24.2	3.2	-	
60歳代	160	29	24	56	12	8	23	45	13	88	26	2	4	
	100.0	18.1	15.0	35.0	7.5	5.0	14.4	28.1	8.1	55.0	16.3	1.3	2.5	
70歳以上	226	27	28	101	11	13	39	59	25	141	35	11	10	
	100.0	11.9	12.4	44.7	4.9	5.8	17.3	26.1	11.1	62.4	15.5	4.9	4.4	

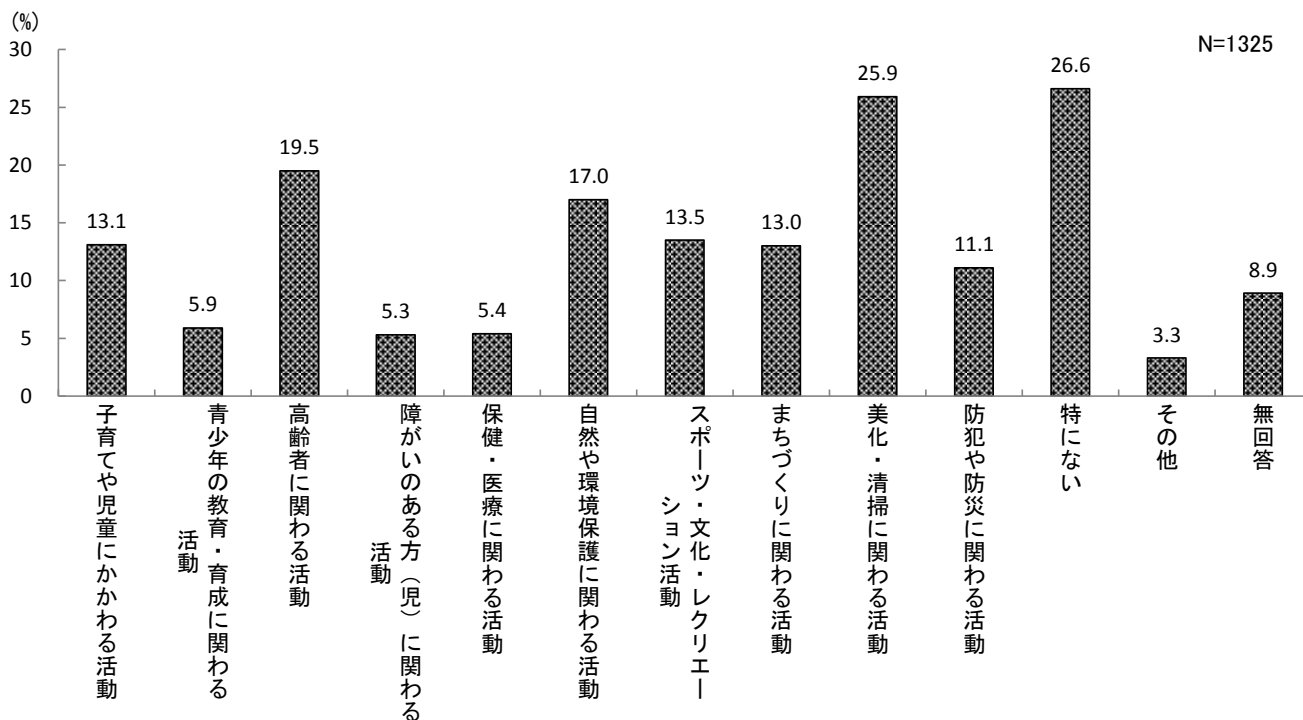
問24 あなたは今後どのようなボランティア活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 「美化・清掃に関わる活動」が25.9%

今後参加したいボランティア活動は、「美化・清掃に関わる活動」が25.9%、次いで、「高齢者に関わる活動」が19.5%、「自然や環境保護に関わる活動」が17.0%の順になっています。

一方で、「特にない」と答えた人は26.6%と多くなっています。

年代別でみると、20歳代、60歳代、70歳代で「美化・清掃に関わる活動」、30歳代、40歳代で「子育てや児童にかかわる活動」、50歳代で「自然や環境保護に関わる活動」がそれぞれ最も多くなっています。



【年代別】

		問24 あなたは今後どのようなボランティア活動に参加したいですか													
		全体	子育てや児童にかかわる活動	青少年の教育・育成に関わる活動	高齢者に関わる活動	障がいのある方(児)に関わる活動	保健・医療に関わる活動	自然や環境保護に関わる活動	スポーツ・文化・レクリエーション活動	まちづくりに関わる活動	美化・清掃に関わる活動	防犯や防災に関わる活動	特にない	その他	無回答
問1 年齢	全体	1325	174	78	259	70	72	225	179	172	343	147	352	39	118
		100.0	13.1	5.9	19.5	5.3	5.4	17.0	13.5	13.0	25.9	11.1	26.6	2.9	8.9
	20歳代	60	12	6	8	4	4	3	5	6	14	6	22	1	3
		100.0	20.0	10.0	13.3	6.7	6.7	5.0	8.3	10.0	23.3	10.0	36.7	1.7	5.0
	30歳代	115	35	11	7	7	6	15	19	19	21	11	40	-	-
		100.0	30.4	9.6	6.1	6.1	5.2	13.0	16.5	16.5	18.3	9.6	34.8	-	-
	40歳代	149	42	9	9	11	10	26	27	16	32	21	44	1	4
		100.0	28.2	6.0	6.0	7.4	6.7	17.4	18.1	10.7	21.5	14.1	29.5	0.7	2.7
50歳代	192	33	12	28	11	7	40	28	39	38	23	61	2	6	
	100.0	17.2	6.3	14.6	5.7	3.6	20.8	14.6	20.3	19.8	12.0	31.8	1.0	3.1	
60歳代	314	31	21	75	21	16	70	49	45	104	47	68	6	16	
	100.0	9.9	6.7	23.9	6.7	5.1	22.3	15.6	14.3	33.1	15.0	21.7	1.9	5.1	
70歳以上	474	17	15	124	15	26	69	46	46	126	36	116	27	87	
	100.0	3.6	3.2	26.2	3.2	5.5	14.6	9.7	9.7	26.6	7.6	24.5	5.7	18.4	

問25 今後行ってみたい地域の活動（地域の助け合い）は何ですか。

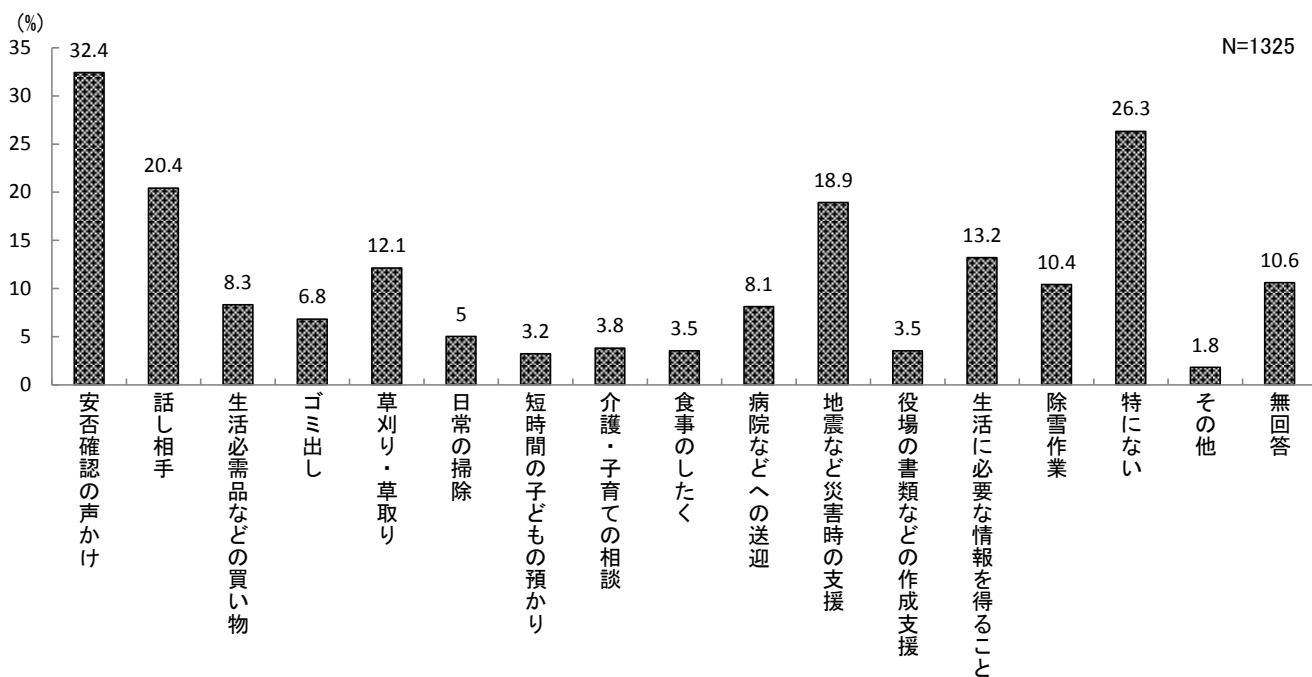
（あてはまるものすべてに○）

◆ 「安否確認の声かけ」が32.4%

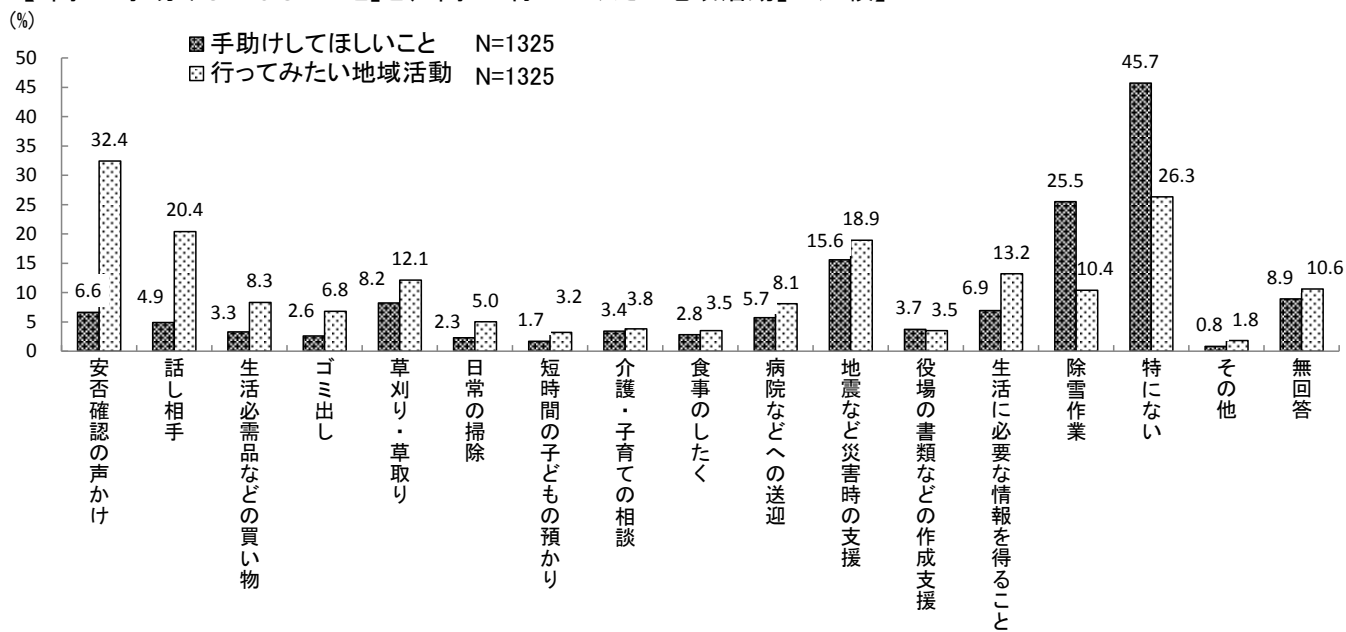
今後行ってみたい地域の活動は、「安否確認の声かけ」が32.4%と最も多くなっています。次いで「話し相手」が20.4%、「地震など災害時の支援」が19.5%の順になっています。

一方で、「特にない」と答えた人は26.3%と多くなっています。

現在手助けしてほしいことと、行ってみたい地域活動を比較したところ、「安否確認の声かけ」、「話し相手」、「生活に必要な情報を得ること」、「生活必需品などの買い物」等の支援は、住民の地域活動で十分対応可能な課題であると考えられます。一方、除雪作業は、ニーズが大きく地域活動の手助け程度では対応しきれない課題であると考えられます。



【「問16 手助けしてほしいこと」と「問25 行ってみたい地域活動」の比較】

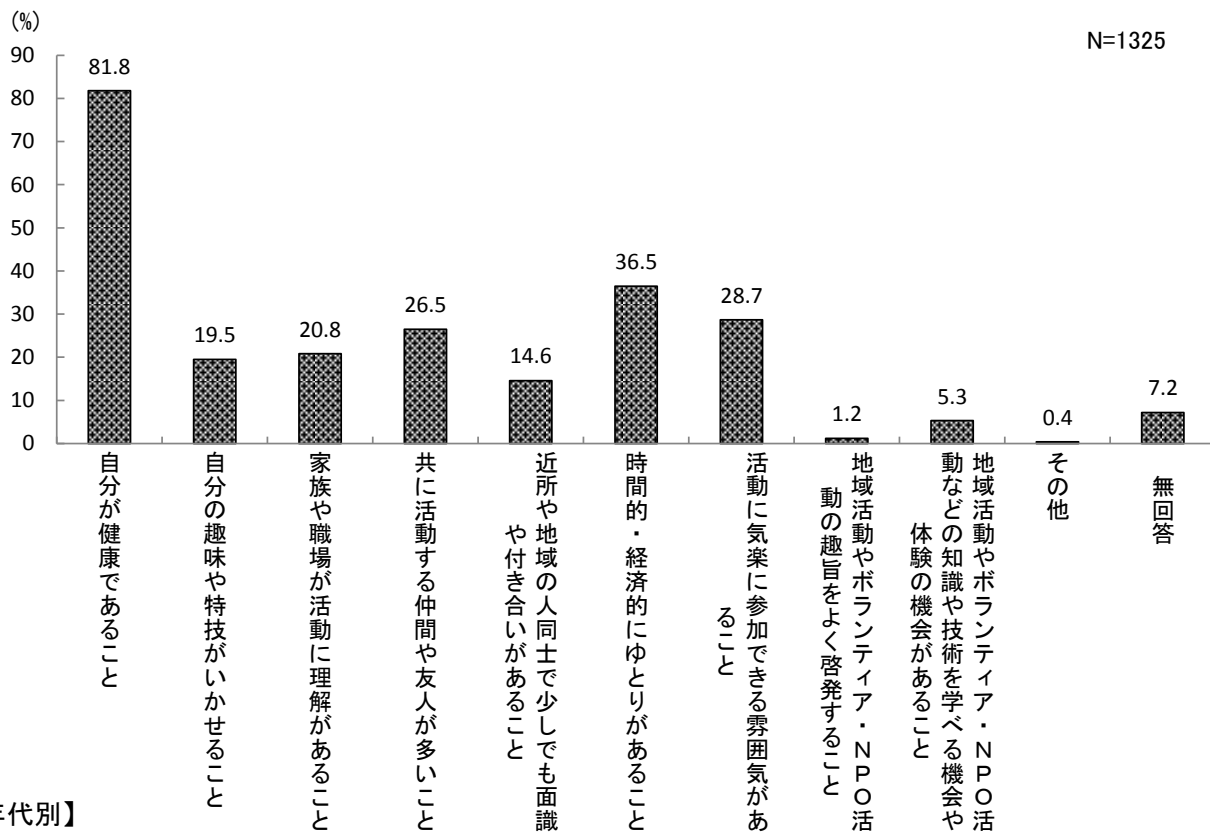


問26 地域の中でボランティア活動を進めていく上で、必要な条件はどのようなことだとお考えですか（〇は3つまで）

◆ 「自分が健康であること」が8割以上

ボランティア活動の必要条件は、「自分が健康であること」が81.8%と最も多くなっています。次いで「時間的・経済的にゆとりがあること」が36.5%、「活動に気楽に参加できる雰囲気があること」が28.7%の順になっています。

年代別でみると、30歳代、40歳代で「家族や職場が活動に理解があること」が多くなっており、ボランティアを取り巻く環境づくりも重要であることがうかがえます。



【年代別】

		問26 地域の中でボランティア活動を進めていく上で、必要な条件はどのようなことだとお考えですか												
		全体	自分が健康であること	自分の趣味や特技がいかせること	家族や職場が活動に理解があること	共に活動する仲間や友人が多いこと	近所や地域の人同士で少しでも面識や付き合いがあること	時間的・経済的にゆとりがあること	活動に気楽に参加できる雰囲気があること	地域活動やボランティア・NPO活動の趣旨をよく啓発すること	地域活動やボランティア・NPO活動などの知識や技術を学べる機会や体験の機会があること	その他	無回答	
問1 年齢	全体	1325	1084	258	275	351	193	483	380	16	70	5	96	
		100.0	81.8	19.5	20.8	26.5	14.6	36.5	28.7	1.2	5.3	0.4	7.2	
	20歳代	60	37	12	9	17	10	27	18	-	4	-	3	
		100.0	61.7	20.0	15.0	28.3	16.7	45.0	30.0	-	6.7	-	5.0	
	30歳代	115	88	20	38	28	14	56	33	1	7	1	1	
		100.0	76.5	17.4	33.0	24.3	12.2	48.7	28.7	0.9	6.1	0.9	0.9	
	40歳代	149	110	20	48	39	22	74	38	4	8	-	5	
		100.0	73.8	13.4	32.2	26.2	14.8	49.7	25.5	2.7	5.4	-	3.4	
50歳代	192	163	32	50	50	20	102	54	3	9	-	4		
	100.0	84.9	16.7	26.0	26.0	10.4	53.1	28.1	1.6	4.7	-	2.1		
60歳代	314	278	75	54	93	44	121	112	2	27	1	11		
	100.0	88.5	23.9	17.2	29.6	14.0	38.5	35.7	0.6	8.6	0.3	3.5		
70歳以上	474	390	95	71	116	79	96	118	6	15	3	70		
	100.0	82.3	20.0	15.0	24.5	16.7	20.3	24.9	1.3	3.2	0.6	14.8		

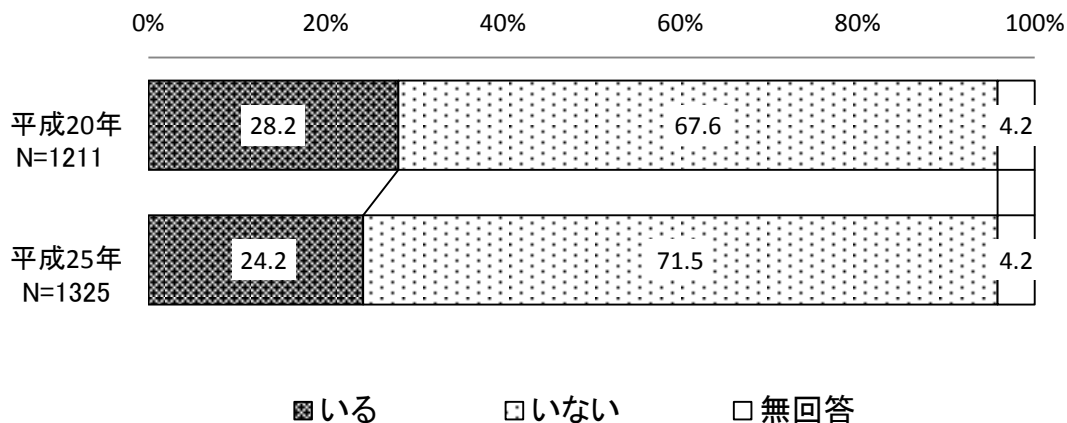
5.揖斐川町の福祉について

問 27 世帯で、あなた自身を含め、福祉サービスを受けている人はいますか。(〇は1つ)

◆ 「いる」平成20年は28.2%、平成25年は24.2%

平成25年の調査では、「いる」が24.2%、「いない」が71.5%となっています。

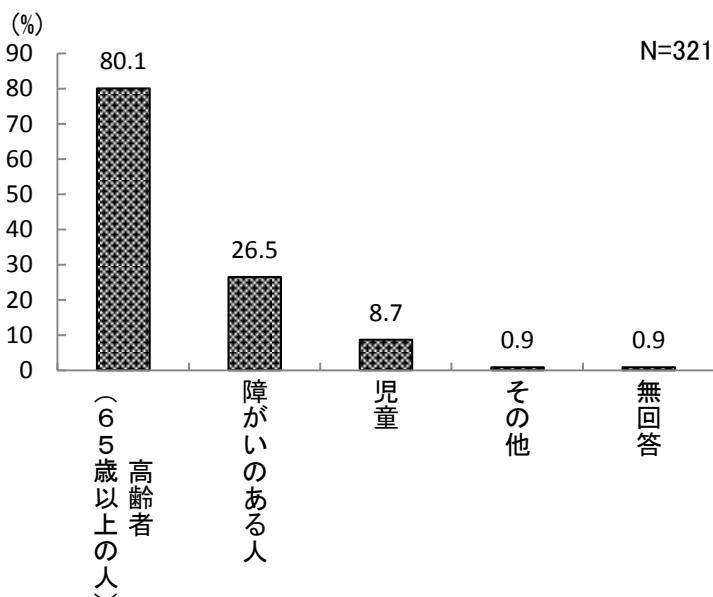
経年比較すると、「いる」と回答した人は平成20年では28.2%、平成25年では24.2%と、4.0%の減少となっています。



問 27-1 「1 いる」を選んだ人は、以下からあてはまるものすべてに〇をしてください。

◆ 平成25年、「高齢者(65歳以上)」が80.1%

福祉サービスを受けている人であてはまる人は、「高齢者(65歳以上)」が80.1%と最も多くなっています。次いで「障がいのある人」が26.5%、「児童」が8.7%の順になっています。

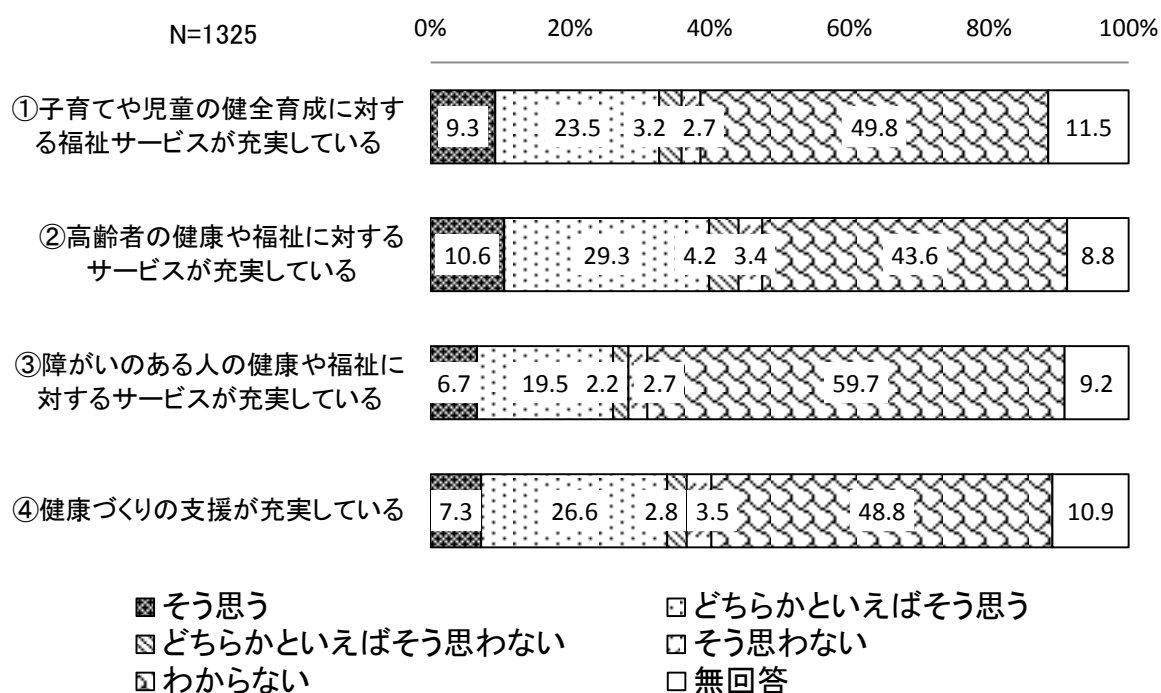


問 28 以下の福祉・健康づくりなどのサービスについておたずねします。(それぞれ 1 つに〇)

◆ “②高齢者の健康や福祉に対するサービスが充実している” 「**そう思う**※」が「**そう思わない**」 32.3%上回る

すべての項目で、「わからない」が4割以上と多くなっています。

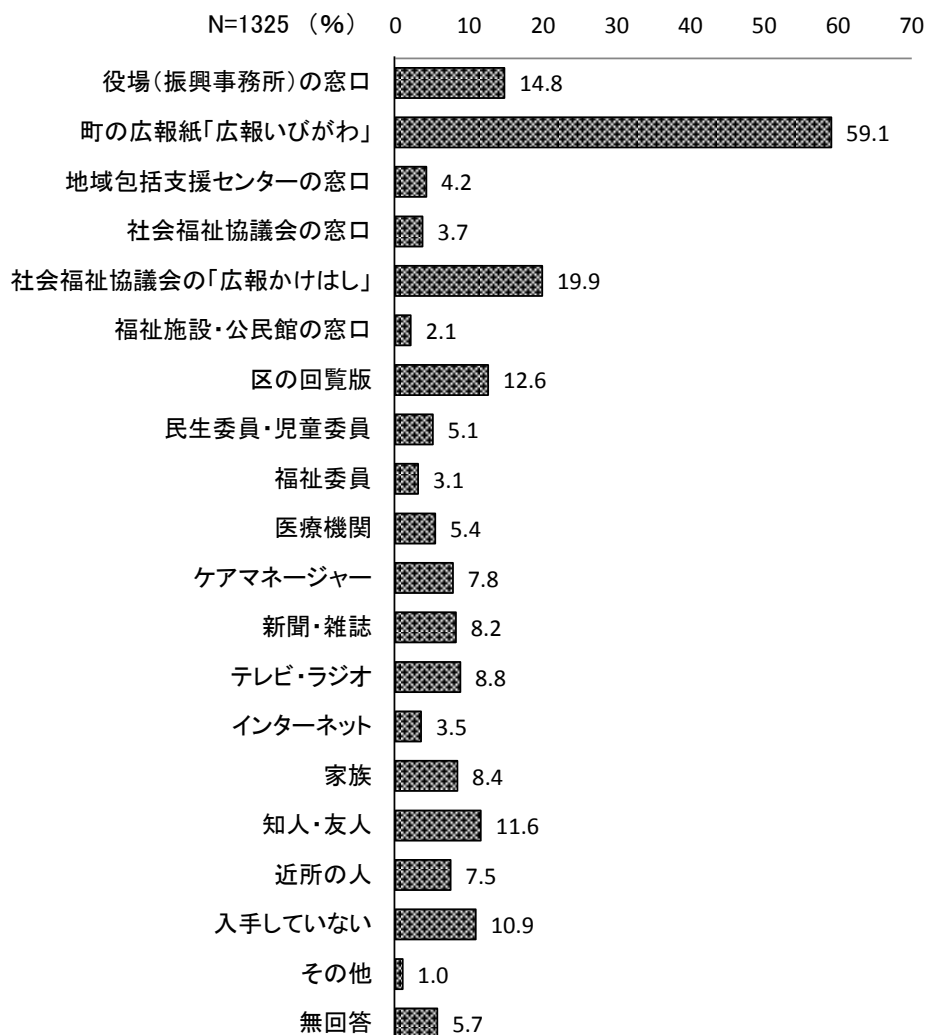
一方で、「充実していると感じている」（「**そう思う**」+「**どちらかといえばそう思う**」）人は、「①子育てや児童の健全育成に対する福祉サービスが充実している」は32.8%、「②高齢者の健康や福祉に対するサービスが充実している」は39.9%、「③障がいのある人の健康や福祉に対するサービスが充実している」は26.2%、「④健康づくりの支援が充実している」は33.9%となっており、「充実していると感じていない」（「**そう思わない**」と「**どちらかといえばそう思わない**」）人はいずれも1割前後となっております。



問29 あなたは福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(〇は3つまで)

◆ 町の広報紙『広報いびがわ』59.1%

福祉サービスの情報入手は、「町の広報紙『広報いびがわ』」が59.1%と最も多くなっています。次いで「社会福祉協議会の『広報かけはし』」が19.9%、「役場（振興事務所）の窓口」が14.8%の順になっています。



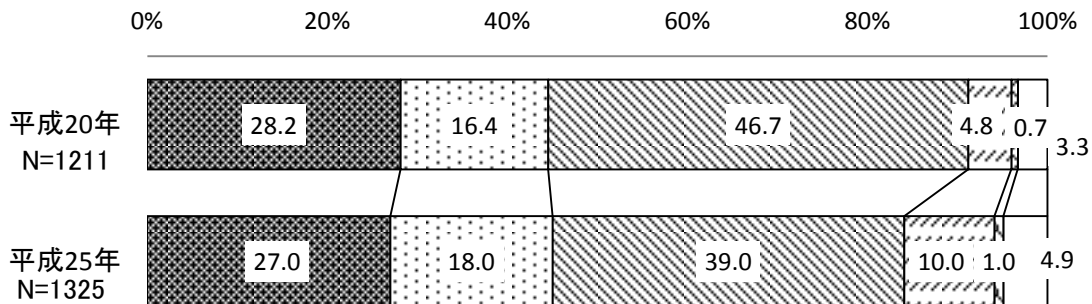
問30 福祉に関して、あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は1つ)

◆ 「福祉は、地域住民による助け合いと行政との協力によって行った方がよいと思う」が4割弱

平成25年の調査では、「福祉は、地域住民による助け合いと行政との協力によって行った方がよいと思う」が最も多く、39.0%となっています。

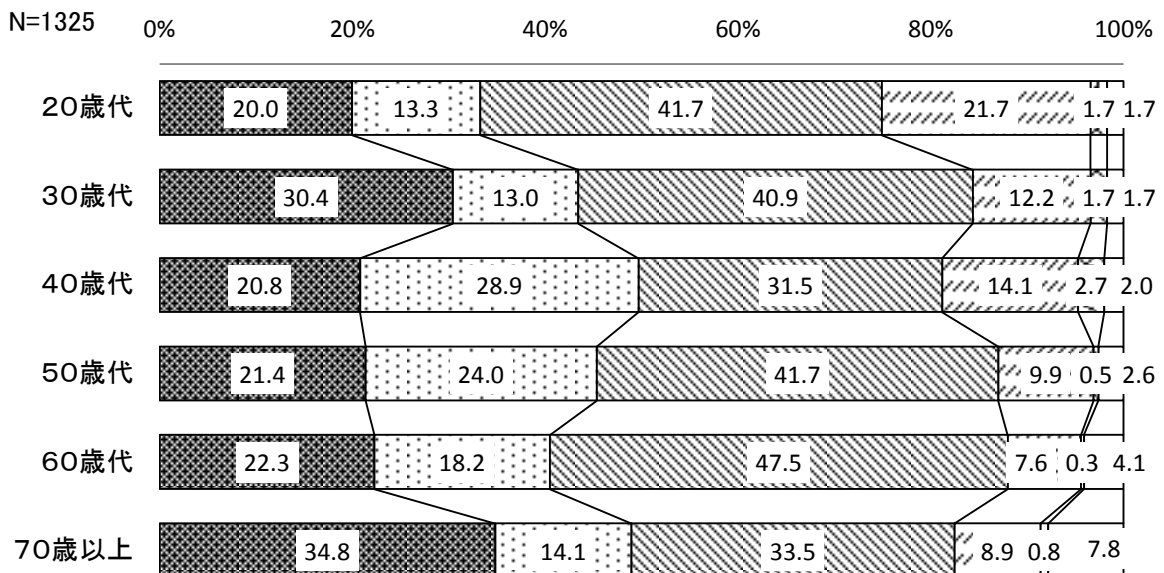
経年比較すると、「福祉は、行政機関(国や町)が責任をもって行った方がよいと思う」が1.6%増えて18.0%、「福祉は、地域住民による助け合いと行政との協力によって行った方がよいと思う」が7.7%減って39.0%となっています。

年代別でみると、70歳以上で「自分や家族ができるかぎり努力した方がよいと思う」が3割を超え、多くなっています。



- 自分や家族ができるかぎり努力した方がよいと思う
- 福祉は、行政機関(国や町)が責任をもって行った方がよいと思う
- ▨ 福祉は、地域住民による助け合いと行政との協力によって行った方がよいと思う
- ▤ わからない
- ▥ その他
- 無回答

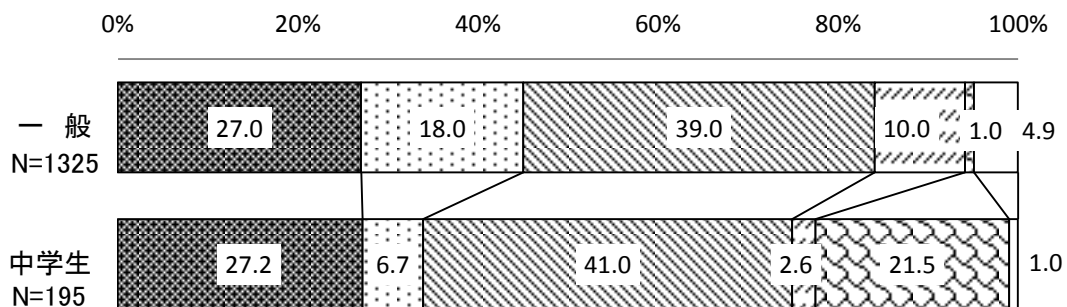
【年代別】



- 自分や家族ができるかぎり努力した方がよいと思う
- 福祉は、行政機関(国や町)が責任をもって行った方がよいと思う
- ▨ 福祉は、地域住民による助け合いと行政との協力によって行った方がよいと思う
- ▤ わからない
- ▥ その他
- 無回答

【一般と中学生の比較】

一般と中学生を比較すると、「福祉は、行政機関（国や町）が責任をもって行った方がよいと思う」が、一般は中学生より1割ほど多くなっています。



- 自分や家族ができるかぎり努力した方がよいと思う
- 福祉は、行政機関(国や町)が責任をもって行った方がよいと思う
- ▣ 福祉は、地域住民による助け合いと行政との協力によって行った方がよいと思う
- ▤ わからない
- その他
- 無回答

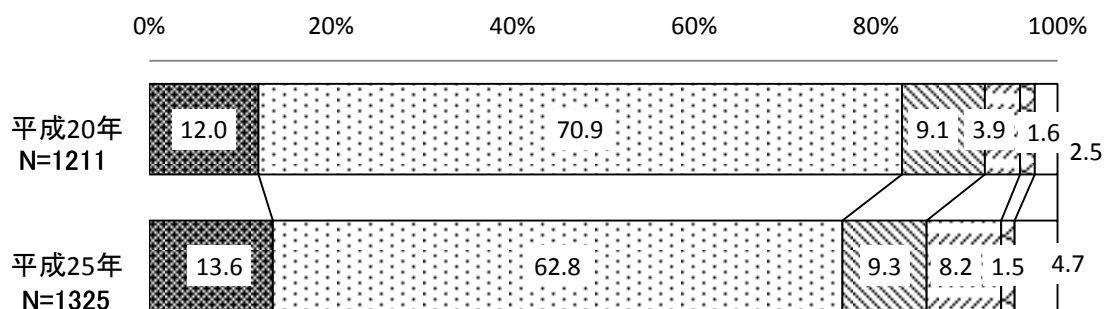
問31 福祉サービスを充実させることと、その財源となる税金などの負担に関して、あなたのお考えに近いものを選んでください。(〇は1つ)

◆ 「福祉サービスを充実させるべきだと思うが、負担が重くなるのは好ましくない」が62.8%

平成25年の調査では、「福祉サービスを充実させるべきだと思うが、負担が重くなるのは好ましくない」が最も多く、62.8%となっています。

経年比較すると、「福祉サービスを充実させるために負担が重くなっても、やむを得ないと思う」が1.6%増えて13.6%、「福祉サービスを充実させるべきだと思うが、負担が重くなるのは好ましくない」が8.1%減って62.8%となっています。

一方で、「わからない」も4.3%増えて8.2%となっています。



- 福祉サービスを充実させるために負担が重くなっても、やむを得ないと思う
- ▣ 福祉サービスを充実させるべきだと思うが、負担が重くなるのは好ましくない
- ▤ 福祉サービスを充実させることよりも、負担を軽くすべきだと思う
- わからない
- その他
- 無回答

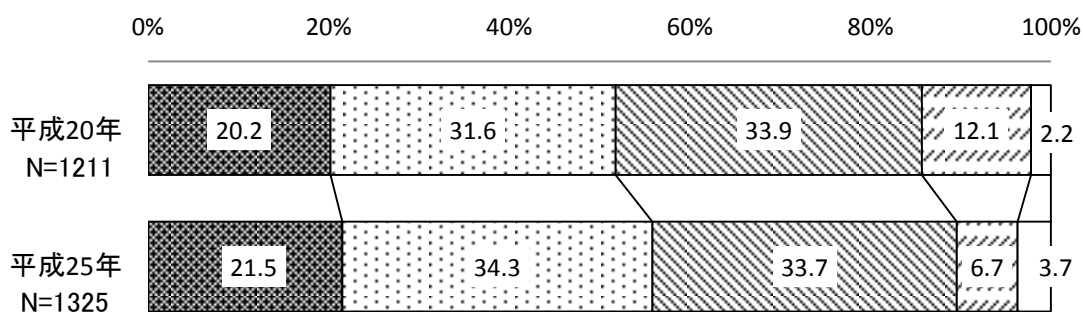
問32 民生委員・児童委員の制度をご存知ですか。(〇は1つ)

◆ 「名称も知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている」が34.3%

平成25年の調査では、「名称も知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている」が最も多く、34.3%となっています。

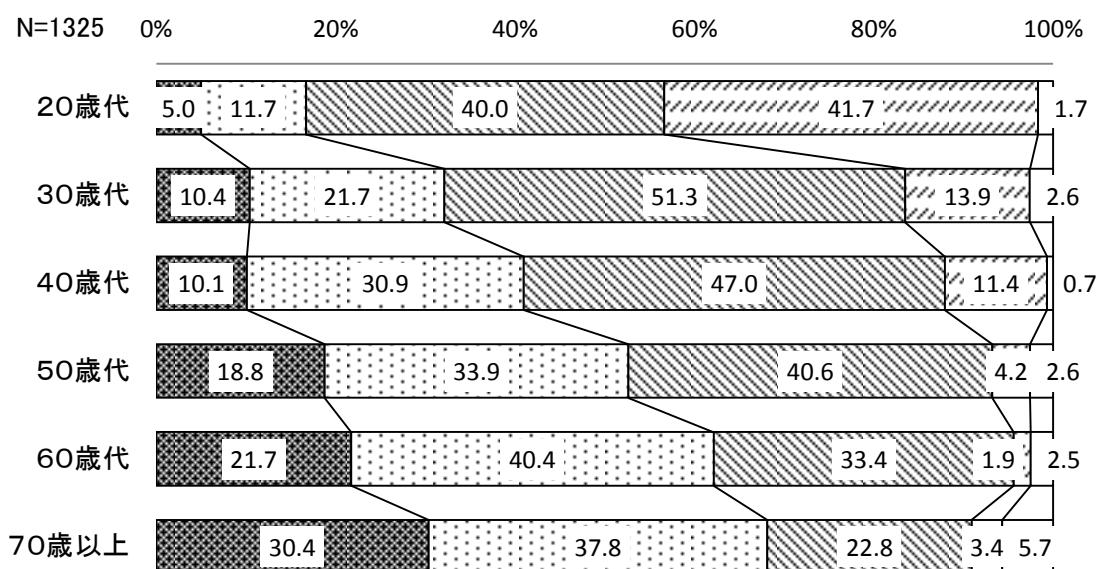
経年比較すると、「名称も知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている」が2.7%増えて34.3%、「名称もどんな活動をしているのかも知らない」が5.4%減って6.7%となっています。

年代別でみると、民生委員の認知度は、年代が上がるにつれて多くなっています。



- 名称を知っているし、どんな活動をしているかも大体知っている
- ▨ 名称も知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている
- ▧ 名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない
- ▩ 名称もどんな活動をしているのかも知らない
- 無回答

【年代別】



- 名称を知っているし、どんな活動をしているかも大体知っている
- ▨ 名称も知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている
- ▧ 名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない
- ▩ 名称もどんな活動をしているのかも知らない
- 無回答

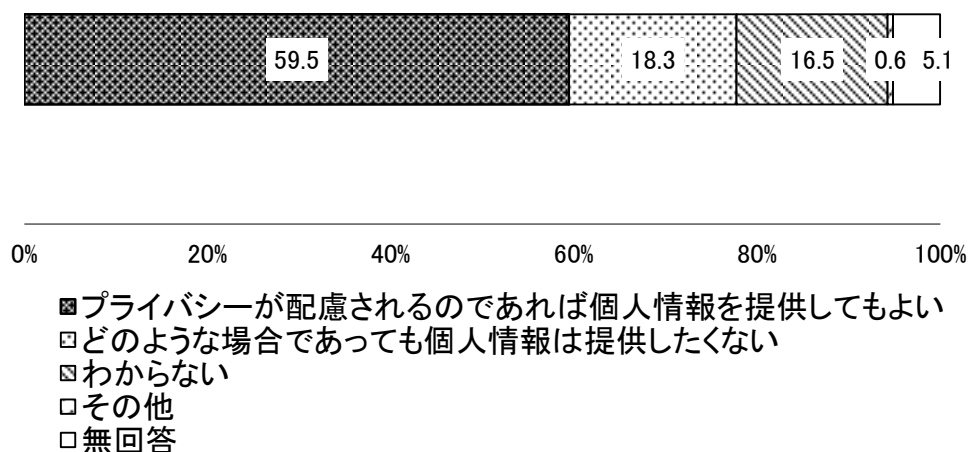
問33 日々の安否確認など地域の支え合いを進める上で必要となる個人情報の取扱いに関して、あなたのお考えに近いものを選んでください。(〇は1つ)

◆ 「プライバシーが配慮されるのであれば個人情報を提供してもよい」約6割

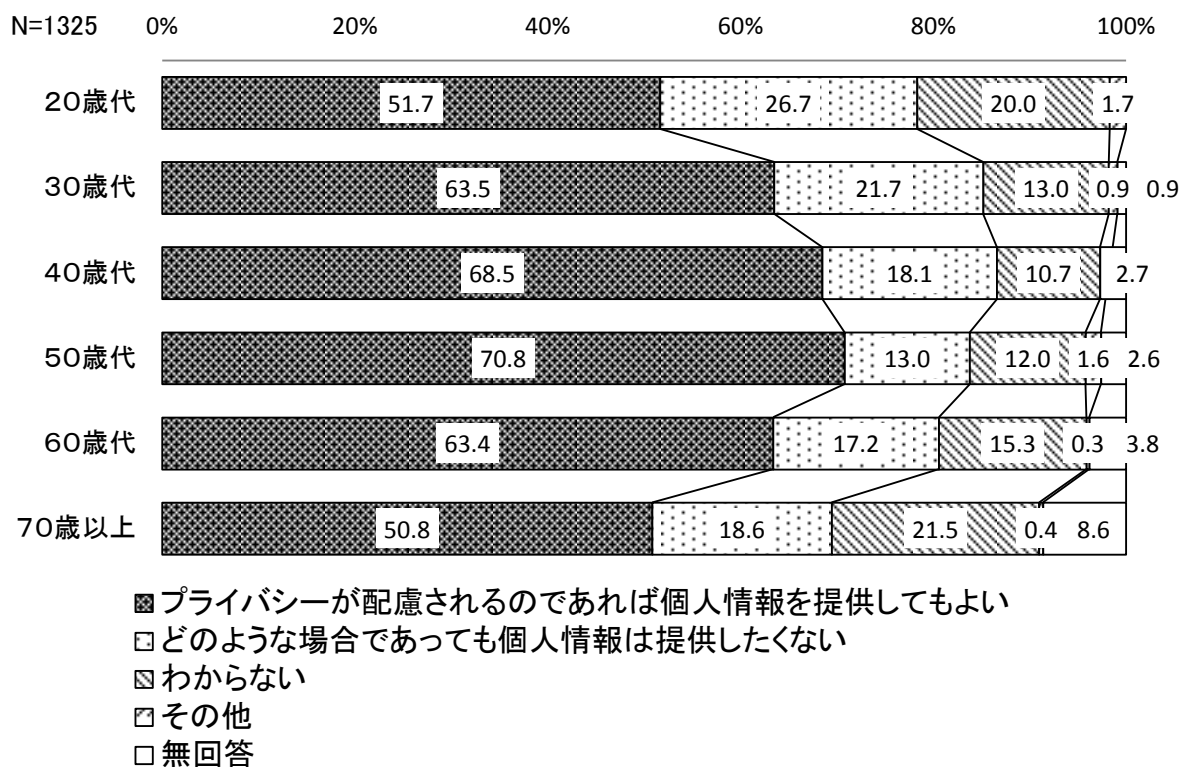
個人情報の取扱いは、「プライバシーが配慮されるのであれば個人情報を提供してもよい」が59.5%と最も多くなっています。次いで「どのような場合であっても個人情報は提供したくない」が18.3%、「わからない」が16.5%の順になっています。

各年代で半数以上は、個人情報の提供を容認しています。

N=1325



【年代別】



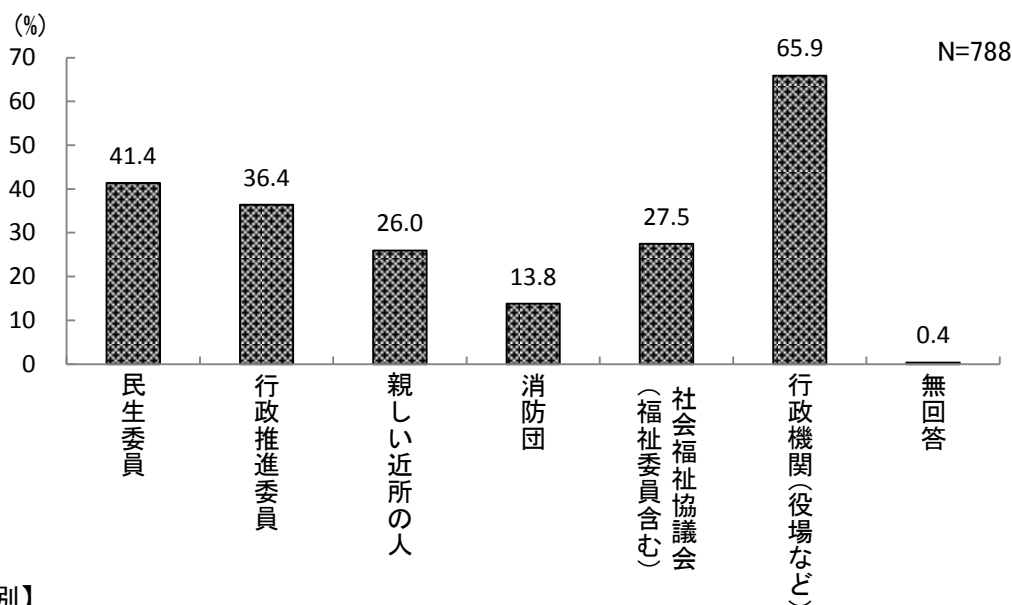
【問33で「1 プライバシーが配慮されるのであれば個人情報を提供してもよい」と答えた方におたずねします。】

問33-1 個人情報を共有する場合、提供してもよい人・団体・機関を以下から選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

◆ 個人情報の共有、行政機関（役場など）65.9%

個人情報を提供してもよいところは、「行政機関（役場など）」が65.9%と最も多くなっています。次いで「民生委員」が41.4%、「行政推進委員」が36.4%の順になっています。

地域別でみると、各地域での公の団体・機関でなくても「親しい近所の人」についても2割から4割の人が提供してもよいと答えています。この結果は回答した人々の地域とのかかわりの強さを示しているとうかがわれます。



【地域別】

		問33-1 個人情報を共有する場合、提供してもよい人・団体・機関を以下から選んでください								
		全体	民生委員	行政推進委員	親しい近所の人	消防団	社会福祉協議会（福祉委員含む）	行政機関（役場など）	無回答	
問3 居住地区	全体	788	326	287	205	109	217	519	3	
		100.0	41.4	36.4	26.0	13.8	27.5	65.9	0.4	
	揖斐川地区	568	229	201	141	71	141	386	2	
		100.0	40.3	35.4	24.8	12.5	24.8	68.0	0.4	
	谷汲地区	109	44	38	28	21	37	73	1	
		100.0	40.4	34.9	25.7	19.3	33.9	67.0	0.9	
	春日地区	39	21	19	10	5	16	19	-	
		100.0	53.8	48.7	25.6	12.8	41.0	48.7	-	
	久瀬地区	42	19	21	17	9	14	25	-	
		100.0	45.2	50.0	40.5	21.4	33.3	59.5	-	
	藤橋地区	6	4	2	2	-	2	2	-	
		100.0	66.7	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	
	坂内地区	18	7	6	6	2	5	11	-	
		100.0	38.9	33.3	33.3	11.1	27.8	61.1	-	

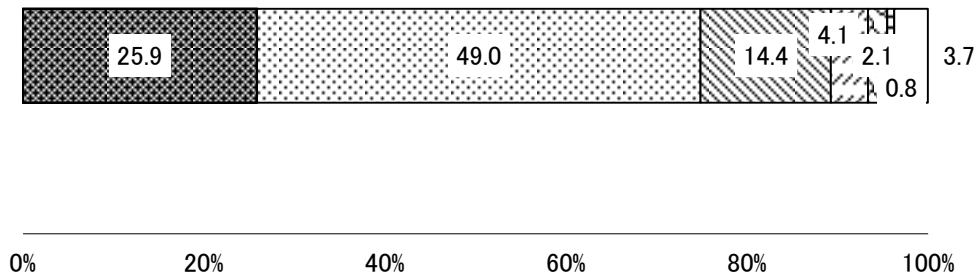
【問33で「2 どのような場合であっても個人情報は提供したくない」と答えた方におたずねします。】

問33-2 個人情報を提供したくない理由はなんですか、あなたのお考えに近いものを選んでください。(〇は1つ)

◆ 「個人情報の管理が心配」49%

個人情報を提供したくない理由は、「個人情報を適切に管理されるか心配なため」が49.0%と最も多くなっています。次いで「個人情報を提供すること自体に抵抗があるため」が25.9%、「個人情報を提供した場合、どういう支援が受けられるかわからない」が14.4%の順になっています。

N=243



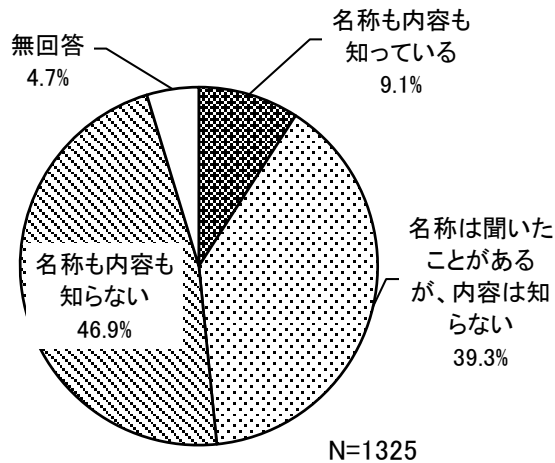
- 個人情報を提供すること自体に抵抗があるため
- 個人情報を適切に管理されるか心配なため
- 個人情報を提供した場合、どういう支援が受けられるかわからない
- 家族などの支援があり、地域や行政の支援は必要ないと考えている
- 地域や行政の手は借りず、自分で対策を考えているため
- その他
- 無回答

問34 あなたは「揖斐川町地域福祉計画」についてご存知ですか。(〇は1つ)

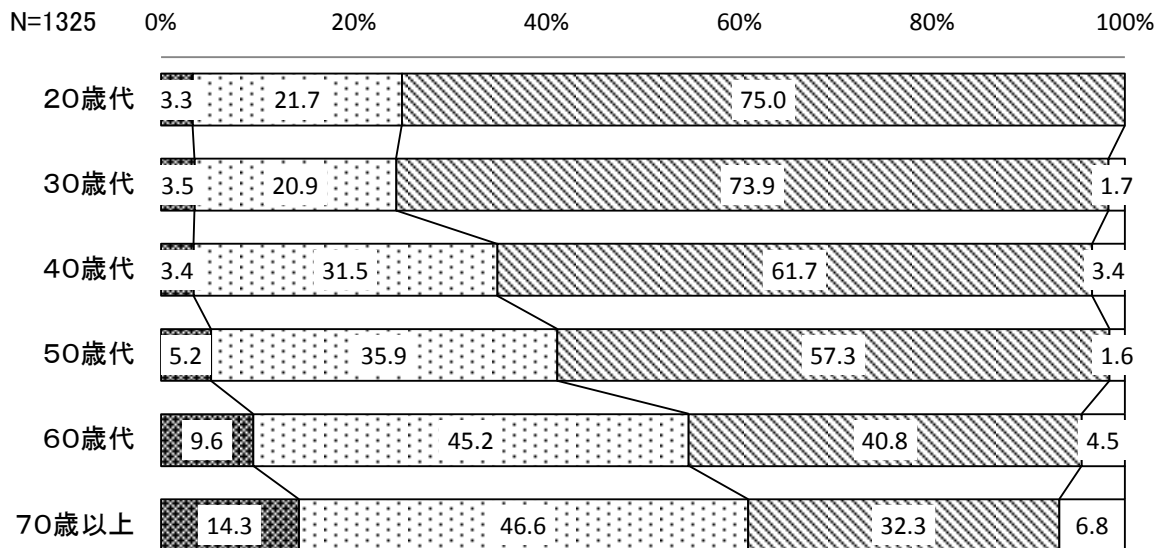
◆ 半数近くが「名称も内容も知らない」

揖斐川町地域福祉計画については、「名称も内容も知らない」が46.9%と最も多くなっています。次いで「名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が39.3%、「名称も内容も知っている」が9.1%の順になっています。

年代別にみると、年代が上がるにつれて、認知度が増加していることがうかがえます。



【年代別】



- 名称も内容も知っている
- 名称は聞いたことがあるが、内容は知らない
- ▨ 名称も内容も知らない
- 無回答

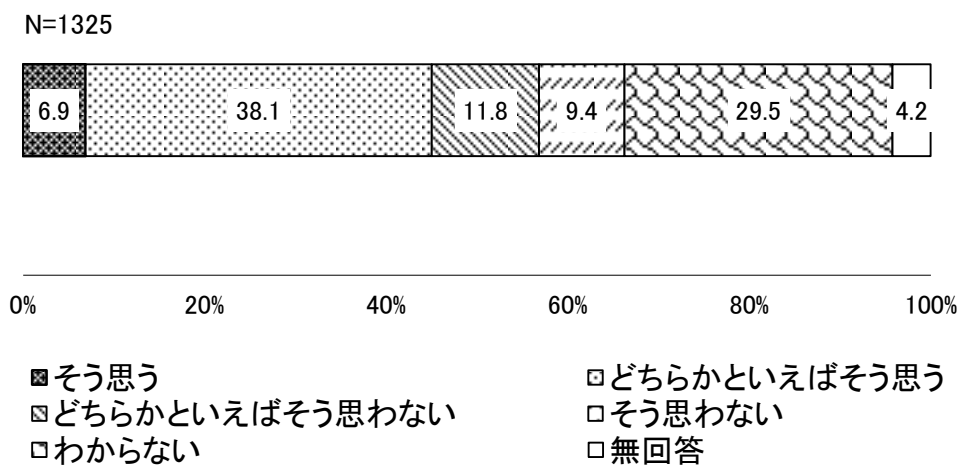
問35 揖斐川町地域福祉計画」では「みんなでつくろう 安心して生き生きと暮らせる支え合いのまち」を目指すべき福祉のまちの姿として定めて、福祉計画を進めてきました。

揖斐川町は福祉の面からみて“住みやすいまち”だと思いますか。(〇は1つ)

◆ “住みやすいと感じている※” 45.0%

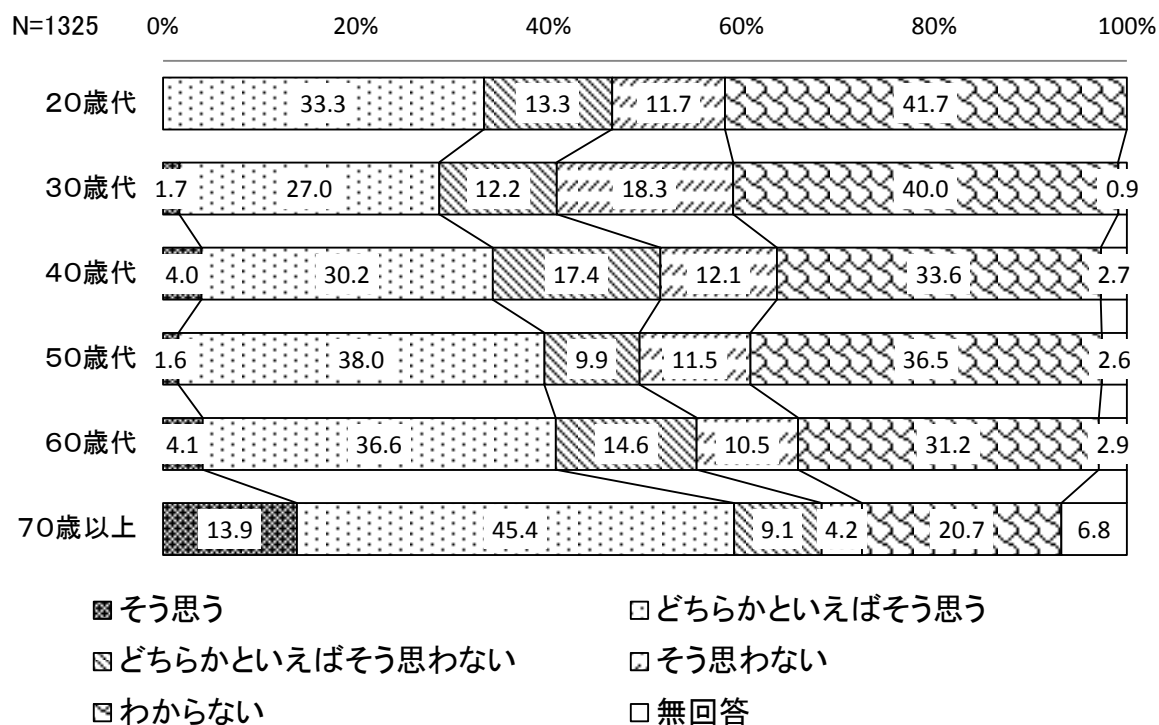
福祉の面から見た揖斐川町は、「どちらかといえばそう思う」が38.1%と最も多くなっており、次いで「わからない」が29.5%、「どちらかといえばそう思わない」が11.8%となっています。

また、“住みやすいと感じている”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)人は、45.0%となっており、“住みにくいと感じている”(「住みにくい」+「やや住みにくい」)人は、21.2%となっています。



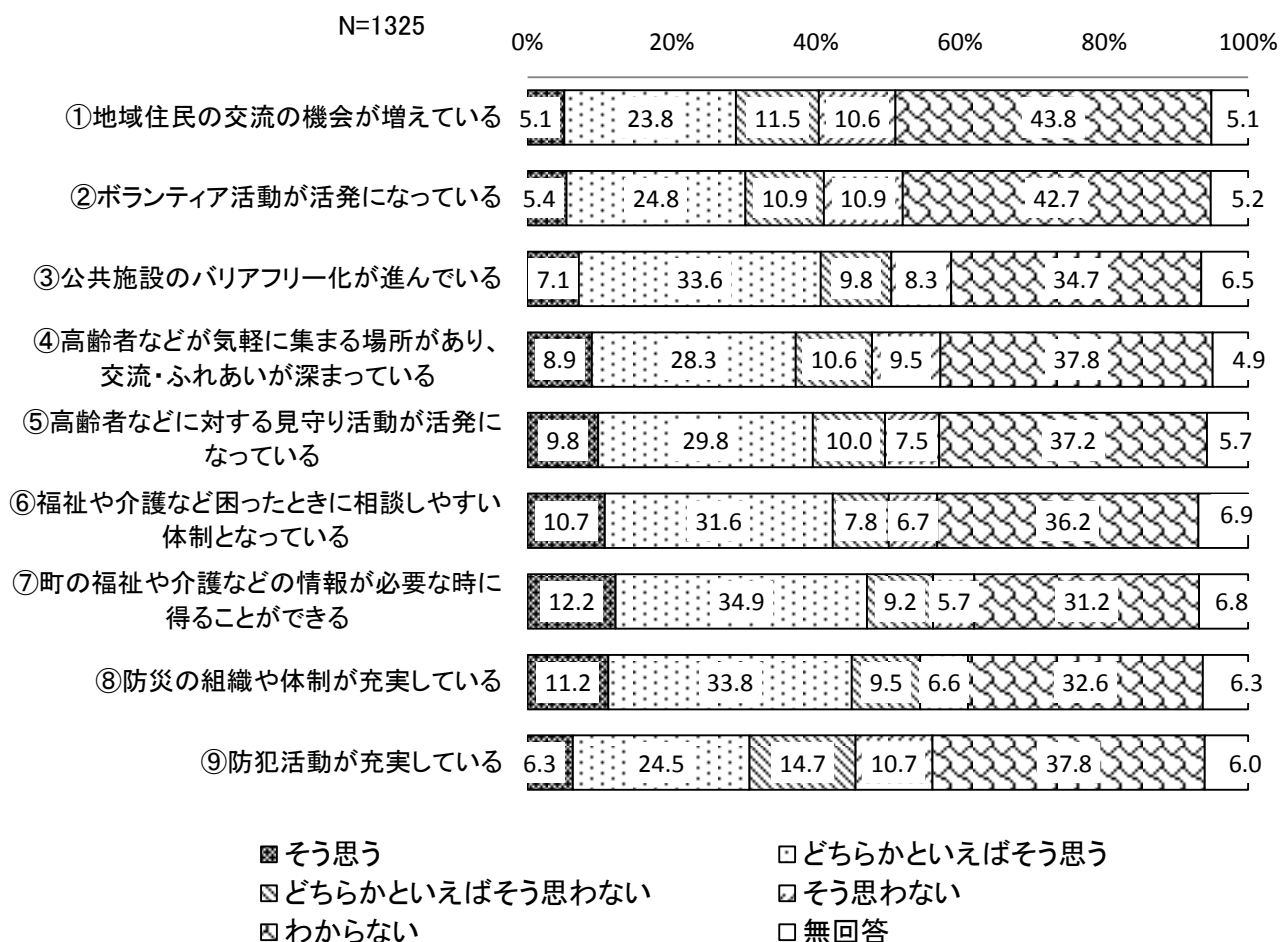
年代別でみると、20歳代から30歳代で少し減少するものの、年代が上がるにつれて、“住みやすいと感じている人”が増加する傾向がうかがえます。70歳以上では、約6割が住みやすいと感じています。

【年代別】



問 36 揖斐川町では「揖斐川地域福祉計画に基づいて、様々な取り組みを進めています。第1期の計画を策定した平成21年当時と現在を比較して、以下の取り組みについての印象をお答えください。(それぞれ〇は1つ)

- ◆ “町の福祉や介護などの情報が必要な時に得ることができる”**「そう思う※」47.1%**
 平成21年当時と比較して、「そうだと感じている」(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)人は“⑦町の福祉や介護などの情報が必要な時に得ることができる”が47.1%と最も多く、次いで“⑧防災の組織や体制が充実している”が45.0%と多くなっています。
 反対に、「そうだと感じていない」(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)人は“⑨防犯活動が充実している”が25.4%と最も多く、次いで“①地域住民の交流の機会が増えている”が22.1%と多くなっています。



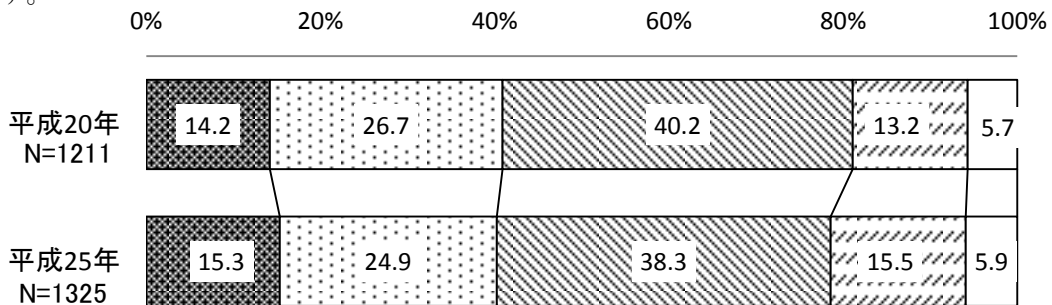
6.社会福祉協議会について

問37 揖斐川町社会福祉協議会をご存知ですか。

◆ 「名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」が約4割

平成25年の調査では、「名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」が最も多く、38.3%となっています。

経年比較すると、「名称もどんな活動をしているのかも知らない」が2.3%増えて15.5%、「名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」が1.9%減って38.3%となっています。いずれの年も「名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」が最も多く約4割となっています。

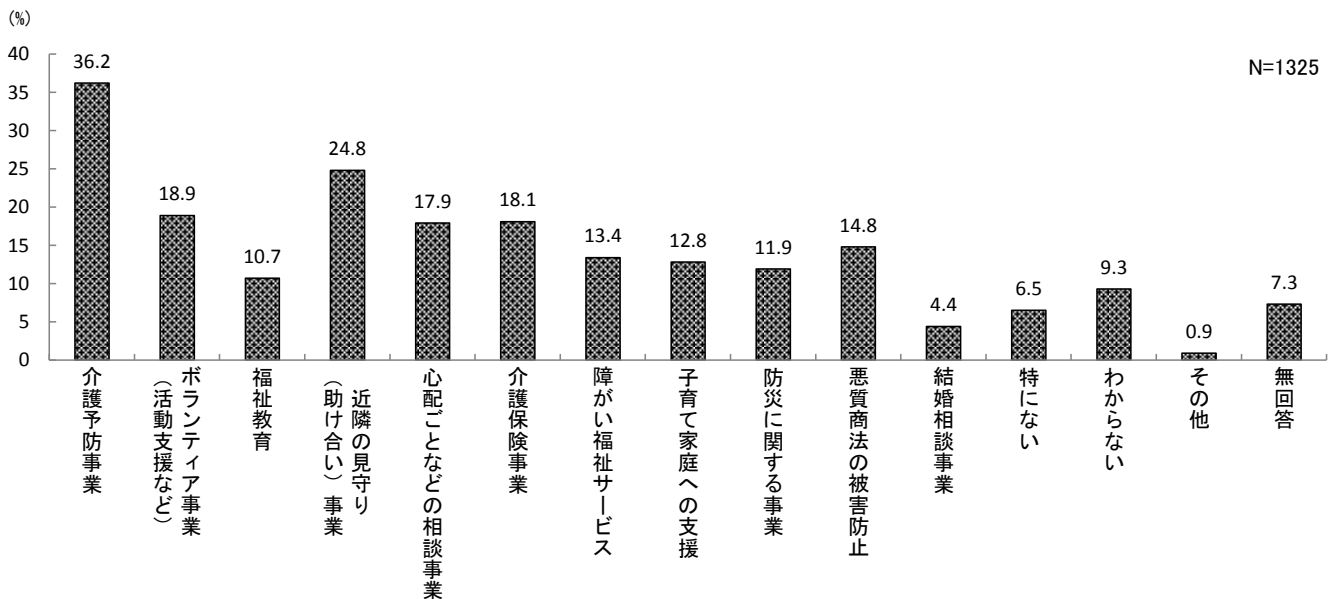


- 名称を知っているし、どんな活動をしているのかも大体知っている
- 名称も知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている
- ▨ 名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない
- ▩ 名称もどんな活動をしているのかも知らない
- 無回答

問38 社会福祉協議会は以下の事業を主に実施していますが、あなたのお立場から社会福祉協議会にどんな事業を望みますか。(〇は3つまで)

◆ 「介護予防事業」36.2%

社会福祉協議会に望む事業は、「介護予防事業」が36.2%、次いで、「近隣の見守り（助け合い）事業」が24.8%、「ボランティア事業（活動支援など）」が18.9%の順になっています。



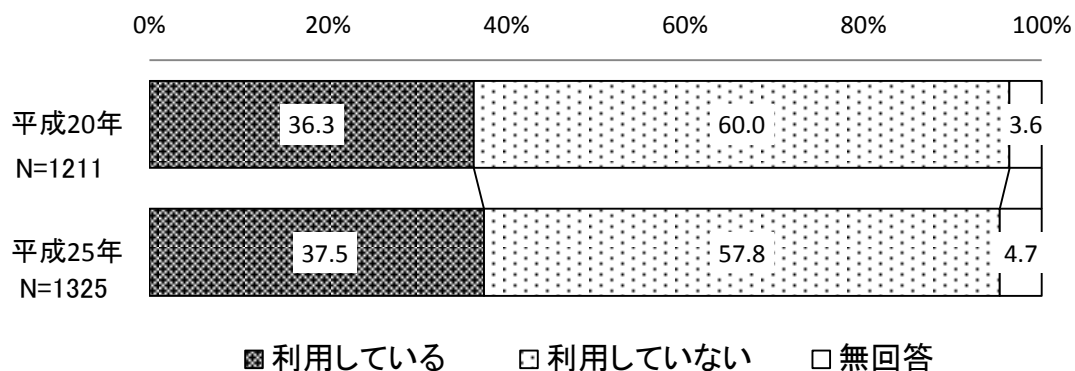
7.インターネットの利用について

問39 あなたはインターネットを利用していますか。(〇は1つ)

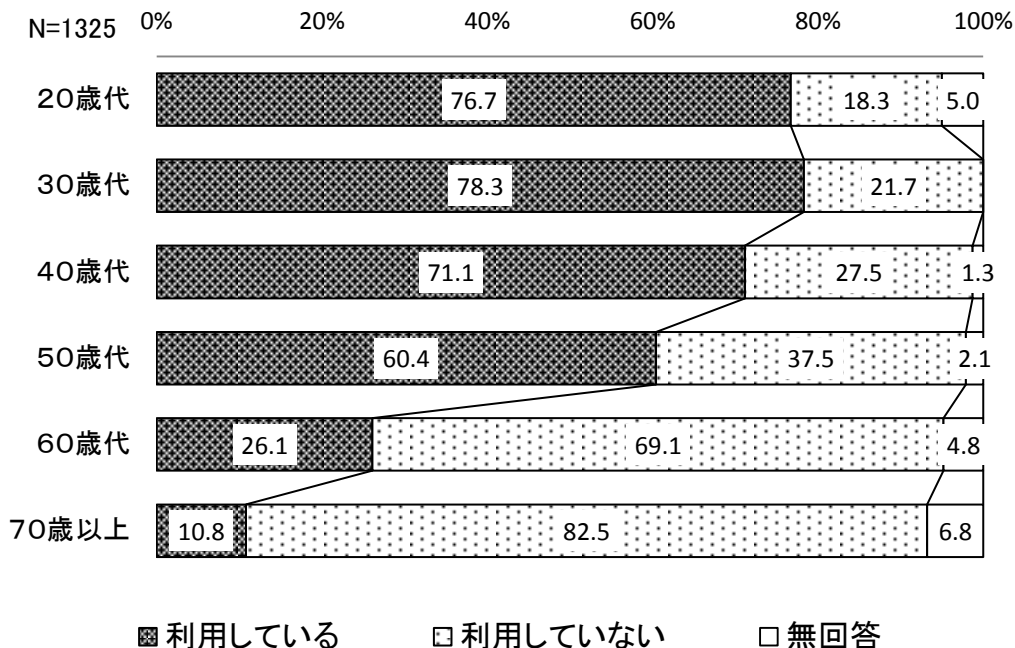
◆ インターネット「利用している」1.2%微増

平成25年の調査では、「利用している」が37.5%、「利用していない」が57.8%となっています。経年比較すると、「利用している」が1.2%増えて37.5%となっており、利用している人が平成20年に比べて微増しています。

年代別で見ると、インターネットの利用は20歳代から50歳代までが6割を超え、多くなっています。70歳以上の利用は約1割となっています。



【年代別】



問39で「1 利用している」と答えた方におたずねします。

問39-1 あなたは揖斐川町や町社会福祉協議会のホームページを見ていますか。(〇は1つ)

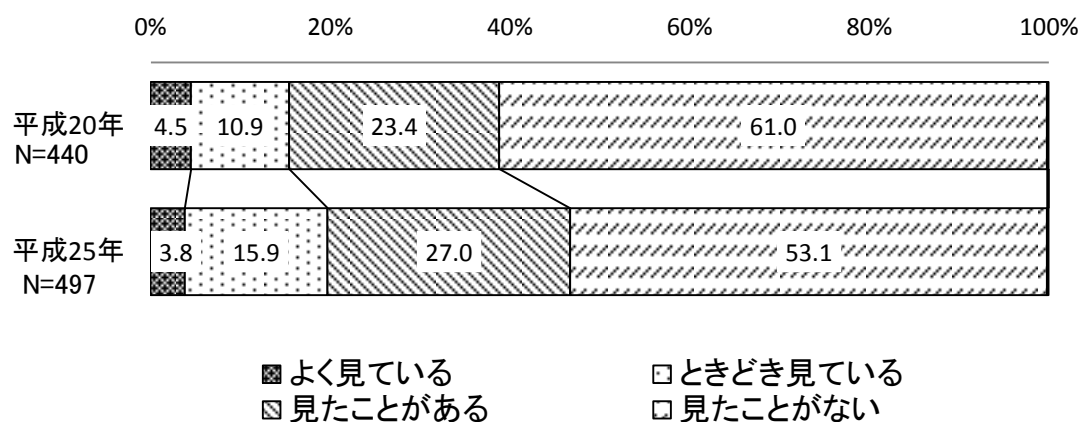
◆ “見ている人”は約半数

平成25年の調査では、「見たことがない」が最も多く53.1%になっています。

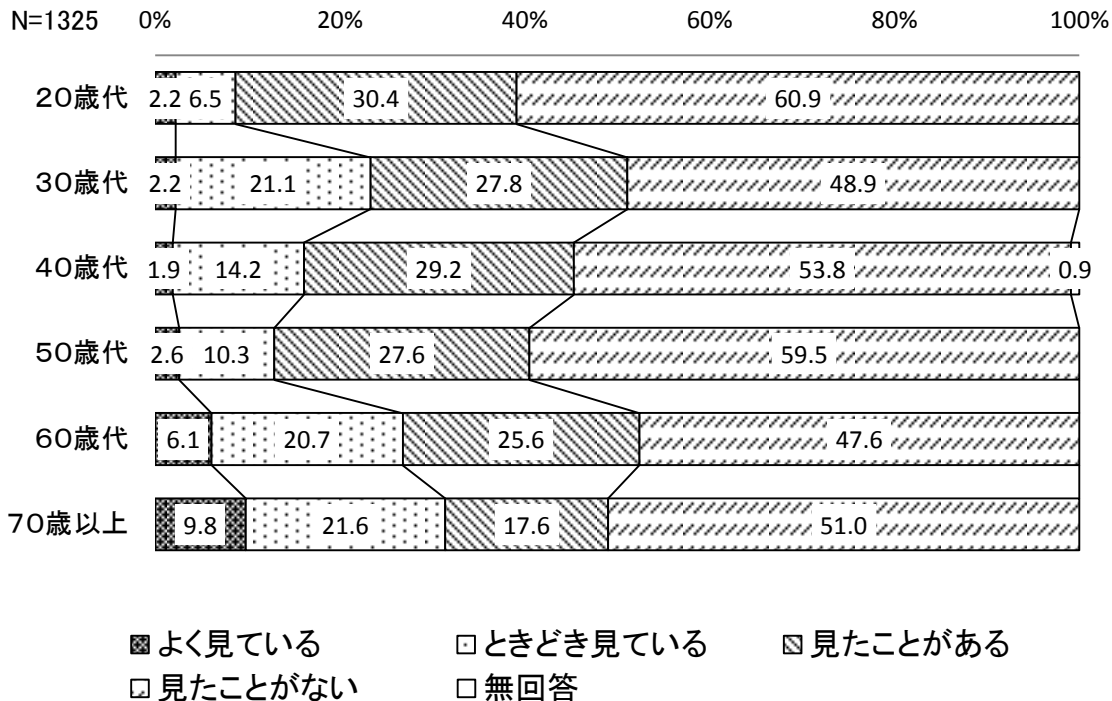
経年比較すると、「ときどき見ている」が5.0%増えて15.9%、「見たことがない」が7.9%減って53.1%となっています。

いずれも「見たことがない」が最も多く半数以上となっています。

年代別にみると、よく見ている人が70歳代で1割と他の年代に比較して多くなっています。インターネットの利用は他の年代に比較して割合が少ないものの、ホームページを活用しているアクティブな層があることが分かりました。



【年代別】



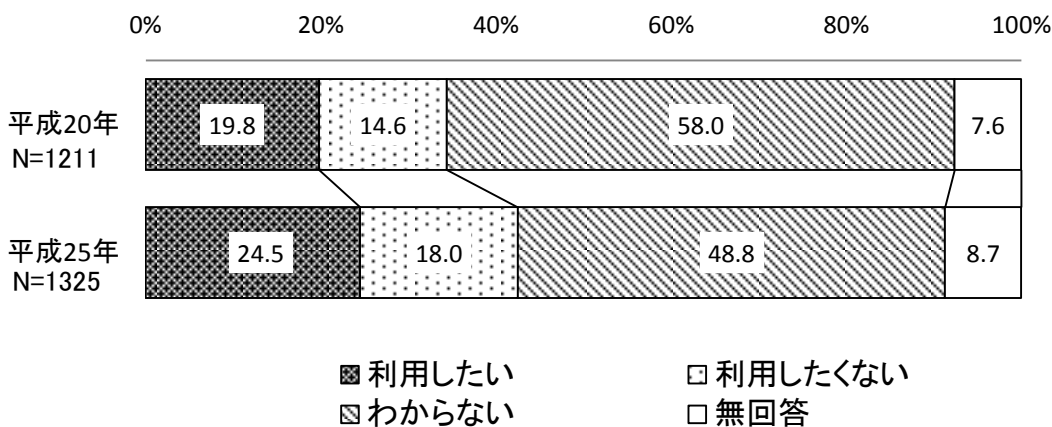
問40 福祉情報を定期的にパソコンや携帯にメールで提供するサービスがあれば、利用したいですか。(〇は1つ)

◆ 平成25年「利用したい」24.5%

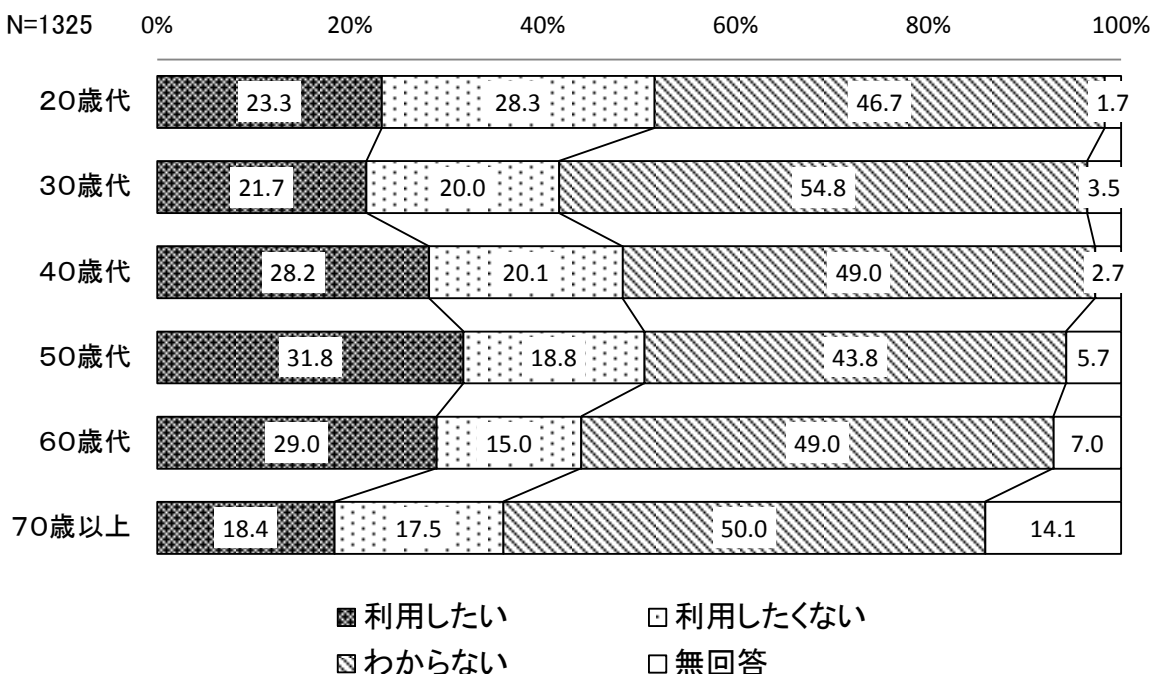
平成25年の調査では、「利用したい」が最も多く、48.8%となっています。

経年比較すると、「利用したい」が4.7%増えて24.5%、「わからない」が9.2%減って48.8%となっています。いずれの年も「わからない」が最も多くなっています。

福祉情報のメールサービスは、40歳代から60歳代までのニーズが約3割と多くなっています。



【年代別】

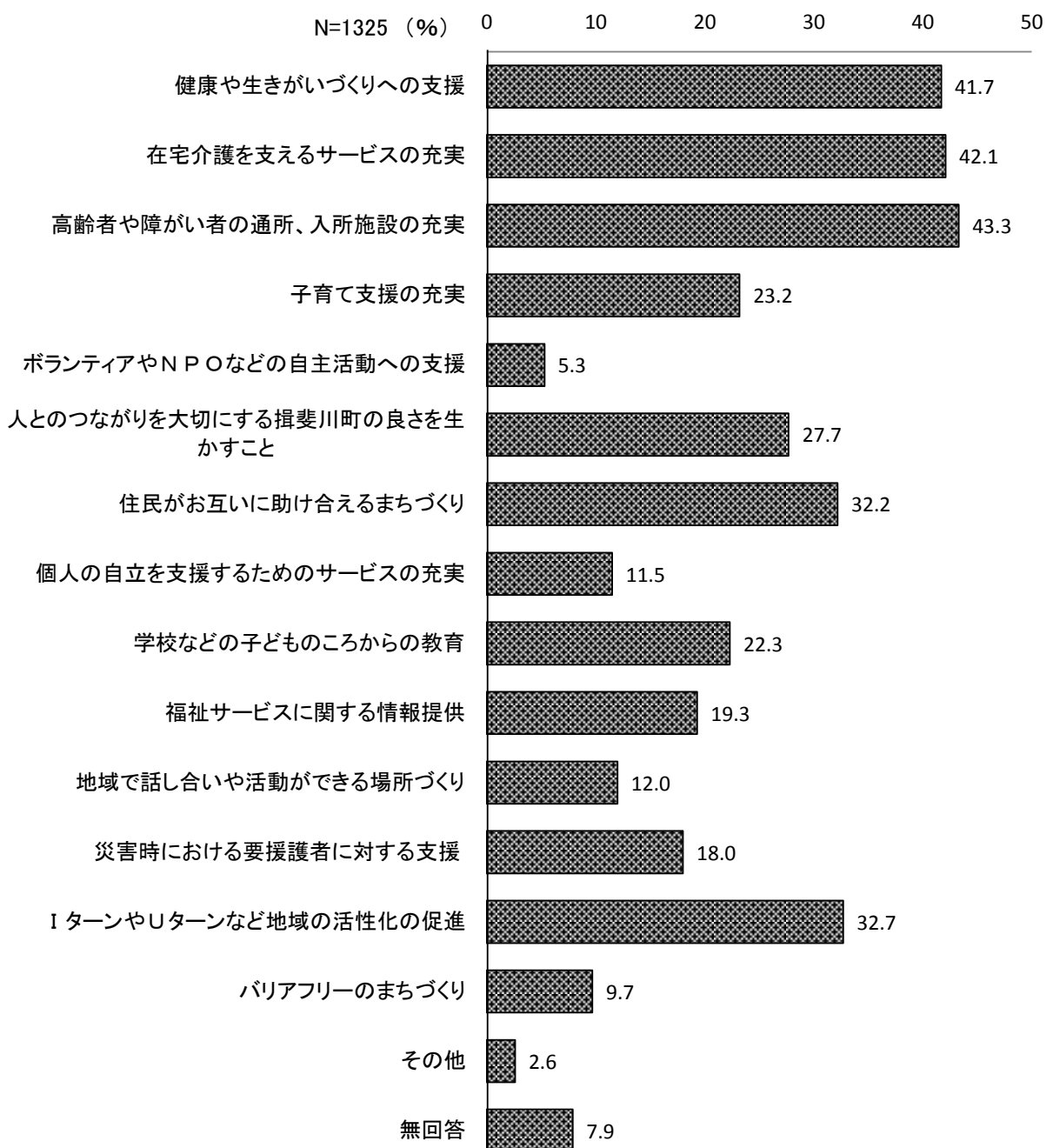


8.これからの揖斐川町について

問41 これからの揖斐川町において、何が大切だと思われますか。(〇は5つまで)

◆ 「高齢者や障がい者の通所、入所施設の充実」が43.3%

これからの揖斐川町に大切なことは、「高齢者や障がい者の通所、入所施設の充実」が43.3%と最も多く、次いで、「在宅介護を支えるサービスの充実」が42.1%、「健康や生きがいづくりへの支援」が41.7%の順になっています。



年代別でみると、20歳代、30歳代が「子育て支援の充実」、40歳代が「IターンやUターンなど地域の活性化の促進」、50歳代、60歳代が「高齢者や障がい者の通所、入所施設の充実」、70歳以上が「健康や生きがいがづくりへの支援」とそれぞれ多くなっています。

【年代別】

		問41 これからの揖斐川町において、何が大切だと思われますか																		
		全体	健康や生きがいがづくりへの支援	在宅介護を支えるサービスの充実	実通所、高齢者や障がい者の入所施設の充実	子育て支援の充実	ボランティアやNPOなどの自主活動への支援	町を大切にする良さを生かすこと	人と人とのつながり	合住民がお互いに助け合えるまちづくり	個人の自立を支援するサービスの充実	学校などの子どもの教育	福祉サービスに関する情報提供	地域で話し合いや活動ができる場所づくり	災害時における支援	地域の活性化の促進	Iターン（地元へ戻り定住）やUターン（都会出身者への地元定住）の促進	障がい者や高齢者の暮らし	その他	無回答
問1 年齢	全体	1325	552	558	574	307	70	367	427	153	296	256	159	238	433	129	35	105		
		100.0	41.7	42.1	43.3	23.2	5.3	27.7	32.2	11.5	22.3	19.3	12.0	18.0	32.7	9.7	2.6	7.9		
	20歳代	60	23	20	12	26	3	17	15	8	12	5	5	13	23	9	4	5		
		100.0	38.3	33.3	20.0	43.3	5.0	28.3	25.0	13.3	20.0	8.3	8.3	21.7	38.3	15.0	6.7	8.3		
	30歳代	115	39	33	46	57	7	27	28	15	42	19	9	18	37	13	5	4		
		100.0	33.9	28.7	40.0	49.6	6.1	23.5	24.3	13.0	36.5	16.5	7.8	15.7	32.2	11.3	4.3	3.5		
	40歳代	149	49	60	54	45	10	30	31	16	49	26	6	26	62	16	10	5		
		100.0	32.9	40.3	36.2	30.2	6.7	20.1	20.8	10.7	32.9	17.4	4.0	17.4	41.6	10.7	6.7	3.4		
	50歳代	192	74	80	84	59	9	37	50	21	50	37	18	38	77	24	9	12		
		100.0	38.5	41.7	43.8	30.7	4.7	19.3	26.0	10.9	26.0	19.3	9.4	19.8	40.1	12.5	4.7	6.3		
60歳代	314	136	138	152	61	19	86	106	46	59	63	45	57	119	25	2	20			
	100.0	43.3	43.9	48.4	19.4	6.1	27.4	33.8	14.6	18.8	20.1	14.3	18.2	37.9	8.0	0.6	6.4			
70歳以上	474	222	219	219	55	22	163	189	45	83	101	74	81	112	41	4	54			
	100.0	46.8	46.2	46.2	11.6	4.6	34.4	39.9	9.5	17.5	21.3	15.6	17.1	23.6	8.6	0.8	11.4			

地域別でみると、揖斐川地区、谷汲地区、春日地区が「高齢者や障がい者の通所、入所施設の充実」、久瀬地区が「在宅介護を支えるサービスの充実」、藤橋地区が「健康や生きがいがづくりへの支援」、坂内地区が「IターンやUターンなど地域の活性化の促進」とそれぞれ多くなっています。

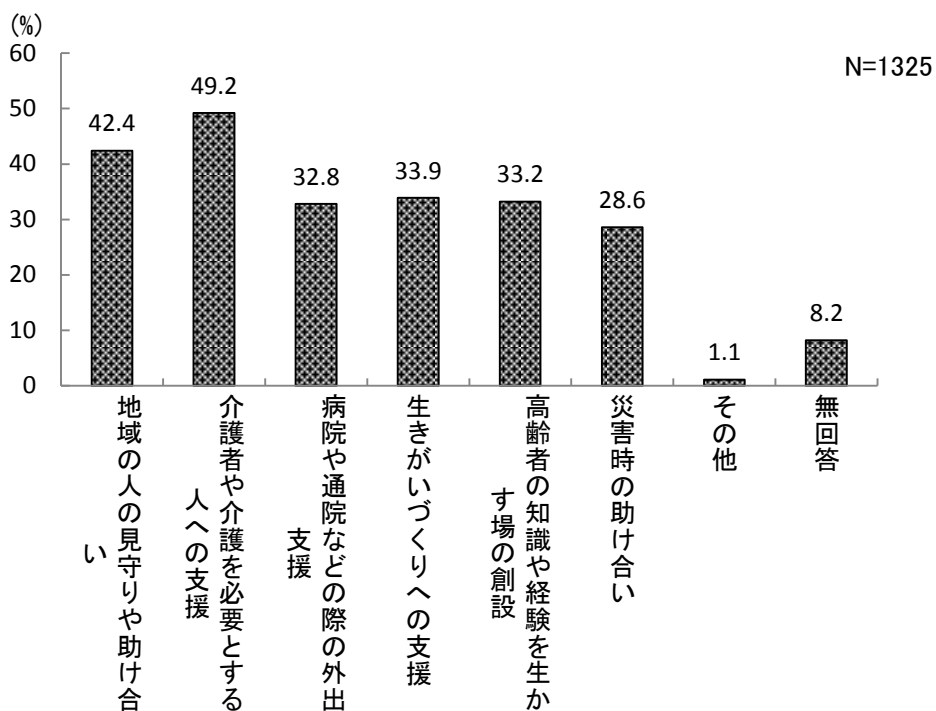
【地域別】

		問41 これからの揖斐川町において、何が大切だと思われますか																		
		全体	健康や生きがいがづくりへの支援	在宅介護を支えるサービスの充実	実通所、高齢者や障がい者の入所施設の充実	子育て支援の充実	ボランティアやNPOなどの自主活動への支援	町を大切にする良さを生かすこと	人と人とのつながり	合住民がお互いに助け合えるまちづくり	個人の自立を支援するサービスの充実	学校などの子どもの教育	福祉サービスに関する情報提供	地域で話し合いや活動ができる場所づくり	災害時における支援	地域の活性化の促進	Iターン（地元へ戻り定住）やUターン（都会出身者への地元定住）の促進	障がい者や高齢者の暮らし	その他	無回答
問3 居住地区	全体	1325	552	558	574	307	70	367	427	153	296	256	159	238	433	129	35	105		
		100.0	41.7	42.1	43.3	23.2	5.3	27.7	32.2	11.5	22.3	19.3	12.0	18.0	32.7	9.7	2.6	7.9		
	揖斐川地区	939	387	395	402	222	53	246	282	111	221	187	106	163	307	93	29	66		
		100.0	41.2	42.1	42.8	23.6	5.6	26.2	30.0	11.8	23.5	19.9	11.3	17.4	32.7	9.9	3.1	7.0		
	谷汲地区	176	71	71	72	47	8	53	66	20	45	35	22	36	53	19	3	16		
		100.0	40.3	40.3	40.9	26.7	4.5	30.1	37.5	11.4	25.6	19.9	12.5	20.5	30.1	10.8	1.7	9.1		
	春日地区	77	36	35	44	14	3	29	35	7	12	13	15	15	30	5	1	4		
		100.0	46.8	45.5	57.1	18.2	3.9	37.7	45.5	9.1	15.6	16.9	19.5	19.5	39.0	6.5	1.3	5.2		
	久瀬地区	66	28	29	28	15	2	20	21	9	9	10	10	13	20	6	1	6		
		100.0	42.4	43.9	42.4	22.7	3.0	30.3	31.8	13.6	13.6	15.2	15.2	19.7	30.3	9.1	1.5	9.1		
藤橋地区	12	8	4	5	1	1	5	3	1	1	2	2	3	1	1	-	1			
	100.0	66.7	33.3	41.7	8.3	8.3	41.7	25.0	8.3	8.3	16.7	16.7	25.0	8.3	8.3	-	8.3			
坂内地区	36	15	16	15	3	3	9	13	3	7	6	2	4	18	4	-	8			
	100.0	41.7	44.4	41.7	8.3	8.3	25.0	36.1	8.3	19.4	16.7	5.6	11.1	50.0	11.1	-	22.2			

問42 高齢者が社会参加しやすいようにするために、どんなことに取り組んでほしいと思いますか。(〇は3つまで)

◆ 「介護者や介護を必要とする人への支援」約5割、「地域の人の見守りや助け合い」4割強

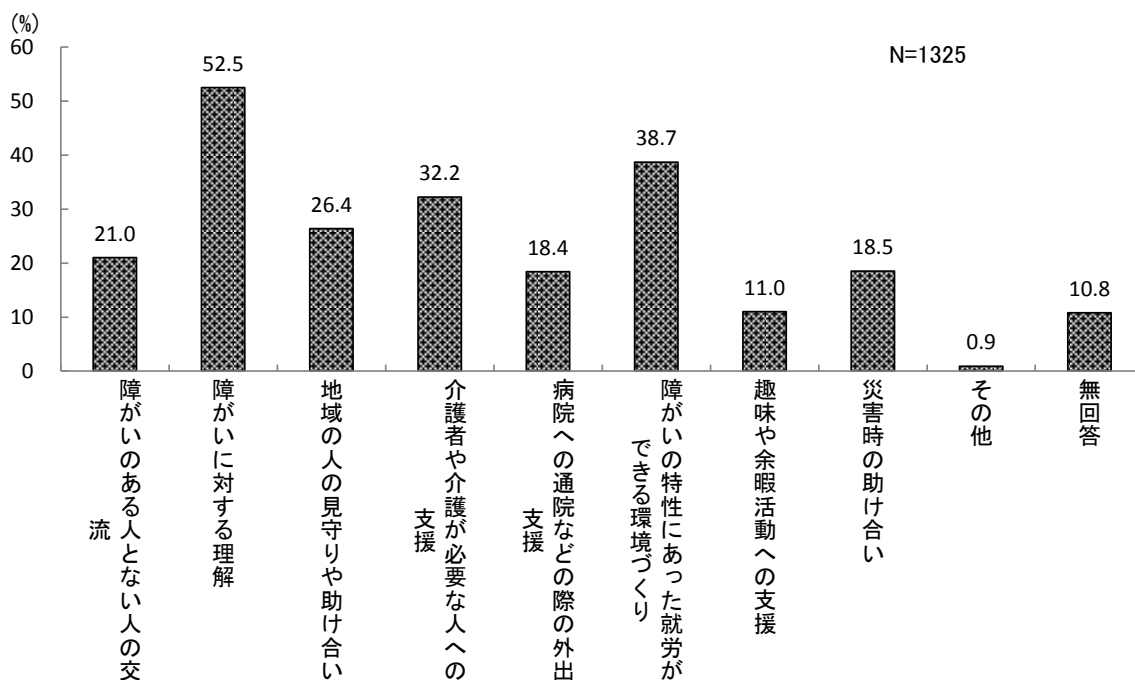
高齢者が社会参加しやすいようにするために取り組んでほしいことは、「介護者や介護を必要とする人への支援」が49.2%と最も多く、次いで「地域の人の見守りや助け合い」が42.4%となっています。「病院や通院などの際の外出支援」、「生きがいつくりへの支援」、「高齢者の知識や経験を生かす場の創設」についてはいずれも3割強と大きな差はありません。



問43 障がいのある人が社会参加しやすいようにするために、どんなことに取り組んでほしいと思いますか（〇は3つまで）

◆ 「障がいに対する理解」が5割強

障がいのある人が社会参加しやすいようにするために取り組んでほしいことは、「障がいに対する理解」が52.5%と最も多く、次いで「障がいの特性にあった就労ができる環境づくり」が38.7%、「介護者や介護が必要な人への支援」が32.2%となっています。

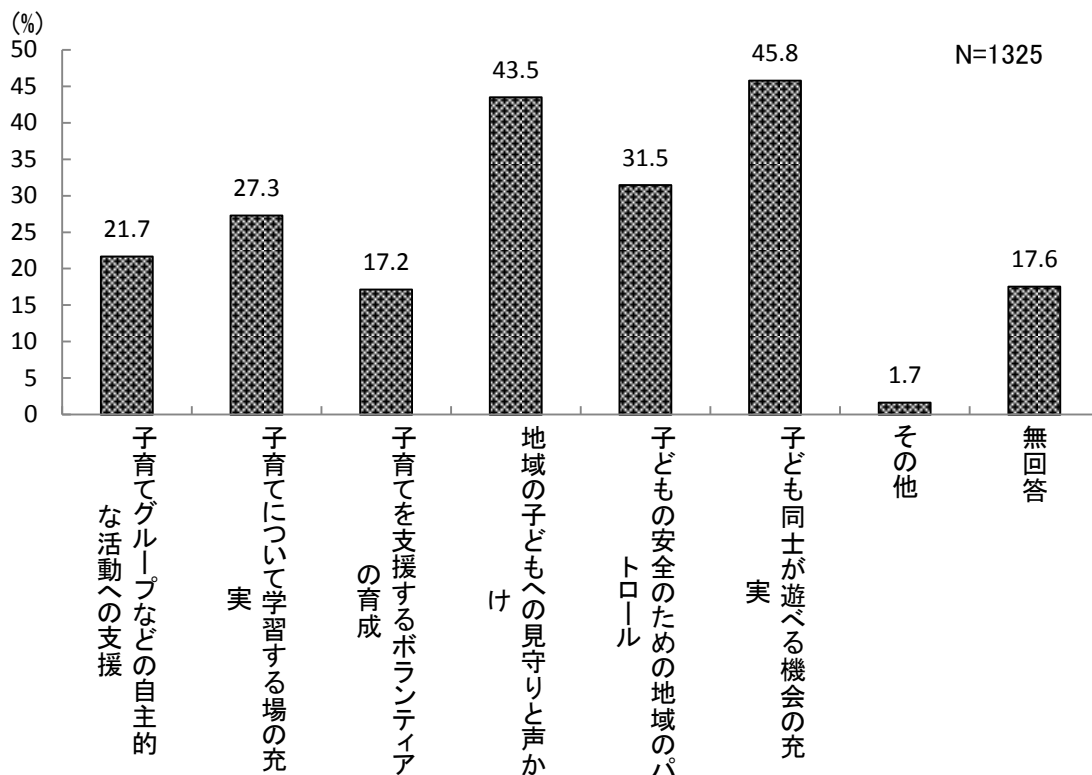


問44 子育てについて考えたとき、どんなことに取り組んでほしいと思いますか。

(〇は3つまで)

◆ 「子ども同士が遊べる機会の充実」が45.8%

子育てについて取り組んでほしいことは、「子ども同士が遊べる機会の充実」が45.8%と最も多く、次いで「地域の子どもへの見守りと声かけ」が43.5%、「子どもの安全のための地域のパトロール」が31.5%となっています。

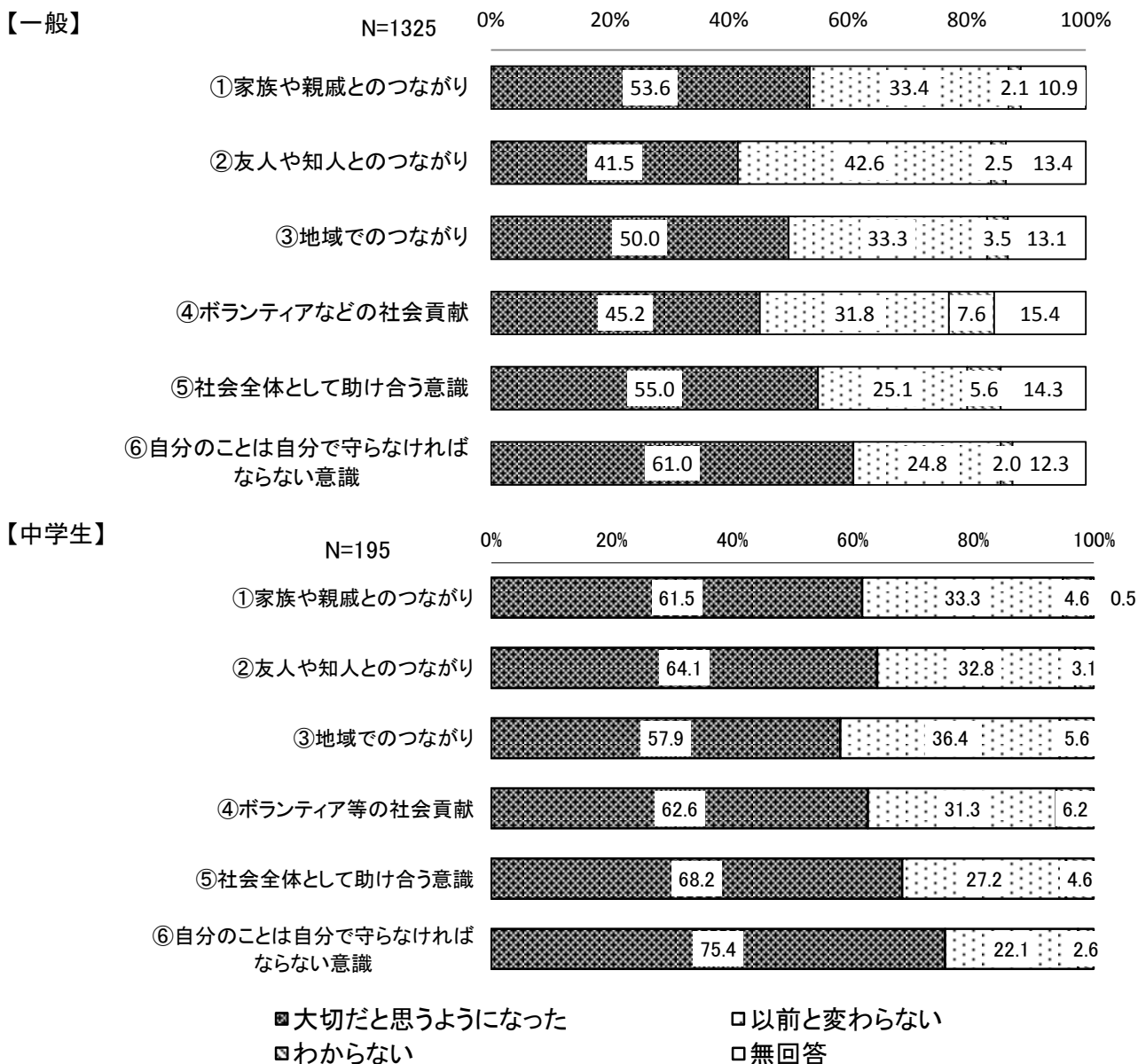


問45 東日本大震災以前（平成23年3月11日以前）と比べて、以下の項目について考え方が変わりましたか。（それぞれに〇は1つ）

◆ いずれの項目でも“大切だと思うようになった”人が4割以上

東日本大震災以降の考え方については、「大切だと思うようになった」と回答した人は“⑥自分のことは自分で守らなければならない意識”が最も多く61.0%になっており、次いで“⑤社会全体として助け合う意識”が55.0%となっています。

また、「以前と変わらない」と回答した人は“②友人や知人とのつながり”が42.6%と最も多く、次いで“①家族や親戚とのつながり”が33.4%と多くなっています。



【一般と中学生の比較】

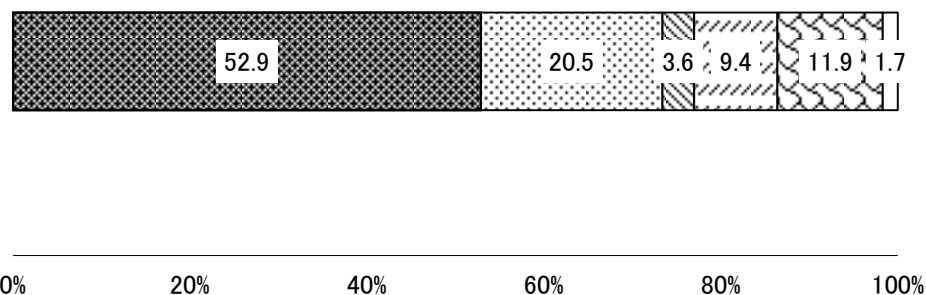
全体として、中学生の方が大切だと思うようになった割合が一般より多く、影響の大きさがうかがえる結果となりました。中学生の方が“②友人や知人とのつながり”で「大切だと思うようになった」が64.1%と、多くみられます。

問46 あなたは、現在お住まいのところに将来も住みたいですか。(○は1つ)

◆ 「現在の場所で住みたい」が5割以上

将来住みたい場所については、「現在の場所で住みたい」と回答した人が52.9%と最も多く、次いで「できれば将来も現在の場所で住みたい」が20.5%となっており、“住みたい”(「現在の場所で住みたい」+「できれば将来も現在の場所で住みたい」)人は73.4%となっています。

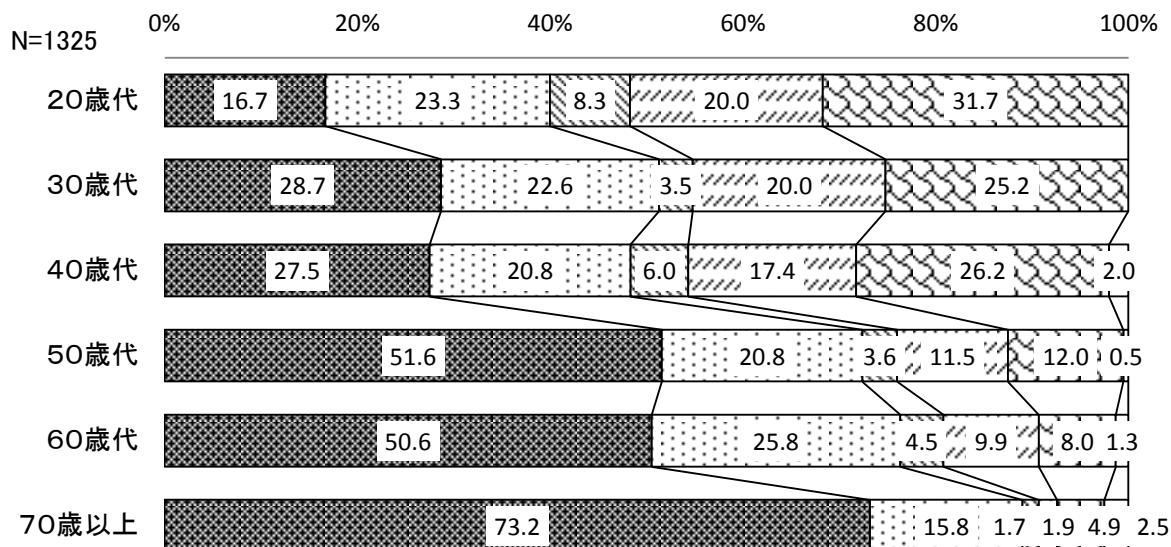
N=1325



- 現在の場所で住みたい
- できれば将来も現在の場所で住みたい
- 将来は町内の別の場所に移り住みたい
- 将来は町外に移り住みたい
- わからない
- 無回答

年代別でみると、「現在の場所で住み続けたい」の割合は、20歳代、30歳代と40歳代、50歳代と60歳代、70歳以上と階段状となっており、特に40歳代と50歳代ではほぼ倍の違いがあり、意識の差が大きくなっています。

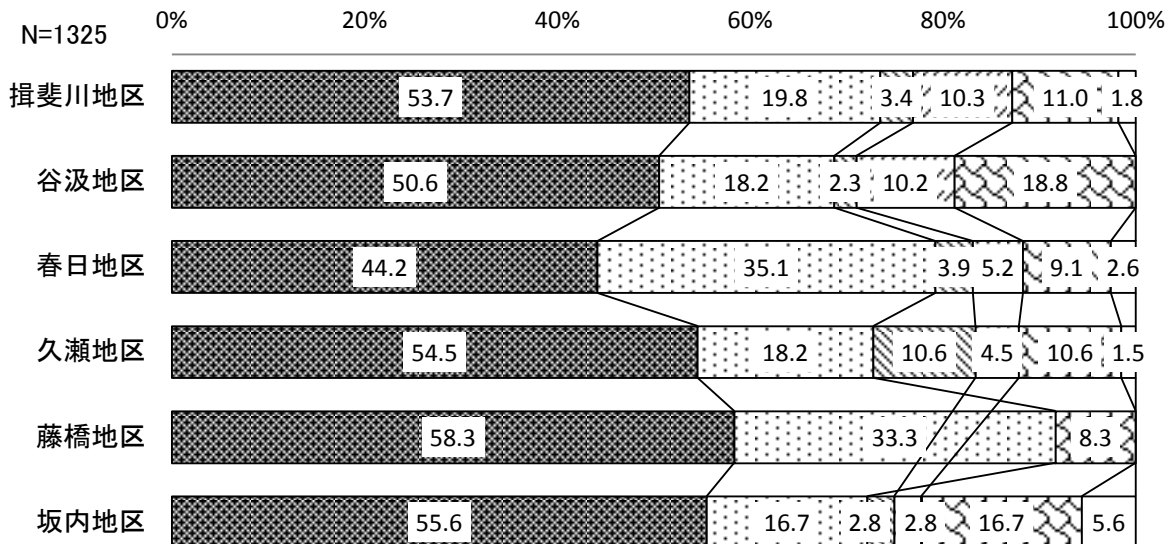
【年代別】



- 現在の場所で住み続けたい
- ▣ できれば将来も現在の場所で住み続けたい
- ▤ 将来は町内の別の場所に移り住みたい
- ▥ 将来は町外に移り住みたい
- ▧ わからない
- 無回答

地域別でみると、「現在の場所で住み続けたい」の割合は、4割から6割と地域による違いが見られますが、「できれば将来も現在の場所で住み続けたい」を含めると、どの地区も現在の場所で住みたい意向がある人は7割を超えています。

【地域別】



- 現在の場所で住み続けたい
- できれば将来も現在の場所で住み続けたい
- ▨ 将来は町内の別の場所に移り住みたい
- ▩ 将来は町外に移り住みたい
- ⊠ わからない
- 無回答

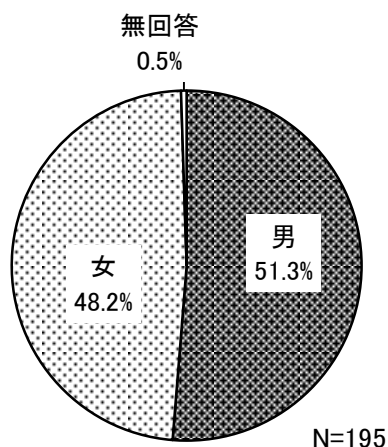
Ⅲ. 中学生アンケート

1. あなたご自身について

問 1-1 性別はどちらですか。(どちらかに○)

◆ 「男性」が51.3%、「女性」が48.2%

回答者の性別は「男性」が51.3%、「女性」が48.2%となっています。

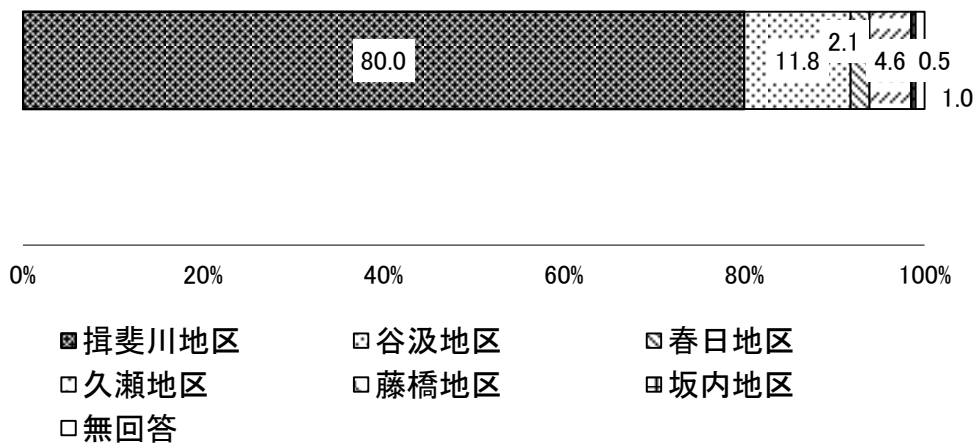


問 1-2 あなたの住んでいる地区はどちらですか。(○は1つ)

◆ 「揖斐川地区」が8割

「揖斐川地区」(80.0%)が最も多く、次いで「谷汲地区」(11.8%)、「久瀬地区」(4.6%)、「春日地区」(2.1%)、「坂内地区」(0.5%)、「藤橋地区」(0.0%)の順となっています。

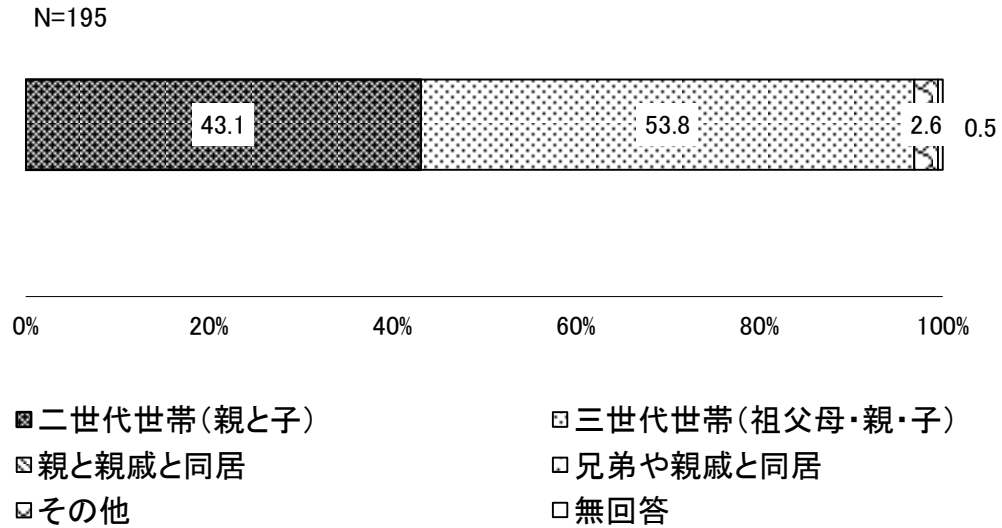
N=195



問 1-3 家族構成はどのようになっていますか。(〇は 1 つ)

◆ 「二世世代世帯 (子と同居)」が 26.9%

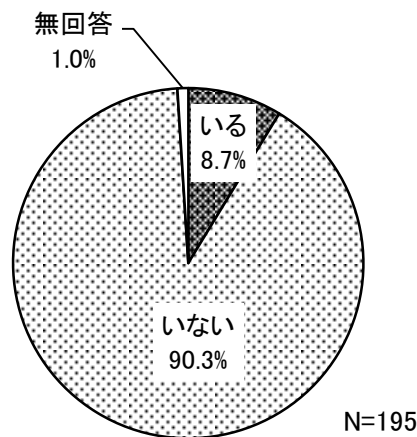
家族構成は、「三世世代世帯 (祖父母・親・子)」が最も多く、53.8%、ついで「二世世代世帯」が 43.1% となっています。



問 1-4 あなたの家族であなた自身を含め、福祉サービスを受けている人はいますか。(〇は 1 つ)

◆ 「いる」8.7%、「いない」90.3%

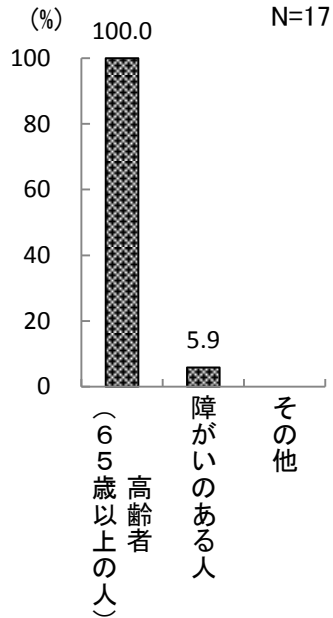
家族の中で福祉サービスを受けている人については、「いる」と答えた人が 8.7%、「いない」と答えた人が 90.3% となっています。



問 1-4-1 「1 いる」を選んだ人は、以下からあてはまるものすべてに○をしてください。

◆ 「高齢者 (65 歳以上)」が 100%

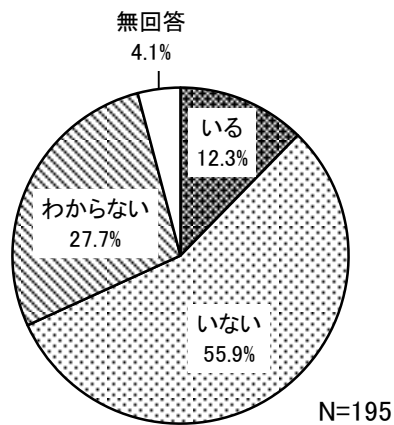
福祉サービスを受けている人は「高齢者 (65 歳以上)」が 100%と最も多く、次いで「障がいのある人」が 5.9%となっています。



問 1-5 あなたのまわりに、障がいのある人や手助けが必要な高齢者はいますか。(○は 1 つ)

◆ 「いる」12.3%、「いない」55.9%

周囲に手助けが必要な人がいるか、については「いる」と答えた人が 12.3%、「いない」と答えた人が 55.9%、「わからない」と答えた人が 27.7%となっています。



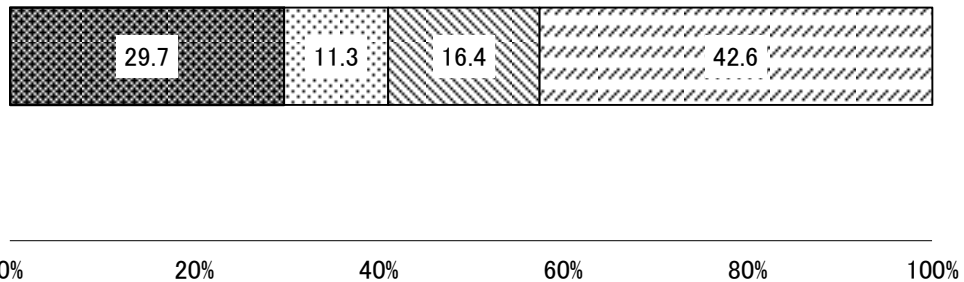
問2 あなたは、今後、揖斐川町に住み続けたいですか。(〇は1つ)

◆ 揖斐川町に「住み続けたい」が約3割

今後、揖斐川町に住み続けたいかについては、「わからない」が42.6%と最も多く、次いで「住み続けたい」が29.7%、揖斐川町以外のところで暮らしたいが、いずれは揖斐川町に戻って暮らしたい」が16.4%、「揖斐川町以外のところで暮らしたい」が11.3%の順になっています。

男女別でも、住み続けたい意向を持っている人は約3割と大きな差はありません。

N=195



- 住み続けたい
- 揖斐川町以外のところで暮らしたい
- 揖斐川町以外のところで暮らしたいが、いずれは揖斐川町に戻って暮らしたい
- わからない

【性別】

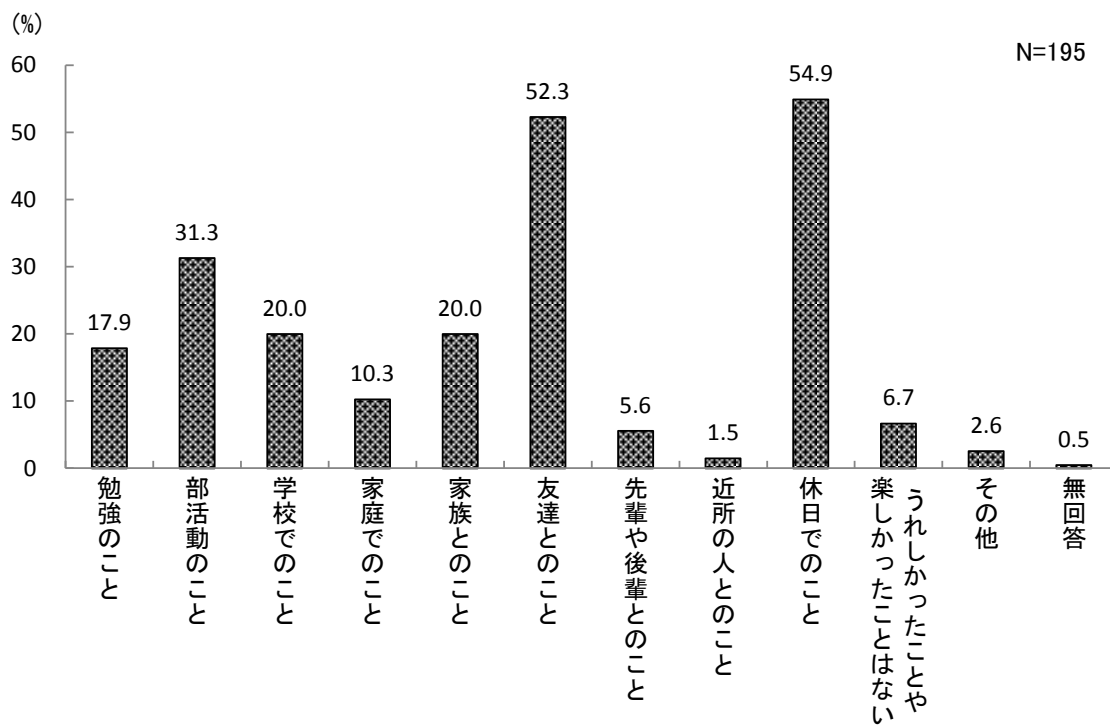
		問2 あなたは、今後、揖斐川町に住み続けたいですか				
		全体	住み続けたい	こ揖 ろ斐 で川 暮ら ら以 した の と	し川がこ揖 た町、ろ斐 いにいで川 戻ず暮町 つれら以 てはし外 暮揖たの ら斐いと	わ か ら な い
問 1 - 1	全体	195 100.0	58 29.7	22 11.3	32 16.4	83 42.6
	男	100 100.0	28 28.0	14 14.0	16 16.0	42 42.0
性別	女	94 100.0	30 31.9	8 8.5	15 16.0	41 43.6

2. あなたの日常生活について

問3 最近うれしかったことや楽しかったことはどんなことですか。(〇は3つまで)

◆ 「休日でのこと」「友達のこと」が5割以上

最近うれしかったことや楽しかったことは、「休日でのこと」が54.9%と最も多く、次いで「友達のこと」が52.3%、「部活動のこと」が31.3%の順になっています。



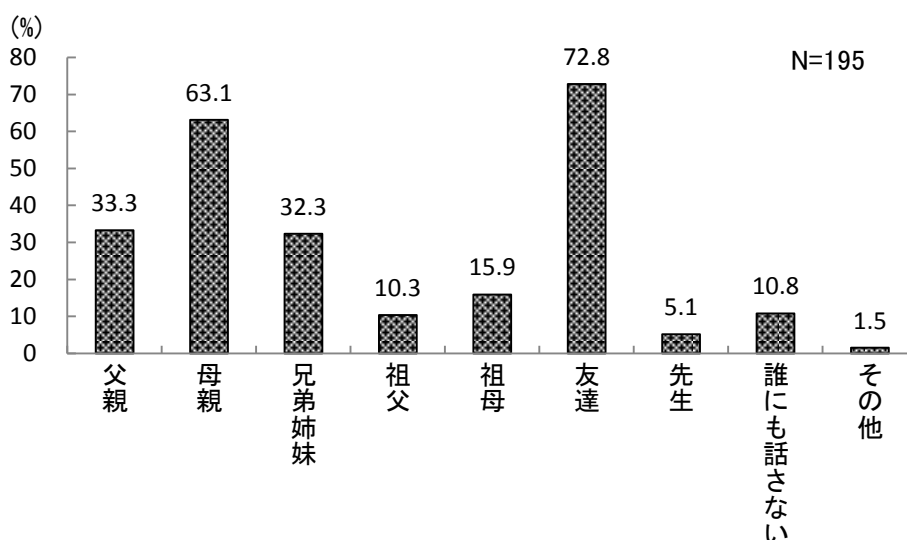
問4 うれしかったことや楽しかったことは、誰に話しますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ うれしかったこと等の話し相手「友達」が7割以上

うれしかったことや楽しかったことの話し相手は、「友達」が72.8%と最も多く、次いで「母親」が63.1%、「父親」が33.3%の順になっています。

一方で、「誰にも話さない」と答えた人は10.8%となっています。

男女別でみると、男性は、「友達」(69.0%)、「母親」(60.0%)、「父親」(38.0%)が多く、女性は「友達」(76.6%)、「母親」(66.0%)、「兄弟姉妹」(42.6%)が多くなっています。



【性別】

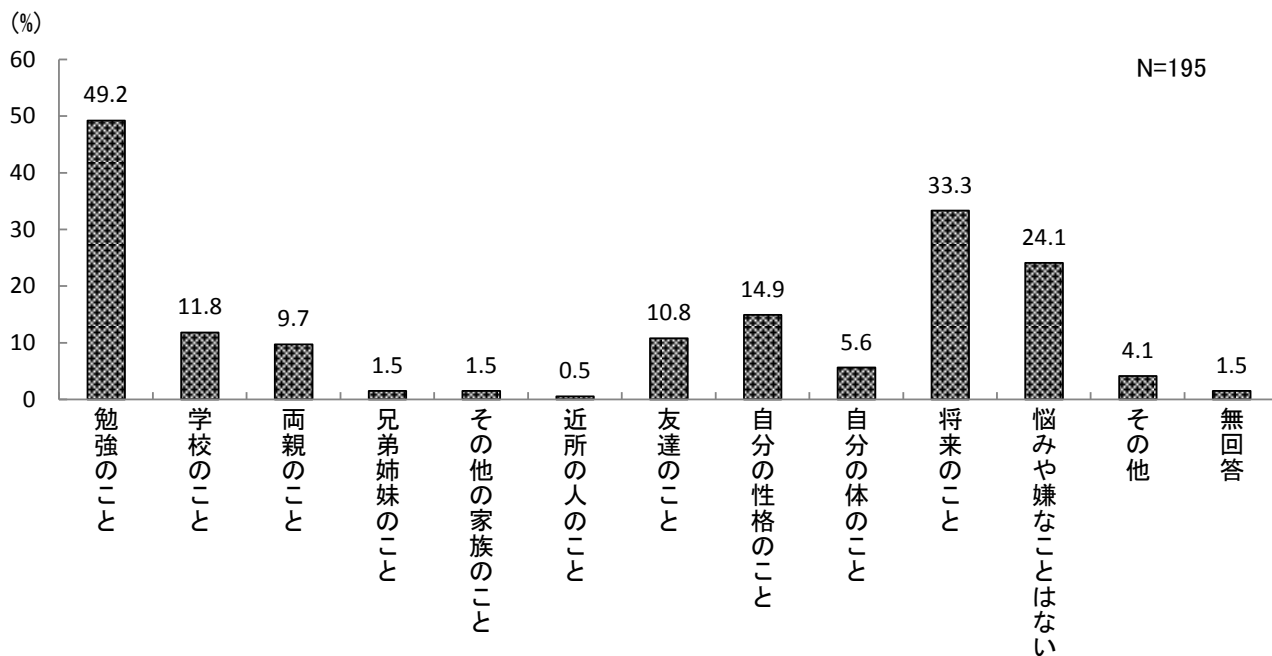
		問4 うれしかったことや楽しかったことは、誰に話しますか									
		全体	父親	母親	兄弟姉妹	祖父	祖母	友達	先生	誰にも話さない	その他
問 1 - 1 性別	全体	195	65	123	63	20	31	142	10	21	3
		100.0	33.3	63.1	32.3	10.3	15.9	72.8	5.1	10.8	1.5
	男	100	38	60	23	12	16	69	4	13	2
		100.0	38.0	60.0	23.0	12.0	16.0	69.0	4.0	13.0	2.0
女	94	27	62	40	8	15	72	6	8	1	
	100.0	28.7	66.0	42.6	8.5	16.0	76.6	6.4	8.5	1.1	

問5 悩みや嫌なことはどんなことですか。(〇は3つまで)

◆ 悩みや嫌なこと「勉強」が49.2%

悩みや嫌なことは、「勉強のこと」が49.2%と最も多く、次いで「将来のこと」が33.3%、「自分の性格のこと」が14.9%の順になっています。

一方で、「悩みや嫌なことはない」と答えた人は24.1%となっています。



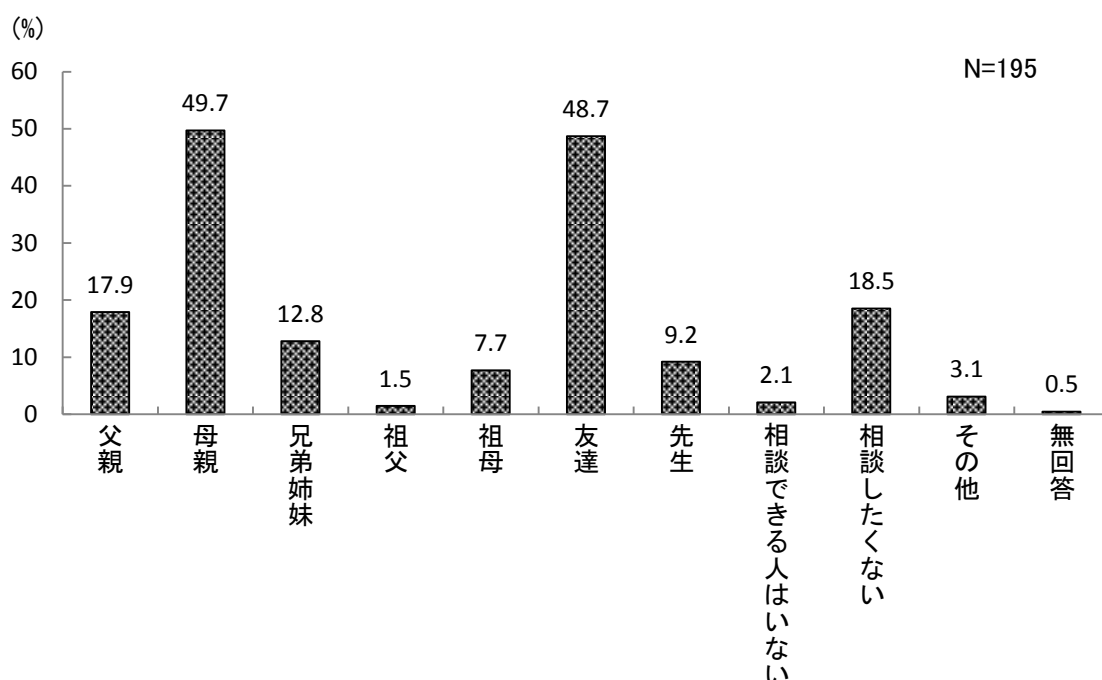
問6 悩みや嫌なことは、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

◆ 「母親」49.7%、「友達」48.7%

悩み等の相談相手は、「母親」が49.7%と最も多く、次いで「友達」が48.7%、「父親」が17.9%の順になっています。

一方で、「相談できる人はいない」と答えた人は2.1%、「相談したくない」と答えた人は18.5%となっています。

男女別でみると、男性は、「母親」(54.0%)、「友達」(45.0%)、「父親」(26.0%)が多く、女性は「友達」(52.1%)、「母親」(44.7%)、「兄弟姉妹」(16.0%)が多くなっています。



【性別】

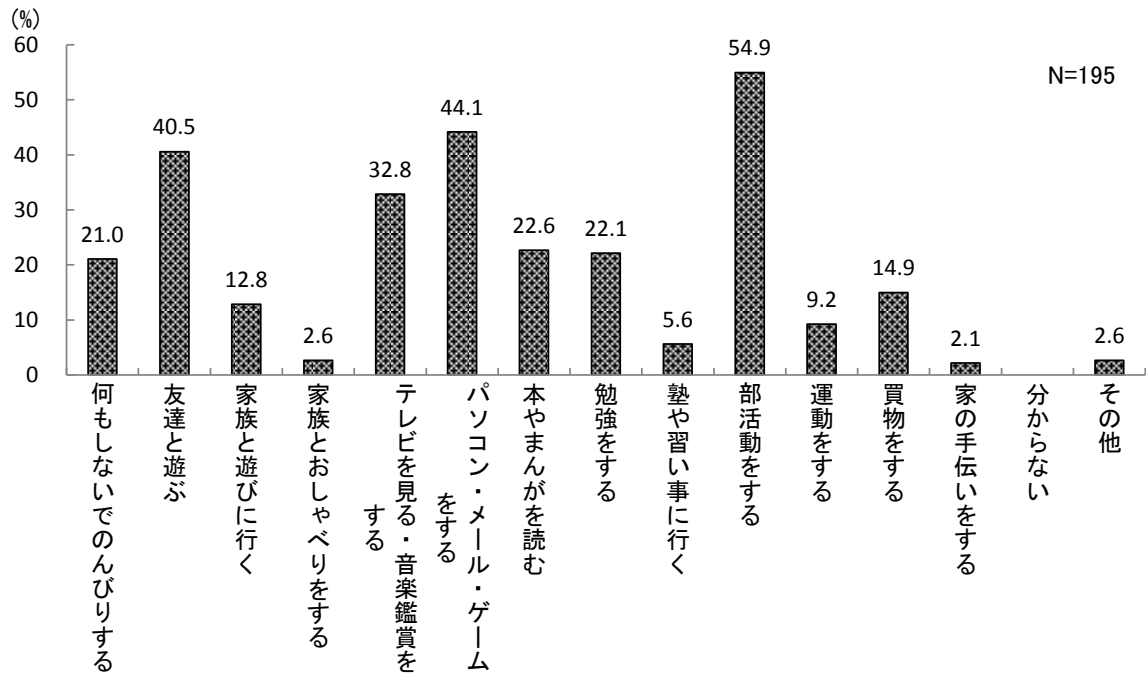
		問6 悩みや嫌なことは誰に相談しますか											
		全体	父親	母親	兄弟姉妹	祖父	祖母	友達	先生	ない 相談 できる 人はい	相談 したく ない	その他	無 回答
問 1 - 1 性別	全体	195	35	97	25	3	15	95	18	4	36	6	1
		100.0	17.9	49.7	12.8	1.5	7.7	48.7	9.2	2.1	18.5	3.1	0.5
	男	100	26	54	10	2	6	45	10	2	19	2	1
		100.0	26.0	54.0	10.0	2.0	6.0	45.0	10.0	2.0	19.0	2.0	1.0
女	94	9	42	15	1	9	49	8	2	17	4	-	
	100.0	9.6	44.7	16.0	1.1	9.6	52.1	8.5	2.1	18.1	4.3	-	

3. あなたの自由時間について

問7 休日（夏休みを除く）は、何をすることが多いですか。（〇は3つまで）

◆ 休日は「部活動をする」が54.9%

休日の行動については、「部活動をする」が54.9%と最も多く、次いで「パソコン・メール・ゲームをする」が44.1%、「友達と遊ぶ」が40.5%の順になっています。

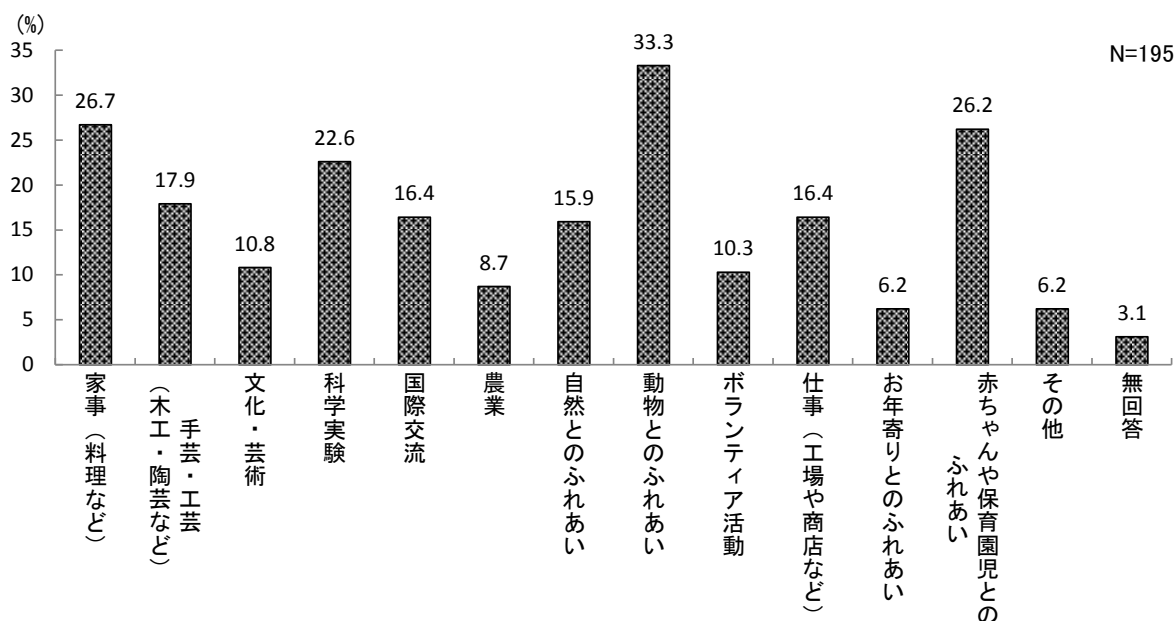


問8 今後、あなたがやってみたい（体験してみたい）と思うことは何ですか。（〇は3つまで）

◆ 「動物とのふれあい」が33.3%

やってみたいことは、「動物とのふれあい」が33.3%と最も多く、次いで「家事（料理など）」が26.7%、「赤ちゃんや保育園児とのふれあい」が26.2%の順になっています。

男女別でみると、男性は、「科学実験」（33.0%）、「動物とのふれあい」（30.0%）、「仕事（工場や商店など）」（26.0%）が多く、女性は、「赤ちゃんや保育園児とのふれあい」（42.6%）、「動物とのふれあい」（37.2%）、「家事（料理など）」（31.9%）が多くなっています。ボランティア活動は、男性12.0%、女性8.5%となっています。



【性別】

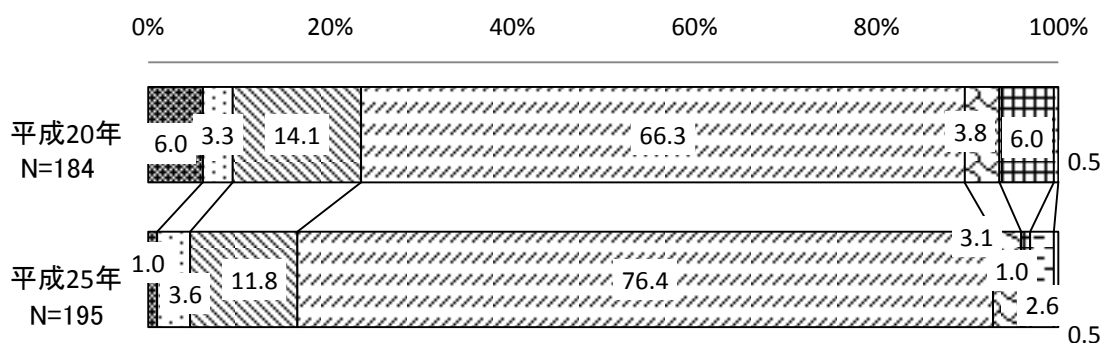
		問8 今後、あなたがやってみたい（体験してみたい）と思うことは何ですか														
		全体	家事（料理など）	工芸・陶芸（木工）	文化・芸術	科学実験	国際交流	農業	自然とのふれあい	動物とのふれあい	ボランティア活動	仕事（工場や商店など）	お年寄りとのふれあい	赤ちゃんや保育園児とのふれあい	その他	無回答
問 1 - 1 性別	全体	195	52	35	21	44	32	17	31	65	20	32	12	51	12	6
		100.0	26.7	17.9	10.8	22.6	16.4	8.7	15.9	33.3	10.3	16.4	6.2	26.2	6.2	3.1
	男	100	21	16	6	33	16	12	19	30	12	24	5	10	8	3
		100.0	21.0	16.0	6.0	33.0	16.0	12.0	19.0	30.0	12.0	24.0	5.0	10.0	8.0	3.0
女	94	30	18	15	11	16	5	12	35	8	8	7	40	4	3	
	100.0	31.9	19.1	16.0	11.7	17.0	5.3	12.8	37.2	8.5	8.5	7.4	42.6	4.3	3.2	

4. あなたの地域での生活について

問9 近所の人とは、現在どの程度付き合いをしていますか。(〇は1つ)

◆ 近所との付き合いは「顔が合えば、あいさつをする程度」76.4%

平成25年の調査では、「顔が合えば、あいさつをする程度」が最も多く、76.4%となっています。経年比較すると、「顔が合えば、あいさつをする程度」が10.1%増えて76.4%、「よく行き来し、世話したりする家族同然の付き合い」と「近所にどんな人が住んでいるのか分からない」が5.0%減って1.0%となっています。いずれの年も「顔が合えば、あいさつをする程度」が最も多くなっています。

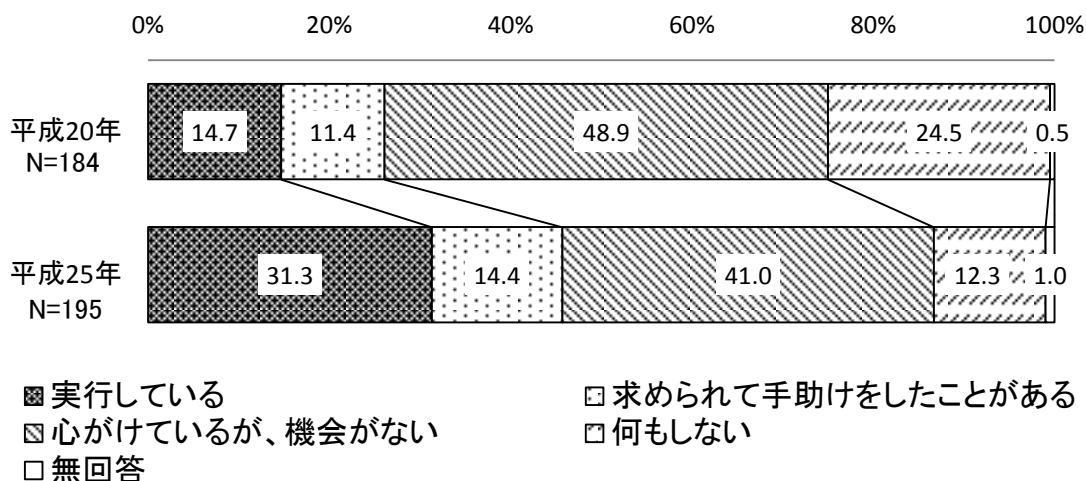


- よく行き来し、世話したりする家族同然の付き合い
- ▣ よく行き来はするが、家の中までは入らない
- ▤ 顔が合えば、立ち話をする程度
- ▥ 顔が合えば、あいさつをする程度
- ▧ 顔は知っているが、声を掛け合ったことはない
- ▨ 近所にどんな人が住んでいるのか分からない
- 近所付き合いはしない
- 無回答

問10 あなたが日ごろ生活している中で、困っている人を見かけたときは、手助けをしていますか。(例 荷物を持ってあげたり、バスや電車で席をゆずったりするなど) (〇は1つ)

◆ 手助け「実行している」が約3割

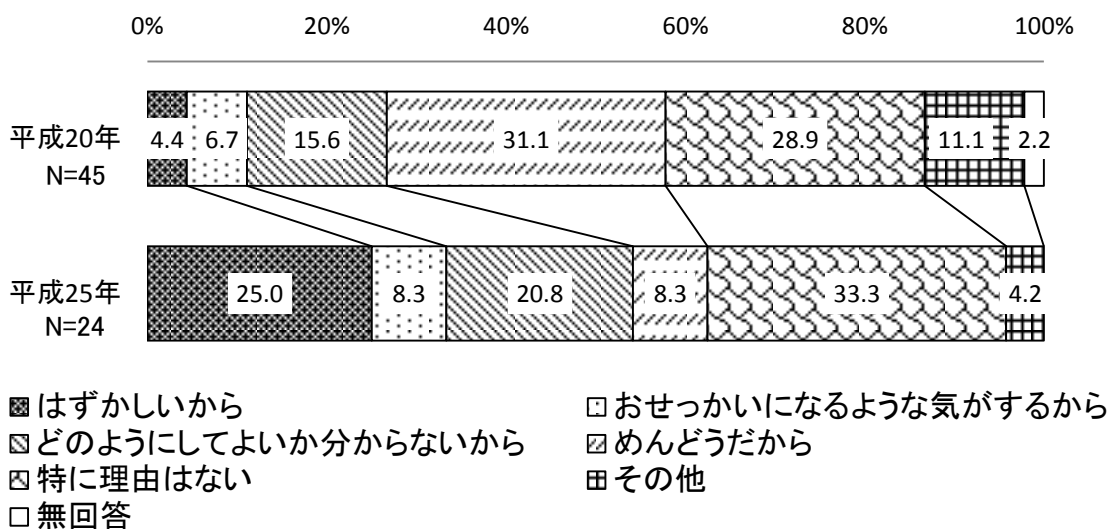
平成25年の調査では、「心がけているが、機会がない」が最も多く、41.0%となっています。
 経年比較すると、「実行している」が16.6%増えて31.3%、「何もしない」が12.2%減って12.3%となっています。いずれの年も「心がけているが、機会がない」が最も多く4割以上となっています。



問10-1 「4 何もしない」を選んだ人は、主な理由をお答えください。(〇は1つ)

◆ 「何もしない」理由は「特にない」が33.3%

平成25年の調査では、「特に理由がない」が最も多く、33.3%となっています。
 経年比較すると、「はずかしいから」が20.6%増えて25.0%、「めんどうだから」が22.8%減って8.3%となっています。

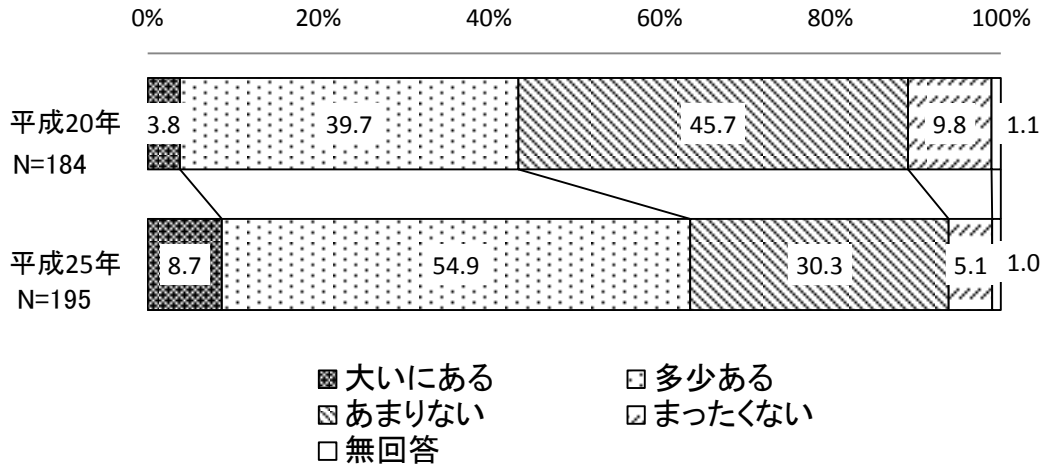


問11 あなたは、地域の助け合いや福祉などに関心がありますか。(〇は1つ)

◆ 関心「多少ある」が54.9%

平成25年の調査では、「多少ある」が最も多く、54.9%となっています。

経年比較すると、「多少ある」が15.2%増えて54.9%、「あまりない」が15.4%減って30.3%となっています。



【問11で「1 大いにある」か「2 多少ある」を選んだ人は、以下の質問にお答えください。

問11-1 主な理由をお答えください。(〇は1つ)

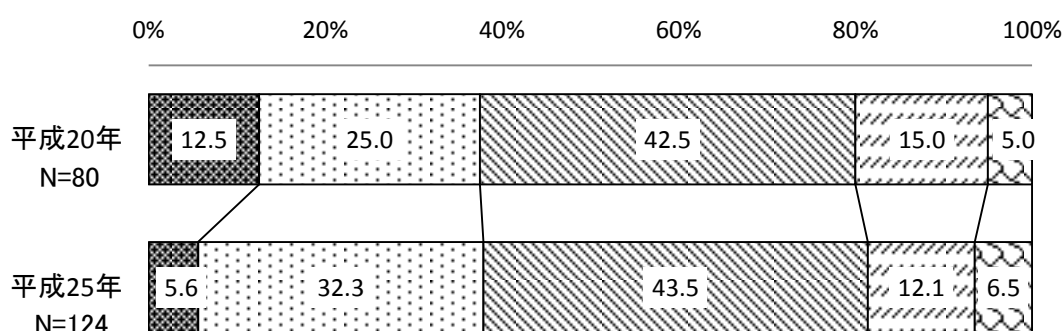
◆ 「ボランティアを経験し、やりがいがあった」43.5%

平成25年の調査では、「ボランティアなどを経験し、やりがいがあったから」が最も多く、43.5%となっています。

経年比較すると、「学校の総合的な学習などで取り組んだから」が7.3%増えて32.3%、「身近に福祉サービスを受けている人がいるから」が6.9%減って5.6%となっています。

いずれの年も、「ボランティアなどを経験し、やりがいがあったから」が最も多く、4割を超えています。

男女別でみると、「ボランティアなどを経験し、やりがいがあったから」と答えたのは、女性より男性が多くなっています。



- 身近に福祉サービスを受けている人がいるから
- 学校の総合的な学習などで取り組んだから
- ▨ ボランティアなどを経験し、やりがいがあったから
- ▩ 地域社会の一員としての自覚があるから
- 〇 その他

【性別】

		問11-1 「1.大いにある」「2.多少ある」を選んだ人は、主な理由をお答えください					
		全体	が身近に福祉サービスを受けている人がいるから	だ習学校などの総合的な学習などで取り組んだから	いをボラが経験した、いやなどが	かして地域の社会自覚の一員である	その他
問1-1	全体	124	7	40	54	15	8
		100.0	5.6	32.3	43.5	12.1	6.5
性別	男	60	2	18	29	8	3
		100.0	3.3	30.0	48.3	13.3	5.0
	女	63	5	21	25	7	5
		100.0	7.9	33.3	39.7	11.1	7.9

【問11で「3 あまりない」か「4 まったくない」を選んだ人は、問11-2、11-3の質問にお答えください。】

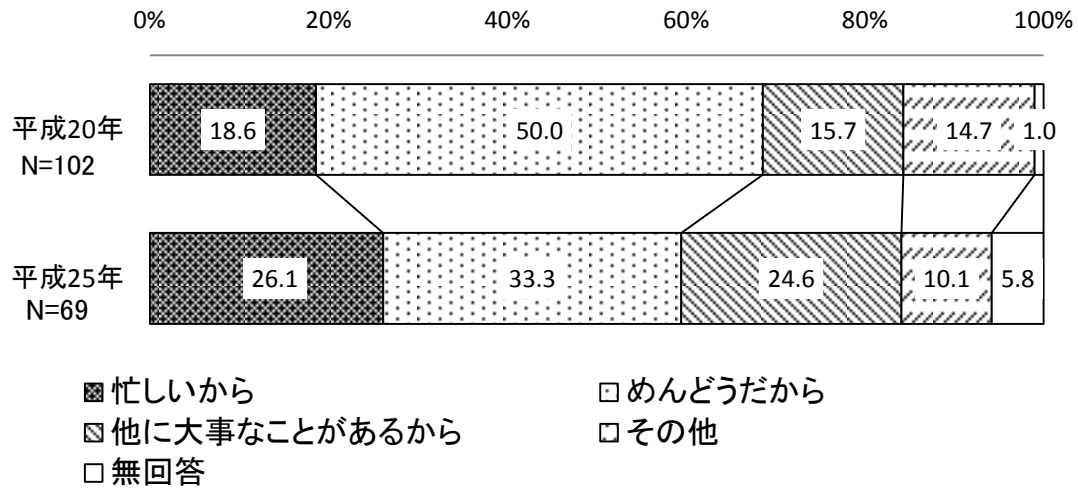
問11-2 主な理由をお答えください。(〇は1つ)

◆ 「めんどうだから」33.3%、「忙しいから」26.1%

平成25年の調査では、「めんどうだから」が最も多く、33.3%となっています。

経年比較すると、「他に大事なことがあるから」が8.9%増えて26.1%、「めんどうだから」が16.7%減って33.3%となっています。

いずれの年も、「めんどうだから」という理由が最も多くなっています。

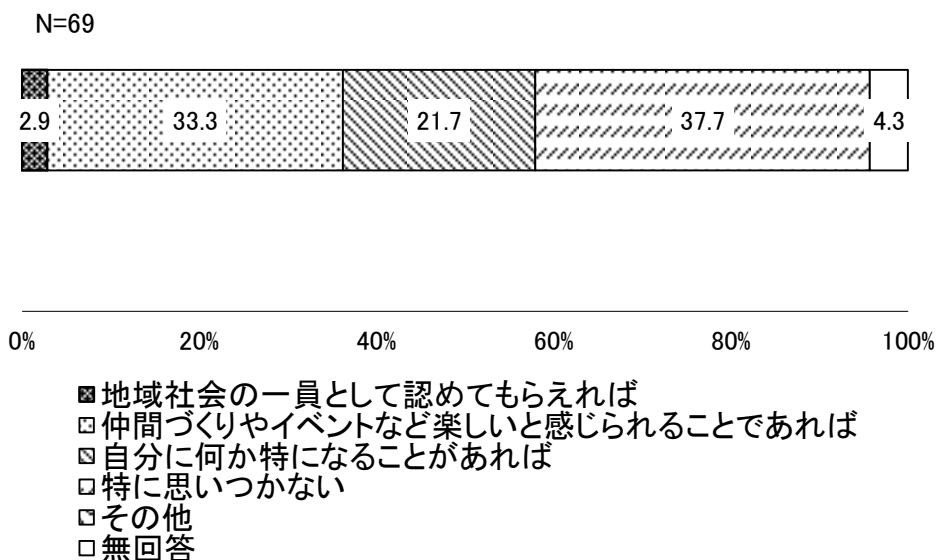


問11-3 地域の助け合いや福祉に関心がない場合は、どのようにしたら興味がわくと思いますか。(〇は1つ)

◆ 「特に思いつかない」と回答した人が37.7%

福祉等に関心を寄せるためには、「特に思いつかない」が37.7%と最も多く、次いで「仲間づくりやイベントなど楽しいと感じられることであれば」が33.3%、「自分に何か得になることがあれば」が21.7%、「地域社会の一員として認めてもらえれば」が2.9%の順になっています。

性別でみると、男性は「自分に何か得になることがあれば」という意見が女性より多くなっています。



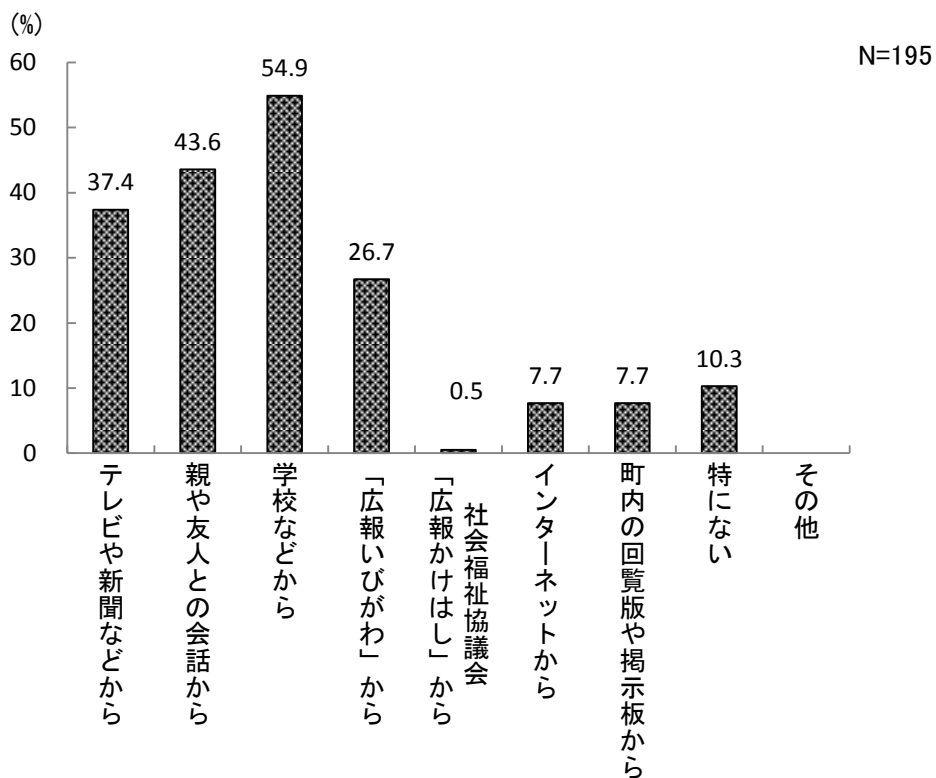
【性別】

		問11-3 地域の助け合いや福祉に関心がない場合は、どのようにしたら興味がわくと思いますか						
		全体	地域社会の一員として認めらる	感じられる	仲間づくりやイベント	自分に何か得になる	特に思いつかない	その他
問1-1 性別	全体	69	2.9	23	15	26	-	3
		100.0	2.9	33.3	21.7	37.7	-	4.3
	男	38	-	11	12	14	-	1
		100.0	-	28.9	31.6	36.8	-	2.6
	女	31	2	12	3	12	-	2
		100.0	6.5	38.7	9.7	38.7	-	6.5

問12 あなたは、地域活動や福祉活動の情報をどこから入手していますか。(〇は3つまで)

◆ 情報は「学校などから」入手、54.9%

情報の入手先は、「学校などから」が54.9%と最も多く、次いで「親や友人との会話から」が43.6%、「テレビや新聞などから」が37.4%となっています。



5. 地域活動、ボランティア活動について

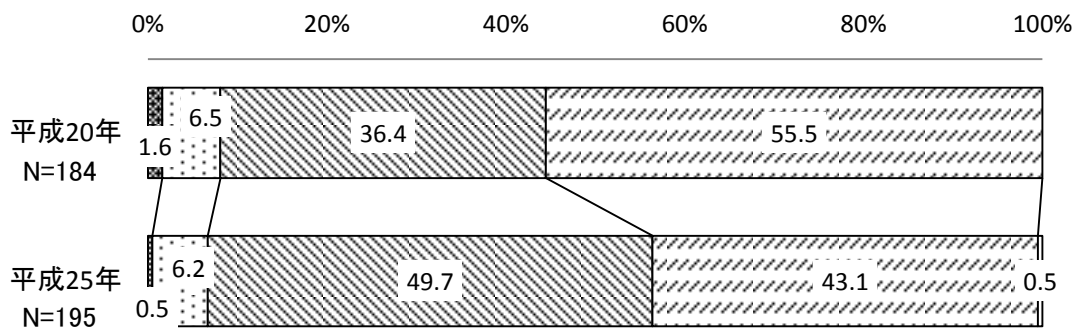
問13 あなたは社会福祉協議会を知っていますか。(〇は1つ)

◆ 「名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」約5割

平成25年の調査では、「名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」が最も多く、49.7%となっています。

経年比較すると、「名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」が13.3%増えて49.7%、「名称も知らない」が12.4%減って43.1%となっています。

いずれの年も、「名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」「名称も知らない」が多くなっています。



- 名称を知っているし、どんな活動をしているかも大体知っている
- 名称を知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている
- ▨ 名称は知っているが、どんな活動をしているかは知らない
- ▤ 名称も知らない
- 無回答

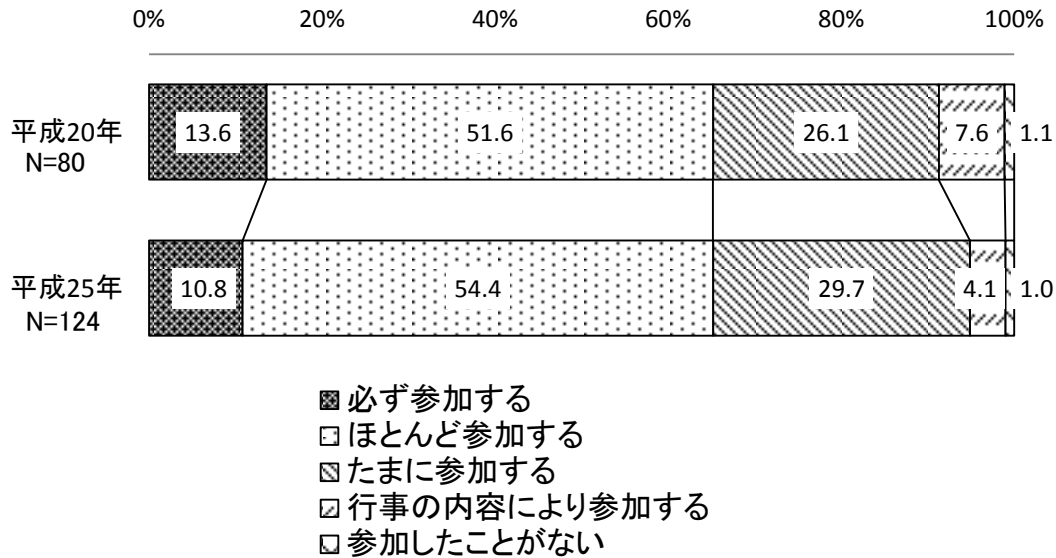
問14 あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。(〇は1つ)

◆ 「ほとんど参加する」54.4%

平成25年の調査では、「ほとんど参加する」が最も多く、54.4%となっています。

経年比較すると、「たまに参加する」が3.6%増えて29.7%、「行事の内容により参加する」が3.5%減って4.1%となっています。

いずれの年も、「ほとんど参加する」が最も多く、5割以上となっています。

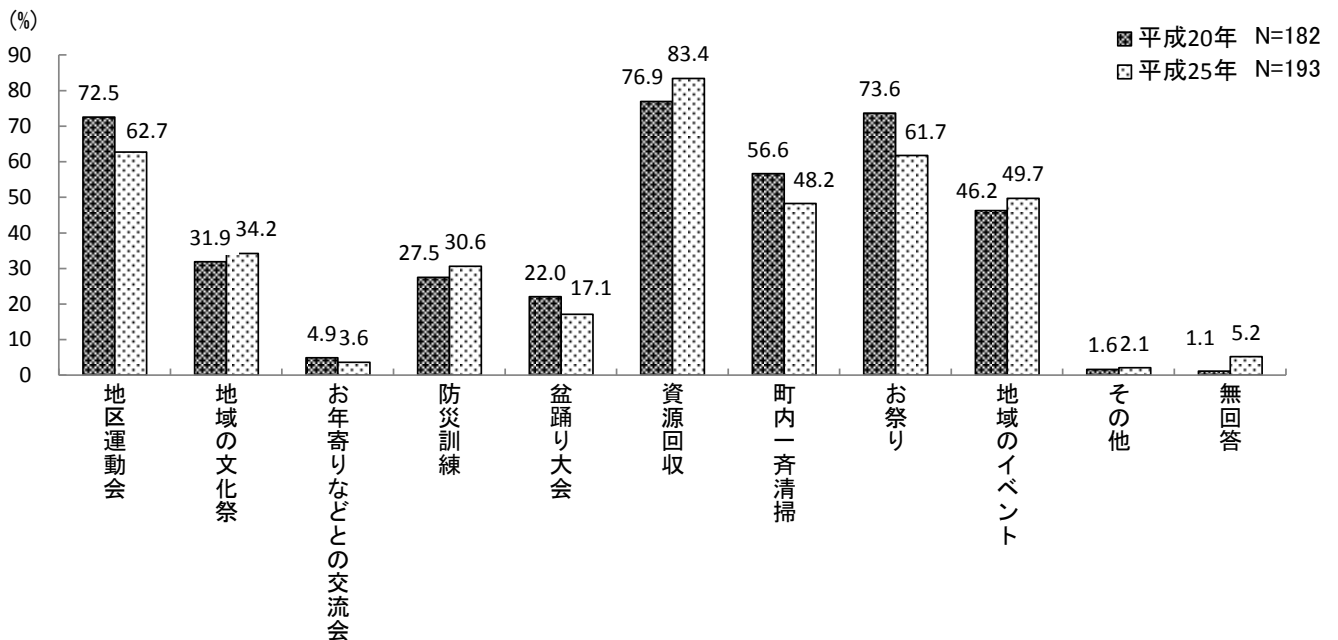


問14-1 「1」から「4」を選んだ人は、どんな行事に参加していますか。(あてはまるものすべてに〇)

◆ 「資源回収」83.4%が参加している

平成25年の調査では、「資源回収」が最も多く、83.4%となっています。

経年比較すると、「資源回収」が6.5%増えて83.4%、「お祭り」が11.9%減って61.7%となっています。いずれの年も「資源回収」が最も多く7割を超えています。



問15 あなたは、現在ボランティア活動に参加していますか。(〇は1つ)

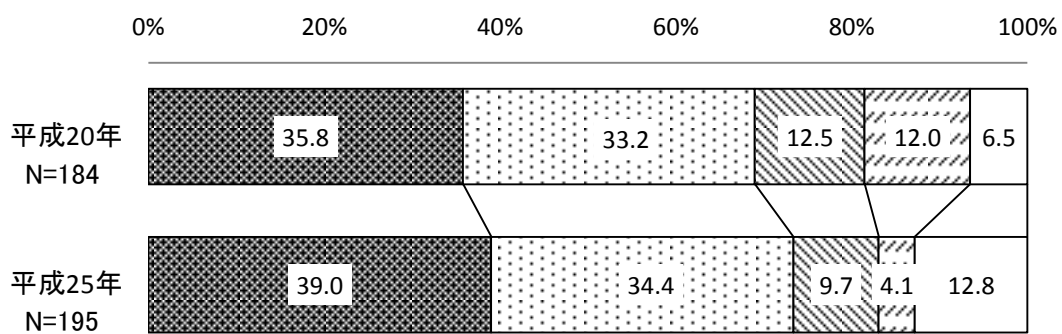
◆ 「ボランティア活動に参加している」4割弱

平成25年の調査では、「参加している」が最も多く、39.0%となっています。

経年比較すると、「参加している」が3.2%増えて39.0%、「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が7.9%減って4.1%となっています。

いずれの年も、「参加している」が最も多くなっています。

「ボランティア活動の経験がある」(「参加している」+「以前に参加したことがあるが、現在は参加していない」)人は、平成20年では69.0%、平成25年では73.4%と、4.4%の増加となっています。



■ 参加している

□ 以前に参加したことがあるが、現在は参加していない

▨ まったく参加したことはないが、今後は参加したい

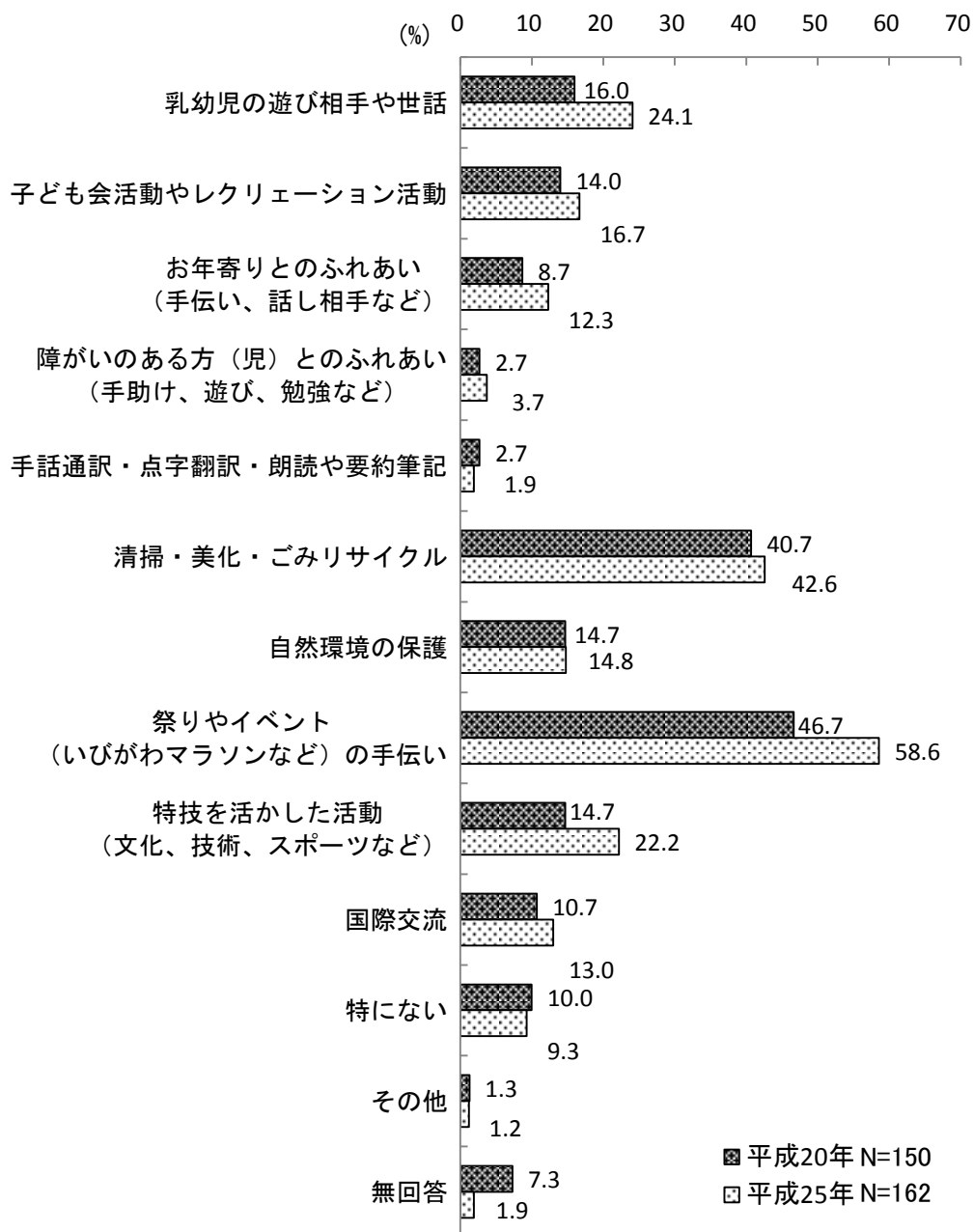
▩ まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない

□ 無回答

問15-1 「1」から「3」まで選んだ人は、今後どのようなボランティア活動に参加したいですか。(〇は3つまで)

◆ 「祭りやイベントの手伝い」 58.6%

参加したいボランティア活動は、「祭りやイベント(いびがわマラソンなど)の手伝い」が58.6%と最も多く、次いで「清掃・美化・ごみリサイクル」が42.6%、「乳幼児の遊び相手や世話」が24.1%となっています。

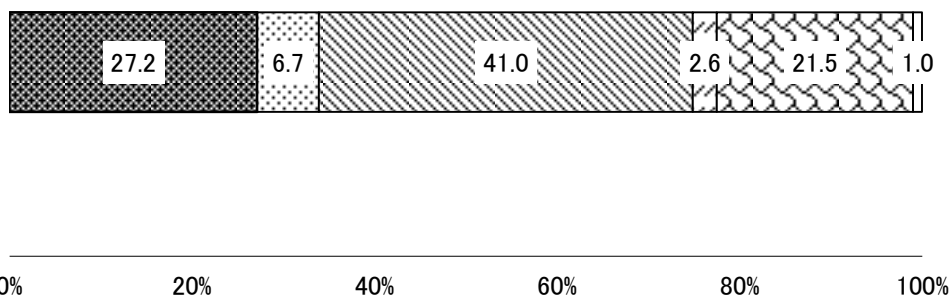


問16 福祉に関して、あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は1つ)

◆ 「福祉は、地域住民によるたすけあいと行政との協力によって行った方がよいと思う」が4割以上

福祉に関する考えは、「福祉は、地域住民によるたすけあいと行政との協力によって行った方がよいと思う」が41.0%と最も多く、次いで「自分や家族ができるかぎり努力した方がよいと思う」が27.2%、「わからない」が21.5%となっています。

N=195



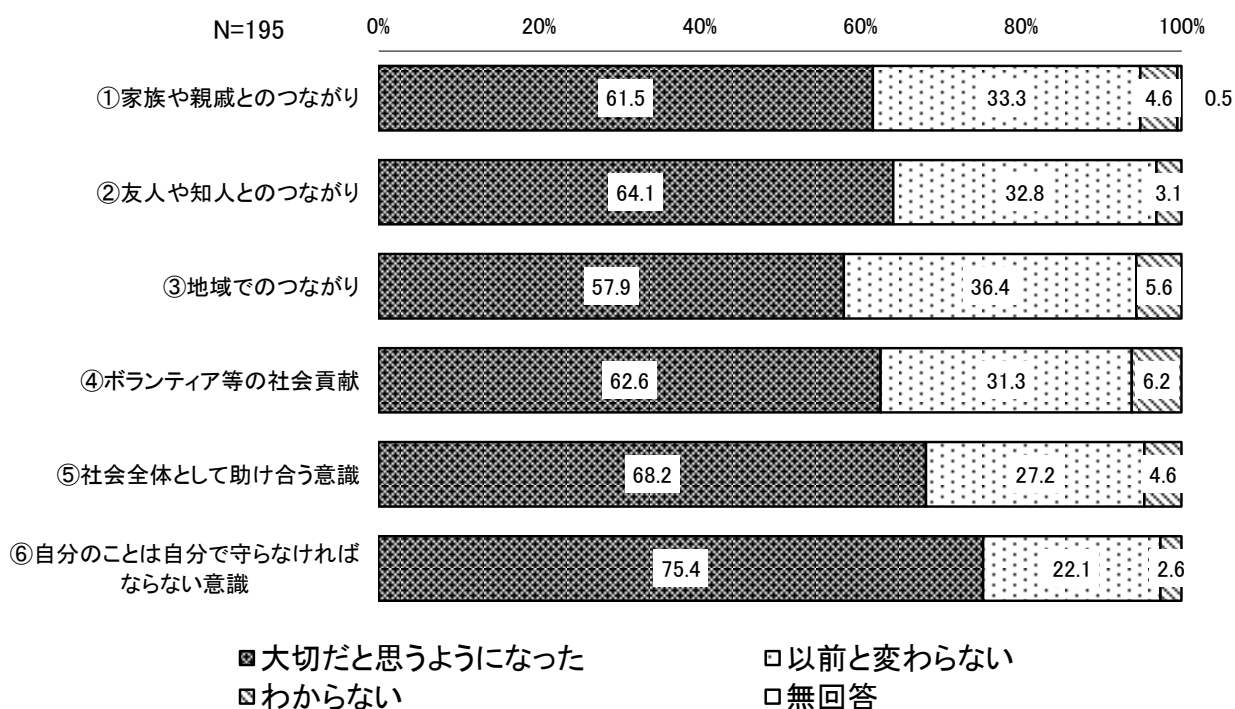
- 自分や家族ができるかぎり努力した方がよいと思う
- 福祉は、行政(国や町)が責任をもって行った方がよいと思う
- 福祉は、地域住民によるたすけあいと行政との協力によって行った方がよいと思う
- その他
- わからない
- 無回答

問17 東日本大震災以前（平成23年3月11日以前）と現在を比べて、以下の項目について考え方が変わりましたか。（各項目の番号に1つだけ○印をつけてください。）

◆ いずれの項目でも“大切だと思うようになった”人が5割以上

東日本大震災以降の考え方については、「大切だと思うようになった」と回答した人は“自分のことは自分で守らなければならない意識”が最も多く75.4%になっており、次いで“⑤社会全体として助け合う意識”が68.2%となっています。

また、「以前と変わらない」と回答した人は“③地域でのつながり”が36.4%と最も多く、次いで“①家族や親戚とのつながり”が33.3%と多くなっています。



自由回答

一般町民自由回答

問47 高齢化、人口減少などが進むと限界集落（65歳以上の人が50%以上を占める集落）となり、集落の維持が難しくなってきます。こうした課題に対して、どうしたらよいとお考えになりますか。ご自由にお書きください。

意見	件数
雇用	84
若者の働く場の確保	31
働く場の確保	12
若者の労働場所の確保や支援をする、住宅の確保などを進める	4
交通の便を良くし、働く所が近くにあるといいと思う	3
あたり前の事ですが、限界集落には若い人の魅力ある仕事がない事なのではと思います。道路は昔に比べて良くなって来ていますが、今一つ何か足りないような気がします。	1
揖斐川町の田んぼ・畑について 高齢化により維持が難しくなっている方が多くなっていると思います。又、揖斐川町では、働く、場所が少ないため、農業を支援してはどうでしょうか。(栽培、販売、機械リースなど)	1
今から考えても遅い、若い人の働く場所のないのが、人口を減少させた。	1
国や地方自治体が挙げて、地方(限界集落)が出来ない様、働く場の構築や、そこで働く人たちに対する税制面の配慮(税率の低減下や無税)して、地域を活性化する。人が集まり易くする。経済面で有利にする。行政の一大改革が必要。	1
現金収入を得られる扱いにする。(林業を中心に)若い人が働く職場がある。	1
現在有る観光地設などはなるべく地域の人を利用して働く場所を作っていただきたい	1
高齢者の方の子供さんを一緒に住める様考える。息子さん、娘さん1人でも良い、働ける場所の確保。	1
子供が家を継ぐようにする。そのためには、近くに働ける場所が必要。	1
子供達に集落からはなれないよう働く場所を作る事。工場などぶらぐで活やく出来る場所をどんどんふやしてほしい。	1
山間部には、企業誘致はむづかしいけど、働くところがなければ、若者の定住はなく、老人ばかりになって行く。	1
山林の活用(山林のオーナーをふやしたり、植林事業をしたり、就労をふやす)	1
仕事がない＝収入がない＝住めない という事になるので、収入源になるものが多くあればいいと思います。	1
集落でPRできる処をピックアップし、集約し老若男女が働く場所を提供する	1
職場環境の充実化	1
近くに工場など働く所さえあれば、都会へ若者が行かずに住んでくれる様になります。町の税金も安くなります。今は高いと思います。(完全同居でなくても良いので)農地は少しずつ減っても仕方ないと考えます。	1
近くに若い年齢層の方々が働ける工場等が少ないのでは、又大野町や池田町に比べ、交通の便も悪い。	1
通勤可能な地域の就労の充実	1
定年後故郷に帰ってゆっくり後の人生の生活が出来る少し働ける場所があれば良い。福祉が十分であれば子供の所に行かなくて良い生活の出来る場所。家。	1

都会には都会でしか、田舎には田舎としての、出来ることもあるので、都会の仕事を田舎にももって来てほしいです。	1
農業の時代ではありません。機会があれば大手の会社を入れ工業化しなくては若者の働く場所がありません。若者の住み良い町＝働く場所を作る事に専念頂きたい 又谷汲が良い例で揖斐もたとえば堤防に桜の木、花桃でも良いが春1時でも良い花1杯になるよう植える事もいいかと…	1
働く場所の確保、定住化の促進が必要だと思う	1
不便だったり、仕事が遠いから人が出てくのだからそれが解消しなければ人口は少なくなる一方だと思う。	1
魅力ある職場を町内に。	1
もっと働き口が揖斐郡内、または近辺にあればどうでしょうか。子育て中の主婦にも、時間や子供の都合により、少し融通が利くとありがたいと思います。	1
若い人が住むには、働く場所がある事が第一条件だと思う。 「会社」とかだけでなく、揖斐川町ならではの観光等、次世代を見すえた計画を少しずつでもたてていかないとけない。(即効性はなくても)住居を考えるにしても、広い土地に安く一戸建てが建てられるなど、街にはない「いいな～」と思える、「欲しい」と思える物件も発信する必要があるのでは？	1
若い人が働く場所をつくる。若い起業家を応援・招致するシステム作り	1
若い人が働ける職場が近いところがあれば 若い人も親もとで暮せると思います。	1
若い人達が働く場所。外へ出ている若い人達が地元へ来て皆んなで一つの事、(まつり)、(何か行事) 年に一度でも皆んなで力合わせてやる事があるから帰って来てくるこんなことでも良いと思う。	1
若い人達が働ける場所(パート等)工場が出来ると人口の減少もすくなる事と感ずます	1
若い人の雇用促進と地域の見守りの体制づくり	1
若い人の職場の確保…収入、生活の安定。その土地の魅力作り	1
若い女性が外に出て行かず揖斐川で住んで仕事場の出来る工場を作り、安心して子育ての出来る生活が出来るとよいと思う	1
若者が働く場所が無いので人口は減っている。今は結婚しても親と一緒に住まないから！	1
若者の働く場所がないためにこのような状況に成っている。こんな事は平成の始めからでも分かっていたこと、今さら何の手当もつけようがないのが現実だと思う	1
企業誘致	60
企業の誘致。	9
企業を誘致し若者の働く場所を確保。	8
町内に企業誘致し働き場所の確保。	6
若者が土地を離れないように、工場誘致に力を入れてほしい。	5
働く場所(大企業など)を確保する	4
工場の誘致。若い人が仕事ができるようにする	2
2世帯でも住めるようなゆとりある住宅環境と企業誘致	1
改たな企業が進出できる環境。	1
揖斐川町及び揖斐郡に会社つくる事	1
企業・工場・モール商店の誘致で地域雇用の場を増大させ、若者の地域外への流出を防ぎ、地域の活性化を図って欲しい。	1
企業の誘致、自然を生かした何かを見つける(若者が魅力を感じる様な何か?)	1

企業への協力	1
企業誘致と雇用拡大(山間部への都市部からの移住促進(定住のメリット等)※プロジェクト化が必要	1
企業誘致や、ディズニーランドの様な集客力のあるテーマパークなど、若者、現役世代の働く場所が近くにあれば、地元に住め、子供も増えると思います。	1
公害の少ない工場を誘致し、若者が都会へ出ていなくても働ける場所を作ってやる。	1
工場や、商業施設が出来て若い人の職場が出来れば良いと思います。	1
仕事を町内で、さがせるように、企業を誘致する。	1
人口減少の理由をよく考えてほしい若者の住みにくい街の将来はないのでは？行政にもよく考えて頂きたい。(企業を呼ぶなど)	1
人口を減らクリーンな企業を誘致し、若者の働く場を創生する事が重要です。また、近隣の市町村への道路網を整備し、通勤をし易くすることも必要と考えます。	1
特産物生産の企業参加を進める	1
中山間地に適した企業誘致	1
働く場所の確保 企業の誘致は勿論のこと森林の活用・(※間材の無性による、森林の保全と併せ発生材の利用を考える)	1
働く場所を誘地して確保することが必要、若者の流出、町内に住んでも生活の基盤がない。人も経済も外へ行ってしまっている。東海環状道を起爆剤として企業、観光話しを進め安定した共感が得られる街づくり、経済心基盤、その上に人が集まり福祉も充実する、平行に安全、安心な街づくりの推進	1
若い世代が住みやすい町づくり。具体的には、工場誘致など働く場の確保や町民税の軽減	1
若い世代も高齢世代も現役で働くことができる仕事 企業が必要	1
若い人達が都市へ移住する原因を考えると若者たちの働く職場が少ない事が大きい原因だと思います。農地をつぶしてもよいから大きな企業、工場を誘致したらどうでしょうか	1
若い人たちの働く場所の確保、そのための工場等誘致、さらに大学の誘致、また既存の観光資源の活用及び新規発掘。そのためのシンクタンクの充実及び隣接市町村との協力。	1
若い人の働く場所が少ないと思います。企業誘致が大切と思う	1
私も子供が3人いますが地元で働いている子供もおります。将来は近くに住んでくれたらと願います。	1
若者が住みたくするような町作り。商業施設や大企業の誘致	1
若者が住みやすくするように配慮する。若者が働けるように企業誘致したり、住居も、格安で提供できるようにする。	1
若者の就業できる企業を誘致し働き場所を求めて町外へ転出するのを防ぐようにすると町の財政もうるおい住みやすくなると思う	1
高齢化と人口の減少を止めることは出来ないが遅らすことは可能。そのためには、若者の働ける場所の提供。工場の誘致と冬期の除雪対策以外にない。一方地域特産物の開発、観光地の開拓、北陸地域との道路整備による交通アクセスの確保を行うことが喫緊の課題を考える。	1

交通	51
交通の便を良くする。	9
道路整備	5
医療機関等への送迎	3
公共交通機関の整備。	3
道路の除雪	2
いろいろな考え方を思うので難しい課題です。	1
春日など道路整備で以前より近く感じたりするのでいろいろな方向から利便性を高めることが大切だと思います	1
買い物がとても不便。交通手段が困難]が解決すればとても住み良い所です。	1
各隣接をむすぶ道路が必要	1
春日の場合、住宅地には危険箇所が多いこと。自宅から道路まで階級や急な坂があり、身体が不自由な人にとって生活が大変である。等、体が不自由になると生活が不便であるので、これが解消されないと集落の維持がむづかしい 自宅から本道までの小道の便が良いこと、高齢者になっても自立できる環境が整備されていること(車に乗れなくなった人でも食材の入手が可能 etc)	1
近隣都市、岐阜、大垣への交通手段が不便	1
車が、あれば住みやすい町だと思います。私も、これから高齢者となる身、週一でも、自由に使える車を、用意してくれるといい。交通機関が充実していても、荷物も重い。(運転手付き)	1
車がないと、どこにも行けないような生活は、今後、高齢者の方にも大変になります。自然を残しつつも、道路を広げるなどをしていただだけでも他県からの人も来てくださるのではないのでしょうか。	1
現在は養老鉄道が運行されて孫が通学していますが、今後も存続していければいいのですが……私共も電車が無くなると私用(病院)で大垣方面へ行けなくなります。	1
高齢者向け福祉バスの増化を図りたい。	1
高齢に伴い、車の運転をやめたため、病院に通院しづらくなった人がいます。また、バス停までの坂道が歩きづらくなったり、バスの本数が少ないので、時間を多くとられ、それだけで疲れてしまう、お年よりもたくさんいます。同じ方面に向かう人が、3~4人集まれば、利用できるような、タクシーやワゴン車などの交通手段を早急に考えてほしいです。できれば、家まで届けられるような乗り合いの車があるといいです。また、中・高生もバスの本数が少なかったり早朝や夜のバスが少ないので通学に不便を感じています。小回りのきいた、公共交通機関を早急に考え実行してほしいです。子どもと老人の住みやすい町にしてほしいです。	1
コミュニティバスの充実をしてはどうか、コミュニティバスは町外へもつながる方が良いのでは。 (老人の買物・通院のため)	1
これからの季節、雪は多いし、車がなければ見動きがとれない	1
コンビニもなく自分の足でかいものにも行けない。車乗れるうちはいいけど乗れないなら町へ住み移りたい	1
坂本~横山間のトンネルが出来ると通勤通学に便利になるので若者も増加し、人口も増えるのではないかと思います。	1
山間部は、交通の便が悪いため、送迎や買い物のサービスが必要。	1
仕事にかよう道路が、メチャメチャわるい、あぶない。	1
集落のマージ(統合)の為にインフラ整備。様々な問題は有るでしょうが……	1
ショッピングセンター、スーパー等の循環バスで買い物に行けるようにする	1

デマンドバスの導入	1
道路の整備で通勤、学校への送迎など、苦にならずに通えて、住居も町営住宅を利用しながら、家族と身近な所で、生活ができる様に今以上に道路、住宅の利用をもっと便利にしてほしい。	1
年を取って来ると車の運転も出来なくなります。今はまだバスも利用することもありませんが今にお世話にはと思います。家の近くまでバスが来てもらえるので、うれしくなると思います。	1
バスが1時間に1本はほしい 車に乗れない由、病院へいく時帰りにも困るのでよろしくお願い致します。	1
毎日の買物とか 車に乗れなくなった時 コミュニティバスが有ると便利だと思う。家の近くで乗り降りできるといいと思う。	1
町により。移動スーパーがあるといいと思います。お金があっても、物が買えない、足がない。	1
町まで通勤が出来やすい道路を作って貰いたい	1
周りに交通の便もなく、子供もスクールバスを使用するので、学校帰りのにぎやかな声も姿も見れなくなり、淋しい部落になってしまった。それでは、声をかける事もなく、益々老人は、淋しくなる。	1
若い子は子供の通学などがこまるので出ていかざるしかない	1
私たちは車にのれません。もっと乗り物を増やしてほしい	1
私は高齢となり町方へは車の運転を止めています。コミュニティバスで毎日2回病院や買物に利用して居り助かって居ります利用者は少ないので先行が心配ですが、交通弱者には全く有難い存在ですので、いつまでも運行して戴く事を強く希望しています	1
行政	50
合併していく	2
住民税を安くする	2
3.5,10年先と具体的な町の計画(案)を示してほしい。	1
65才以上になりつつある人達がどの様に行政をささえてきたか考えれば答は見つかる	1
ある程度は、行政が介入する。	1
今、町ではむだな建物(町の公民館等)を建築しようとして、土地買収して税金を使っている。 人口がへって大きな建物等は不要になるし、ずっと管理していかなければならない。年よりばかりで税金はとれないし、高齢者は医者にかかる率が多くなるから、今までの建物等で充分である。揖斐川マラソンにしてもゴミばかり落としていだけで、お金は落としていくの？ 町議の数をもっとへらして下さい。そして彼らも定年制にして下さい。月給制もやめて！	1
今すでに限界集落である。行政の積極的な対応をお願いしたい。	1
お金のふたんが多い為 少しでもふたんが少なくなるようにしてほしいです。	1
基本的には住民の力による維持だが、それも困難となれば行政が手を差しのべるしか方法はないのではないのでしょうか。	1
教育者、有識者の方の、識見など豊かな人を造り子供に未来をたくしていける大人を、行政がつくってほしい。	1
行政コストがかさむので、コンパクトシティが理想…	1
行政事が課題ばかりで記入しても対応できない体制になっている。①高齢化 ②人口減少)課題の内容を町報にて記載するのを楽しみにしています。	1
行政と個人が助けあった形でのプライベートが守られる様な集落ができると良いと思います。お互い自立にいる事が必須だと思いますが、	1
行政の箱物造り傾向が見られる。箱物より大切なことがあることに行政は気付いて欲しい。	1

国の施策は勿論のこと 町行政も一般と福祉の面に力を入れてもらった	1
限界集落となることを止める事はできないと思いますが、できればその地で生涯を終えたいと考える人は多いと思います。長く生活できるために高齢者福祉を今以上に充実する必要がある。特に包括支援センターの充実と社会福祉協議会の強化が大切と思う。	1
限界集落の人、個別に何が行政に必要か聞いて回り、住みよいうに環境を作ることがよいと思います。	1
現在進められている下水道工事の見直し及び縮小に即刻取り組むべきです。浄化槽で十分ではないでしょうか。将来に於いて、莫大の維持管理の負債を残す事になり、町民に過酷な負担を強いる事になる事は避けられません。夕張のように財政破綻しないようにして頂きたい。近隣市町村の中で揖斐川町が一番、個人負担の少ない町だと自慢できれば、人口の流出防止の1つになるのではないのでしょうか。	1
公共の施設が、旧揖斐川町へ集中するのは、限界集落が増える要因の1つだと思います。福祉の施設を町内に点在させそこを巡回する	1
公的な頼れる人がだれなのかはっきり知る機会がほしい。	1
高齢者のみの世帯でも安心して暮らせるように、行政の助け	1
支える若者がいない、行政が多額の経費をかけるのはヤメた方がよい。	1
住民税を免除する	1
住民の負担を少なくするため、役場職員を増加させてもよいので、行政において各種事業を実施する	1
集落の維持が難しくても行政が変わらず支援しつづけること	1
集落の子供は宝だから全て無料にして、集落から出ていった(親を置いて)子供から税金をとる。	1
人口は減っても自治会の組織がかわらないため、負担が大きくなっている。住む人にあわせた組織づくりや活動が必要だと思う。また、限界集落については、行政側が支援していくことはやむをえない。先進事例 etc を参考に、体制をととのえてほしい。	1
人口を減らさない為には、年金生活者が増大する中で、低所得者が住みやすい環境が必要と考えます。先ず第一には、町の行政に於いて、町民の為にならない出費を抑制し、財政の健全化を図り、町民の負担を軽減し、生活し易い環境にする事が必要です。高負担・低福祉の町には住みたくないのは当然です。	1
税金の使い道を今一度考えていただきたい。例 20歳まで、医療費タダ。赤字になるいび川マラソンの見直し、(サービスの程度)若い人が、住みたいと思える町づくり。	1
全国の自治体が必死で模索しているが、現在いづこも成果は挙げていない。当町も2040年には人口14000人と予測されている。この為には“compact city”を今から策定すべきと思う…が相変わらず”道路””箱物”に血道をあげている現状に良識ある町民はあきれて、何も期待していない	1
専門の研究会(協議会)を設立し、原案・代案を町民に公示する	1
町会議員さんが多すぎる様に思う。選挙前になるとペコペコ当せんしたらそりくりかえっている	1
町村合併が失敗だったと思う。交付金が入ると言う事で合併したと思うが、あと1年位で交付金がなくなった時の町の財政が心配です。	1
出来る限り、助け合を深めて、不安を少なく、楽しい地域になるように、心がけてほしい。(行政の方は、常にどうしたら良いか考えてほしい。)	1
年を取ると、外出が出来ないので、福祉などをたよる。	1
なってくるのではなく、現在がその状況になっている。町、区が同じ問題意識として考え、町、区の役員等の効率化を考え町民への負担を減らし、負担の少ない生活にする必要がある。例えば、リサイクルー生ゴミ・運動会、交通防犯等、区民への負担が以前よりも多く、負担となっている。高齢化に伴い年々、人選に苦慮している事から、国・県・	1

町と全体的に考えなければならない。	
福祉向上(医療・介護等)・雇用の増大・地域間格差の是正等の施策・政策の提起と推進	1
福祉施設	1
保健・医療・福祉・教育の連携…etcと言われているが、合併後の職員数増による対応策として、種々のジムを行われた様であるが、やはり削減する必要性の有無を吟味し、特に高齢化の顕著な地域には、「健康生活に関する支援の拠点」の人員は削減行わず、逆に復活させたい。保健福祉合体した組織要因を各村(旧)あるいは、合併当初の久瀬、谷汲には必要である。→住民の生活が見える所に居て、ニーズの把握と支援体制の構築を。	1
町(包括支援センタ等)、社協、地域が一体となって集落の支援を行う。	1
町が考え方を出して、どのようにして行くかが先ではないか、他市町村での取組状況も含めて考えてはどうか？	1
町が先導して(組織的にも)各世代の人たちに町の方針等が行き届くと良い	1
町職員を限界集落に駐在させる。	1
三輪地区揖斐祭りの子供歌舞伎が維持しにくくなっています。将来、町で管理して行く方向でお願いしたいです。	1
民生委員、児童委員、福祉委員、又は行政との関係をしながらより良い集落になる事を望んでおります。	1
りっぱな施設を作っても多額のお金が必要では、若い者にも負担が大きい	1
私の地区ではほとんど年金生活者で若い人のいる家庭は2割ぐらいです。そのほとんどが独身者でこのままですと自然消滅します。なんとか良い政策をお願いします。	1
老老介護が大きな問題となっていると思います。定期的な訪問や声かけが大事だと思います。保健師さんや行政の福祉の介入がこれからどんどん必要になってくると思うし、介護で困っている人が気軽に相談できる情報を流してほしい	1
高齢者	45
高齢者を集めて住める施設。(山間部の集落の維持は不可能のため、平野部に移動してもらう)	4
高齢者が働ける環境作り	3
高齢者の社会参加を推進する	3
老人ホームが安価で利用できることを望む	2
「65才はヤングだ」の気持で、高齢者自身が、やる気で前向きに生きたい。	1
60~80才の元気な人が出来る仕事、工場(チコリ村のような)を考え、いつまでも健康で頑張れる社会を願います。高齢者にも出来る事はあると思います。これからの時代に働く場所は必要だと思います。	1
65才~75才の人が高齢者と言われては困ります。何か仕事が出来れば働きたいと思っている人は沢山いると思います。仕事場があれば人とのつながりも声かけも挨拶も……いろいろ問題解決が出来るのではと毎日毎日考えます。収入が必要ではなく働く場が欲しいです。	1
揖斐川町は「老人の町」として「安心して死を向えられる町」をめざして、福祉・介護・医療等の「日本一老後を楽しく送れる町をめざすのが一番だと思います 介護の町 揖斐川町	1
駅周辺に、高齢の方々が安く住める環境を作るとよい。	1
春日に高齢者のための施設がほしいです。安心して住めます	1
可能な限り在宅で介護していただきたい。そのためには近隣で、相互に介助できるような、グループ活動を推進していただきたい。行政主導で介護ヘルパーを充実していただき、手厚く当たっていただきたい。	1
近所同志でお互いに、独居老人を気にかけるようにする。	1
近所の老人を助合い。の補助	1
限界集落で毎日 訪問するサービスを行う	1

限界集落に住む高齢者の方が生々と生活できるよう、また元気で生きがいをもって暮れせるよう都市部の人々との交流の事業を多く取り入れる。	1
健康なうちから、自分の身は自分で守る様、一人一人が意識して、毎日生活する、(食べ物、運動、生活習慣)など	1
高齢化、人口減少で限界集落で集落の維持が難しいと言い、乍ら、このアンケートの間の中には答えに○を打つのが難しいような日が沢山あります。矛盾を感じますヨ。いろいろな事業に参加することが困難であり、うっとうしいと思うものが多くあります。このようなアンケートをして、何が高齢者がホッとすることがあるのでしょうか。70才と73才の所帯ですが、今の処、何でもできます。毎回このようなアンケートを見て思うのですが「自分たちは元気だ!」と思い生活しているのに、逆に高齢、高齢と、耳ざわりな扱いの言葉にヘキヘキしています。年度末になると、〇〇委員、〇〇の役員と町内で交替の時期で、高齢者(65才以上)と称するなら65才以下で、役員をしてほしいです。区長も、65才以下と決めて下さい。	1
高齢化を受け止めて、働ける場所の提供少しでも収入が個々に入ってくる様な楽しんで体を動かさせていけたら、もっと生き生きと、生活も出来るし コミュニケーションも出来て、地域活性化になるのでは?	1
高齢化をマイナスととらえず、高齢者を集めて高齢者のための会社を立ち上げたり、みんなが集まれる場所を作ったりしたらいいと思う。	1
高齢者が生き生きと楽しく仕事ができれば、町外や他県の人達にも魅力が伝わるかも。	1
高齢者専用の住宅を建てる(バリアフリーのある)	1
高齢者の健康管理、見守りが重要だと思う。	1
高齢者の増加はいかんともしがたい現状にある	1
高齢者への安全生活	1
高齢者見守り組織といったものを立ち上げ、限界集落の地域に対し、動いてくれる人達を考えてはどうか?	1
高齢になれば施設に入る。冬の除雪が心配だ。	1
自然が豊かなので、それを産業にし、お年寄りの方に働いてもらい、収入もあるし、生きがいもあるというような何かを考える。(どこかの県の華っぱ産業→高級料亭で使われるとか。)	1
集落に住む老人たちの意識改格も必要。(部外者を排除する。意識)	1
少子化問題も大切ですが、高齢化問題をもっと考えて頂きたい。子供は医療費0...では、老人は...?0ではなくて収入に応じて支払うとかしないと、タダだから...という安易な気持ちで受診されてはいけないと思います。	1
将来65才以上の方が多くなれる事は、お互いに地域で話しあい楽しい我が家と皆さんと楽しい生活を考えて協力しあう事が大切だと考えます。	1
自立できない高齢者は民間施設に入所すべき。	1
歳老いても自分の身の周り位は自分でして出来る事なら、福祉のお世話にならないようにしたいと思います。	1
冬の間は老人(1人住い)の方々と集めて花もものような所に入れると良いと思う(病人でなくても)	1
町の資源を活用した高齢者が働ける場を創るべきと考える。(例)森林関連	1
身近な所に高齢者が気楽に集まれるような施設を作って欲しい。高価な施設はいらない お茶を飲むだけで良い。	1
老人の年金から負担をさせる。	1
老々介護の年代になって年金もすくなくなり高齢化が不安です。子供の数も少なく、同居する家もすくなく、子供の教育にも良くないと感じています。	1

若者の定住	36
若者が住みたいと思える町づくり	8
若い人が町から出ていかない様な魅力ある町づくり	5
田舎暮らしをしたいと考える若い人をよびこめるようにする。	2
若者から観て魅力がある町、若者が働ける場所	2
住宅(町営)を建て若い人に住んでもらう	1
町内に住んでいても、華やかさがなく、年々、さびれているイメージです。若い方は、どうしても、町内に残ろうという気になれないと思います。	1
若い世代の居住化	1
若い人がこの町に住み続けられるように、魅力ある町にする必要がある。自然環境、雇用、文化、生活の質が更に良くなるよう、町民と、行政が今後も協力し努力を続けて行く必要があると思う。	1
若い人が住みたくなるような、新築時から、5~10年間税金が下がる。とか。	1
若い人が住み着くような町づくり。仕事が無いので、住みたくても住めないです。福祉も大切だけど、若者への支援ももっと考えて欲しいです。	1
若い人が住みやすい町を作って下さい。若者が楽しく集まる所がない	1
若い人が住みやすくする為に土地の価格を下げてほしい。地元の家を建てるなら、タダの土地でも OK かと。	1
若い人たちが家族ぐるみで移住しやすい環境を作れると良いと思う	1
若い人達が住みたいと思うような町、その為には、働きにお店(特に食事処)など出来るといいのでは。	1
若い人達が町内にとどまり、働き場所、出会いがあれば、少しは良くなると思う	1
若い人への住居の確保 共働きの出きる環境	1
若い人や子育て世帯が住みやすいようにして、揖斐川町に住んでもらうようにする。田舎暮らしをしたい人を全国から募集する。	1
若者が揖斐川町に住みたいと思えるような町にしてほしい。交通等も、少なくなり、電車も無くなり、さみしいと感じる。田舎の方にもコンビニ等作って、若者をよび戻す方向で進めてほしい。	1
若者が住みたいと思う町作り、若者達の負担の軽減	1
若者定住対策の積極的な推進	1
若者の定住化。	1
若者も安心して住める、経済活動の活性化	1
産業、観光などにも力を入れ、若者が、流出していかないような、町づくりをする必要がある、若者の働き口の確保、子育て支援の充実	1
その他	31
いつまでも元気で畑仕事をつづけたいです	1
今でも人口が少なくなっている己人 90 をこえる。私にとってまだまだ早々少なくなると考えます。今後の事は分らない	1
介護保険が今までと違ってきましたが、こんご 65 才以上がふえ、町のたいおうは、どうなるのですか？	1
賢いアドバイス、聞かせてほしいです。	1
具体的には申せませんが、年はとつても学ぶという姿正は持ち続けたいと思います。	1
限界集落という言葉は、イメージが悪く好きになれない。高齢者が多くても、元気で楽しく暮らしていけるプラスの発想を考えるべき。北欧(スウェーデンなど)を参考にすると良いかも。	1

限界集落という呼び名を捨てる事。年齢ではないという自覚を皆がもつ事。若者でも何もしない人がいる。年齢を重ねても働いている人がいる。発想の転換をすべきである。	1
限界集落の現状を見ていないのでよくわからない。	1
健康にいけるように自分なりの努力をする事	1
これは非常にむづかしい問題です。理想ばかり言っても解決にならないと思う。私自身もその年齢であり、切実な課題である。	1
自分のことは自分でできる体力作り	1
自由に自営業したい	1
集落の維持を考える前に、自分の家庭の維持を日々考えるだけで精一杯です。町の、偉い方々が今のうちに議会等で策をねって頂きたいです。問題が大きすぎて難しいです！	1
知らぬ間に夫婦共々後期高齢者になっております。日々人様にご迷惑をかけぬ様、又私共の健康に心をくだきます。特に認知症は恐怖でございます。アンケートの答えにはなっておりませんが、ただただこの町心静かになんとかそれなりに自立して人生を全うしたいものと念じております。	1
新聞に限界集落という文面を以前、見て地域のことを、大切にしていない、人の思いを考えない記事にいきどおりを感じた。あの記事で地域に住む人間の関係は、さつぱつとしてきたと思う。	1
すでにこの集落は限界集落で 10 年たつと半分以下になると思われます	1
住んでいる人の思いもあり、何とも言えない	1
その心配はございません。	1
それを町民にきくのがおかしい	1
大変難しい問題で、よい考えは、すぐには浮かびません。このような課題に取り組んでおられる先進地域や専門家のアドバイスなどを紹介してほしいです。	1
千葉県いすみ市のようにして欲しいです。	1
出来れば家族の世話になりたいのですが安く入る所は無いですか？	1
何と云っても人がいないので何とも仕方ないね。千の倉より子供は宝です、と昔の人の言葉です。あなたたちの仕事ですから これからうまく良い世の中によろしく願います。	1
年金などがどんどん少なくなる事	1
人々の価値感、社会の動き等が変わらなければ、好転しないと思う。	1
息子が他地区に住んで居ますが地元に戻って住居してもらいたいと思う	1
むづかしい問題だと思えます。いろいろな県が自分の町に人を呼ぶためにはいろいろアピールしているが、簡単ではない。	1
私たちも 65 才以上になり今後 10 年～20 年後には若者がすくなくなり今からともしんばいになり気にはしております。	1
私の集落はほとんど 70 歳以上ですので 60 歳以上の方が 5,6 人ぐらいです	1
私は 65 才ですが大垣の実家の父は 89 才 母 89 才の介護に追われ自分どころではない心境です。	1
私はこの町を離れたいとも思っていないし、離れていける(お金か生活力)もないので多分この先もこの町にいます。でも正直生活は大変なんだろうかと予感しています。どうしたら…は私の方が聞きたいくらいです。ごめんなさい。	1

移住	28
移住を考える	3
町へ移動すればいい	2
新しい集落を作り皆を集める。	2
池田町がやっている駅周辺への集約化の町造りをする。	1
維持が難しくなった集落は、人の多い所へ移転してもらうのが最良だと思う。当然心のケアなどは必要であるし、さまざまなサポートも要するとは思いますが、この世の中の状況ではやむを得ないとする。	1
揖斐川町はあまりに広い範囲で合併してしまい集落再編制する方法しかない。	1
学校の統一集合の如く、部落の集団移転が出来る様なるが出来ればと思うが、自然淘汰を待つか！	1
行政による市街地への移住のすすめ(移住団地等)	1
共同生活方式(期間限定)をとり入れたらどうか、旧集落の中心にプライバシーが守れる施設を作り生活の拠点となる。	1
限界集落ごとの合併、分散している人も金もかかってしまう	1
限界集落の課題は、解消不可だと思います。限界集落にお住まいの方には、転居して頂くしかない。この課題全国規模の問題であり、町で解決できるものではない。国の支援を持つのみ。そこに税金を投入するのは、やめて頂きたい。	1
限界集落用住宅を作り移住させ集落をへらす。	1
限界集落を維持していくのは無理だと思う。可能なかぎり移住を推進すべきです。周囲には空家もあります。特に高齢者世帯には行政があっせんして転居をすすめるのも一方法かと思います。 ゲリラ豪雨が多発しています。山間地帯では、山崩れ等の災害が心配です。	1
集団生活出来る場所を作る(1部落 50戸程度)	1
集約化を進めていく	1
集落維持困難になれば、子供のところへ移転する。	1
集落の維持したいが、なくては良いのが分かりませんが、独りでは生活できないと思います。施設を作ったり、シェアハウスにしたり、まとめた生活が出来れば、楽しく協力し合えると思います。	1
集落の住民を近くで共同生活出来る様にまとめる	1
人口密集地域に農園付町営住宅を作って集落ごと移住してもらい公共インフラを集約する。	1
数年後には、どこか限界集落が増えてくると思います。理想は、毎日、安否確認が出来るところに集まって住むことが一番だと思いますが、長年住み続けた家をはなれることはなかなか無理ですかね。	1
第三者的な考えですが、やはり集落の統・廃合はやむを得ないと思います。住みなれた住宅や土地から離れても、例えば畑作業が気楽に出来たりとかのひとがい、住みがいを見え出せる工夫が必要だと思います。	1
八十をすぎた老人ですが、もしこれから何年か長生出来るとしたら、この香六の地で道路のくろで、長家が出来ると思いますので、上の方に住んでいる人達も集住出来る所を作って頂けるなら村に住んで人達も喜んでくれると思います	1
村の人が一緒に暮らせたらい	1
全員を移転してしまうという考え。共同住宅をつくり、その中で生活していただくこと。	1

子育て	23
若者が子育てしやすい環境を作る。	4
子供手当を充実させる。	2
小さい子どもがいても住みやすい町づくり	2
安心して子育ての出来る環境作りをしてほしい。若者の意見を聞きどうしたら若い人が来てくれるかを考えてほしい。税金や後期高齢者の負担が県でも5本の指に入る。建物だけが町づくりではないと思う。今は心の町づくりをしてほしい。	1
春日地区で働かせて頂きました。(4年間) 春日中学校が閉校になります。学校がなくなる地域へ移住を考える人は減ると思います。少くともこれから子育てをしていく若い方たちにとって地域に学校があるということは大切なことだと思います。どうしたらよいかはわからなくて申し訳ありません。	1
学校等のことを考えても、若者は出ていってしまう。若い人達がいかに住みやすく、子育てをして、この揖斐川町に残って頂けるよう、考えたいものです。(私は旧久瀬村です)	1
公共交通機関の整備。町内を走るバスの最終便が早すぎる。子育て世代をとどめるには不便さを感じさせないことが大切だと思います。	1
高齢化が進み、地域の役がほとんど数少ない若者に…。これでは若い人はこの地に住みたいとなかなか思えない。子どもがたくさんいれば学校や子ども会の役もまわってきて負担が大きい	1
子育てがしやすい町には若い夫婦が集まる。働きながら子育てがしやすい町づくりが必要若い夫婦がどのようなサービスをのぞんでいるか 若い人たちに直接聞くことが一番ではないか。	1
子育て世帯には、金銭面だけでなく、ボランティアで、子育て支援したりすると良い。	1
子供を産みたいと思える町(支援機関の充実)	1
町から嫁いだ人たちは、買い物に行くのに時間がかかると言ってます。若い人たちも仕事を続けるため子供を安心して預けられる所	1
やはり都会の方の移住しやすい環境づくり、子育て支援が必要ではないかと思えます。学校や公民館等の公共の施設ももっと統合して、効率よくすることも、必要だと思います。今まで行ってきた公共サービスをすべて継続するのは、人員的にも、財源的にも無理があるので、それはこれから一番最初にすべき事だと思います。	1
若い世帯の為に住宅や保育施設の設置。	1
若い人が、揖斐川町で生活していきたいと思ってくれるような町づくりが必要だと思う。高齢者の施設ばかりでなく、小さな子供があそべる大きな公園を作ってほしい。子供のあそべる公園がなさすぎると他の町から転居した時におもいました。いっぱい土地はあるのにもったいないなあと感じました。	1
若い人が住みやすい、住んでみたいと思えるよう、子どもを育てていけるような魅力のある町。子どもを育てていく時に、交通の便がわるく学校へ通わせるのが難しい為、結婚すると町外へ住む人がほとんどなので、やはり、子どもを育てるのにいいことが大切。高齢者よりも、子どもの為にやさしいことが大事。	1
若い人々が仕事をし、子育てしやすい環境づくりをすすめる。	1
若者がたくさん子供を産んでも生活をしていけるようなサポート(金銭面)が必要かと思えます。	1

助け合い	23
助けあい	3
うちは、四世帯同居で、独居老人なんて、とても想像が付きません。周りで独り暮らしの方はみえますが、近所の人が声をかけたりしています。	1
お互い助け合い集団で活動ができる様になるとどうかなと思います。	1
協力性を大切に	1
元気な人は、家にいても、だいじょうぶだと思うが、1人でくらしている人	1
健康な方に助けてもらいたいです。	1
広域における相互扶助の増進	1
後継者がいない家庭が増えて来ている現在、お互い近所同士助け合いができるよう行政も活動してほしい。声をかけやすくてできるよう……。	1
自己中心の心の持主が多く町内全体が一つの気持になれる様先づ隣の人部落の人どうしが心のゆるせる人が多くなり何事も相談出来る輪を大きくしてゆきたい 昔とは心が自分さえよければ人はどうでもよいと思う人が多くなった様に思う 役目をうけても名のみの人が多い様に思います	1
自助 協助の大切さの教育	1
自治会(区)の再編成。自治会(区)の役割についての再考 特に地域住民のふれあう場への支援	1
自分の事ですが何しろ近所の人達が声かけしても、出合っても知らんぷりしている(ビックリです)一体こんな状態で助け合って生きていくことがむづかしいと考えます。年寄りばかりでも気が合わなかったらどうしようもない。高齢化になった今、どこへ行って住めばいいのでしょうか。不安でいっぱいです。	1
集治会組織の見なおし、集落の最下部組織のみなおしをしてほしい。	1
人口の多少で判断されがちですが、こうした地域で質の高い暮らしを求め、努めているところへの精神的な支援があるとよいと思います。	1
助け合って生きて行くように各自考えを持って生活する事が重要だと思う	1
地域住民 1人1人が信頼と助け合いができる町作りであることが大切であると思います。そのためには地区、町の計画していただく会合、業事に積向的に参加することが大切だと思います	1
地域住民の助け合い。	1
仲間同士が集まり、助け合い出来る人が出来る事をし、食事をしたり話し合う場があるといい(住んでいる場所で)	1
日常品の配達を兼ねて安否確認をすると共にあらゆる要望を処理できる仕組みを作ることができないか？	1
一人一人が助け合い、孤独の人を減らすために意識が必要となる。	1
もっと家族の協力が必要かな！「一人で大きくなった」と思っていないと思いますが、「自分さえよければ」という考えが強いのか、自立したら親やふる里は知らない、関係ない的な感じがおおいにみられるのでは?! なので高齢化・過疎化が進む	1

地域の活性化	23
医療施設の充実	2
揖斐川町に物を作る集落と山川観光集落にしてほしい	1
揖斐川町は、奥のほうにお金をかけすぎです。例えば温泉など平地に作って下さい。建売り分譲住宅など1ヶ所に100戸などが良い 交通の便利なところが良い 人口がふえて来ます。	1
揖斐川祭り等地域住民参加の行事の推進	1
イベントの開催	1
美しい環境を作る。ゴミのない。掃除のゆきとどいた町	1
遠隔医療や食材の配達、外出支援、安否確認などが揖斐川町には必須だと思います。住みなれたところで最後までくらすために建物などのハード面より、ソフト面で充実させていくことが、都会にはない課題への対策になると思います。	1
各地域の歴史をしらべるとヒントがある	1
交通の便を良くし地区の利点を見付け、他地区との交流を計り産業と各年代の娯楽施設を作り各年代層が楽しむ場になれば人口は増えると思うが、冬期のきびしい地域は高齢者の避寒地を中山間地、平垣地に作り、現地ではそれにたえられる生活の仕方を若い住人で考えると良いと思えますが現地の住人の意見を取り上げて協議して下さい。	1
高齢化専用の大きな住宅ビルを創る建設すると若い方や元気で働ける方も必要になり町の活性化になると思います。	1
子供から高齢者の方などが集まってきてくれるような何かをほしいです。	1
この問題は日本の山村のあちこちで起こっている。地域の活性化、再生化を行政だけでなく住民も一緒に考えなければならない。例えば、地域おこしを都会の田舎暮らしにあこがれている人にも手伝ってもらって、お年寄りの人が畑作りや料理などを教えるしか…。(空き家を利用して)田舎暮らし体験シェアハウスを作ってみる。 消滅集落にならない様に、早急に住民プロジェクトを立ち上げ、アイデアを提案してもらったら良いと思う。	1
山村の良所を新聞テレビにてPR	1
自然とふれあえる場所(施設)を増やす→働く場所が増加→人口増加→町が活気あふれる揖斐川町全体をテーマパークする→宣伝(HP,チラシ)をセンスよくする。	1
シャッター通りの解消。一坪貸店舗(年間を通して)	1
住みやすい街づくり住みやすい環境で生活していける所がいいですね。	1
楽しめる環境づくり	1
中心部に比べ文化生活を進める施設が少ない。文化生活に必要な施設の充実を図り生活の利便性を図ること	1
なるべく、次世代の育成を心がけてほしい	1
花や花木で町づくりをし行きたい町・住みたい町にする。	1
人が集まる施設がない	1
道は良くなっても、(学校、店、病院)など、生活に必要な所がなくなり、仕事もなし、住めない。	1

空き家	21
空き家対策の活用	2
空き家対策を強化して、若者が入りやすくする。	2
空き家を利用して、独居の人が共同生活をする	2
空き家、耕作放棄地を集約してセットで売り出す。	1
空き家の活用をすすめてくれる団体が必要	1
空き家の賃貸と提供の手助け。入居者の取り組みで村の衰退が防げるのでは、	1
空き家を借す。農村に住みたい人や山里でくらしたい人など、インターネットなどで募集し、人が移り住みやすい受け入れをつくるなどしてみる。何年間後には、永久移住ができるようにするなど…。	1
空き家を整備し、安い家賃で借れるようにする	1
空き屋を有効利用ーリフォームして移転者をつのり募集する(リフォームは町で行う)	1
空き家を利用して人口の増加を考えて欲しい。空き家をセカンドハウスタイプに利用してもらう方法とか考えて欲しい。	1
インターネット等に、集落の空屋を紹介し、都会の人々が移住し、やがて産業を育成していく町作り。	1
近隣に人の住む地区の空き家などへ借家対策	1
限界集落にある空き家を活用する方法を考えだす。古民家を貸し出すとか、又、その地区でしか出来ない催しを広くアピールしてみてもはどうだろうか？	1
限界集落の空き家を活用して、子供の夏期合宿 冬の体育祭、高校生には果物、米等の収穫までの体験。	1
古民家の利用や福祉目的の場所として広く多くの市町村から利用してもらう	1
空屋のリフォームからの町おこし。子供支援充実とグループ住宅を作ってお年よりから若者まで住みやすくする。	1
地域の空き家などに介護する人を置いて、高齢者が集まって助け合って生活できる場があると良いと思う。	1
役場の支援で、空き家を、若い世代に、安い直段で、提供すべき。(農地等を含む)	1
Iターン・Uターン	17
Iターン・Uターンができる町づくり	3
若い人が帰って来て働く場所があれば良い。	2
IターンやUターンなどの支援、町営住宅などを作り、若者が住みやすくする。	1
IターンやUターンなどの地域の活性化の促進ができるよう又、ファミレス、大型スーパーができれば、人が集うような所にする	1
Uターン・Iターンの促進 上記1. の他 住宅の無償提供(期間限定) 子育て施設の増設 ※所有者の希望・了承がある、山林の無償間材(国・県・町の予算)	1
簡単に解決していく問題ではないが、国が口だけの地方自治を語っているが本気で考えていかないと…と感じる。自分の同級生も「地元に戻りたい」と思っているが結局働く場所がない為、関東や名古屋に居を構えている。同じ中学校出身者が知っているだけでも4人池田町に家を建てたが、「池田町>揖斐川町」ということではなく、職場への距離などを考えると、という事だった。やはり若い方たちがどんどん戻ってきたり、新しく入ってきたりという事が進んでいくように町づくりをしてもらいたいと感じます。	1
子育て支援、保育料、授業料等の無償化など、若い世代がIターン、Uターンとなる様に。	1
集落に取り残された親へのいろいろの案を楽しくやってもらうため町から案、若者がもどってくる案、先への楽しみ案を考えるくむかしは子は親の後を継ぐものと、古い考えですが(今はこの様な現状ですので少しでも元へもどすという事が必要かと思う。うまく表現できなくてすみません。	1

人口の減少を防ぐ為にも、若者に魅力的なまちづくりに力を入れ、Uターンなど地域の活性化の促進をはかるべき。	1
都会からUターンをして、高齢の両親を同居したらいいのではないかと思う。	1
都会からのUターンに力を入れる。山間部の空き住宅を別荘にする。田舎の家でも都会と同じ位の生活ができるようにする。(インフラ、インターネット、医療、福祉)。	1
もっと若い人が戻ってこれる町づくり、自然が豊かなのでそれを生かした町づくりをしてもらいたいです。	1
若者がUターンUターンできる職と生活を保障できる町にする	1
若者定住対策の充実(出産祝金の増額等)※高齢者に対する助成も大切だが、若い人が集落に残ったりUターンしたくなる対策の方が重要だと思う。	1
対策なし	17
流れにまかせる	2
大きな潮流には逆えないと思います。	1
限界集落は安楽死でよい、町がどんな政策をしても国政が出生率向上の教育をしないかぎり維持はできない。	1
現況では対策なし。地区内をみてもそのうちに×という家多し	1
減少してゼロになる時がくるでしょう。それは、それで仕方がない。	1
子は親もとを巣立って行き、都会の荒波にもまれて暮らせばよい時を経て高令となり都会のけんそうが苦となり始めたから静かな田舎へと戻ってくればよい 放っておけ、なる様になる 気に病まないこと。	1
さみしくは思いますが人口減少で自然にまかせるより外にないのでは？	1
自然のなり行きにまかせるべき。人為的行為は、反対論を誘発するのみ。	1
時代の流れで、仕方ないと考えています。集落を維持する施策よりも、現在、多くの人が生活している地域への施策を手厚くした方がよいと考えています。	1
時代の流れで過ソ化の進行が進み現住民の力では無理	1
自分の子供達でさえも他県へ出て行き、生活を始めている為何ともしようがないと思う	1
住み続ける事は出来ないと思う	1
生活環境、買い物、交遊等の面から、山村に住むことは難しいと思う。勤行、林業等の仕事上でそこに住むメリットがある場合じゃない限り、人離れはしかたない。	1
どうしようもない現実。「若者が住みたくない場所」だから解かり切った現状になるだけのことです。	1
受け入れるのみそして同じ人生をたどるだけのことです。老人は医療に頼らず寿命が来たら死すべし。	1
どうしようもないです。揖斐川町だけではありません。日本中どこでもです。預福よりほかないと思います。	1
無理に維持することは好ましくない。	1
ふれあい	17
地域社会の中での心と心のつながりを大切としていく。	1
気楽に集まって、お話会ができる場を提供(例えば、月1回の公民館利用だけでなく、空公民館の利用化)	1
小さな事は各集落寄り合い話し会。時間、機会を作って交流を深める。	1
思いやりの心、声かけなど助け合いが出来れば良いかと思います。	1
隣の人達との挨拶、又会合には積極的に参加し色々な事を話し合う	1
公民館活動とか？	1
リーダーに適した人？に講習などしてその地域で活躍していただく、月1回の話し合いとか食事会など…	1
地域との連携い 多くの人と交流を持ち、情報発信をして行きたいと思います。	1

若い人達がお年寄と共に住み、お互い生きがいを見つけて行ったらいいと思います	1
ひと家族が、高齢者だけで生活出来ている所が多くあり、近所に住んでいて1回顔を合わせないと心配であることがある。安否確認が出来る対策をとってほしい	1
住みにくい、生活しにくいは何よりも問題、近所つきあい、人との関わりも濃厚な地域で色々な事が変わらない、変えられない人が多いのも特徴。若者が離れていっても いたしかたないと思います。	1
集落間のつながりを強くするように日ごろよりコミュニケーションもとれるようにあいだに入る人をつくる	1
家族、地域での若人とのつながり	1
横の繋りを密にする。	1
私は高令ですが、出来れば小地区に会話出来る様な空気がほしいです。用がないと隣にもいかない世相です。若い者と買物に行くぐらい	1
子供達が土・日等によく帰省し、自分の故郷を大切に思うように自然の中で過ごす事の楽しさを次世代に伝えていってほしい。都会での生活が忙がしくてどうしても伝えておきたい事等 親子でのコミュニケーションも出来ていない。核家族の現在の歪みのような気がする	1
地域住民と地域外の人との交流	1
定住対策	16
他の地域からの移住をすすめる	2
田舎(揖斐川町)に住みたいという人を調査し、その人の希望条件を聞き、それに対する対策を考えてはどうかと思う。	1
親と同居が難しくなっているので、町営住宅を増し、なるべく地元優先で貸し出す事は可能か？	1
限界集落に住んだ場合の税金の優遇、固定資産等、新築リフォームした際の補助金 up	1
県外の人に移住できるようなシステムを作ったらいいと思います	1
山間部の集落が対象になると思うが、森林利用事業を活性化して働く人、森林のメンテを行う人を呼び込む	1
水道・下水が最大問題となる。個別処理に切り替えるとよい、水道は各戸山より取る。	1
退職後のセカンドライフとしての住居施設建設(リゾート開発)と周辺環境整備	1
町外県外からの田舎暮らしを望む希望者への情報提供	1
特に問題はないと考える。好きで住んでいる者に対しては支援者なども特別なものは不用、独居が難しい人や転居を希望する人に対しては町内中心地に町営マンション等が借りられると良いと思う。空き屋や高齢者の見まわりはたまにしても良いと思う。	1
息子との同居	1
無理に住ませることなく、移住希望者には町が同町内にはあっせんして転住させるようにすることが重要。町外希望ならば、少額負担してあげることも重要です。今後集落の要約もしていき地域活性も見据えたことが大切。	1
メディアへの宣伝	1
安い町営住宅を作り、若夫婦に支援、定住してもらえるような環境作り、安い町営アパートを作り、1人暮らしの人にも安心して定住してもらえる環境作り、安定した仕事のある会社をよぶ	1
豊かな自然、(きれいな空気 澄んだ水、美しい山々)里山の自然と、共に生活する豊かさを前面に打ち出して、都会からの移住者等。畑や田の開かん、ソーラーパネル等の充実を図り人口を増やす試をする。	1

若者目線	16
自然や土地を見直し、付加価値を付けるべくアイデアを若者からも募る。	1
20才代の人の意見を聞く(アンケートの実施等)町外へ転出した人たちにも意見を聞く。そのうえで過大を明確にして検討する。高齢者の意見(アンケート)は参考程度で良いと思う。町議会が高齢化し過ぎている、保守的すぎて若者にはなじめない。	1
地域コミュニティーを醸成するために、若い人の力を導入すること。	1
土地の有効活用し、若い人が集まる場所を作る	1
必要な施設をふやす(カラオケ等遊び場)	1
高齢者が増えることによって若い人達への負担が大きくなりそう。	1
何と言ってもわからないが、もう少し楽しい町にしてほしい。公園とか、広場もつと皆が自由に遊ぼうと思える様なふんいき作り、いつも作っただけあとのケアもなく草ぼうぼう、だれも近よらないような所が多いです。近くの住民に依頼するとかするとういと思います。	1
近所つき合いは大切であるが、若者の考え方に理解を示し必要以上に立ち入らない事が大切だと思うし、若者が出て行く理由もアンケートをとる等意見をきく事も必要だと思う。	1
若い人を土、日(たとえば)に畑、茶畑の手伝いをしてもらう。	1
若い人に揖斐のよさを知ってもらう	1
若者の活躍する場所をつくる(アピールする)	1
福祉に力を入れるのはとても素晴らしいことだと思うが、お年寄りへのサービスばかりが充実していて若者に対する支援などが足りないと思う。地元で就職する人への援助や、子育ての支援などが大切なのではないかと思った。	1
若人の意見を大切にして集落維持をする	1
若い人の力が足りない。若い人が中心となったまちづくりの活動を支援していくべき。人口以外に、買い物、飲食店等、人を呼びこめる場所もないし、図書館やスポーツ施設等を充実させて活性化していくべき。	1
町を活性化するものを立ちあげる。若者が夢をもって働く町にするには、若い力が発揮できる場とは	1
若い人に魅力的なまちづくり。	1
地域の古い習慣	14
古いきたり、習慣の中で、時代に合っていないものは、なくすべき	1
地区の役職が多く 子育て・働き盛りの人には負担となり新しく住んだり、一旦出た人は戻って来ないのではないのでしょうか	1
守るべき文化は守り、改善できるところは改善していく。	1
閉鎖的になっている所を改善していけるとよいと思う。	1
必要最低限の機能のみ残し、不要な行事、金集め等は削減してゆく。	1
仕事優先にてお葬式があると2日間休まなくては行けない。昔からの風習は、なくしていかなくては、若者達が町外に!!	1
古い習慣、風習がなかったら、人口減少もないと思います。ややこしい付き合いが多すぎる。	1
「昔からこうだった」「こうあるべき」のような固い考えでなく、もし他の地方から移住してきた人の意見を受け入れることもしないと、誰も住みたがらない、さらにさびれた集落になっていくのではないのでしょうか?	1
昔からの古い行事をなくす(へらす)	1
先祖からの住民と新しく入った住民の差別があるので、もっと若い人がどんどん移住しやすくなるよう古いきた	1

りや、年寄り意識をなくす)環境づくりが必要と思う。	
今の若者は、地域のいろいろな行事が多すぎて、付き合いがいやであり、休日もつぶれてしまう為、都会へ出ていってしまう。消防団員も、大会の練習とかで過大な時間を取られてしまうので、出て行ってしまう人も多く見えています。そのあたりを見直した方が良いかと思われます。	1
どうしようもない事だと思います。地域への役割の分担で民生委員、県童民生委員、赤十字奉仕員？ 等々、できる人のいない地区は、無しにした方が良いのでは？	1
諸々の役員の種類の多さと、会議等の数の多さに役の受理する人が少く、1人で何種もの役を行なっている人が目立つ。役員を受ける人に苦勞している(60代~80才前半期の人に集中している。	1
地域の役が多すぎるから、80歳になっても役をやっていたり、若くてもやらざるを得ないので、見直しが必要だと思う。	1
商業施設	12
大型ショッピングモールなど遊べるところが増えればもっと住みたくなる町になると思います。	2
人が生活していく上で必要な購入できる(衣・食・住)施設を誘致していく。	1
町化する。商業施設、飲食店、交通(電車)を増やして便利にする。	1
今では衣類、日用品等 大野、池田へ皆出かける事が多い。少しでも揖斐川町が潤うように何か魅力ある場所があればと思います。	1
もう少し、病院や、買物など出来るように、工夫をすると良い。	1
商業施設なく買いものも大野町や池田町へ行くことが多い。	1
現在そうなっている集落の人々に聞くのが一番で、本当の事は、そうなって見ないと訳らない。想像では、生活必需品を週2回持って行く、(移動販売・これと一緒に民生員的な人も動向する。むずかしいのは長年生活した土地や家。自然環境が体と心にしみこみ、そうたやすく離れたくないと思はる。)	1
お年寄りが住みやすい様に環境をととのえる(買いもの・病院等)が近くまで来てくれる。	1
買い物は、移動販売を委託する等	1
今住んでいる所でのくらしが維持出来る様なくみ作りを大切にしたい。日用品を売る車の移動販売など 在宅でくらせるうちは回りでサポートが出来ると良いと思います。	1
大型スーパー等を作る事	1
少子化対策	11
私の地区でも、未婚者が(男性40才以上)沢山みえますので人口減少をくい止めるために、婚活事業を活発に進めて町全体で盛り上げて欲しいです。(例、TVの婚活番組にとり上げてもらう)とか…	1
独身者が多いので出会いの場を作る	1
少子化対策	1
独身者が多いので、限界集落が増えているのではないかな？	1
若い人々にもっと結婚の事を考えてほしい	1
対策として、一番の方法は、子供の増加。子供を産むことだと思う。子供を生み、育てやすい環境を与えることが重要ではないかと考えます。	1
人口減少には止めがかからなくては前之進むことは出来ない	1
婚活とかで女性の人を集める。	1
みんなちゃんと結婚に子供を産めば良いと思います。	1

以前あったような婚活の場を設け、揖斐川町の人口を増やしていけたらいいと思う。みなが気がるに立ち寄れるいいの場、遊ぶ施設がもっとあったらいいと思う。	1
婚活パーティーなどの活性化。	1
農業	10
高齢者ばかりでも集落の維持ができることを目的とした、法人、NPO等、行政主導で設立するの議員や公共工事削減で何とか予算や補助金を捻出し、農作業や環境整備、除雪等を支援する。特に農地は、希望があれば町有地として、譲渡、売買などの方法があるとよい。住むのに不便はさほど感じないが、農地をどうしていくのかが、一番問題である。あれのままの農地が多い。	1
動けなくなり田畑の「守り」が出来ない。こういった田畑を一括して守り出来る組織作りを	1
農業政策の見直し、もうかる農業の活性化	1
農地の集約化(先祖代々からの土地はなかなか手離さないが、年貢がもらえるようにすれば<借地として>、農地の活用が図れる)	1
まずは、農地を守るための取組みが必要	1
一次産業が土台になっておりますので特に農業面において担い手の育成が急務かと思われまます。	1
自然を生かした農産物を栽培	1
若者の農業の技術者を育ててほしい。農地の米以外の作物を作る魅力と将来性を見出せば高齢化や人員減少などの問題も希望が持てるのではないかと思います。	1
その地域に合わせた産業(特に農地の荒廃に伴いJA等のタイアップで特産化を進める)により仕事のしやすい環境をつくる。	1
無農業農法等の今、本当に必要なものに力を入れ、若い人に(質の良い)来てもらえるみりよくを作り出す。	1
消防団	9
消防団員、婦人消防、日石奉仕団など 地域の役員数を見直すべき	1
消防団の廃止(若い世帯の揖斐川町離れの原因)	1
消防団は、必要だが、消防ごっこや行進は、無しにする。そう法用のそうさは、できるが本当の火事に、水が出せない団員ばかり、こんな町では、若い人や長男や次男も、もどって来ない。	1
根本的には、若者ばなれを防ぐ事ですが、勤務地、学校など厳しいのが現状です。中には「消防団活動に参加したくない」と言う理由で、転出されるケースもあると聞いております。一番の理由として、灰炎・防災活動には協力したい、と思うが、大会に向けての練習が多すぎる」が本根のようです。大会の本来の有り方など、今、一度考えてみては、いかがでしょうか？ それも過疎化を防ぐ一つの方法だと考えます。	1
若者にとって住みやすい環境づくりの施策を進めたい。就職できる場所、余暇を有意義に過ごせる環境整備等が充実すると良い。消防団の無理強いをはじめ 状況把握が十分でない(人数減少等)中でそれぞれの区に割り当てられることは、町外への若者転出のひとつの要因になっていることを考えて欲しい。	1
若い人が住みよい町、子育てがしやすい、援助をする(子育てをする若い人に) 現在若い人が揖斐川町を出ていってしまいますので、若い人が住みたい町にしないでほしいと思う。そのためには、もっと若い人への援助をアピールする消防団がふたんになっている。消防団にはいらなくてはいけないので揖斐川町にはいられないとの意見をよく聞く。	1
現実的な問題として消防団活動をきらい、地区外に出ている人もいる。教団大会、操法大会等、今の若者に理解されない活動は見直してほしい。こういう意見は、あちこちで聞かすが、町に話しても、聞き入れられないと聞いている。いつまでも同じ事をしているお役所的な考えは改めてほしい。在宅の中高年も活用した方がよい(消防団経験者より)	1

現在、たすけ合いの消防団から、強制的な消防団へ変ってしまっている。男 25 才～35 才の間で 3 年間、やっていない人は、出不足として、金を支払われる、又、夜遅くまで、大会の為の練習もあり、会社員としては、町外(地域外)へと出ていってしまう。どうにかしたい！	1
65 才以上が多い中、婦人消防の役員を選出する事をもう少し考えて下さい。町ではどの様な考えですか。	1
産業	8
新しい特産物の発掘(徳山ダムセンベイ、徳山ダム飲料水→外国へ輸出、※名称はかっこよくつける)	1
山でとれるものをまちに売りに行くなど、産業の活性化をする。	1
地域の特産品、揖斐川の清流と山林資源と自然の活用のアピール	1
六次産業化を各地で推進する	1
地場産業育成、魅力ある町づくりが必要	1
今、暮らしている町民が楽しくならなければ、人は呼べないと思います。65 才以上の方々でも参加できる仕事を立ち上げる。例、農産物で名産品を作る～移げるようにする	1
限界集落ならではのブランド産品創りのサポート(少量ながらこそ価値がある)。	1
揖斐川町を特長できる産業の充実とアピール	1
観光	8
特別融資制度などづくり、村をきりひらいて、若者が遊べる楽しめるように開拓する。サーキット場や、アスレチック場、キャンプ場	1
揖斐川町は岐阜市や大垣市への通勤可能な地区だと考えられます。 何か特ちょうのある街を作れないかと考えます。若者達が集まる事でも、家族連れも一寸したヒントがどこかにあると思っています。例は夏場の揖斐川への若者達が集まるのを一手を通じて集まる何か？ ほしいですね。	1
自然を生かした場所にしていけたらいいのに。たとえば空地となっている畑とかに花の木を(実のなる木とか)どんどん植えて将来自然観光ができる町にするとか	1
スキー場再開発	1
広域観光。	1
公共交通・観光施設による人寄せ(活性化)	1
レジャー施設を作る事	1
観光客を呼べるツアーの企画～地元の人達がおもてなしを仕事とする	1
学校誘致	7
自由に学校が選べる様になったので都会へと流れてしまうので余計地域にとどまることが出来ない。(会社がないので仕事にもつくことができないから)	1
学校(高校・大学)誘致活動	1
都会にはあまりない、学校の設立など。	1
魅力ある教育施設(学校 等)設置	1
教育機関(大学など)やスポーツ機関の設置などにより、若い人に住んでもらうこと。	1
大学は東京や大阪に行かせない中部まで長男長女は都会に行かせない昔のように	1
若者がふえる様にする U ターン I ターンするため 大学を作る。コンピュータープログラムとか IT 関係とかの電気と人がいればできる仕事を 地元の学校出て地元で勤められる様な 児童手当をタダにするなどを	1

ボランティア	5
人のつながりとボランティアと行政に期待する。	1
ボランティア NPO 等の活動利用	1
ボランティアまたは「プロジェクトチーム」の立ち上げと早期実践	1
ボランティア組織を作り、各戸の生活のフォローを行っていく。(プライバシーに配慮)	1
年に数回(4回)ボランティアで掃除に出掛け高齢者と交流をして親睦を深める※ボランティアは若い方がいい。今の若い人は目的を持ってない人がいるので高齢者の人と話して目的を持てるようになるといいと思う	1

問 48 揖斐川町においても高齢化や人口の減少が課題ですが、揖斐川町が「ずっと住みたいまち」をPRしていくためにも、揖斐川町の良いところ、自慢できるところをおしえてください。

意見	件数
自然	120
自然が豊か	25
自然が多い	16
自然	13
自然環境が良い。	13
自然が美しい	10
山や川がきれいで自然がたくさんあるところ。	4
美しい自然に恵まれている	3
四季の自然が楽しめること。	2
自然が多くてのどか。	2
自然と清流	2
90%近くが山林で不便な所はあるが、自然が豊かで美しい。それを活かした町づくりをしてほしい。	1
PR するのなら緑につつまれた自然	1
秋は山の紅葉、空気がきれい	1
揖斐奥の山は魅力的です。	1
揖斐川町は「山」とか「雪の多い所」というマイナーなイメージがあるがその自然をもっとうまく利用してPRしてほしい。	1
川、緑、星、魚、島、美しい自然の揖斐川町は、心のふるさと	1
季節の移り変わりを楽しめること。(桜並木や山々の風景など)	1
空気が良いし水が良いのが自慢できます。	1
広大な山があるところ、揖斐川という川があるところ	1
山間地では、新緑紅葉、自然	1
自然がいっぱい。都市部に近い。	1
自然がいっぱい静かな町。川もきれい	1
自然が多く残されていて、心がいやされる	1
自然がまだある静かな町	1
自然と子供の活発さ	1
自然に恵まれ、人々がおだやかに暮らしていける場所	1
自然の美しさをもっとアピールすると共に町の活性化商店街の再生出来る様に町全体で取り組んでほしいです。	1
自然の多い町ですので先人達が大切にされたこの自然を守って大人も子供も心が和む町にして下さい。	1
自然を満喫できる	1
清流揖斐川と自然の美しさとその資源活用による将来の魅力	1
高い建物がなく、自然が多い。	1

当地は空気と水も美しいので住みやすいと思います	1
広い土地 山、緑、木	1
身近に自然がある	1
水よし、空気よし、山あり、川あり、よいところがいっぱいある	1
みどり(自然が)きれいなところ。	1
緑がきれい。	1
紅葉がきれい 川がきれいな所	1
豊かで美しい自然、揖斐川河川敷の景色は大好きです。	1
豊かな自然、住みやすい町。	1
生活環境	81
水がきれいで空気がおいしいところ	2
以前は揖斐川町の良いところは水がうまいだけだとききました(井戸水)、紅葉はきれいです。温泉も多いので良いところですよ。	1
揖斐川町は、のんびりとした人が多いので住みやすい所だと思う	1
揖斐川町は、山裾に位置しており、平野部より、水がきれいでおいしいはずですよ。それを農業に生かして、特産品を作れると良いと思う。	1
揖斐川町は自然の山 川 道	1
美しい河川、蛍のまち、カワセミ”薪ストーブの似合うまち”	1
美しい夜空、おいしい空気、さわやかな風、美しい水、揖斐川。 人のやさしさ。子供達の美しい目、ださいおじいさんとおばあさん しずかな町、国道 303 号線	1
親の元へ帰って来て印象的だったのは、山が近くて自然が美しい事と、とてもきれいな水がさらさらと流れている(田んぼの用水等)事でした。空気も澄んでいてとてもすばらしい所だと感激していました。	1
川と山が美しく 田畑が余っている	1
川の水はきれいで夏もあつく冬も寒く、この四季のいろどりが出て自然と言う感じがする。 山はいいよー 川もいいよー マラソンもいいよー 私は県外から移転して来ましたがふるさとと、一緒ですよ。	1
環境の良い所(清流、空気がきれい)	1
気候が温暖で、災害も割と少なく、交通の便も名古屋・京都へ 2 時間で行ける日本の中心地に位置し山川平野があり、空気が美味しく四季の変化も楽しめる春は梅を始め百花が咲き、夏は山間は涼しくて川遊び(市場の子供の一番楽しい事は川遊び(最近の調査から) 秋は黄金の渡 果物の実り豊か色々な作物の収穫が出来る 冬は雪遊びスキー平坦地から見る雪景色雪の原も見事。	1
気候が比較的穏やかで住みやすい。	1
極端にきびしい自然環境ではなく、自然あそびのレパートリーは広い	1
空気が美味しい。山々にかこまれ、健康管理も出来るすこしやさしいこれからの町づくりが楽しみな町	1
空気と水がきれい。車で 30 分～1 時間以内に便利なスポットに行けるトカイナカ	1
空気は良い きれいな川、山あり親しみのある町だと思います	1
空気はよい、道路環境もよくなった。IターンUターンによい所である。情報関連の仕事の誘致が出来そうだ。	1
空気や水がきれいのところがよい	1
空気良いし、交通も先づ先づ、お店も近いし良いと思います	1

現在住んでいる所は、他地域に対して、水害、災害もなく空気も良くて本当にいい所だと感じていますというのは色々の所へ旅行する時、山の中にポツンポツンと家があったり、急な坂の所に田んぼがあったり、こんな所で日常の買い物などどうするのかと心をめぐらせる事が多いからです。	1
公害のない町だと思います。	1
交通、病院、銀行、マーケットとまあまあ恵まれている	1
今後介護施設を増設し恵まれた自然環境と併せ住みたい町の PR	1
自然があるのはありがたい。人口が少ない分、うるさくない。 車通りも頻繁でないので空気もくさくない。水道水が飲める。車さえあればどこでも行ける。	1
自然が美しい。揖斐祭り。揖斐川マラソン。ありがとう花火。	1
自然が多いし空気、河川もきれいだし、静かで住み良い所です。	1
自然が多く、食べ物がおいしい。鮎がおいしい。 田園風景がとて素晴らしい。電車が走っている風景も美しい。	1
自然がきれい、人がやさしい。おつき合いが、ほどほどで、住みやすい。	1
自然が豊かで、アットホームな町。	1
自然が豊かで、キャンプ、魚釣りなどが自然にふれあいながら楽しむことができる。	1
自然が豊かでゆったりと過ごせる。緑が多く森林浴ができ、谷や川からマイナスイオンをたっぷり感じられる所。 都会に住む息子は帰って来ると人ごみははずれてホッとできる所らしいです。	1
自然環境がよい 生活がしやすい	1
自然環境が良く広い土地が多くあります。それを大切に利用してほしいと思います。	1
自然環境の良い歴史の町です。 山と川の入り交じる美は、(私の家の前)京都の嵐山にも負けません。 一年中、冬でも雪の中でもキャンプに見える人達があり本当に観光で売り出すとどうですか？	1
自然環境の良さと 良好な近所付き合い。	1
自然と共有できる町	1
自然にあふれていて、気候も安定して、いやされます。 山間地は豪雪等の悩みがありますが、除雪や交通の確保に当たっていただければ、積雪もそんなに苦になりません。	1
自然にかこまれていて、静かに住める町だと思います。	1
自然に恵まれていて環境がいい 住みやすい町。物価が安い。	1
自然に恵まれている町なのでゆったり生活できる所。	1
自然の中の生活 生活の中の自然	1
自然も多く、ドライブをしていても気持ちが良いこと。	1
自然豊かで居住環境が良いこと。	1
自然豊かな環境で人と人のつながりを大切にする人々の楽しい町です	1
春夏秋冬(冬は雪が多いので通勤には、難儀をされるが)を通して、これ程、自然に満ちた住みやすい土地はないような気がする。	1
正月のNHK BS?放送で、揖斐川町春日の葉草、蝶々、小寺さんという人のドキュメンタリーが放送されていたが、素朴で、情緒ある風景に心がなごみました。伊吹山に春日方面から登るルートの登山客へのPR活動があ	1

ってもよいと思います。	
澄んだ空気、おいしい水、美しい自然	1
生活がしやすい町づくりが大切だろう。水道料金、下水道など身近かな生活がよくなっている事や交通便、商店等が近くにあること等、水、空気がきれいである事。	1
生活環境の充実に取り組みアピールする	1
田、畑が有り生活の糧になる	1
田、畑が多い、山菜がとれる、川がきれい、空気がきれい、夜空がきれい、特産物が多い。	1
土地が広いところ。	1
日用品を買う店がそろっているので買物は便利だと思います。	1
日本の中心にあり、山紫水明に恵まれた揖斐川町は恵まれた住やすい所だと思います。最も大きな自然に目を向け、地域に合った資源生かす為にも、行政と森林組合で、製材所を設け、資源の利用に力を入れるべきと考えます。坂内は山奥かも知れませんが、子育てや生活する場所としては最高だと思います。	1
農家が多く、ゆったりした生活できる。	1
避暑させ、スキー場、又、紅葉、きれいな清流、住んでいる者も癒される自然と、多彩な祭り	1
人がいない静かに住らせて、店がなく、自給自足ができ、空気がきれいなため星がよく見えること生かした、スローライフ主義者の方を呼び込んで、町があっせんして案内していくことが重要だと思います	1
人の心の温かさ、美しい山河の景色 おいしい空気。これ以上の至福はないのに……	1
病院が近くにある	1
風景がきれい 山、川、 住んでいて いやしになる町 揖斐川マラソン、いびかわ花火の機会に もっと他の地域の方にアピール	1
星や景色がきれい、作物を作るには最適な環境。自然豊か。	1
水もきれい 空気も良い 人とのつながりも良い 山あり 川あり 自然もよし(色々放送して貰えるから 家に居ても良くわかる 働き場所がたくさん有ったら言う事なし	1
水や空気、景色がすばらしい。心も体もいやされる町。	1
水や空気がきれいな所です	1
緑が豊かで、住み良い環境	1
緑と清流に恵まれているが産業がなく広大な林地の活用して欲しいと思います	1
娘が今年結婚したのですが、子育ては揖斐川町でしたい。と言っています。今は、他の町に住んでいますが、自分が大人になるまでで地域の人の優しさや、いかならではの自然が、とても気に入っているそうです。	1
恵まれた自然環境(山・川・澄んだ空気)	1
山、川、安全、水が良い	1
山、川、林、他、畑がある事、都会では見られぬ事、四季の移り変りがみれる。	1
山あり川ありと自然豊かで空気もおいしい。	1
山あり川ありとても都会の皆様よりとても自慢できる	1
山あり川あり平野あり、人口過密でないところ。	1

山有り谷有り川有りとかんなすばらしいところに住めて幸せだと思います	1
山川に親む事が出来 自然がいっぱい 水とお米がおいしい。早朝よりウォーキング、マラソンをする人が多く 老い方若き方挨拶を交し人柄がとっても良い	1
山川の町 美しい町高齢者も若者もがんばれる町	1
山や川、季節等生かして皆さんで意見を出し合っていく。	1
豊かな自然、元気な高齢者の活動。不自由な健康状況になっても、介護への不安解消にとり組む 町の実態をPR出来ると良い。	1
私の住まいは、比較的學校、病院、ショッピング等は利便性を感じていますが、首長である区長等の人権研修 の強化をお願いしたい。グランド・ゴルフ等の勧誘が無いところが良いところだと思う	1
観光	53
谷汲山	2
徳山ダム	6
「清流いび川」の還流(整備)PR	1
揖斐川町には多くの観光場所があります。	1
揖斐川町には谷汲山や徳山ダムなど観光地点になる	1
揖斐川町の自然の中の谷汲山 横蔵寺、夜叉ヶ池 徳山ダム いびがわマラソン 藤橋道の駅、を自慢の出来る所だと思います。	1
揖斐川町は、自然も豊かで、町も、昔からの建物が残り、商業も良い所が沢山あるので、もっと、揖斐川町ならではの長所を生かせると思う。例えば、昔の建物を利用して、町屋風のカフェや、宿、雑化屋など、他県の人にも立ち寄ってみたい統一感のあるまちづくりなどをして、TVやネットを通してPRしてはどうかと思う。また山村方面では、魅力ある店がほとんどないので、例えば、有名店のパン屋さんに来てもらい出店してもらって人を集めるのも、観光客を増やすきっかけになるのでは…と思う。(若い人に来てもらえそうだ！)	1
揖斐川町日坂は昭和 38 年よりスキー場をつづけております。雪さえ降ってくればとてもにぎやかで最高の日坂です。	1
揖斐川の釣り。アウトドア。	1
いびがわマラソンの様にボランティア活動が活発であることを全国的に発信すれば、横蔵寺、華蔵寺、ゆり園、鮎料理、藤橋城、藤橋温泉、徳山ダム、揖斐祭、揖斐川町祭り等 自慢できると思います。	1
揖斐茶、谷汲山、藤橋道の駅、温泉、坂内村の自然薯、徳山ダム、揖斐川マラソン、横蔵寺	1
揖斐の花火は良いと思う。もっと大きくしては。	1
揖斐の花火は大垣の方の知り合いも多く見に来ているので人気があります。	1
揖斐祭り、ありがとう花火、揖斐川マラソンなど、町をあげての楽しい行事がある。	1
お茶や野菜・果物等：他の地域より優れたものをもっとPRできるとよい。	1
春日川のオートキャンプ場 黒田橋、はぎなが橋ぞいの桜並木、谷汲 横蔵の桜、もみじ、由緒ある古く、大きなお寺など	1
春日にはもりもりがあるし又、診療所もある、お風呂の二階から見る、景色も良い所もある、さざれ石も冬はスキー場もあるので、いい所だと思っています。	1
観光施設と恵まれた自然と揖斐川マラソンのPR	1
観光地の整備・活用 (寺・城・ダム・温泉等)	1
観光地は色々ありますのでバスツアーなど旅行会社にお願してバスツアーなどどうでしょうか	1

期間的に云えば短いですが見鳥公園町全体のヤナ	1
高齢者の会で町のグラウンドを使用してグラウンドゴルフを行っているが無料でグラウンドを使用できるのでありがたい。いび川マラソンも自慢できることの1つである。	1
小島山の活用・中高年の登山ブームの中、小島山の史跡(山頂の池井)も活用し、登山道(トレッキング)を整備してほしい。→出来れば温泉も(岐阜金華山は毎日中高年が体力づくりの為に登山している)	1
子供歌舞伎。	1
桜	1
桜・紅葉と景観の良い場所が各所にあります。遠くへ出かけなくても充分満足出来る。	1
さざれ石公園、小島城跡、教如岩とかもっとPRしてほしい。	1
産直品がおいしいこと	1
自然、揖斐川、キャンプ、温泉、スキー場、パラグライダー、やな、カヌー、揖斐川支流のあゆ	1
自然、今問題になっている獣害も、都会の人にとってみれば、鹿を見るツアー等、逆転の発想で考えてみたら如何ですか	1
自然。鮎…ヤナの数が増えすぎ。大きいヤナを少ない数で運営しては…	1
谷口山などの観光名所。	1
谷汲、ダム、ももの花の咲く時期はきれい。	1
谷汲など桜やもみじがきれい。	1
徳山ダム…ダムを造った経緯は好ましくないけど…。自然やダムをドラマ・映画の撮影に提供しては	1
徳山ダムや谷汲山などの観光地	1
農業体験者の受け入れなどPR	1
花とか木をアピールしたりバスもおもしろくしたら良いのでは。	1
花火大会	1
花桃の町をアピール	1
名鉄の線路のあとを散歩道にしては？	1
紅葉	1
紅葉時の横蔵寺のモミジの美しさ	1
山、川、キャンプ場等、お金をあまり使わず遊べる場所	1
山あり 川あり 空気は良し、温泉もある。	1
横蔵寺、谷汲山	1
横蔵寺のミイラ	1
人	40
人間性	2
人が温かい	2
「いびがわマラソン」人のあったかみを感じる。	1
田舎で人と人とのつながりが良い処	1
揖斐川町の方は、あたたかい方がたくさんいると思います。あえば必ずあいさつもしてくれるし、揖斐川マラソンで他県の方もかんじてくれているんじゃないでしょうか？	1
いび川マラソンなどのよう、全国的に「人が良い、温かい」というところ	1

揖斐川マラソンに参加して始めて地域のみなさん、ボランティアの方々に歓迎してもらえた事、何から何までのあったかい心くばりに驚きました。とても、すばらしい事だと思いました。	1
お年よりが生き生きと元気に生活していること。90才以上の人でも元気な方が多い。	1
おもてなしの心がある所は良いところだと思う。	1
観光 自然 山 川 美しい自然 おもてなしの人の心がすばらしい	1
近所の方が野菜をくれたりとか、親切な人が多い	1
近所の人と気の合う話しができる	1
自然が多いこと、長年住みつづけた人が多く、顔見知りが多いので、様子がよくわかること。仲間が多く、楽しみを共有できる。欠点は、他の人(よそ者)を受け入れにくい。	1
自然が多くて、いい人が多い	1
自然が豊かで人の心も優しい。	1
住民は、おだやかな人が多い。	1
人材が豊かだと思います。	1
人のやさしさ	1
善良な人が多い。	1
他人ともすぐ気やすく話が出る	1
地域の人々のおもいやりの心	1
伝統を大切にすること	1
友だち同士が、お互いに行ったり、きたりして気軽に遊べる。	1
人間が暖かく温和である	1
人間性豊かな人が多い(人情味が厚い)	1
人間としての性格がよい人が多い。都会とちがいで、安心して住める	1
人情が厚い	1
人が好いというか人あたりがよい人が多いと思う	1
人が良いところだと思います。やっぱり、都会にはないほのぼのした暮し。田んぼや畑、山や川。自然の大きさ。	1
人と人とのつながりが有り人情実が有る	1
人と人とのつながりがよい	1
人と人とのふれあいがすばらしい	1
人と人とのつながりが強いこと。特にマラソン大会ではそれを感じることができます。	1
人々が温和	1
風光明媚な自然と素朴な人間性	1
まずは一番近いお隣さんとのふれあい。	1
まだ残っている人のつながり、山川のある住んで安まる景色	1
物ではなかなかありませんが、人の悪口を言わない。頭が良い親切な方が多い性格が良いと思います。自分もその様にありたいと思います。	1

水	32
水がきれい	7
水がおいしい。	7
揖斐川	1
揖斐川が木曾川、長良川に比べてマイナーだけど、とても良い川なので、もっとPRが必要	1
揖斐川がきれい	1
揖斐川町には美しい水が有る	1
おいしい水が、安価で供給されている。	1
川がきれい	1
川がキレイ。蛍がフツーにみえるこの環境を守りたい。	1
川の水(ダム)	1
空気が良く 水がおいしい、自然が豊かで静かなところ	1
自然(みどり)が多い事と水がおいしい事	1
水源が豊かである事	1
清流(谷川)が多く、水が滑らかで魚(鮎、あまで)のいる環境	1
水	1
水がおいしい。けしきがよい。	1
水がおいしく量に心配がない事。	1
緑と水が多い	1
やはり、広大な土地に恵まれた自然でしょう。(山・川、きれいな空気)豊富なきれいな水を、起爆剤にしてみてもいいのでは？	1
山が美しく水がおいしい！と思います	1
災害	31
自然災害が少ない。	8
災害のない、安全なまち	2
あちこちで災害があっても我々の部落はなんとなく安定しているように思います。	1
暑いけど、災害の心配がないね。	1
安心、安全の町(災害のない町)	1
揖斐川町に住んで45年になるが、どんな災害にも、強く良い町だと思います。いび川マラソンで名前も広まり、胸を張って揖斐川町民であると言います。	1
海や山の災難が少ないところ	1
教育、防災体制の充実	1
現在住んでいる所は災害もなくとても住みよい環境で気に入ってます。 自然に恵まれ健康体でいられる幸せに感謝の日々です	1
災害が少ない 水も良い、保守的だが堅い人が多い	1
災害が少なく、自然環境が良い	1
災害が少なく、住みごち良い町。	1
災害が少なく交通の便利も良く緑も多い	1

災害の少ないこと、観光資源をもっとPR	1
災害の少ない所、水のきれいな所	1
災害もほとんどない。(津波、床下・床上浸水、竜巻等)	1
自然環境が安定しており災害が少ない点	1
自然災害が少ない。=企業のデータセンターとかを誘致してはいかがでしょう？	1
自然は豊かで、山も川も暮らしのそばにある。それなのに災害は極めて少なく住む所としては安全な所です。	1
自然豊かで災害も少ない。	1
大災害がおきない地域の利	1
津波・水害が心配ない。	1
天災の水常に少ない事(台風 大雨 強風等)	1
マラソン	29
いび川マラソン	15
イビ川マラソン。たいへんだとは思いますが、1番のイベントと思う	1
揖斐川マラソンで、県外、町内以外の方々と交流できる私の心を幸福にしてくれます。少しでも道路整備に力をそそいでほしい。	1
いびがわマラソンで全国的に知名度が上がったこと。	1
揖斐川マラソンで人が多勢い集まって、川の美しさ、山のけしきの良い所	1
揖斐川マラソンなどで揖斐川町も知名度が上がってきているので、揖斐川町の旧商店街を再開発して古民家の町並みにして観光にも力を入れると良い。	1
いびがわマラソンは、今後も続けていただきたいです。いろいろな所から来てくださるので、もっと、揖斐川町のおもてなしがあれば、良いです。他の地域の方との交流で、揖斐川町の良いところを外に広められたら良いです。	1
いびがわマラソンは子ども～お年よりまでがいろいろな形で参加することができるすてきな行事だと思う。学校がどんどん新校舎になり、子どもも大切にされていると思う。	1
揖斐川マラソンは子供から大人が参加でき、地域の人もボランティアで参加できる揖斐川町の祭だと思う	1
いび川マラソンを常時、楽しめる場にできる	1
揖斐川マラソンをより一層大きなものにしてほしいと思います。	1
町をあげてのイビ川マラソンの実施	1
豊かな自然(山、川)があり、いびがわマラソンのコースもあり、道が整備されている。	1
良いところはたくさんあると思いますが広いので一つにしほれないというかいまいちまとまってない気がします。しいていえば「いびがわマラソン」は、マラソンランナーの中では高く評価されている大会らしいので、もっと町外にもPRしてもよいと思います	1
私は年齢より出来ませんがマラソンやいぶぎと山やいろと有ると思います	1

子ども・子育て	23
15歳までの医療費助成	1
18才までの医療費控除、空気が美味しい。	1
揖斐川町は、子育て支援が充実していると思う。親子で遊べる子育て支援センターや緑地公園サークル等で友人もできると思う。ちなみに、25才の息子が幼児の時に入っていた子育てサークルで仲良くなった人と今だに交流しています。	1
おだやか子供を育てる村とPR	1
岐阜市内の友人からは、子供がのびのびと育てやすい環境であると評価されてますよ。公園も、自然もいっぱいあってうらやましがっています。	1
教育施設の充実・学童保育の実施等、子供を育てる環境が良い事	1
子育て支援、障害者支援が充実している。	1
子育てしやすい町	1
子育てするには、いい環境だと思います。	1
子育てに対してのサービスが充実しているところ	1
子供が産まれた時に、お祝い金がもらえたりするのは嬉しい。	1
子どもたちの元気	1
子ども達をみてもおだやかでのびのびとしている子が多い。	1
子どもの医療費タダ	1
子供への補助の強化	1
子供を育てる環境が良い	1
自然、人間関係など子育てにはよい環境だと思う	1
自然の中で、子育てができるのが良いのではないかな？	1
女性が元気でパワフルです。仕事・主婦・子育て全般何でもこなしています。(子育て世代も姑世代も)	1
待機児童がない	1
田んぼが多く、子どもが育つ上で、日本人らしい感性が、はぐくみやすい。	1
山や川等 自然がたくさんあり、子供が伸々と育てられる。	1
養老の友人が、揖斐の子供はのびのびしているといっていました。	1
空気	18
空気がおいしい。	4
空気がきれい	4
空気がきれいで、自然環境に恵まれにいる事	2
空気がおいしい。1年を通して、あそべる所がたくさんある(BBQ 場やスキー場)	1
空気がきれい 山々緑にあふれている	1
空気がきれいである。よい(おいしい)お茶がある	1
空気のきれいな環境に良さそうな所が沢山あるのではないかな？	1
自然が豊で、空気もきれいである。	1
自然と空気のきれいな場所	1
人口密度が底い、空気がおいしい →自慢できるところ	1

町にない空気の良い集落	1
歴史・伝統	18
歴史	2
揖斐川町は合併した揖斐の町周辺の集落にも、残しておきたい良い名物名所、しきたり。風景など多くありまので、なんとか守って行けるよう、年よりでも出来る仕事を作ってもらいたいです。退化させるので、もっと古き良き時代を取りかえしたいです。	1
揖斐川町三輪(旧)は古都を思わせるよう所だったはず。今はずいぶん建て替えられて昔のおもかげがなくなっています。何か手を打たないと揖斐祭りの存続もあやうくならないようにしてほしいです。又、していきたいです。	1
いび祭りなど伝統の継承	1
各地域の歴史、史跡をしっかり明示(PR)する	1
春日には、貝原棚田や、すばらしい茶園が広がっています。豊かな自然や伝統文化を守っていくこと	1
地域に昔から伝わるお祭りの PR	1
伝統行事を大切にしている点。	1
伝統芸能が沢山あること。	1
伝統文化がたくさんある	1
伝統を守る心が強い。	1
古い寺、神社	1
文化意識の高い町	1
昔からのお店が多い。	1
昔からの行事を存続するためには、形を変えたり簡素化して負担のないようにしていく。	1
むかしからの歴史がある	1
歴史ある寺や観光名所がある	1
特産品	15
お茶	2
揖斐川がキレイ(鮎がうまい)	1
おいしい水、米。	1
春日、坂内の新緑、特に紅葉の美しさと鮎とあまごのおいしいところ。	1
米がおいしい	1
コンニャク・ヤナ・川・谷汲山・横くらなどある	1
自然・お米が美味しい	1
地元ならではの野菜、米、お茶 etc を PR するコーナーをつくって、道の駅や風呂、祭りのなど人が集まる時を利用し、試食会をするといい。	1
ダチョウハンバーグやコロッケがおいしいですね。	1
食べ物が美味しい	1
食べ物が美味しくて、安全なこと。	1
特産品の開発	1
野菜がおいしい	1
野菜が安くておいしい。	1

地域性	15
揖斐川町で何より自慢できるのは、何か大きなイベントがあると、一致団結できる「お・も・て・な・し」精神だと思います。	1
揖斐川町の良い所はおもてなしの心だと思います。	1
各地域で独特な活動をそれぞれ熱心に続けてみえること。	1
旧久瀬地区、坂内地区等の助け合いの精神を全体に広げたい。	1
近所付き合いが都市と比べ親密。	1
高齢化や人口減少に対して、戦っている高齢者や住民を積極的に紹介する。特に地域住民の助け合い、ボランティア活動などを紹介することも大切だと思う。ずっと住みたいと思うのは心の問題でその根底には個人のがんばりや住民の結びつきが、大きい影響を与えると思う	1
山間僻地で少なからず、助けあいの精神が残っているところ。	1
地域の中でのつながりがある	1
地域の人の笑顔が沢山見られる。近所との連携が取れていて、支え合いがある。	1
人間関係が、湿気が多くネチャネチャしている処。(善悪・両面あります)	1
年に何回か、実地される、美化活動がいいですね。	1
ボランティア活動が活発、地域のつながりが強い。	1
緑の街 静かな所、人々が親切。	1
皆顔見知り	1
隣接所が親切	1
住み心地	11
揖斐川町生まれで、高齢になってまいりましたが、これと言って新聞にのる様な悪い事件など、無くて、昔から住みやすい町です。余り変わりばえもなく...	1
揖斐川町に住んで見て病院とか、銀行が自転車で行けて、とても静かなところ、最元亀がほしいです。	1
揖斐町は住み安い所だとおもう	1
お米がおいしい、水がきれい、緑が多い 人があたたかい。人も動物(ペット)も住みやすい	1
三世代、四世代同居ができる生活空間があるところ。	1
自然がいっぱいあるし、のんびり暮せる	1
自然がたくさん有り、ゆったりとくらせる。	1
住みやすい場所	1
住み良い	1
土地が広く、住居が狭くないので、交通は不便でも、住むには住みやすい地域である。	1
良く分からないが住みやすい所が良い所。	1
のどかさ	11
のどか	2
田舎くさいところは、ある意味アピールになる。 税金安いと住みやすい。	1
田舎らしいところを大事にしている所	1
のどかなところ。気持ちのやさしい人が多いところ。若い人たちもみんな大らかでやさしい子に育てている	1

道路等はどこもきれいに整備してあるので良いと思う。町外から来る人に農地を貸し出しできたりすると良いと思う。田舎ぼさ、気軽に來れる田舎をアピール。	1
田舎なところ。元風景、を大事にしてほしいです。	1
田舎の、のんびりした生活が送れること。	1
平凡な町でありたい	1
(よしいくぞう)の歌のなかに、(おらの町にはなんにもない)という歌詞があります。他の町と”なぜ” 同じ様にならなければならないのでしょうか。「なんにもない」素晴らしい事です。つくる喜びがわきおこります。(なんにもない町)を表に出して貴方の貴女の色にそめましようと、私なら呼びかけます。	1
のどかなところ、(良い意味でも悪い意味でも…)健康的な安心感がある町だと思います。継続している地域の祭、マラソン、等 皆で取り組む事が多く良いと思います。	1
行政	10
揖斐川町にハローワークがあつて助かってます。	1
色々な施設ができています。	1
行政が無駄使いをせず、堅実である。	1
健康福祉の町づくり(乳児・子供の成長育成と教育、医療・介護の充実等)	1
公共施設が利用しやすい(使用料が安い)	1
町政が安定している。	1
町民の意見が反映されやすい。	1
福祉が良くなっている	1
福祉サービスが増えている。	1
役場の方々がこうやって町民の思いを汲みとろうとして下さっていることをうれしく思います	1
犯罪	9
犯罪が少なく安心して住める	2
自然が多く、公害、犯罪も少なく子育て、老後に住やすい町	1
自然が豊かで、治安が良い所。	1
自然が豊かで落ち着く所、治安がいい所	1
自然環境に恵まれている事、治安がよい事。	1
治安が良い	1
治安は比較的安定している。	1
犯罪や大きな事故・事件が少ないこと。	1
交通	8
コミュニティバスの100円は良いですね。車に乗れない人、高齢者には有難いと思います。	1
昔の電車の形のバスも評判いいです。	1
あそびに行きたければ、すぐに行けること。	1
交通の便(大垣へ出る)がよい。	1
近鉄電車、コミュニティバスがあり車に乗れないが便利です。病院、コンビニも有り利用しています	1
岐阜市、大垣市、名古屋市への通勤可能な圏域である	1

関西、北陸に近い。	1
旧揖斐川町はそれほど田舎ではなく便利も良い方だと思う。	1
山紫水明	7
山紫水明	4
山紫水明で自然環境は整っていると思います 生活していく上に於いて条件は揃っていると思います。	1
山紫水明、人々も思いやりがあり暖かい。	1
山紫水明 住むにはこれ以上の所はないと思う	1
温泉	6
温泉 3ヶ所が(平日)150 円で入浴できるのは大変良い。もっと谷汲方面にも増やして欲しい	1
温泉がある	1
温泉がいい	1
温泉も良く繁盛していますが、何にか今一つ、インパクトのある物が出来れば良い気がします。?	1
近くに温泉があるところ	1
花の木コーヒー ・お寺 ・温泉があるのもったいない。	1
イベント	6
揖斐川町地区の祭り	1
色々な行事が(一般向け)開かれているのももっとも利用者がふえるといいと思います。	1
運動会や夏祭りがアットホームな感じで参加しやすく、楽しめるところが良いと思います。	1
各種行事(マラソン・ウォーキング、祭り、スポーツ等)	1
各地域の伝統的なお祭や、行事。(マラソン、マラニック等)	1
近所の人と会話したり、運動会、スポーツレクリエーション等で交流があるのも良いと思う。	1
静か	4
静かな町	1
山、川、の美しい景色に恵まれ静かな町又道の駅	1
夜間は大変静かでゆっくりと眠れること。	1
夜が静か	1
その他	4
自慢できるどころではなくおかしくない? と思うところをなくせば良いところになるのでは?	1
町名が美しいと思う。	1
持ち家率が高い	1
役場がキレイ	1

◎今後の住みよい福祉のまちづくりのご意見やご要望などをご自由にお書きください。

意見	件数
くらし	48
家族に病気の人、入院中の人、などがいると、ほんとうに大変です。 役場へ行っていろいろ書類がいる事も申請しないといけない事などが、はじめてわかる事もありました。福祉のまちづくりもいいですが、今も大切です。	1
買物も不便。イオンをつくれ・・・とうならあるだろ？	1
徒歩、自転車の安全な通行	1
田舎であっても生活が出来る様、税金でも安くしてくれたら楽しく暮せるに取り立ても大事であろうが田舎暮らせる様にと思われる。	1
1人暮らしの人々が安心して生活できるようになって欲しい 買物も一緒に行ける人は一緒に出掛けて自分の好きな物を買うようにして、できる事は自分でしてもらいできない事だけ手助けするような町づくりにすればいいのでは?!	1
福祉というより住みより町には”食を”充実してもらいたい 食品を手に入れる為の店！”住”を増やす。移動しやすい毎日である事を希望。町に店が少ない 大野・池田、他の町へ行く事が多くなっている	1
揖斐川町の安全生活を良くする事。	1
揖斐川町立図書館とかありますか？ 広報などに載っていたら、すみません。 どこのあたりに何があるのか、未だにわかりません。(何の施設がどこなのか?)	1
子供の保育園から小学校、中学校又近くのスーパーも近いし、最終章の所まで近くにありますが もう少しあぶない所 現在を一旦停止の所がありますが、役場からJAのガソリンスタンドへ行く十字路は信号をつけてほしい、短い時間でも赤が 20 秒など… >	1
47 でも書きましたが、必要最低限の行事のみ残し、余計なものは削減して下さい。	1
中心地だけのサービスではなく、離れた地域の福祉サービスもお願いします。	1
前にも記しましたが、こうした「災害」「福祉」の名の下に、地域の催事が増えることは、とても苦痛です。 為政者は、地域で組織化を謀り、垣常的な体制作りを以って安心されたいのかもしれませんが、これ以上雑事が、増えないことを望みます。町内のゴミ出しにつき、人様のゴミ出しを点検する。「ゴミ出し当番のお立ち」に辟易し、他市町村に移った若夫婦が居ることをご覧下さい。数々の非礼の段、ご寛容下さい。	1
合併前の姿(一田五村)にもどして、おらが町おらが村に愛着がもてるようにする。集落の維持ができなくなれば消滅するしか方法はない。 高齢化、少子化の中では、どうにもならない。その前に、原発事故や戦争で日本は滅びる可能性あり。	1
深夜タクシーがない。午前0時～午前7時までの間、緊急にタクシーを使用したくても出来ない。各支所に緊急用の送迎が出来るありがたい。(急病になり 救急車で行き、帰りが困った事がありました。)	1
地域が高齢化していることを感じる。結婚すると子供たちが町外に出ていってしまい、地域の若い人が少ない。 残る若い人への負たんが増え、それを知ってまた若者が出ていってしまうという悪循環があると思う。	1
町が中心になって各地域でいろんな行事をやって盛り上がるよう(例、小島地区は特に盛んでうらやましい)	1
自然をテーマにしたイベント「川」や「山」を生かしたファミリー向けの企画を提供する。と自慢になるのでは？	1
設備等をしていった方が良くと思う。	1
一定の企業を優遇しすぎるので平等にして下さい	1

<p>いろんな事の取りくみはとて面白い事だと思いますが、やっぱり人、それぞれ性格があるから無理に参加させるのはいいと思わない。おせっかいすぎるとうれしくないと思う人もいる。放っておいてほしいと思う 行事が多すぎる</p>	1
<p>揖斐川町北方はあまりに役が多すぎて、その為、高齢になっても公民館活動運動会の役も順番にする事になり、ことわれず大変住みにくい。</p> <p>運動会も強制しないで出来る人が楽しく出来るよう考えてほしい(組の会合の席で皆の声も強制しないでほしいと云う意見あり)</p> <p>町から北方公民館長に指導して下さい</p> <p>後期高齢者に強制しないで楽しく過ごせる町にしてほしい</p> <p>今ではにげだしたい気持です。</p>	1
<p>安全に歩ける歩道をもっと整備してほしいです。</p> <p>歩いて行ける距離でも、危ないので車を使ってしまいます。</p> <p>自分も怖いですが、将来子ども1人で出かけると思うと、交通事故が心配です。</p>	1
<p>若い人達が、住んでもらえるように、土地の購入(住宅用)免除をする。(町独自のもの、こういう制度がありましたらすみません)</p> <p>20歳まで医療費を免除するなど、他の町村とは違う、魅力のある制度作りが大切!</p> <p>ライン、フェイスブック、ツイッター等をこれまで以上に活用する。</p>	1
<p>部落の人同志で生活したい</p>	1
<p>年金で生活できる様にして欲しい</p>	1
<p>子供を安心して遊ばせる所がない 砂場遊具等もないので老人は見守り役も果たせる様な 木陰、ベンチ、等設置 山手ではなく何処からでも見渡せる様な場所があればと思います。</p>	1
<p>向こう三軒両隣のお互いに助け合い喜び合うおつき合いが、まず結婚式でなくなった。この頃は自宅が多くなり失われようとしている。今までの隣りや班の人達で何も言わなくてもまかせて行けて頂けた。又三日間のお取待ちでしきたりや班の人達の性格や特長がわかり普段の生活のおつき合いに役立つとお互いにたすけ合い見割合うことが出来たが…これに代る機会を作る様に考へる必要があると思ます。乱筆で失礼しました。</p>	1
<p>災害時の助け合いは、あたりまえの事だと思っています。</p> <p>もしもの時にスムーズに助け合いが出来るよう、個々の意識を役割が大切な事のように思います。</p>	1
<p>揖斐駅近郊に子供の遊園地と生活に必要な商品の店の集合モールのな物を立て、子供の遊ぶ姿を見ることが出来る高齢者のための施設。</p> <p>現在※買物は、他町がほとんど。子供をあそびに行くのも他町、これでは、他町県からの来客は、少ない。インパクトのある、施設を建てる。</p>	1
<p>福祉施設は駅、周辺に作り(交通の便)、若い人が訪れることもしやすくする。</p> <p>福井原発に対して対策を十分に立てる。</p>	1
<p>花火大会は岡島橋を栄町通りを通行止めにしてやるべし。おどりも田んぼ通いでやっても意味ない。</p>	1
<p>地域の行事が多すぎてふたんになる、高齢者にはいいが、働いている人にはとても住みにくい</p>	1
<p>未婚者が増えているように思います。結婚を促進する行事等を積極的に行ってはどうか? 若い人が増え子供が増える事によって高齢者率も減り活性化する。また大人から子供たちへの声かけ(あいさつ)が大事。子供に地域の大人を知ってもらい、子供をあたたく地域で見守る事により子供が成人しても”良い所だ” ”お世話になった人が大勢いる” と心に思い、地元に戻って来るのでは?</p>	1

生活必需品、食材など注文をして各々に配達をしてくれる。スーパーマーケットのサービス。	1
自然が多い 川がきれい 空気がおいしい	1
問 47 48 に続いて早急の道路の整備を願う。よろしく	1
高齢化とともに買物難民が増えて、栄養が充分とれなくなります。生協等のシステムがあっても山間のへき地では該当せず、利用できません。町主導で生協や宅配による生活物資が実施できる制度を設定して欲しいものです。行事やイベントは削っていただいても、除雪の方へあてて下さい。各独居老人宅の軒先にまでお願いしたいものです。	1
老人社会になるのは間違いないので、その人たちのために満足できる様心がけて欲しいものです。	1
悪質商法の被害が減らないのは残念。啓発活動と相談できる工夫が必要かと思う。	1
前にのべましたように道路を整備し車のながれをよくし、他の地域の人との交流を深めていきたいと思います。	1
また次のアンケート調査にあたる時まで考えておきます。 春日村は素晴らしいと思っています。	1
町営の移動スーパーを発足させる。(特に旧5村へ向けて)	1
シシ、シカ、アライグマ、ハクビシン、サルの捕獲	1
巡回販買車	1
施設の充実も良いが、その施設を活用できる手段を増やしてほしい。	1
昔からの食生活の見なおしも福祉につながるのではないのでしょうか。	1
・人口は、減り続けることは確実なので、結婚、出産、子育てに重点を置くべきだと思います。	1
何か困ったときにだれでも同じように相談出来るシステムがあるとうれしいです。知っている人だけが得したりするのはどうなのかなと思います。	1
福祉全般	47
もっと積極的にいろいろ参加出来る様に形だけの研修、講習でなく、実のあるものにして欲しい。	1
あまり行政に頼らず、自からが努力し、福祉の町作りを行政と住民が一体となって進める	1
思いやりの心がいつまでもつづけて	1
自立・自律の精神と助け合いの均衡及び行政の助成	1
当町は近隣でも類を見ない土木王国だと言われ、私の周りにもその恩恵を与えている人が大勢います。 町長始め行政を預かる人はことばだけでなく真剣に福祉、教育等について考えてください。	1
福祉の方は、忙しいと思いますが、変わりっ気のない仕事ばかりをやっていないで、地域の中へ出来るだけ出て、住民とふれ合った方が良いと思います。	1
揖斐川町の町民の皆様が町をもっとよく知ってほしい。	1
むだな事が多すぎる	1
今のところ 主人も私も健康なので自立できています。 将来何かあって当事者にならないと具体的なことはわかりません。申し訳ありません。	1
今夏、父(89才)の介護支援の事で福祉課の方にお世話になりました。有り難うございました。	1
私達が老人になる頃は色々大変だと思いますが、私達が今、家庭や社会に貢献し、できることを何かしらして行くことが大切だと思う。 そんな姿を次世代の人が見ていてくれて、助け合う姿勢や意識が続いていくことを願います。 何もかも行政にではなく、できない所は補うような、レベルで。[集団や個々に健康や介護技術等を学習したりできる場も必要になってくると思う。	1

のんびり暮らせる町づくりを要望します	1
皆さんが、助け合い、思うことすぐ行動出来たら良いと思います。	1
福祉を語るあまり、人口が高齢化している。地区では役が多すぎる(例. 民生委員・日赤役員・農業委員・老人会役員等)1/500 でよい。高齢者だからのんびり暮せたらよい。	1
自己本意にならない。弱肉強食にならない。卒先発言の人よりひかえ目の発言(物言えぬ人)もとり上げて。	1
高齢者・子ども達が安心して暮らせる町。施設の充実 道路整備 助け合いの心	1
町報といびがわチャンネルの内容がかぶっているのでムダだと思います。 とりあえず町全体に活気がないと思う。	1
高齢者の意見が強く、若い人達が育たないまちの様な気がします。	1
住民の代表として、町議会・行政推進員さんが見えますので、町民の意見を尊重し話し合い、そんな場を多く持ち、岐阜で福祉が充実している町と言えば、「揖斐川町」と言われる町にして頂きたいです。	1
古い世代より、次の世代の育成に、資本を投入して下さい。	1
差別のない住みよい町づくりをお願いします。ムダをなくし、必要な事をすばやく行う。	1
おたがいに手を取り合って仲良くする事が大切だ	1
まず、住みよい街づくり。	1
頭のかたい人達が、ひたいを寄せて考えても似た様な事しか出て来ません。町民全体をまき込んで、幼児からじいちゃんばあちゃんまで思わぬヒントがあるかも？	1
公助と共助の協働により福祉サービスの向上を図る。	1
予算を確保出来る内容にこだわることなく、民間思考で何が町民の福祉に役立つか考えて取り組んでほしいです。	1
揖斐川町が平等である様にして欲しい	1
何もかもすみずみまで小さいことを見守って下さい。	1
若い人達が揖斐で住め人口がふえて行く町になってほしい	1
地元で仕事についておらず、単身でいるものにとっては、日頃行政なり地域で何をされているかもわからず、福祉・障がい者支援・子供の養育とその立場にならないと本当に困っている事、してもらいたい事は、わからないかと思えます。 行政自体、困った時にスピーディーに対応していただける、提案をしていただけるようお願いいたします。	1
地域が広いので、町の中心で考えたい指導するのではなくもっと集落の中へ入って来て欲しい。社協職員は一生けん命やって下さっていることは分かるが、近くで顔が見えない。行事やイベントでなく身近かな見守もりと、相談を事業を多くしていただくとういと思います。	1
人口を減らさない為には、年金生活者が増大する中で、低所得者が住みやすい環境が必要と考えます。 先ず第一には、町の行政に於いて、町民の為にならない出費を抑制し、財政の健全化を図り、町民の負担を軽減し、生活し易い環境にする事が必要です。高負担・低福祉の町には住みたくないのは当然です。	1
地域は家族です。心と心がふれ合う町づくりを皆の手で育てて行きたいですね。	1
高齢者世帯や独居の方との話し相手になる。	1
いろいろ考える事も大切、楽しむ事も大切。 人もお金も必要。どの人も協力して豊かな心で、生活するために税金も大切に使ってほしいですね。	1
若い人たちが生きていける町であってこそその「福祉のまちづくり」かと思う。	1
人が集まる町にする事	1

自然と文化が財産。ハードよりソフトを。身の程知らずの大きな建物はもうありません。それより学校の先生を増やすとか高齢者の為に予算を使って欲しいです。	1
福祉の方に力をいれてほしい。以上1人暮らしの自分としては先の短い人生です。何事も考えられない今の気持です	1
西濃地域の高齢全てが揖斐に来れば全てが叶う楽天地域作り。小出しにチョコチョコ作らない!!	1
出来る限り、人の迷惑にならないよう生活しようと心掛けています	1
若い人(体の元気な人)にとっては、舎田であっても住み良いを感じますが高齢者になり、体が不自由になるととたんに住みにくくなります。将来をになう子ども(若者)が村にいること、高齢者での住み易い村であることが大切と思います。	1
互に助け合うこと	1
新しく建物を建てるより福祉の方にお金を使ってほしい。	1
高齢者を意識した福祉のみではなく、ひきこもり支援などトータルの取り組みを要望したい。	1
夢のような考え方も知れませんが、高令者が最後迄、坂内に住める為にも、高令者の施設がほしいですね。地域の者同士、理解し合うと共に助け合って生活は当然のことですが、若い人達は他地区の人達との(ふれ逢い)を大切に今後の高令化社会の仲間作りを大切にしたい。楽しい老後に備える事が大切であると考えます。安心して、楽しく生きて行く為に!!	1
住みなれた土地で最後まで住み続けたい人達の想いとして、生産、観光、福祉、子育て、医療、等にて頑張っています。私は、これらの地域活動の中へ振興事務所(行政マン)も入って頂き、一緒に考えて頂きながら、自分に合った約割で活躍して頂けたら、住民は、安心して、楽しんでそれぞれの立場で輝くことが出来るのでは、ないでしょうか?どんな事でも二人三脚でなくては進歩なしだと考えます。	1
高齢者になった今の気持は、一日でも長く、自分の事は一人でできるように願うのみです。	1
公共交通機関	31
公共交通機関の充実	4
「車がないと生きていけない」という考えの人が多く、公共交通機関を小馬鹿にしている人もいます。利用者が少なくて困っているのなら、もっとわかりやすく、もっとPRすればよいと思います。	1
歩いて行ける所に、お店も無く車に乗れない高齢者には、不便な地域では、さびれていくばかり。	1
学生、通勤者(名古屋、岐阜方面まで)の公共交通機関の確保	1
香六のおとしよりは診療所へ行くにもバスで行のに坂道左ので、月に1,2かい小型車で迎えにきて又お昼頃おくってきて下さるなら、うれしく思います	1
希望をあげればきりがありませんが、今現在なのがと問はれれば買物に、診療所通いに足の無いことです。せめて月1,2回自分の目で楽しい買物がしたい事です。小さくても型は古くても乗場近いバスが今一番の車に乗れない老人の希いです。どうか一日も早くその日を待っています。	1
公共交通機関を使えるようにしてほしい。子供が高校進学するようになった時、今のような状況(朝、通学するのに都合のよい時間帯にバスが運行されていない、揖斐駅からのバスの最終時間が早い、など)では、子供が一人で駅まで出られず、近所の高校生たちはほとんどが駅や学校まで親が車で送迎しています。谷汲の「参道らくらくバス」は、楽しくて、私達も何度か乗車させて頂きましたが、ほとんど乗客がなくとももったいないと思います。らくらくバスを無料で走らせるくらいなら、有料にしても地域住民(とくに高校生)が使いやすい路線バスに替えてもらったほうがよいです。	1

工事をしてもらうのは助かるが、バスだけが通れる道はおかしい。 救急車すら通れないのはもちろんのこと、長い期間工事するのならばバスの所を一般車も通れるようにするべきだ。しきわがあったとこの橋の工事について)アンケート取るだけとって、反映させないのなら意味がない。	1
交通機関が発達、福祉施設の設備の充実さが行き届いていく町づくりとなってほしい。	1
交通の便が悪い。以前の名鉄電車の復活を希望します。	1
交通の便を良くして高齢者が外出したくなるようにしてほしい。 バスも短い区間で止まるようにし、医院、高業、スーパー等、便利な揖斐川町であってほしい。高齢者がどんどん外に出るようにすれば活性化すると思う。外出したくてもできない人の気持を大切に。	1
交通の面で役場、診療所、病院、スーパーに小さなバスでいいから運行回数がふえると良い	1
高齢者が気軽に外出できる足となるものがあればと考えます。	1
高齢者に無料のバス乗車券やタクシーの半額券等を与えてほしい	1
子どもが高校進学する時、進学先の幅が広がるように交通機関を充実してほしい	1
コミュニティバスを充実させてください。裏方は、バスがないため、タクシーを使います。(経費もかかり困っています)	1
たしかに大野町にあると聞いた事があるがコミュニティバスでは高齢者どこへも行きたい時間に行けないが、福祉タクシーがあり、予約しておいて、行きたい所に行けるので、揖斐川町にもあると良いと思った。	1
バスなどもっと、数をふやしてほしい。1時間に、1本もしくは、0ではなく、山(春日)行きなど高齢者が多い為	1
バスの運行バスは 100 円で 20 分おきにぐるぐる(バスはマイクロバス)春日から郵便局農協小林医院駅 揖斐病院 役場 中央公民館 北方 大和農協 北方郵便局 又歯医者さんにも止る事 バロー トミダヤ 平和堂 サークルK	1
バスの運行は高齢者にとって有難たいと感じます	1
福祉タクシー制度があるといい。相乗りが出来る	1
福祉バスの運行の再考…利用者が少ないようなので有効な方法を考えて下さい	1
町の福祉バスの効果的な運営をさらに研究して欲しい。高齢化が進めば要求が変わってくるので…	1
もっとバスの本数が増えるといい。	1
やはり、鉄道が大切	1
養老鉄道の存続と利用しやすい(運行回数等)コミュニティバスの運行にして欲しい	1
老人の足の確保のため、コミュニティバスの増加を希望する。	1
鉄道時の交通が不便で、高齢や障がい者のためにも充実が必要だと思う。	1
施設	30
福祉総合センターの整備充実(相談窓口の充実)	1
粕川オートキャンプ場のことですが、県外からでも1年を通して利用する人がいますが、利用時、駐車代金を払ってもらおうようにして、その売上を町のために役立てるようにした方が良いと思います。 (今どき、無料で利用出来るキャンプ場はないと思いますが…)	1
図書館を利用する事が多いので夏の延長を21時まで希望します。 19:30では夕食の後 行ってもすぐ閉まり不便です。	1
この町には尚和園など公共の施設はありますか？ 町内の人にはなかなか入れないようです。お金が入ってくるからだと言うようですが!! 池田町や大の町では格安の施設(個人)があるのですが、町外の者は高額で、町内に(住民票を)移住すれば安くなるとの事、揖斐川町にも少しはこう言う施設ができてほしいと思います。	1

福祉会館の建設	1
高齢者、認知症の人が、自由に集まれるサロン等の公共施設	1
私が知らないのかわからないが町施設(有料)利用する時など町民が得をしたと思えないので若い人が町民で良かったと思えるような仕組みがあると良いと思います。	1
スポーツ施設の設置の充実をお願いします。(小年～高齢者まで)	1
高齢者、障がい者の入所施設の整備	1
福祉施設・介護施設の充実を図ってほしい。	1
高齢者の介護施設の整備	1
老人収容施設の拡充	1
老人の還境及び福祉の充実、運動場、集会場の充実	1
アリーナが、山の近くになったことで、スポーツをするうえで雨がふったり、雪がふったりするとどうしてもおっくうになりがち。もっと町の中にはできなかったでしょうか？ これからも公共の建て物は、そちらのほうに建てられてしまうのでしょうか。	1
福祉施設の充実(安く入所できる所がない。)皆が思っている事です。	1
福祉職員と地域の代表者への訪問	1
各地区にある公民館などもっと活用できないものでしょうか。囲碁、将棋、カラオケ等又卓球など自由に使用出来たらより生活に潤いがもてると思います。老令なので視野が狭く折角のアンケートも満足な回答も出来なくて申し訳ございません。	1
高令者福祉施設の充実。	1
インフラ整備だけでなく、公園、グラウンド、ウォーキングロード等、健康保持に役立つ、環境作りも必要。	1
現在進められている下水道工事の見直し及び縮小に即刻取り組むべきです。。。浄化槽で十分ではないでしょうか。将来に於いて、莫大の維持管理の負債を残す事になり、町民に過酷な負担を強いる事になる事は避けられません。夕張のように財政破綻しないようにして頂きたい。 近隣市町村の中で揖斐川町が一番、個人負担の少ない町だと自慢できれば、人口の流出防止の1つになるのではないのでしょうか。	1
認知症の人が増えると思われるので、その受入施設の充実等介護者に負担がかからないように考える必要あるのでは？	1
どんどん、介護施設が増え、訪問介護やデイサービスなど、とても充実していると思う。	1
IT系インフラ整備	1
建物ばかり建てるのではなく、内容の充実を図ってほしい。	1
将来町営の老人ホームを増してほしい。	1
身体を動かす施設が身近にあると気楽にできる。	1
病院など便利な所で老人下宿など作っていただければ良いと思います。	1
建売住宅、土地を安く売り、年寄りが多いので老人ホームをこれ以上作らない	1
行政主導の福祉ではなくて、自己責任で解決できるような福祉施設を作る	1
公共の交通機関・公共の施設(図書館や公民館)・役場を集約して、うまく連携させる事で揖斐の活性化を内側から図ってほしい。 また、活動する時(買い物・飲食・余暇・イベント等)、町外に出なければ何も無い。地域ならではの店や施設、町内でもすごせる場がほしい。	1

行政	29
街路樹を植え、歩道を整備する、歩きたくなる町へ、車で通り過ぎるだけではなく。レトロなよさを前面に出す	1
地域の見守りは大切ですが、行政も、見回り等、職員を減らす事のない様に、お願いしたいです。	1
町の行政は中央集権では…人口減少状態だと思う 子育ての親達と情報交換を持ち教育者達皆様をお願いします。 山間地域の多い町村では、田舎と町の住み方が違うから…町議会審議員等がもっと考えないと希望は持てないよ…？	1
何か困ったことがおきた時に、気軽に電話相談できる課などがあると心強い。	1
町が真剣に考える	1
子育て、介護、企業誘致、産業振興による活性化などを大切に、町政や施設の充実をさらに進められたい。	1
福祉の裏づけとなる財政がきちんとしていないと、福祉は絵にかいたモチになる。	1
各種委員会の委員の選定については、個定化することなく各地域の有識者の情報把握を1つおいて欲しい。 (多くの女性の登用を)→家族を守っているのは女性です!! 地域包括支援センターの3職種については、個定化することなく、組織の役割(園の示す内容)がそれぞれに果たすことができるよう定期的な人事交流をして充分機能するよう配慮されたい。長年在籍することによる負の権力意識は、組織力を低下させる原因である。(保健師以外:定期的に異動があると思われる)	1
現在国の指針の基に行なわれている福祉行政費用も高齢化進展の為 減少せざるを得ない。現況を維持されるだけで満足なのでは。	1
三町合併すると良いと思います	1
若者が揖斐川町に残るのはごく少数、ならば老人の町を作り、老人に合せた雇用・町づくりを大至急取りかかるべきです。揖斐川町なにしろ！	1
町の計画性が短期間にすべきことと長期間でゆっくりやればよいことを混同していると思います。また、5町村合併時にしておけばよかったことをいまさらやっていることもあり、時間的都合が苦しくなっていると思います。	1
福祉、福祉と叫んでるだけでは本当の福祉ではないのではと思います。揖斐川町はやさしい町です。それを活かしたまちづくりをしていけば良いのではと思います。ただ、ずいぶんムダも多いと思う事があります。町民も節約しています。	1
町のために、町長選挙に立候補した人に意見を聞いて、最重要課題が何か、考えてほしい！	1
町会・町長など議員の力が強すぎる 土建屋しか企業がない。なんとかして	1
いろいろとくみを考えていただいています、はっきりとした主旨がわからない事が多くいつも尻切れとんぼに終っている様に思います。 役員が変わるたびに変わっていきます。もっと引き継ぎをしっかりとしてほしいです。	1
行政の積極的な取り組みをお願いします。(課題に対して)	1
まず町長を辞職させる。独裁政治では、悪くなる。	1
町職員が多すぎるので減らして福祉の方へまわして下さい。	1
町の行政マンの積極的輸入人事を実施されること！	1
町の活性化、何も施策が無い。考え方を変えた方が良いと思います。※外部の人を入れて考え方を変えた方が良い。	1
役場職員はもっと外に出て仕事をしてほしい	1
揖斐川町は広い。もっと良い事に活用できないものか	1

江戸時代の目安箱的なものをおいてもっと町民の声をきくように！ 良い意見とかとり入れられるような政策があれば、匿名でなかったら、賞金とか賞品を出したりして、たのしんで意見が出せるような町にして下さい。	1
行政の人間が、地域に来て、地域を、活性化させる活動をしくむべきだと思う。 役場においても、地域のことは、見えてこない。地区や集落を見ることをもっとやってほしい。	1
福祉委員を選ぶのに、福祉に感心のある人を、選ぶこと	1
福祉を主体に町の PR コンセプトを提唱し(環境整備・拡充と「おもてなし」施策を推進) 町の PR キャラクター(観光 PR 等) 特産品(茶・しいたけ・米等)を利用した菓子、B 級グルメ食等の開発(道の駅等利用、高齢者の人材活用) 婚活イベント(村コン)等の企画、実践 予算源資の増加への取り組み 企業の積極的誘致他(有用増加、税収への取り組み)若者のユーターン化推進策の策定(人と財源(予算)、政策が必要)※「まちづくりプロジェクト」を作る(各課と連携) 町(役場)のプロジェクト シルバー人材によるプロジェクト等	1
福祉サービスを受けるための窓口を土、日とかに行けるように開設してほしい。月 1 回でもあると手続きできるし、便利。 町にことばの教室ができるとか聞いたけど、いつ? どこに?	1
行政に期待しております。	1
地域活動	27
色々高所得者ですが、個人的にボランティアが色々話しの出来る人が大事だと想います。	1
ボランティアの民生委員等を働かせ職員は活動していないようだ	1
となり近所で声かけし合って笑っていただけることを希望します。	1
部落ごとに、気がるに、老人が集まれる所	1
地域住民がふれあう活動への助成。物への助成より人と人とのふれあいへの助成	1
退職されたまだ若い方々(特に男性)にそれぞれの特技を生かしてボランティア(少しは代金も支払われる事も有っても)をしてもらうとか将来のためのボランティア貯金制度があったらと思います。どこかでやってみるのが新聞にのっていました。	1
地域の行事、慣習など従来よりの住民と新しい住民とでは温度差があるので、時代に合った地域作りをしなければ人口減少に歯止めがかからないと思われまます。特に高齢者の町内行事等への参加は考慮されるべきです。	1
公金の支出をおさえてボランティア活動に重点をおくべきではありませんか?	1
定期的な町内のパトロールを活発化してほしいと思います。	1
1 人暮らしの人が他の人と話しをできる場所や、その場所に行く交通手段を作ってあげる。	1
今後、耕作放棄地が増えていき、地域での除草・草刈が困難になって行くのが心配。	1
一人一人が自分が合ったボランティアに参加しながら、お互いに元気に楽しく生き甲斐を感じながら福祉にとり組みたいと思っています。	1
各地域で気軽に参加できる、活動の種類や回数を増やすとよい。	1
年令・地域関係なく集まって、話せて、誤楽のできる所があるとよい。	1

福祉の事は大変難しく、なんと言っても、おとなり同士を身近に話の場所を作ることが自分のためにもよいと思います(カラオケ。などなど)	1
高齢化のための皆で集まって、話し合いの場所があればうれしいです。自由に出入り出来るところです。	1
子供と老人がふれあえる集会所の設置	1
だれでも安気に利用できる憩いの場所を希望します。	1
地域の中でより細かい現状のはあくネットワーク作り。そのつなぎ手となる人材(ボランティアでもいいが)昔でいうおせっかいなおばさん おじさんのような存在が必要だと思う。	1
福祉は、ボランティアにも楽しく協力し合う事が大切で忙がしく(仕方が無いから参加)時間がない中では前進出来ない(楽しい町、自慢出きる町、訪れる町、個性ある町、珍しい町、外にない町)さびれた町並みを、小高山のようにして観光に力を入れ、他県から来ていただくようにしたい。	1
子供会について、マニュアルがないため、今後の対応が不安である。地区役員などの負担が不安。	1
子供の遊び場、高齢者から幼児までもが触れあえる場等がほしい。心の休息場(お茶飲み場)。児童館、乳幼児の親子の触れ合える場等、空建物、跡地等の利用方法を考えてほしい。「特に地域に於て」の活動出来る場所を作ってほしい。多目的な施設がほしい。乳幼児、児童等に対する福祉がしっかり出来れば若者は住みたくなる町を求めて定住すると思う。	1
理想ならば、地域住民がお互い協力し合える関係が持てるのが一番良いのだけれど、それはなかなか難しいので、行政もそれに対して、救護してもらえようようにしていただければと思います。	1
町職員は休日を利用して、ボランティア活動を率先して行う!	1
広域である事の「ヘイガイ」をなくすこと。地域交流の進め、が大切と思います。	1
自分が高齢化した際にも安心して暮らせるよう、地盤づくりに協力して行きたいです。	1
人の心が『やって良かった』になる様に希望と方法を皆で考える。自分の人生の責任者として、学び続け自分の頭で考え、行動し振返る、習慣づくりを町としてサポート。	1
雇用	21
若い人の働き場所があるとよい。	3
若者達にも魅力のある住みよい町作りの為に町側も働ける場所の提供、名物のPRを進めていけたらと思います。	1
とにかく今の段階では何も無いが、例えば美しい水を使った産業、「精密機械の産業とか働ける場所を何とかして作っていかないと間に合わない。そうでないと少ない子供達もみな町外に出て行って仕事をして減少するばかりだ。	1
働く人の勤める企業の育成(農業の企業化を含む)	1
働く場所の提供、若い人が住める環境	1
若い人が就労できる町づくりをめざすことが第一。	1
年齢問わず働く場所の提供。	1
企業誘致をして人口増、所得増を計らねば福祉につながらないと思う。	1
財源がないので 荒廃した農地などに池田や大野の様に、工場など(働く所)を誘致して まずは働く所を、税金を安くして若者を減らさない事を同時進行しつつ福祉のまちづくりをお願いします。福祉課だけでなく全体が一丸となってやってほしいです。早く……早くしないと皆、死んでしまいます。	1
定住の第1条件は収入の安定が求められると思います 安心して生活が出来る環境側が大切、働く場所の確保が急務	1

工場誘地など	
若い人が住みたくなる町。それは問 47、参照、働く場所の確保が第一である。	1
もっと工場等の誘致や働く場所の確保	1
年金だけで生活するのは苦しいので高齢でも出来る仕事があれば良いと思います。	1
働く場所がない。	1
クリーンな企業を誘致し、若者の働く場を創生する事が重要です。また、近隣の市町村への道路網を整備し、通勤をし易くすることも必要と考えます。	1
産業をもっと誘致すべき([EX]池田のアピなど)	1
会社設立に協力し雇用を生む。	1
町財政から見て福祉の充実は現状維持で良い。高令者となっても働らくことが出来る場所の提供、例えば中山間地の地区毎に炭焼き釜を作る等の工夫が必要かと？動ける人の労働力を活用すれば高令者の活かに携がる。シルバー等ではなく生産性のある労働が必要かと。	1
民間の活力を生かせるシステムを造ること。新しい働く場所を造ること。	1
高齢者	18
年金が少ない、町は何もししてくれない。そんなグチをこぼすより、一人でも自分の力で生きよう、少しでも他人の助けを借りず、生きようとする町民の意識の改革が必要です。(ピンピン・コロンを目指して)	1
コミュニティバスの小型化に努め、発着本数を回り、高齢者(車の運転ができない人々)の便宜を考えて欲しい。(病院への通院、買物、お風呂など)	1
独居老人だけが受信時の送迎サービス受けれるのは、問題あり	1
高齢者が活躍する場が提供できる環境作りが必要だと思います。	1
65 歳以上の方が利用出来る特典を増やしてほしいのとあればもっと広報等で PR してほしい。65 歳にならないとあまり眼中にない為、	1
一概に高齢者といっても巾があり元気な高齢者にはもっともっと活躍出来る場があればいいと思います。	1
シニアにも出来ることを！ 若い人の手伝いが出来たら、それが生き甲斐となるでしょう。	1
必要経費のみで安く入れる老後の施設の充実をお願い…	1
(以前TVでやりましたが)、リタイヤした方が それぞれの得意分野で先生になり、別の分野では生徒に成ったりという場所のみが提供され、誰でもいつでも集まれるしい空間になってました。全曜日で朝から夕方～夜まで、元気に高齢者の方が楽しそうに学んでいらっしやいました。そんな場所あったらいいのでは？	1
先ず、自分で出来る事は自分ですするという事に尽きるのではないか。行政に依存する事はこの高齢化の進む中では無理である。その後の課題については、問1からの○印に示した。たえず気持を外に向けて暮らす事が大切だと思う。	1
80 才すぎ高齢者。なにも考えられません	1
老人の住む町に	1
高齢者でも出来る仕事を考え、いきいきと生活が出来たらいいなと思う	1
高齢になれば誰でも他の人の援助が必要になります。援助をどのようにするかが問題で福祉としてどこまでできるのでしょうか	1
数年後に 1 人になったら、病気になったら、認知になったら心配ごとばかりです。子供たちは忙しく、老人を介護してくれるかな？金の心配もありますが、行政にたよることばかりでは、困るし、元気な老人が助け合うような近所づきあいが出来たらと思います	1

私自身がもう 83 才ですので町の事、ボランティアの事はわかりません。	1
老人は考えることができないので…	1
高齢者の意見など自由に言える参考にしてほしい	1
子ども・子育て	12
障がいのある子どもも健常の子どもも、みんなが分け隔てなく同じ空間で学べる学校が理想です。そのために教員の数は必要になってきますが、子どもたちが本当に自主的に考え動ける人になるにはそういった環境で心で感じる経験をすることが重要だと思います。思いやりとか倫理観とか教えられて心が育つものではないと思います。	1
老人福祉・子育てに力が入っていると思いますが、子供が中学・高校生になっての対応は何もないように感じます。	1
小、中学校のスクールバスを増やしてほしい。(バスしか通えない地域に住んでいる為、朝練、土・日の部活、学校の集まり、の為、親の送迎がどうしても必要な為、親が送迎できる家はいいが、そうでない親は、休ませないといけない。)高校も同じせっかくバスがあっても利用するには時間が全くあわない。	1
以前は、神社などに遊具があり、3ヶ所ほどあった広場も現在は全くなくなりました。幼児が育たなければ親も地域に住みたいと思わない。孫も町外へ出てしまいました。さびしい限りです。娘も「子供の奨来を考えられない」といいます。	1
学校をもう少しきれいにした方がよい。ニワトリ小屋の復活や草とり等	1
未来のある子供をとにかく守ってほしい。	1
子どもたちがあそべる場所を作る	1
子育て支援を更に進める	1
人口が増え、子供の声聞きこえる町になったら良いと思う。	1
公園やジョギングコースのような散歩道が少ないので、もっと子育てのしやすい町づくりに取り組んでもらいたい。	1
活気ある町は、若者、子供の住むまち、せめて揖斐川町にとどまれるように、交通便利の良い場所に、大きいマンションを作り子育てをしながら働ける場、学校、社会教育の充実に力を入れてほしい。子供は町の宝です。	1
学校教育において、現在この町では都会に比べ祖父母と同居の家庭が多い方かなと思いますが、お年寄りをいたわる、いつか自分達も訪ずれる世代。 今、自分があるのも祖父母がいてこそと大切に思いやる心を育ててほしいと思います。そういう心がボランティアとかにつながっていくのではと思います。	1
産業	12
働ける町づくりで人口が増加して活性化させる。休耕田を利用し農業の改革(業務用野菜大量の栽培)。工場や商売の新設が1つでもあれば町が活性化する。	1
山間地域の良さを活かしたまちづくり、山でしか作れない特産物の生産等「地産地消」自給率を高める なんとか魅力ある農業。土で生活できる生き方が最高	1
自然豊かで住みやすい町です。もっと色々な工場や観光地をふやし お店も人も多く集まる揖斐川町を子供達も若い人も老人も活気ある町でありたい。	1
企業と同じで、町が収益をあげないと衰退する人を呼び込む。いびがわマラソン(1回/年)だけでは、もたない	1
・今町にある資源をもっと利活用できる知恵を公募する ・ペレット温室での栽培(老人を使う)経験あり⇒力にする	1

久瀬の横山へいく途中の名倉に福祉施設を作るとか名倉の田を買取り(町で)観光利用出来るような物を作るとか…	1
道の駅、日坂のもりもり村の中間地点でもあるあの土地を見直す犬では、おいしいと思います。	
「揖斐川町はこれが自慢できる」ものを作り、PR！Uターンを増やし、老若男女問わず、助け合える町にする	1
揖斐駅がだんだんさびしくなっていくような気がするのよ！「知恵」をください	1
貧乏な町に何を要望するのですか、健全な財政収入が先ではないですか。国の支援施策を期待した行政運営は時代に取り残されます。自助努力すべき。自然と共生できる街づくりを基盤として観光経済力を期待します。	1
清流揖斐川の河原を整備し、キャンプ、釣等が出来る。	1
横蔵寺、谷汲山華厳寺等々の名刹や徳山ダム等ありもっと観光揖斐川町のPRをする。	
揖斐泊川の活用:管理釣場(ダム湖の利用)、ランニング、サイクリングコース。スタッフは、中高リタイヤのボランティア	1
旧揖斐川町はに、もっと観光地があるといいと思う。(なかなかPRするところがないけどね。)	1
公園	11
公園を作ってほしい。	3
小さい子が遊べる公園と、お年寄りがゲートボールしたり散歩できるような所があるといい。(一緒の場所に)	1
公園等の充実、河原等が、行き来できるような環境作り	1
公園など、子どもお年寄りもいこえる場所がほしい。	1
子育て世代に対して、揖斐川町にしっかり整備された公園をつくってほしい。(高齢者の散歩コースも公園の中につくる)	1
通学路の危険な場所に対する意見を出しても通らないのがとても残念です。高齢者に優しく子供には優しくない町のような気がしてしまっている	
支援センターは受付など面倒なので自由な状態で利用出来る公園がほしい。高齢者も散歩や、健康のためにも利用できると思うし、地域の人との交流もしわすいと思う。	1
もっと、公園を増やす事!!	1
とにかく、子供が気軽に遊べる場所がないので作ってほしいです。	1
揖斐川町には公園がほとんどありません。あっても、子供を遊ばせても大丈夫?と思える古い公園、スベリ台しかない公園。もっと子供を外で遊ばせるには必要だと思います。作って下さい。	1
その他	11
まず、役場の人間がゴミである。段取り悪いし、言葉づかいも悪い。子どもをしょうらい、揖斐川町ですませたくない。けいさつもゴミである。てっぽうでパトカーが100キロで走っているのをみた。けいさつをまずとりしめなければならぬのでは?	1
よろしく願います	1
何とか宜しく願います	1
自分の住んでいる所が誇れる地であると信じて生きること。	1
いつも住民1人1人の気持ちを大切に頂きありがとうございます	1
新聞雑誌など月に1回程度回数をお願いをしたいです。村の近くで出来たらいいと思います。	
遠くまでとはとても、土地運びが出来ないのでよろしく願います。今年春頃より主人が車に乗らなくなったので不便です	1
おもてなしを大切にする町にする。	1

我山に向かって目を上ぐ我が助けはどこ!! 私も揖斐の1人として何とかせねばと思います。ビジョンをこの一点に小さなことにでも持ちつつ毎日を目を開いて自分から健康維持のため自然食に心と目を向けたい。	1
頑張ってください	1
今の時代はなんでも新しい化学の品物、機械を使う生活ばかりで時代の進歩は人間の心の豊かさをとりもどしたいです。	1
町民みんなの笑顔の写真で、何か作れないでしょうか。	1
住宅	10
アパート・マンションとか増やす。他町とかから人を呼ぶ、イビ川町にすんでほしい。そんな場所がない、住宅を多数欲しい	1
新しい入居を確保する為に環境の整った住宅集落を提供する。	1
マイホームを建てやすいよう、土地融資、企業への融資、アウトレットショップなど、外から揖斐川町に遊びに来てもらえるようにする。	1
若者が住みたい→家を建てやすい→土地がカンタンに手に入る(タダみたいな値段)	1
移住してもらえるように、空き家を整備したり、優遇したりしたらどうですか？ アパートみたいなかんじで。	1
古民家の活用、住人を増やす。	1
我が家のそばにも、長年空き家のままで(所有者も、高齢となり、また、遠くに住んでいる)くずれそうなままほったらかしの家があります。危険だし、将来どうなるのだろうかという不安があります。	1
古い空き屋をどうにかしてほしい。不衛生、地震が心配	1
生活保護を受けている人が住んでいる、上三野等の町営住宅が古すぎてかわいそうだと思います。	1
若い世代が、持ち家を建てられる、町の政策を考えると良い	1
健康	10
地域の保健師や医師、福祉のプロなどが健康づくりのためもっと身近な存在になるとよい。	1
お互いに助け合って、ピン、コロで人生を送れたらいいと思いますか？	1
福祉についてはまだよくわからない。自分が健康でいられることが一番だいじなのです。今は世の中が不安をかんじることもあります。	1
まずは住民が健康である事、自然(山、川)がいっぱいあるのだから、遊歩道などの整備充実を計っては	1
お年寄りを元気にする事、その為には、誰もが気楽に参加出来る様なお年寄りのための町営無料娯楽施設を作りそれを利用する事によってお年寄りも元気になり病院回数も減りその分元気になれると思います。	1
元気な、老人を作る。	1
バスの拠点利用⇒歩く⇒健康体な人増⇒全国でPR	1
健康作り、体力作りに老若男女が安心して楽しめる自転車専用道がほしい。	1
町としては毎年健康診断を行っています但其の時に認知症の検査をしていただきたいと思います	1
いびがわマラソンを代表するように揖斐川町は「健康づくりのまち No1」になれば…	1

情報	10
しっかりと情報提供ができる環境づくりがあった方がいいのでは？ 放送や紙面の情報では、見なかったり、聞かなかったりが多い為、面と向かって話せるようにすべきかなと思う。もしくはそうなるようにしむけていく。	1
情報源があるとよりまちづくりにつながるのでは。	1
古い民話などもどこかの片すみにでも載せて、揖斐川町を知ってもら	1
介護老人施設などの点々しない介護を求めています。 現在の介護保険料の心配を、現在の高齢者の年金の多い方は良いかもしれませんが、お金の少ない方などが心配しなくてもいい介護料をはっきりわかりやすい情報を	1
自分は見えていないが、家族は日中いびチャンネルをずっと流している。民放等に比べ CM やうるさくない事が良いらしい。ただずっと同じニュースばかりなのでくりかえしはしかたないにせよ もう少し情報が多くなっても良いと思う。今のところ自分は社会福祉等をうける必要がないため、お役に立てる回等が出来ず申し訳ないです、毎日おつかれ様です。寒い日が続きますが、がんばって下さい。	1
各家庭に情報がとどきにくく、役場広報、社協だより等によって1面でのよいので、毎回ごとにシリーズで施設照会、施設の役割、在宅サービスの色々、手続き、とろみ食の作り方等、情報を色々教えて下さい。	1
政策を進めていく上で重要なことは内容もそうだと思うが、 どうしているのかを広く地域の人に知ってもらうことが大切だと思う。活動内容などを知れる機会、また知らせられる場をつくるのが大切かと思う。	1
情報がなかなか入ってこないのも、もっと積極的に広報していくといい。	1
限界集落では地域の助け合いも多くは望めません。日常生活、介護、看護の問題に直面した時、当人は途方にくれます。こんな時、行政が支援してくれる内容、受けられる福祉サービスの内容など具体的な詳しい情報が、気軽に、手軽に入手できる方法があるとよいと思います。	1
インターネットで調べる事の出来ない人は知る事が出来ないではNGだと思います。いかに情報を伝え利用してもらえるかだと思います。	1
アンケート	7
今回のアンケート、無作為とありますが「要介護3」で認知症の父にも届いておりました。よく、調べてから、送付して頂きたいです。	1
アンケート長すぎ！	1
福祉の内容を解りやすくして下さい。返信付筒が小さい為 アンケート用を薄い紙にても良かったのでは。	1
アンケートでの集約目的をはっきりと、交通機関のアンケートもあり、アンケート集約がおおいのではないかと、アンケートによい行政は出来ませんよ。アンケート行政反対	1
いろいろ事が有りますが書いたり読んだり出来ない	1
字がおもい出せず御免なさい読めなんだからやぶいて下さい	1
福祉といっても、介護や障がいに関して直面していない為、今回のアンケートに十分な回答ができなかったように思います。日々の生活に追われ、なかなか難しいですが、もう少し福祉に目を向けなければと考えさせられました。	1

医療	7
保健センターの充実改修、各地域(5村)に保健師配置	1
揖斐川町／町五村には診療所整えよい町と思います。	1
老後は病院があふれて、お金を使いたくっています。ただではないのですから、自力 50% 他力 50%が最低です。医療費のムダをうまく使えば何でもできます。(国家予算の 1/3 を使っているのですから！)	1
医療の充実	1
高齢者だけでなく、小、中、高も、もっと、(インフルエンザ予防接種 1500 円)にするなど 住みやすくしてほしい。	1
私は心の病気を 10 年以上、今は岐阜市のクリニックに通っていますが、この町にも精神科の病院がもっとあると良いなあと思っています。せめて揖斐厚生病院が以前のように診察日が増えれば・・・と願っています。ここに書くべきことではないかもしれませんが、体の障がいでなく幅広く福祉の輪が広がっていけば嬉しいです。	1
でも、住むには不便、高校もないし医者もない大きい病気したら不安	1
税金	7
高齢者に対して年々の不担増は好ましくない。不担が増加すれば、増々人口減少が加速する	1
福祉については、詳しくないので、要望はありません。現状維持で良いのではないのでしょうか？ 力を入れすぎるあまりに、税金を使いすぎるのは、やめて頂きたいです。	1
若い人たちの税を下げる。	1
税金の使い方がよくないので考えて下さい	1
町民税の減少	1
揖斐川町は税金が高い。福祉に回すことなどは若者が出ていくだけのこと。何もしてくれなくてよい。税金が払えず、自殺する人が増える。今、出来る福祉ではいけない。10 年、20 年、30 年后に出来るのなら良いが、現実は無理なので、「少しやってみました」的な事は一切しないで下さい。苦しいのは若者と、65 才前の人だけですから。 揖斐川町は財政難であるにも関わらず、乳幼児・小学生、中学生の医療費が無料なのはおかしい。それだけのために移住を求めるのもやめて欲しい 不公平である。	1
イキイキサロンの補助金を多くする。(代表者が持ち出しで頑張っている。)	1
介護	7
介護サービスの充実と、負担金の減額を望みます。(これ以上上がらないよう)	1
ヘルパーさん増員、質向上	1
在宅介護が楽に出来るように支援を充実してほしい。	1
介護する場合などの適切な処置や、やり方等、前もってわかりやすく指導してもらえたらと思います。	1
例え、介護する人がいても安心して、介護者が仕事に行ったり、余暇活動に行くことができること。宅児所があると若い世代も働くことができ、町にも個人にもプラスになっていくと思います。 障がい児については、親がいる間は良いが、親がいなくなった後のことをすごく心配されています。そのような時には町が責任を持って最後まで支援するような提案がなされるとよいと思います。	1
大型バスでなく、ワゴン車等で細く運行した方がよい。介護タクシーを介護保険適用外の時にもう少し安く利用出来る用にして欲しい。	1
介護者の交通を(タクシー)などをもっとふやしてほしいと思います。	1

除雪	7
毎年冬の除雪作業は通学路はしっかりと行ってほしい	2
除雪範囲を広げて欲しい	1
これから雪が積もり道路がガタガタではダメですよ。揖斐川町は雪どけについて遅い又、庁舎も遅いですよ。他町村は早くから出勤してどけています。山が多く大変だと思いますが、業者の方本当によろしく願います。	1
一人暮らしの高齢者の見守り…これからだと言かきを誰がするのかと現状では、近所の有志が、自主的にやっているだけが、システム化をするのも良いかと考える。	1
雪の除雪の時、家の前など雪どけの後でも除雪車の通った後にかたい雪のかたまりが残っているので取るのがたいへんです。もう少し考えていただけませんか？	1
一冬に何日もないけれど雪が困る。除雪を徹底してほしい。	1
消防団	6
消防団のそう法大会をやめる。	1
消防団の活動を、地域消防として大会に出るための練習をすることで時間を費やすより、消防士を増やす方に力を注いでほしい。	1
家族との時間を過ごす事を大切に豊かな町にする為に消防団の活動を減らしていただきたい。	1
消防に力を入れすぎず(教練会) 子育て、福祉をもっと考えて欲しい	1
消防団より、消防署を作ってほしい。	1
消防団がある以上、揖斐川町は高齢化になり、住み良い町づくりは不可能	1
お金	5
旧地域ごとに地域福祉予算の配分	1
年金生活の苦しさを切実に味わっている方が多いと聞いております。 福祉に関わる料金が多いと公平に福祉を受けられない人ができると心配です。	1
低所得者の保護など、考慮して頂きたい。	1
人をあつめることにお金をつかってほしい	1
収入の少ない人の事も考えて下さい。	1
防災	4
防災に関して具体的にどんな災害が想定されるのかとか、どんな対策をしたらよいのかシュミレーションの機会があるとよい	1
敦賀の原子力発電所や、もんじゅに近い事。原発で問題が起こった時(特に冬) 避難が必要な事を、もっと周知徹底して欲しい。	1
地域防災連合組織を卓上の組織に終る事なく、揖斐川町住民の安全で安心出来る環境確保のため充実 完全な組織とする事。防災組織が完全でない町に住みよい場所は無い。	1
常設の消防(職業人)と救急車が必要と切に思います。	1
障がい	3
障がいのある方が今、揖斐川町内で困っている方がみえます。役場の方はもっと耳をかたむけてあげて下さい。	1
近所に障害者(2級)の方がいます。毎日、元気に畑、庭のせん定などいそがしく動き回ってみえます。私達夫婦(64才)からみれば、とても障害者に思えないのですが……	1

ちなみに、私達(主人はガン。私は病弱) 将来がみえない状態です。 住みよい福祉とは何なのですか？	
障がい者の就労施設をもっと増やしてほしい。	1

中学生自由回答

◎揖斐川町は、どんな“福祉のまち”になったらよいですか。あなたの考える“福祉のまち”を教えてください。

意見	件数
助け合い	76
みんなで助け合える町	23
困っている人がいたらだれでも助けあう	9
地域みんなが助け合って支え合える町。	6
お年寄りの方から子供まで、みんなが、協力してつくりあげるまち。	2
協力できる町	2
相手のことを思いやれる人がたくさんいる。近所の方や見知らぬ人もあいさつができる。助け合いができる	1
揖斐川町住民がいろんなことに協力してどんな時も「助け合う」という意識を持って生活する、また笑顔あふれる町にしたい。	1
揖斐川町に住んでいる人、一人一人が他人を手助けするという意識しながら生活できるようになったらいいと思う。	1
揖斐川町は、人を手助けする、手助けができる福祉のまちをしていきたい	1
お互いが思い合えるまち	1
大人の人たちが若い世代にアドバイスをしたりして、若い世界が老人の人たちなどを支えたりする世代を越えた支え合いをすることができる福祉のまちになるとよいと思う。	1
家族のように接して、助け合えるまち。	1
川にゴミを落さないことか、高齢者を助ける、助け合いの町がいいと思います。	1
近所の人どうして助け合い、知らない人とでも協力することのできるまち。	1
近所の人などにあいさつができる。いろいろな人と助け合いができる	1
子どもが近所の高齢者のささいな変化に気付けるようなつながりをもつまち。	1
幸せな毎日だからこそ、この揖斐川町の人々にとって「すばらしい」と思えるような「美しい」と思えるような感情。助け合いや協力の大切さ。人と人とのつながり。それが全て自分を変える1つの人生。希望にみちた、美しく、幸せな、町であってほしいです。希望の光を歩めるような毎日がいいです。「笑顔」1つで人々の愛や希望がつくりあげられる。喜び1つで周りは、支えられる。	1
施設が十分にあり、いつでも助けることのできるまち。	1
自分の近所の人同士で困っていることを分かり合い助けあう町づくり。	1
自分のことは自分で守らなければいけないけれど、地域や家族の助け合いがあるまちがよいです。	1
住民と住民がお互いに手と手をつないで明るい人が増えていく町。困っていることがあったら家族に相談することが出来るような町。	1
障害などある人を地域などでたすけ合っていく町	1
障がいをもった人を見かけたら、「だいじょうぶですか？」などせっせと声をかけていき、全員が安心してくらせるまちにしていきたいです。	1
少子高齢化が進んでいるなかで、近所や町全体が高齢の方や障害がある方をささえていける“まち”にしてほ	1

しいです。そして、笑顔であふれる社会になってほしいです。	
助け合える町、あいさつでいっぱいな町、明るい笑顔のたえない町がいいと思う	1
だれにでも、やさしく接することがいつもできるまち。こまっている人がいたら、こえをかけたリ、てつだってあげられるまち	1
誰もが助け合って、お年寄りの方も障がいのある方も楽しくみんなで仲良く過ごせるまち。町民や地域の人全員が、”福祉”などについてきょうりょくしたりある程度の意識を持てる。	1
地域、友人、知人の助け合い。	1
地域みんなで助け合いと行政で協力し合って行うことのできるまち。	1
どんな人でも住みやすいように、色々な所に「おもいやりの心」がある町になればいいと思った。	1
人々全員で助け合ってお年寄りの人達が安全に安心して暮らせるようなまち。幼児、お年寄りが関係なく全員が幸せになれるように優しく接してあげられる町	1
人を見て行動せずに、誰とでも助け合える福祉のまちになったらいい。	1
町の全員が協力しあって生活している。困っている人を見たらすぐ助けることができる。	1
みんなが明るく どんな時でも困って居る人を見たらすぐに助けることができる町	1
みんなが支えあっていけたり、お年よりの人が、住みやすいまちや、笑顔で生活できる。	1
みんなで助け合える町にしたいと思いました。誰か一人がお年寄りや障害のある人を助けるのではなく、町一人一人が支え合って、助け合って、いくことがわたしたちにとっても、町にとっても、大切なことなんじゃないかなと思います。	1
老人の人を若い人たちで、支えていけるようにする。バスなどは、おじいちゃんとかおばあちゃんがすわれるように若い人がゆずったり優先席のルールを守ったりするようにする。	1
若い人たちがめんどくさがったりしてしまわないように、誰もが進んで助け合いをできるようなのがいい。他人や、お年寄りが進んで助け合いをできるようなのがいい。他人や、お年寄りの関係者だけに押しつけたり任せず、思いやりの心を持って助け合えるといい。楽しいコミュニケーションを付けたりすると沢山の人の笑顔がひろがって皆、他人に優しくなれる心をさらによくしていけると思う。お年寄り相手じゃなくても優しく人に接せるようなまちがいい。	1
地域みんなが助け合っていく町。例えば、もうすぐ私たちの町に地震がくるかもしれないから、それまでの被害を少なくなる方法などを考えてみたりなど、みんなで助け合う	1

ボランティア	19
ボランティアの参加を進んでできるようにしたい	4
町をよりよくするために多くの人がボランティアに参加する	3
いつも自分からボランティア活動をしているので、それを、続けるといいと思います。	1
ご近所付き合いや地域のボランティアで周りの人達と助け合う町になったらいいと思います。 困っている人を見かけたら、すぐ助けたりして、人のために自分が出来るかぎりの事をしれたらいいと思います。	1
困ってる人などがいたら、進んで声をかけることのできる町にしていきたいし、高齢者や障がい者に優しい町にしていきたいと私は思いました。あと、ちいきのボランティアなど、ボランティアが月に1度行われてもいいと思った。(例:月に1度地域で集まって、清浄をする)等がいいと思います。また、バリアフリーが多くていいと思いました。	1
障がいのある人や高齢者の人、困っている人がいればだれでも、できるかぎり力になってあげられるようなあたたかい町にしていきたいし、そんな町へと近づくためにボランティア活動にも積極的に参加していきたい。だれもがいごごちやすく、この揖斐川町に住んでいて良かったと思ってくれる町ができることが僕自身の考えです。	1
誰もが住みやすい福祉のまちにしていきたいです。そのためにまず地域の人ととのふれあいの場を、つくり、自分の地域が今どのような状況かを知ることが大切です。また若い人は積極的にボランティアに参加することが大切だと考えます。	1
地域のボランティアやイベントにみんなが参加できて、協力しあえるまち。	1
町内の人たちが笑顔でボランティアを行えてみんなが助け合っていける町	1
福祉があふれる町を目指すには、地域とのつながりや今後のボランティア行事などで、支え合って楽しめる揖斐川町にしたいです。	1
ボランティアや、地域の行事にさんかする人、人とたくさんふれあう人が揖斐川町にたくさんいるような福祉のまちになるといいです。	1
みんなで助け合い、協力して、自然を守ったりお年寄りへのボランティアなどをせっきよくてきのできるまち。	1
もっとボランティアかつどうをしたり、1人1人が互いに助け合ったりしていけたらいいなと思います。	1
私は、ボランティア活動をもっと行ったり、社会に貢献できる町にできるといいと思いました。老人ホームへ行ったりして、お年よりのお世話をしたりして地域の輪をひろげていけるといいと思いました。	1

高齢者	16
高齢者にやさしく住みやすい町	3
お年寄りや障がいのある人にやさしい町	3
揖斐川町は高齢な方が多いと思うので、その人々を地域の人や周りの人が手助けしたり、大切にしなければいけないという意識をもったりすることが大事だと思います。	1
おじいちゃんおばあちゃんをしっかり毎日みてあげる	1
お年寄りの方のために、手すりをつけたり、かいだんの高さをひくくしたりかいだんではなくバリアフリーにすると、お年寄りの人も楽になるし、車いすの人も楽になる。1人1人が安全で安心してらせる福祉のまちになった分いい。	1
きちんと老人のことを考えたりしていけるようにしたい	1
高れい者が多いから、高れい者向けの町。	1
高齢者や障がい者がいたら助けられる	1
高齢者をあたりまえのように助け、支えるまち。役場も高齢者を助けようと呼びかけるだけでなく本気で取り組むまち	1
福祉サービスが充実していて全ての高齢者に優しい町	1
私は、お年寄りの方の近くに住んでいる地域の方が、元気ををみにいったり、話をしにいて安否をかくにんしたりして地域住民でたすけあっていけるといいと思いました。	1
私はいま揖斐川町の中にはたくさんのこうれいしゃがいるので、私たち中学生が地域のこうれいしゃにこまっていることやつだってほしいことをすすんできいて高れいしゃの人たちのやくにたちたいので1ヶ月に1回から3回はそうゆうきかいをつくっていきたい。	1
楽しく暮らす	12
誰もが安心して、楽しく暮らせる町。	2
住んでいる人々が楽しくて、仲のいいようにしたいです。	1
たのしくらせる。	1
みんながたのしくすごせて、自分から手だすけができる町	1
あそべるばしょ	1
楽しいイベントがあるといいと思うし、お年よりにやさしい福祉のまちになるといいと思う。	1
お年寄りの人など、みんなが笑顔で毎日生活できるようになったら、いいと思いました。	1
ゆたかに生活できる所。	1
おとしよりや障がいのある人でもかいてきに楽しくらせる町。	1
どんな人でも楽しく参加できる加動やイベントがたくさんあるまちにしたい。	1
誰もが、楽しく幸せに生活することができる。人と人で支え合い、助け合える。人々の気持ちを考えて行動できる	1

施設	11
バリアフリーの町になってほしい	3
公園をふやしてほしい。	1
コンビニがほしい	1
電灯を増やしてほしい	1
階段を少なくしたり、スロープをつけたりして、誰もが移動や生活しやすいような町。	1
町民が町民全員のことを考えてユニバーサルデザインなど、相手に対して、自がなにがやってあげられるような人でできている町。	1
今、老人ホームとかがいくつかでき始めてきてやっぱり、そういうところをもっと動けていけるようにして欲しい。 あと、もっと、あいさつがいっぱい町にしていきたい	1
そして、もっとお年寄りの方などに優しい物を少しずつつくっていった方がいいと思った	1
お年寄りに優しく、食品店や大型ショッピングがふえれば長い距離をあるかなくていいと思う	1
年齢に関係なく	10
高齢者や子どもが住みやすいまち	3
揖斐川町は高齢化が進んでいると思うので、高齢化に関わる福祉を積極的に行うことはもちろん、次の世代の人達がくらしやすい環境(幼稚園など)も大切だと思います。どの世代の人もくらしやすいまちが、”福祉のまち”だと思います。	1
子どもから大人高齢者までが楽しく活動する町	1
ゴミとかも少なく 小さな子供やお年寄りが安心できるようなかんじにしたい。(あいさつ)など	1
誰もが安心して暮らせるまち	1
だれもが住みやすいまち。みんなが普段から助け合いの意識をもち、福祉について考えられるようにしたほうがいいと思う。	1
年齢かんけいなく、お互いを尊重しあえる福祉のまち。	1
年齢など関係なく仲良くできるまち。	1
地域	9
地域の人々が助け合うまち	3
家族の中だけじゃなく地域の間も深めて助けあえるまちになったらいいと思う	1
ただ生活していくためだけの町ではなく、住んでいる人が常に生活しやすく快適であり、なにか問題が起きたとしても町全体や、地区で問題をなくしていけるようになる揖斐川町	1
地域でのつながりを大切にし、心温かい人達がいることだと思う。	1
地域をつなぐを大切に、おたがいに助け合う意識を持つ気持ちが大事だと思います。	1
地域の人で協力をし合い、福祉をするまち。	1
地域の人とのつながりを大切にしたい。	1

ふれあい	7
お年よりとの交流をふやす。	2
高齢者の方々とふれあい交流し、互いに助け合い、支え合っている町。	1
小、中学校、高校と、月1回でもいいから、いろんな施設について、お年寄り、幼稚園児とふれ合うことで、お年よりは、たいくつせずすむし、子どもとしゃべれるだけでも、お年よりにとっては、うれしいことだから、私は、おとしよりの笑顔がみれば、それでいい。いろんな人とふれ合うことで、地域の輪もひろがって、「福祉のまち」、「温かいまち」になるのでは	1
あいさつのしあえる町	1
若い人がお年寄りを助けてコミュニケーションを大切にすまち。	1
つながりを大事にしていく町になってほしいです。みんなが安全で住みやすい町になったら、とってもいいと思います。	1
行事への参加	5
町民全員が福祉を大切だと思い、福祉の行事があったらできるだけ参加する	2
行事などもっと多くの人が参加して福祉のことを知ってもらうことが大切だと思う	1
いい町だとは思いますが、福祉について言われてもとくに思いうかぶものがない。だけど町の人々どうしてつながりがまったくないと言われればちがうと思う。だからもっと福祉活動について広めることができれば、参加してくれる人はたくさんいると思う。	1
自分のことは自分で守ったり、自立ができていて地域の方々や家族、友人などと助け合って協力しあえる町を作っていきたい。 助け合うだけでなく、声をかけあったり、行事に参加したりして色々なつながりをもっていけるようにしたい。	1
交通	4
バスなども、もっとふやしてお年寄りがラクに移動できるようにして、働らく所をもっとふやしてほしい。	1
コミュニティーバスをふやしてほしい。いつもいそがせて坂をはしられるのでそうやってやってほしくない。わすれないでほしい	1
交通手段を増やしてほしい	1
バスを多くしてほしい(走る数ね)	1
その他	4
フレッツ光を春日までまわしてほしい	1
障害のある方と一搬の方の壁がなくなりみんな平等、みんな同じの町になるといい	1
ごみが少ない(各家庭でしっかりと分別された)清潔なまち	1
のんびりゆったりしているまちになってほしい。	1
福祉への意識	2
一人一人が福祉について理解して意識する。	1
地域全体が福祉について関心をもっている町	1
行政	2
行政も人として、やることをやる。国民を主にして、行政がその願いを叶えていま、地域の中や、団体同士などのつながりをつよくする。	1
揖斐川町は、過疎化が進んでいる。福祉サービスを受けるのに、多少の補助金がついてもいいんじゃないか。	1

◎まわりの大人たちや揖斐川町に望むこと、また、あなたが地域でやりたいこと、あなたが生活の中で困っていることがありましたら、自由に書いてください。

意見	件数
イベント	13
冬にもおまつりがあつたらいい	2
地域の祭りなど	2
祭りをやってみたい。スポーツ大会をやってみたい	1
もっとイベントを増やしてほしいです。私達、中学生に手伝つだいをやりたいので。	1
図書館の存在を広め、読み聞かせなどの行事をもっと増やす。	1
LIVE がしたい。お祭りをふやしたい	1
たくさんのイベントを開いてたくさんの人と交流をしていきたい	1
お祭り ゲートボール 大正琴 すいぼく画とかやりたい。	1
地域のおまつりやおとしよりのふれあい。	1
地域の人との関わりが増えるように揖斐川中学校で文化祭ができるといいと思う。	1
みんなでイベントなどに楽しく参加できるようにしていきたい。	1
ボランティア	13
ボランティアをする機会をもっと増やしてほしいです。地域の子どもたちで高齢の皆さんを助けていきたいです。	2
家の近くで、おじいさんが畑仕事を1人でやっているの、そのような人を手伝ってあげたいと思う。	1
困っている人を助ける。	1
清そうのボランティアをふやすこと。	1
積極的にボランティアに参加する。	1
小さな子どもたちとの交流のボランティアをしたい。	1
福祉しせつでのボランティアがもっといつでもできて、どうしたらできるかと知りたい。	1
保育園のボランティアがほしい。	1
ボランティア活動ふれあいりサイクル活動に参加することです。	1
手話を勉強したいと思う。	1
私は、地域のボランティアなどできるものならば積極的に参加しています。このことが”福祉のまち”へつながっていているといいです。これからも頑張ります。	1
私はこうれいしゃの家や母子かていのいえ、ようじえんなどについて今こまっていることがあるかをきいて、そのこまっていることを私たちが実行していきたいし役に立てることがあればすすんで1人でも協力していきたい。	1

商業施設	10
コンビニを増やしてほしい	3
コンビニでクオカードがつかえない。(ミニストップ)	1
カフェとかつったほうがよい	1
ごはんを食べる所がほしい	1
大型ショッピングがあるといいです。	1
服屋とか、日常生活に必要な店がすくないと思います。	1
もっとモレラ等の建て物を建ててほしい。遊び場ほしい。	1
モレラなどの大型ショッピングモールまで遠いのもっとモレラのようなものを作ってほしい。	1
交流	8
祭行事や、ボランティア、体験活動などを増やしてほしい。	1
もっと幼児とふれあいたい。	1
地域の助け合いや協力を大切にしていきたいです。まわりの大人たちや揖斐川町に望むこと。「希望の道への第一歩」をふみしめていきたいです。この揖斐川町を一人一人の手で守り続けていきたいです。支え合いの心1つで全ての感情が変わると思うので愛を思いしれる人になりたいです。	1
つながりをつくるために揖斐川中で、文化祭や、交流会などをつくる。	1
もっと国際交流があるといい	1
もっと、中学生、小学生と高齢者、障がい者と関わる時間が必要だと思います。人を差別する心をもっている人がほとんどなので、誰とでも、仲良く、幸せに生活がおくれたらいいと考えます。	1
もっと1人1人が地域行事に参加すべきである	1
私はもっと、おとしよりの方や保育園児とたくさんふれ合う行事がやりたいなと思います。	1
公共交通機関	7
私自身の事では、ないですが、もっとお年寄りが自由に移動できた方がいいと思います。バス停を増やすとか(三倉、小津、日坂にもつくとか)バスの本数を増やすとか65歳以上無料にするとか	1
コミュニティーバスの本数を増やしてほしい	1
バスをふやしてほしい	1
買い物に行くのも大変なお年寄りや交通手段のない方がいらっしゃるのそういう所を改善していただけたらうれしいです。	1
交通機関をよくしてください。	1
交通機関をよくして下さい。	1
コミュニティーバスの時間や本数を、もう少し増やしてほしい。 橋があるから仕方ないけれど、坂が多いのでできるだけ真っすぐで平坦な道にしてほしい。危ないので、道路に歩道を設けてほしい。です。	1

学校施設	6
揖斐川中学校をきれいにしてほしい	1
中学校を新しくしてほしい。夏に暑すぎる→学校の特別教室だけでも、クーラーをつけてほしい。もっとよくはやくあたたかくなるストーブがほしい。(音楽室・パソコン室がとくに)	1
揖斐川中学校に、さくらをうえてほしい。木とかなんもなくて、さみしいから。	1
学校もきれいにしてほしい	1
学校をきれいに、してほしい。(小島小学校)	1
中学校の前にある森(帰り、行きに通る森)がいつもくさい。でっかいよく分からない鳥がいっぱい居る。揖斐川中学校のトイレがいつどんなときでも、ずっとくさい。外のトイレも。どうにかしてほしい!	1
その他	6
特定秘密保護法案が決まったこと。	1
揖斐川中学校の中からいじめや暴言、他人の心を傷付けるような人がいなくなってほしい。揖斐川中学校の全校生徒集会(集会)をへらしてほしい。親にもっとしっかりしてほしい。もっとわかりやすい授業をうけたい。	1
小島夏祭り、リーダーは中1、中2、とやったので最後までやりきりたい。	1
地区で、子どもが減って来ている。人口減少、少子化	1
東日本大震災の事を思い出してほしい。我々が思っていることは簡単なことです。「迷惑だ。」だよ。コンビニに行ってもどこにいても『震災で物資が回ってません』とあった。でも考えてほしい。その震災に合わせて値上げしているけど、そのコンビニの現状は特に変わりなかったのではないか。 家庭でテレビを視ていて、津波が恐い事を伝えようとしているけど、視ているこっちは、ただの傍観者だ。テレビを視て「可哀想」というのは回りに合わせているかだ。その負の連鎖はテレビでは回らない。募金をするのは気休めだ。自分はこの事態をあたかも知っている様にしているのだ。 だから、こちらは何もつながりはなくて、何も困まった事はないのだ。つまり、みんな嘘を付いている。	1
不便	1
提案	5
揖斐川町の山間部で高齢化がすすんでいるので、全国で有名になるような祭りや伝統工芸品を作ったりして町おこしをした方がよいと思う。	1
揖斐川町は、東京などの都会と比べると、空気がとてもきれいで、木や森などたくさんの自然がある町だから、この美しい自然を、いつまでも残すことができるようにまちになっていって欲しい。	1
もっと揖斐川町での特産物を増やしていきたい。	1
歴史や伝統工芸を大切にしてほしい。他の市町村のまねでなく、揖斐川町にしかない条件で発展して欲しい。	1
ミヤマだけじゃなくてマスコットをつくったほうがよい	1

高齢者	5
お年寄りなどとの交流の場を増やしてほしい。	1
今、祭りを地域でやっているけど、子どもが多くお年寄りが少ないのもっとお年寄りの方が来やすいような感じにしたいです。	1
お年よりが多くなってきて、何もできなくなったらいけないと思うのでお年寄りの身になってあげてください。	1
お年寄りの方が増えているので、買い物などが出来なくなると思うのでお店などを使った方が良くと思う。	1
デイサービスが少なくおじいちゃん、おばあちゃんだけで暮らしている家があるのもっと施設を増やした方が良かったと思います。	1
地域の施設	5
公園がほしい。	1
最近子どもだけで遊べる公園が減っているので、公園などを多くしてほしい。	1
揖斐川町の外の電気が少ない。暗くて、学校帰りとかいつもこわい。新しい建物をつくるのじゃなく、今あるものを直した方がいいと思います。	1
電灯が少ない地域があるから増やしてほしい	1
私が住んでいる所は山ばかりで、おばさん達が夜に外でさんぼしているから、外に電気をつけてほしい。	1
道路	4
小津の道路を自転車がとれるように広くしてほしい	1
前島橋に歩道がほしい。(学校に行く時間が短くなるから。)	1
信号が少ない。(おしぼたん式の信号がほしい。)	1
でこぼこな道路や、視界の悪い道などの環境がまだ悪いところの交通整備	1
ゴミ問題	4
ゴミのポイ捨てや捨てタバコを無くしてほしいと思います。どんな時でもきれいな揖斐川町であってほしいと願っています。	1
揖斐川町は、とても汚れているので、もっと、清掃活動をしていかななくてはならない。ポイ捨てとかも平気でやっている人がいるので、そういうのをなしにしていきたい。	1
揖斐川町はごみの問題が多く、その中でも子どもが分別していないということがあるので大人が子供に意識させれるといいと思う	1
道を歩いていると、ゴミが捨ててある時が最近あります。地域の人がせっかくきれいにして下さっているのにこういう現状を見ると、見ている自分ももうしわけない気持ちでいっぱいになります。町をきれいにするためにもポイ捨てはやめてほしいし、ゴミを見つけたら、そのままにしておくのではなく自分から家や近くのごみ箱へと捨ててくれるとうれしいです。	1
生活の問題	4
野焼きをしていて、すごくけむたいし、くさい。洗たくものやかみの毛ににおいが、うつる。	1
家の中に虫が多い	1
横断歩道があるところはブレーキをおとすことが大切なのに、そのままのいきおいで通過している車がたくさんあるので、渡りたくてもわたれないのでブレーキをおとしてほしいです。	1
大人の方で生活の仕方、私たち住民に迷惑な行動をしている人がいるからやめてもらいたい。	1